

# Endeavor

MR3300

ユーザーズマニュアル

Windows Vista

ご使用  
の前に

設置  
・  
準備

1

基本  
操作

2

装置の  
増設

3

BIOS  
設定

4

再  
インス  
トール

5

困った  
ときに

6

付録


### ご使用前に


- ご使用の際は、必ず「マニュアル」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 「マニュアル」は、不明な点をいつでも解決できるように、すぐに取り出して見られる場所に保管してください。

## 安全にお使いいただくために


このマニュアルおよび製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために絵表示が使われています。

その表示と意味は次のとおりです。内容をよく理解してから本文をお読みください。




 **警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。









障害や事故の発生を防止するための禁止事項の内容を表しています。

	製品の取り扱いにおいて、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
--	-------------------------------------

障害や事故の発生を防止するための指示事項の内容を表しています。

	必ず行う事項（指示、行為）を示しています。
	電源プラグをコンセントから必ず抜くことを示しています。
	アース端子を接地（アース）することを示しています。

## ⚠ 警告

	<p>交流100V以外の電源は、使用しないでください。 交流100V以外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。</p>
	<p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電の原因となります。</p>
	<p>雷が鳴りだしたら、電源プラグをさわらないでください。 感電の原因となります。</p>
	<p>電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。 取り扱いを誤ると、火災の原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。</li> <li>・電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む。</li> <li>・電源プラグを長期間コンセントに差したままにしない。</li> </ul> <p>電源プラグは、定期的にコンセントから抜いて、刃の根元や刃と刃の間を清掃してください。</p>
	<p>電源コードのたこ足配線はしないでください。 発熱し、火災の原因となります。 家庭用電源コンセント（交流100V）から電源を直接取ってください。</p>
	<p>破損した電源コードを使用しないでください。 感電・火災の原因となります。 電源コードを取り扱う際は、次の点を守ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電源コードを加工しない。</li> <li>・無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったりしない。</li> <li>・電源コードの上に重いものを載せない。</li> <li>・発熱器具の近くに配線しない。</li> </ul> <p>電源コードが破損したら、カスタマーサービスセンターまでご連絡ください。カスタマーサービスセンターへの連絡方法は、『サポート・サービスのご案内』（別冊）をご覧ください。</p>
	<p>本機から異臭や異音がする、発煙するなど、異常状態のまま使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。 すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、カスタマーサービスセンターまでご連絡ください。カスタマーサービスセンターへの連絡方法は、『サポート・サービスのご案内』（別冊）をご覧ください。 お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。</p>
	<p>通風孔など開口部から、本機内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。 感電・火災の原因となります。</p>

## 警告

 	水などの液体や異物が本機内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。感電・火災の原因となります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、カスタマーサービスセンターまでご連絡ください。カスタマーサービスセンターへの連絡方法は、『サポート・サービスのご案内』（別冊）をご覧ください。
 	光ディスクドライブで、ひび割れや変形補修したメディアを使用しないでください。飛び散って、けがをする危険があります。
 	本機の分解・改造や、マニュアルで指示されている以外の増設・交換はしないでください。けが・感電・火災の原因となります。
	装置の増設・交換などをするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や火傷の原因となります。
 	小さなお子様手の届く場所で、内蔵リチウム電池の着脱、保管をしないでください。飲み込むと化学物質による被害の原因となります。万一、飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。
	電源プラグのアース端子を接地（アース）してください。接地しないで使用すると、感電の危険性があります。アースは必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アースを外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
	アース端子は、絶対にガス管に接続しないでください。火災の原因となります。

## ⚠ 注意

		小さなお子様の手の届くところに設置、保管しないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。
		不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。
		湿気やホコリの多い場所に置かないでください。 感電・火災の危険があります。
		本機の通風孔をふさがないでください。 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の危険があります。 設置する際は、次の点を守ってください。 ・押し入れや本箱など風通しの悪いところに設置しない。 ・じゅうたんや布団の上などに設置しない。 ・毛布やテーブルクロスのような布をかけない。
		各種コード（ケーブル）は、マニュアルで指示されている以外の配線をしないでください。 配線を誤ると、火災の危険があります。
		装置の増設・交換は本機の内部が高温になっているときには行わないでください。 火傷の危険があります。 作業は電源を切って10分以上待ち、本機の内部が十分冷めてから行ってください。
		マウス底面にある光学式センサーの光を直接見つめないでください。 強い光により、視覚障害の原因となります。
		ヘッドフォンやスピーカーは、ボリュームを最小に調節してから接続し、接続後に音量を調節してください。 ボリュームの調節が大きくなっていると、思わぬ大音量により聴覚障害の原因となります。
		光ディスクドライブのディスクトレイに手を入れ、挟まれないようにしてください。 けがの原因になります。
		長時間または不自然な姿勢でのコンピュータ操作は避けてください。 肩こり、腰痛、目の疲れ、腱鞘炎などの原因となります。
		本機を移動する場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。

## 注意



連休や旅行などで本機を長期間使用しないときは、安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

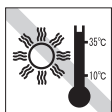


本機を廃棄する場合は、法律に従って正しい処理をしてください。

# 製品保護上の注意

## ▶使用・保管時の注意

コンピュータ（本機）は精密な機械です。故障や誤動作の原因となりますので、次の注意事項を必ず守って、本機を正しく取り扱ってください。



温度が高すぎる所や、低すぎる所には置かないでください。また、急激な温度変化も避けてください。故障、誤動作の原因になります。適切な温度の目安は10℃～35℃です。



テレビやラジオ、磁石など、磁界を発生するものの近くに置かないでください。本機の誤動作が生じたり、データが破損したりすることがあります。逆に、本機の影響でテレビやラジオに雑音が入ることもあります。



直射日光の当たる所や、発熱器具（暖房器具や調理器具など）の近くなど、高温・多湿となる所には置かないでください。故障、誤動作の原因になります。また、直射日光などの紫外線は、変色の原因になります。



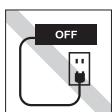
電源コードが抜けやすい所（コードに足が引っかかりやすい所や、コードの長さがぎりぎりの所など）に本機を置かないでください。電源コードが抜けると、それまでの作業データがメモリ上から消えてしまいます。



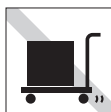
本機の上には重い物を載せないでください（本機が横置きの場合は、18kgまでのディスプレイを載せることができます）。重圧により、故障や誤動作の原因となることがあります。



本機の汚れを取るときは、ベンジン、シンナーなどの溶剤を使わないでください。変色や変形の可能性があります。柔らかい布に中性洗剤を適度に染み込ませて、軽く拭き取ってください。



コンセントに電源プラグを接続したまま、本体カバーを外して作業しないでください。電源を切っても、本機内部に微少な電流が流れているため、ショートして故障の原因となります。



遠隔地に輸送するときや保管するときは、裸のままで行わないでください。衝撃や振動、ホコリなどから本機を守るため、専用の梱包箱に入れてください。



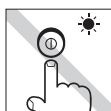
移動するときは、振動や衝撃を与えないようにしてください。内蔵の周辺機器（HDD、光ディスクドライブなど）も含めて、故障、誤動作の原因となります。



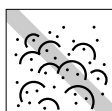
輸送や保管をするときは、付属物をセットしたままにしないでください。配線ケーブルはすべて取り外し、光ディスクメディアなどは取り出してください。



他の機械の振動が伝わる所など、振動しやすい場所には置かないでください。故障、誤動作の原因になります。



アクセスランプ点灯中は、本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。



ホコリの多い所には置かないでください。故障、誤動作の原因になります。

## ▶記録メディア

以下のような取り扱いをすると、次の記録メディアに登録されたデータが破損するおそれがあります。記録メディアの種類は、次のとおりです。

- FD** FD
- CD** 光ディスクメディア
- MC** メモリカード

記録メディアの種類を指定していない場合は、すべての記録メディアに該当します。



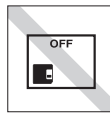
直射日光が当たる所、暖房器具の近くなど、高温・多湿となる場所には置かないでください。



アクセスランプ点灯・点滅中は、記録メディアを取り出したり、本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。



上に物を載せないでください。



使用後は、本機にセットしたままにしたり、裸のまま放置したりしないでください。専用のケースに入れて保管してください。



キズを付けないでください。



ゴミやホコリの多いところでは、使用したり保管したりしないでください。



クリップではさむ、折り曲げるなど、無理な力をかけないでください。



アクセスカバーを開けたり、磁性面あるいは金属端子に触れたりしないでください。

**FD MC**



磁性面あるいは金属端子にホコリや水を付けないでください。シンナーやアルコールなどの溶剤類を近づけないでください。

**FD MC**



テレビやラジオ、磁石など、磁界を発生するものに近づけないでください。

**FD MC**



何度も読み書きしたFDは使わないでください。磨耗したFDを使うと、読み書きでエラーが生じることがあります。

**FD**



信号面（文字などが印刷されていない面）に触れないでください。

**CD**





レコードやレンズ用のクリーナーなどは使わないでください。クリーニングするときは、CD専用クリーナーを使ってください。

**CD**



レコードのように回転させて拭かないでください。内側から外側に向かって拭いてください。

**CD**



光ディスクドライブのデータ読み取りレンズをクリーニングするCDは使わないでください。

**CD**



シールを貼らないでください。

**CD**



信号面（文字などが印刷されていない面）に文字などを書き込まないでください。

**CD**



温度差の激しい場所に置かないでください。結露する可能性があります。

**CD**

## ▶マウス

マウスは精密な機械です。次の点に注意して操作してください。



ゴミやホコリの多いところでは、使用したり保管したりしないでください。レンズにゴミやホコリが付いたまま使用すると、誤動作の原因になります。



持ち運びの際は、マウス本体を持ってください。ケーブルを持って運ばないでください。



落としたり、ぶついたりして強い衝撃を与えないでください。



レンズ部分に触れないでください。

# 目次

製品保護上の注意 .....	7
使用・保管時の注意 .....	7
記録メディア .....	8
マウス .....	9

## はじめに

マニュアル中の表記 .....	14
本製品の仕様とカスタマイズ .....	18

## 使い始めるまでの準備

ご使用の前に .....	20
本機を使い始めるまでの手順 .....	20
ご使用前の確認事項 .....	21
添付されているソフトウェア .....	22
本機でできること .....	24
各部の名称と働き .....	25
本体前面 .....	25
フロントドア内部 .....	26
本体背面 .....	27
コンピュータの設置 .....	29
電源の入れ方とWindowsのセットアップ .....	40
Windowsが使用できるようになるまでの作業 .....	40
電源を入れる前に .....	41
電源の入れ方とWindowsの起動 .....	42
Windowsのセットアップ .....	43
初期設定ツール .....	45
セットアップ完了後の作業 .....	46
Windows使用時の確認事項 .....	47
Windows Vistaの使用法 .....	47
音量の調節 .....	48
インフォメーションメニューを使う .....	48
Windowsの修復 .....	50
復元ポイントを作成する .....	50
セキュリティ対策を行う .....	50
画面表示が消えたときは(省電力機能) .....	51
コントロールパネルの表示 .....	51
フォルダメニューの表示 .....	52
ユーザーアカウントを作る .....	52
ユーザーアカウント制御画面 .....	53
本機の終了方法 .....	54
通常の終了(スリープ) .....	54
電源を切る(シャットダウン) .....	55
再起動 .....	57
ハングアップしたときは .....	57

## コンピュータの基本操作

キーボードを使う .....	60
キーの種類と役割 .....	60
文字を入力するには .....	61
日本語を入力するには .....	61
キーロック表示ランプ .....	62
Fnキーと組み合わせて使うキー .....	62
ホットキーを使用する .....	63
マウスを使う .....	65
マウスの操作 .....	65
マウスの設定変更 .....	65
HDDを使う .....	66
データのバックアップ .....	66
購入時のHDD領域 .....	67
HDDを分割して使用する .....	68
HDDを増設・交換したら .....	68
HDDの暗号化 .....	69
RAID機能 .....	70
RAIDの構成・削除 .....	73
HDDが破損したら(RAID使用時) .....	76
光ディスクドライブを使う .....	79
使用可能な光ディスクメディア .....	79
光ディスクメディアのセットと取り出し .....	80
CDメディアの読み込み・再生 .....	82
DVDメディアの読み込み・再生 .....	83
光ディスクメディアへの書き込み .....	84
Nero 7 Essentialsの使い方 .....	85
マルチカードリーダーを使う .....	87
使用可能なメモリカード .....	87
マルチカードリーダー使用時の注意 .....	89
メモリカードのセットと取り出し .....	89
USB機器を使う .....	93
USB機器の接続と取り外し .....	93
画面表示機能を使う .....	95
表示に関する各種設定 .....	95
表示できる解像度と表示色 .....	96
表示装置に関する設定 .....	97
サウンド機能を使う .....	98
外部オーディオ機器などの接続 .....	98
音量の調節 .....	100
音声の再生・録音 .....	100
ネットワーク機能を使う .....	102
ネットワークの構築 .....	102
インターネットへの接続 .....	102
そのほかの機能 .....	103

インターネットに接続するには .....	104
接続するまでの流れ .....	104
接続方法の選択とプロバイダとの契約 ...	104
インターネットに接続する .....	105
インターネットを使う上での注意 .....	106
インターネットや電子メールを利用する ...	106
インターネットを使用する際のセキュリティ対策 ...	109
Windows Update .....	109
セキュリティソフトウェア .....	111
ファイアウォール .....	112
Windows Defender .....	113
フィッシング詐欺検出機能 .....	114
Webフィルタリングソフトウェア .....	115
電源設定を行う（省電力機能を使う） .....	118
電源プランの設定 .....	118
本機を省電力状態にする .....	119
省電力状態に移行する方法 .....	122
そのほかの機能 .....	125
パラレルコネクタ .....	125
シリアルコネクタ（オプション） .....	125
IEEE1394コネクタ .....	125
SpeedStep（スピードステップ）機能 ...	126
セキュリティロックスロット .....	126

## システムの拡張

拡張できる装置 .....	128
作業時の注意 .....	130
拡張時の準備作業 .....	131
本体カバーとリンクバーの取り外し/取り付け ...	131
フロントパネルの取り外し/取り付け ...	135
メモリの装着 .....	136
メモリの仕様 .....	136
メモリ装着の組み合わせと順番 .....	137
メモリの取り付け/取り外し .....	137
メモリの増設・交換後の作業 .....	142
拡張ボードの装着 .....	143
拡張スロットの仕様 .....	143
拡張ボードの取り付け/取り外し .....	144
拡張ボードの取り付け/取り外し後の作業 ...	146
ドライブ装置とコネクタの接続 .....	147
コネクタの仕様とドライブ装置 .....	147
ドライブ装置の接続 .....	148
光ディスクドライブの交換 .....	150
光ディスクドライブ交換後の作業 .....	153
HDDの装着 .....	154

HDDの取り付け/取り外し .....	154
HDDの取り付け/取り外し後の作業 .....	158

## BIOSの設定

BIOSの設定を始める前に .....	160
BIOS Setupユーティリティの操作 .....	161
BIOS Setupユーティリティの起動 .....	161
BIOS Setupユーティリティの操作 .....	162
BIOS Setupユーティリティの終了 .....	165
設定値を元に戻す .....	166
パスワードを設定する .....	167
HDDアクセス制限 .....	169
起動（Boot）デバイスの順番を変更する ...	170
BIOS Setupユーティリティの設定項目 .....	172
Mainメニュー画面 .....	173
Advancedメニュー画面 .....	175
Power メニュー画面 .....	176
Bootメニュー画面 .....	178
Securityメニュー画面 .....	179
Exitメニュー画面 .....	180
BIOSの設定値 .....	181

## ソフトウェアの再インストール

再インストールする前に必ずお読みください ...	184
再インストールが必要な場合 .....	184
重要事項 .....	184
ソフトウェアの再インストールを行う .....	186
必要なメディア .....	186
インストールの順番 .....	186
インストール作業における確認事項 .....	188
Windowsのインストール .....	189
Windows Vistaをインストールする ...	190
本体ドライバのインストール .....	194
拡張ボードのドライバのインストール ...	195
Adobe Readerのインストール .....	195
セキュリティソフトウェアのインストール ...	196
Webフィルタリングソフトウェアのインストール ...	196
WinDVDのインストール .....	197
Nero 7 Essentialsのインストール .....	198
JWord Pluginのインストール .....	198
gooスティックのインストール .....	199
そのほかのインストール .....	199
再インストール後の作業 .....	200

## こんなときは

トラブルが発生したら .....	202
困ったときに .....	203
コンピュータ本体の不具合（起動時） ...	204
コンピュータ本体の不具合 .....	212
メモリの不具合 .....	215
記憶装置の不具合 .....	216
入力装置の不具合 .....	221
表示装置の不具合 .....	223
サウンドの不具合 .....	224
ソフトウェアの不具合 .....	225
ネットワーク、インターネットの不具合 ...	228
システム診断ツールを使う .....	229
システム診断を実行する .....	229
トラブル時に役立つ機能 .....	230
セーフモードでの起動 .....	230
システムの復元 .....	230
Windows回復環境 (Windows RE) を使う ...	232
警告メッセージが表示されたら .....	235

## 付録

お手入れ .....	238
本機のお手入れ .....	238
データのバックアップ .....	239
バックアップ方法 .....	239
電子マニュアルのダウンロード .....	241
ダウンロードできるそのほかのデータ ...	241
セキュリティチップ (TPM) によるデータの暗号化 ...	242
HDD領域（ドライブ）の分割・変更・作成 .....	243
HDD領域を分割して使用する（概要） ...	243
Cドライブを分割・変更する .....	244
Cドライブ以外のドライブを作成・変更する ...	247
Cドライブ以外のドライブを削除する ...	250
リチウム電池の交換 .....	251
CMOS RAMの初期化 .....	254
コンピュータ内部のケーブル接続 .....	256
コンピュータを廃棄するときは .....	257
HDDのデータを消去する .....	257
機能仕様一覧 .....	259
索引 .....	260

# はじめに

本機を使い始める前に知っておいていただきたい事項について説明します。

「マニュアル中の表記」 .....	14
「本製品の仕様とカスタマイズ」 .....	18

# マニュアル中の表記

本書では次のような記号を使用しています。

## 安全に関する記号



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 一般情報に関する記号



制限事項です。  
機能または操作上の制限事項を記載しています。



参考事項です。  
覚えておくと便利なことを記載しています。



本書とは別のマニュアルを示します。  
例) 『梱包品の確認』: 本機に添付の『梱包品の確認』を示します。



参照先を示します。

**1 2**

操作手順です。  
ある目的の作業を行うために、番号に従って操作します。



□ で囲んだマークはキーボード上のキーを表します。



◀ はEnterキーを表します。また、N は  $N_{み}$  のことです。このように必要な部分のみを記載しているため、キートップに印字された文字とは異なる場合があります。

+の前のキーを押したまま+の後のキーを押します。  
この例では、Ctrl を押したまま Z を押します。

## 名称の表記

本書では、本機で使用する製品の名称を次のように表記しています。

HDD	ハードディスクドライブ
FD	フロッピーディスク
FDD	フロッピーディスクドライブ
光ディスクメディア	CDメディア、DVDメディアなど
光ディスクドライブ	光ディスクメディアを使用するためのドライブの総称
メモリカード	メモリースティック、マルチメディアカード、 SDメモリーカード、スマートメディア、 コンパクトフラッシュの総称

## オペレーティングシステム（OS）に関する記述

本書では、オペレーティングシステム（OS）の名称を次のように略して表記します。

Windows Vista	Windows Vista® Ultimate Windows Vista® Business Windows Vista® Home Premium Windows Vista® Home Basic
---------------	--

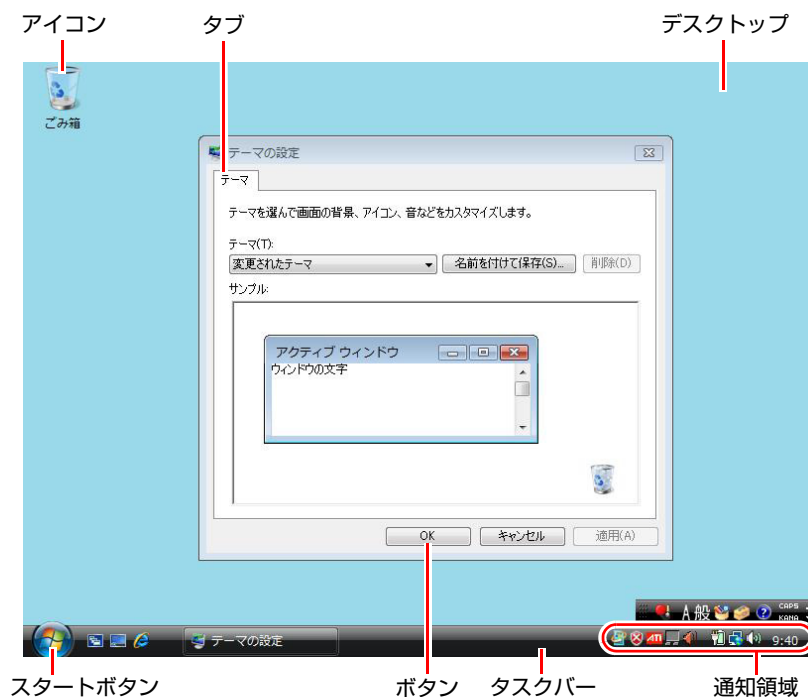
## HDD 容量の記述

本書では、HDD 容量を1KB（キロバイト）=1000Byte として記載しています。

## Windows Vistaの画面表示に関する記載方法

### デスクトップ画面

本書では、Windows Vistaの画面に表示される各箇所の名称を次のように記載します。



### ボタン

ボタンは [ ] で囲んで記載します。

例)  : [OK]

### スタートメニュー

スタートメニューのボタン類は、次のように記載します。





## 画面操作

本書では、Windows Vistaの画面上で行う操作手順を次のように記載します。

- 記載例

[スタート] – [すべてのプログラム] – [Internet Explorer] をクリックします。

- 実際の操作

(1) [スタート] をクリックします。

(2) 表示されたメニューから [すべてのプログラム] をクリックします。

(3) 表示されたメニューから [Internet Explorer] をクリックします。



<表示される項目は、システム構成によって異なります>

# 本製品の仕様とカスタマイズ

本製品は、ご購入時にお客様が選択されたオプションによって、仕様がカスタマイズされています。CPUの種類・メモリ容量・光ディスクドライブなど、選択した仕様に合わせて、お客様オリジナルのコンピュータとして組み立て、納品されています。

## 本書で記載しているコンピュータの製品仕様

本書では特に記載がない限り、下記の製品仕様で説明を行っています。お客様が購入された製品の仕様が下記と異なる場合、それらの使用方法やドライバのインストール方法などは、購入時に選択された各装置に添付のマニュアルを参照してください。

メモリ	: 1組 (2枚)
HDD	: 1台 (S-ATA)
マルチカードリーダー	: 1台
光ディスクドライブ	: 1台 (S-ATA)
ディスプレイ機能	: メインボードの機能を使用
ネットワーク機能	: メインボードの機能を使用
サウンド機能	: メインボードの機能を使用
FAXモデム機能	: なし
キーボード	: 106 PS/2コンパクトキーボード (ホットキー付)
マウス	: ホイール付USBオプティカルマウス

## 仕様によって必要なマニュアル

本製品の操作に必要なマニュアルは、お客様が選択された仕様によって、『ユーザーズマニュアル』(本書)とは別に添付されます。

お使いになる仕様によって必要となるマニュアルは、下記のとおり別冊や電子マニュアルなどの形式で添付されています。ご確認ください。

- 本製品に同梱されている別冊マニュアル
- CD-ROMなどに収録されている電子マニュアル (PDFファイルなど)
- コンピュータに収録されている電子マニュアル (「マニュアルびゅーわ」から閲覧)

# 第1章 使い始めるまでの準備

本機の接続方法、電源の入れ方や切り方、Windowsのセットアップについて説明します。


「ご使用前に」 .....	20
「添付されているソフトウェア」 .....	22
「本機でできること」 .....	24
「各部の名称と働き」 .....	25
「コンピュータの設置」 .....	29
「電源の入れ方とWindowsのセットアップ」 .....	40
「Windows使用時の確認事項」 .....	47
「本機の終了方法」 .....	54

# ご使用前に

## ▶本機を使い始めるまでの手順


購入後にはじめて本機を使用する場合は、次の手順で作業を行ってください。


梱包品に不足や不良がないかを確認する


 『梱包品の確認』(別冊)





本機を使用する前に必要な情報を確認する


 p.2 「安全にお使いいただくために」


 p.7 「製品保護上の注意」


 p.14 「マニュアル中の表記」

 p.18 「本製品の仕様とカスタマイズ」

 p.20 「ご使用前に」


 p.22 「添付されているソフトウェア」

 p.24 「本機でできること」

 p.25 「各部の名称と働き」




コンピュータを設置し、各機器の接続を行う

 p.29 「コンピュータの設置」



電源を入れ、Windowsをセットアップする

 p.40 「電源の入れ方とWindowsのセットアップ」



使用開始！

## ▶ご使用前の確認事項

### 貼付ラベルの確認

本機には、製品情報が記載された次のラベルが貼られています。本機をご使用前の前に、ラベルが貼られていることを確認してください。ラベルは絶対にはがさないでください。

- お問い合わせ情報シール

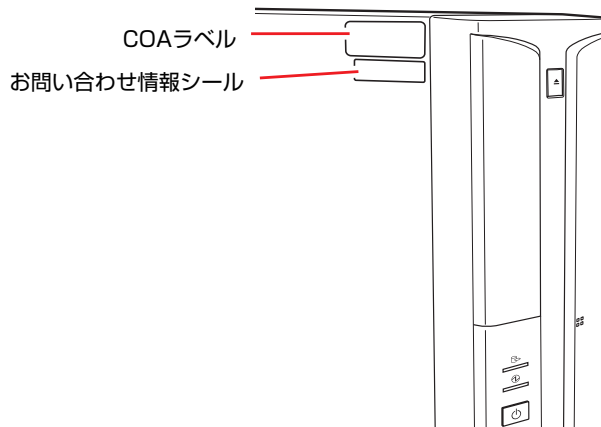
お問い合わせ情報シールには、型番や製造番号が記載されています。当社にサポート・サービスに関するお問い合わせをいただく際には、これらの番号が必要です。

お問い合わせ情報シールに記載されている製造番号は、『サポート・サービスのご案内』（別冊）の表紙に書き写しておいてください。

- COAラベル

COAラベル（Certificate of Authenticityラベル）は、正規のWindows商品を購入されたことを証明するラベルです。

万一、COAラベルを紛失された場合、再発行はできません。



### サポート・サービスのご案内

『サポート・サービスのご案内』には、当社のサポートやサービスの内容が詳しく記載されています。





困ったときや、万一の場合に備えてお読みいただくことをおすすめします。


# 添付されているソフトウェア

購入時、本機にインストールされているソフトウェアと、購入後、必要に応じてインストールが必要なソフトウェアは次のとおりです。

## 本機にインストールされているソフトウェア


次のソフトウェアは、購入時、本機にインストールされています。


本機にインストールされているソフトウェア	ソフトウェアの収録場所
<ul style="list-style-type: none"><li>● Windows Vista 本機のオペレーティングシステム (OS) です。</li></ul>	 Windows VistaリカバリDVD
<ul style="list-style-type: none"><li>● チップセットドライバ メインボード上のデバイスを使用するためのドライバです。</li><li>● Intel Matrix Storage Manager Windows 上でHDDの状態を確認するためのユーティリティです。</li><li>● ビデオドライバ メインボード上のディスプレイ機能を使用するためのドライバです。</li><li>● サウンドドライバ メインボード上のサウンド機能を使用するためのドライバです。</li><li>● ネットワークドライバ ネットワーク機能 (有線LAN) を使用するためのドライバです。</li><li>● キーボードドライバ 106PS/2コンパクトキーボードを使用するためのドライバです。ホットキーを設定するためのユーティリティも含まれます。</li><li>● Java2 Runtime Environment Javaアプリケーションを実行するためのソフトウェアです。</li><li>● インフォメーションメニュー 本機に添付のマニュアルやサポートページを閲覧するためのユーティリティです。</li><li>● Adobe Reader PDF (Portable Document Format) 形式のファイルを表示したり、印刷したりするためのソフトウェアです。</li><li>● JWord Plugin Internet Explorerのアドレスバーから、日本語でインターネットを検索するためのソフトウェアです。</li><li>● gooスティック Internet Explorerのツールバーに、検索サービス「goo」の検索ボックスを追加するためのソフトウェアです。</li></ul>	 ドライバCD
<ul style="list-style-type: none"><li>● WinDVD (DVD再生機能のある光ディスクドライブ搭載時のみ) DVD VIDEOを再生するためのソフトウェアです。</li></ul>	 WinDVD CD-ROM
<ul style="list-style-type: none"><li>● Nero 7 Essentials (書き込み機能のある光ディスクドライブ搭載時のみ) 光ディスクメディアに書き込みを行うためのソフトウェアです。</li></ul>	 Nero 7 Essentials CD-ROM

本機にインストールされているソフトウェア	ソフトウェアの収録場所
<ul style="list-style-type: none"> <li>● マニュアルびゅうわ 本機に添付されている電子マニュアルを閲覧するためのツールです。マニュアルびゅうわのデータは、Cドライブの「お知らせ」フォルダにあり、Windowsを再インストールすると削除されます。Windowsを再インストールする際は、必ずバックアップを取ってください。</li> </ul>  p.240 「マニュアルびゅうわのバックアップ」	—

## 必要に応じてインストールが必要なソフトウェア

次のソフトウェアは、購入時、本機にインストールされていません。Windowsのセットアップ後に必要に応じてインストールしてください。


 p.45 「初期設定ツール」

本機にインストールされていないソフトウェア	ソフトウェアの収録場所
<ul style="list-style-type: none"> <li>● Norton Internet Security 90日版 ウイルス駆除機能、不正アクセス防止機能、フィッシング詐欺検出機能などを備えたセキュリティソフトウェアです。</li> </ul>	 ドライブCD
<ul style="list-style-type: none"> <li>● i-フィルター 4 30日版 インターネット上の有害なWebページへのアクセスを防止するWebフィルタリングソフトウェアです。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● セキュリティチップユーティリティ セキュリティチップ（TPM）の設定を行うためのユーティリティです。</li> </ul>	

## そのほかのソフトウェア

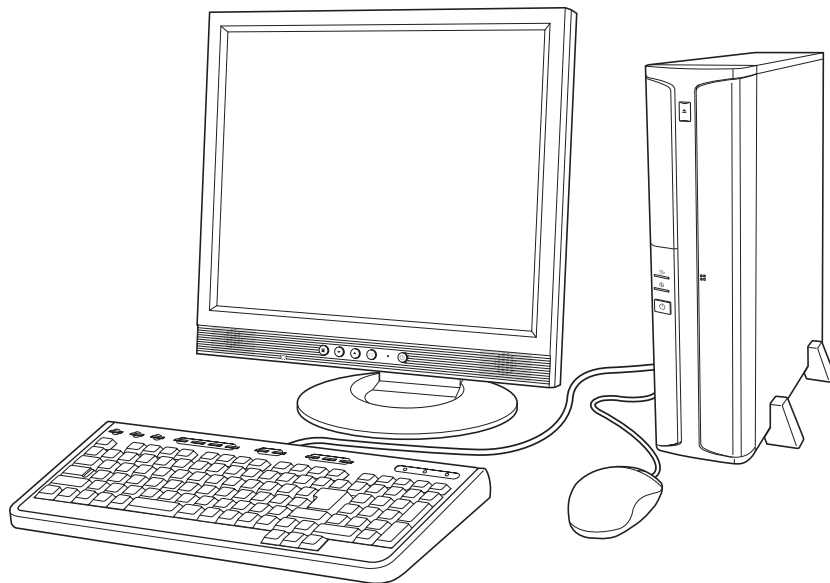
次のソフトウェアは、CDから起動して実行します。インストールは必要ありません。

 p.229 「システム診断ツールを使う」

そのほかのソフトウェア	ソフトウェアの収録場所
<ul style="list-style-type: none"> <li>● システム診断ツール 本機の調子が悪いときにシステム診断を行うためのツールです。HDD内のデータを消去することもできます。</li> </ul>	 ドライブCD

# 本機でできること

本機は、内蔵装置の増設・交換が可能な、高性能かつ省スペースボディのコンピュータです。  
本機では、次のようなことができます。



インターネットやメールを利用する

 p.104

光ディスクを再生する  
光ディスクにデータを保存する (オプション)

 p.79

ネットワークに接続する

 p.102

USB機器を使う

 p.93

パラレル接続の機器を使う

 p.125

シリアル接続の機器を使う (オプション)

 p.125

装置 (メモリ・拡張ボード・ドライブ装置)  
を増設・交換する

 p.127

省電力機能を使う

 p.118

音声の入力・出力をする

 p.98

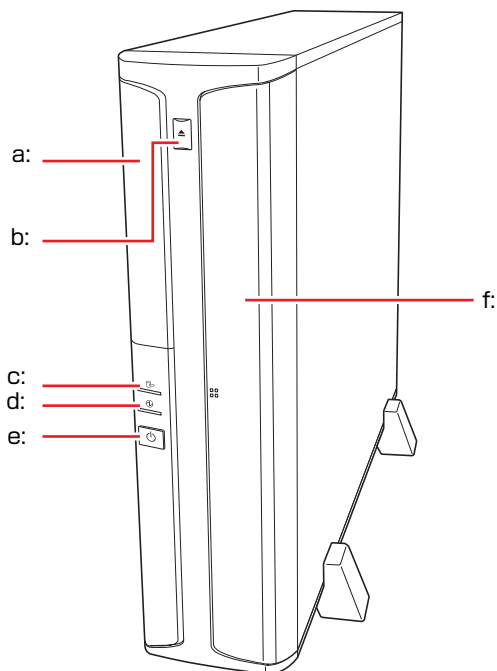
メモリカードを使う

 p.87



# 各部の名称と働き

## ▶ 本体前面



**a: 光ディスクドライブ**

光ディスクメディアの読み込みや書き込みなどを行います（光ディスクドライブにより使用できるメディアや機能は異なります）。

**b: 光ディスクドライブイジェクトボタン ▲**

ディスクトレイの開閉を行います。

**c: アクセスランプ**

HDD、光ディスクドライブへのアクセス中に点灯・点滅します。

**d: 電源ランプ**


電源を入れると黄緑色に点灯し、スリープ状態ではオレンジ色に点灯します（購入時の設定）。

**e: 電源スイッチ**

本機の電源の入切を行います。  
また、スリープ状態や休止状態からの復帰にも使用します。

**f: フロントドア**

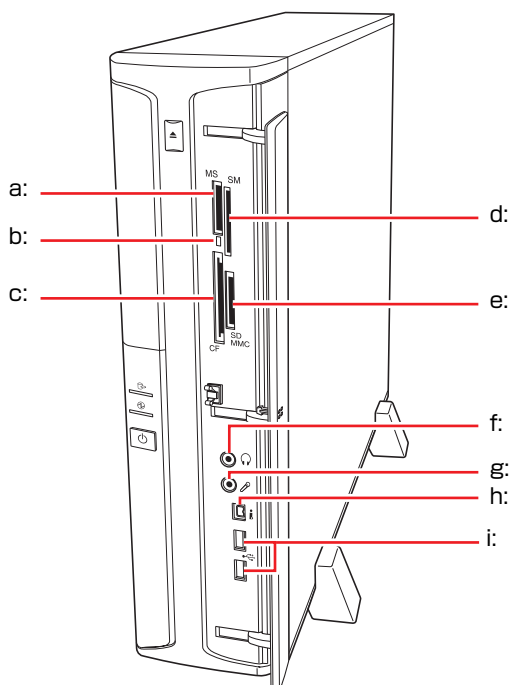
ドアの中央部を押すと、ドアが少し開きます。内部にはマルチカードリーダーなどが装備されています。

 p.26 「フロントドア内部」







アクセスランプが点灯しているときに本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。データが破損するおそれがあります。

## ▶フロントドア内部

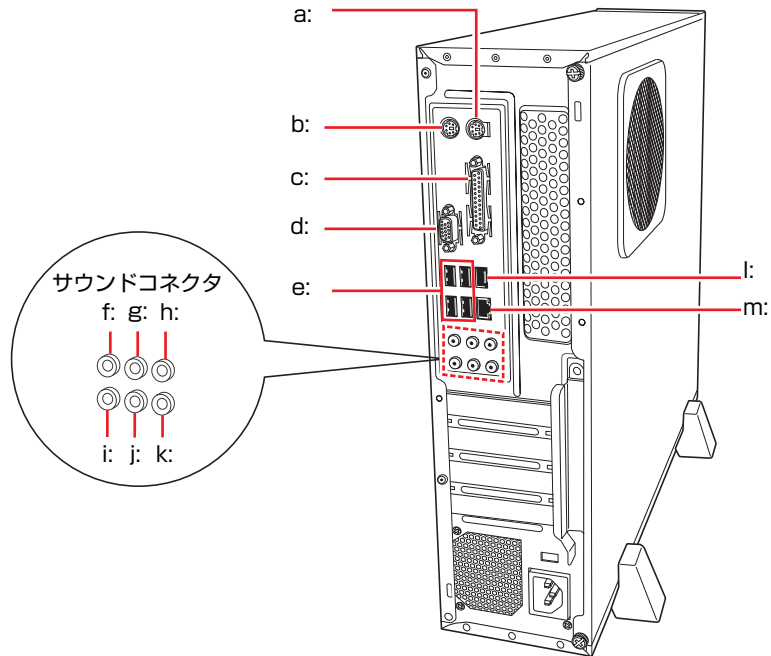


### マルチカードリーダ (a:~e:)

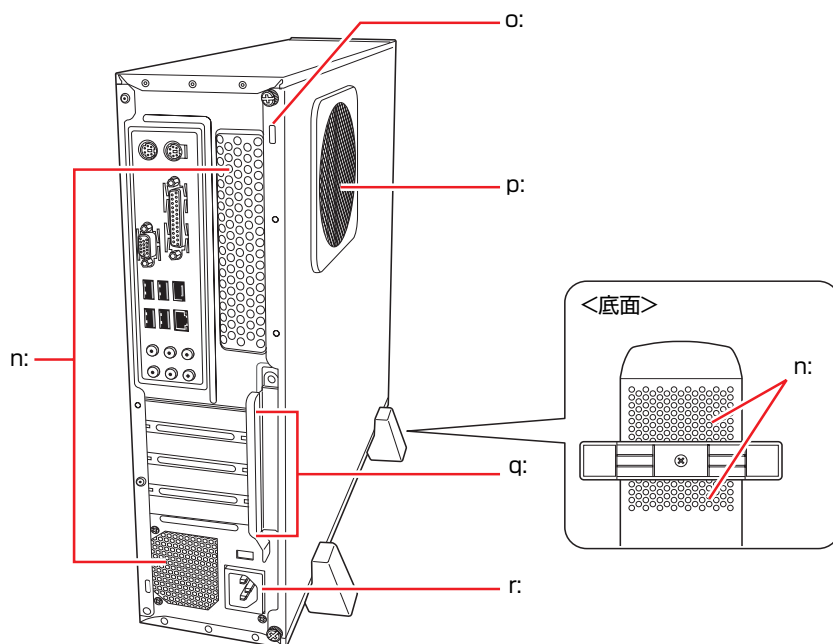
- a: メモリスティックスロット MS  
メモリスティックをセットします。
- b: マルチカードリーダアクセスランプ  
ランプの点灯・点滅で、状態を表示します。  
点灯：メモリカードセット時  
点滅：メモリカードアクセス時
- c: コンパクトフラッシュスロット CF  
コンパクトフラッシュをセットします。
- d: スマートメディアスロット SM  
スマートメディアをセットします。

- e: SDカードスロット <sup>SD</sup>MMC  
SDメモリーカード、またはマルチメディアカードをセットします。
- f: ヘッドフォン出力コネクタ   
ヘッドフォンやスピーカと接続して音声を出力します。
- g: マイク入力コネクタ   
マイクを接続して音声を入力します。
- h: IEEE1394コネクタ   
IEEE1394対応の機器を接続します。(4ピン)
- i: USBコネクタ   
USB対応の機器を接続します。

## ▶ 本体背面



- a: マウスコネクタ (PS/2) PS/2対応のマウスを接続します。
- b: キーボードコネクタ (PS/2) キーボードを接続します。
- c: パラレルコネクタ プリンタやスキャナなど、パラレルコネクタに対応した装置を接続します。
- d: VGAコネクタ ディスプレイと、VGAケーブルで接続します。
- e: USBコネクタ USB対応の機器を接続します。
- f: サイドスピーカ出力コネクタ サイドスピーカと接続して音声を出力します。
- g: リアスピーカ出力コネクタ リアスピーカと接続して音声を出力します。
- h: センタースピーカ/サブウーファ出力コネクタ センタースピーカ、サブウーファと接続して音声を出力します。
- i: マイク入力コネクタ マイクと接続して音声を入力します。
- j: フロントスピーカ/ライン出力コネクタ フロントスピーカやヘッドフォンなどと接続して音声を出力します。通常、スピーカはこのコネクタに接続します。
- k: ライン入力コネクタ オーディオ機器と接続して音声を入力します。
- l: IEEE1394コネクタ **1394** IEEE1394対応の機器を接続します。(6ピン)
- m: LANコネクタ LANケーブルを接続します。



**n: 通風孔（排気用）**

本機内部で発生する熱を逃がします。

**o: セキュリティロックスロット**

市販の盗難抑止用ケーブル（ワイヤー）を取り付けます。

**p: 通風孔（吸気用）**

本機内部に外気を取り入れます。  
内部にホコリなどが入らないように、通風孔メッシュが付いています。

**q: 拡張スロット**

拡張ボードを装着します。購入時のシステム構成によっては、あらかじめ拡張ボードが装着されています。

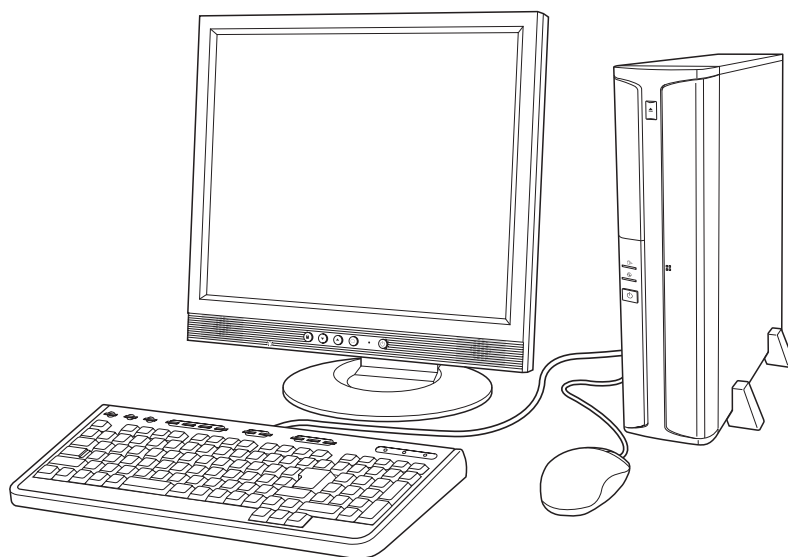
**r: 電源コネクタ**

添付の電源コードを接続して電気を供給します。

# コンピュータの設置

本機を安全な場所に設置し、キーボードやマウス、電源コードなどを接続して使用できる状態にする手順を説明します。

ここでの説明は標準的なシステム構成で行っています。プリンタなどの周辺機器を接続する場合は、Windowsのセットアップ完了後に、周辺機器に添付のマニュアルを参照して行ってください。




1

## 設置における注意



注意

- 不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。
- 本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の危険があります。設置する際は、次の点を守ってください。
  - ・ 押し入れや本箱などの風通しの悪いところに設置しない。
  - ・ じゅうたんや布団の上に設置しない。
  - ・ 毛布やテーブルクロスのような布をかけない。

故障や誤動作を防ぐため、 p.7「製品保護上の注意」にある注意事項を守って設置場所を決めてください。

## 各種コード（ケーブル）接続時の注意



- めれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 電源コードのたこ足配線はしないでください。発熱し、火災の原因となります。家庭用電源コンセント（交流100V）から電源を直接取ってください。
- 電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。取り扱いを誤ると、火災の原因となります。
  - ・ 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。
  - ・ 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む。



- 各種コード（ケーブル）は、マニュアルで指示されている以外の配線をしてしないでください。配線を誤ると、火災の危険があります。
- ヘッドフォンやスピーカーを使用するときは、ボリュームを最小に調節してから接続し、接続後に音量を調節してください。ボリュームの調節が大きくなっていると、思わぬ大音量により聴覚障害の原因となります。

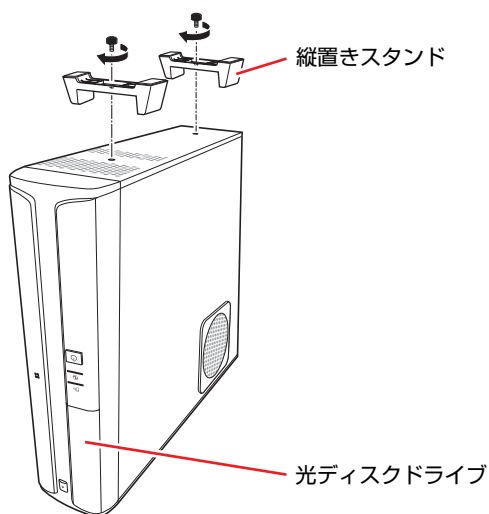
## 設置する

- 1 設置場所に応じて、本機を縦置きまたは横置きのどちらにするか決め、設置準備を行います。

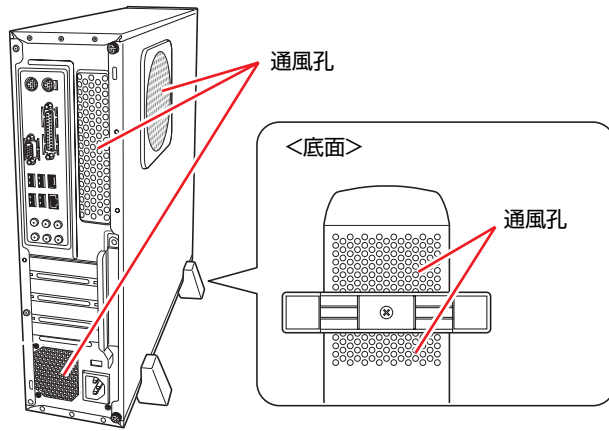
<縦置きにする場合>

転倒防止のため、必ず縦置きスタンドをセットしてください。

- (1) 光ディスクドライブ側を下にして置き、縦置きスタンド2個を添付のネジで留めます。

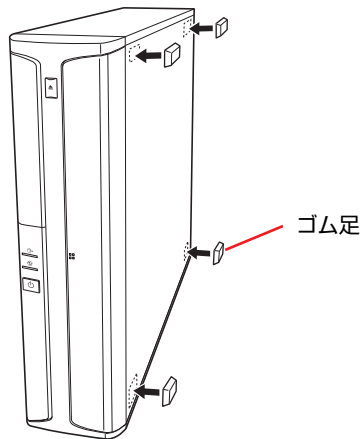


(2) 縦置きスタンドを下にして置きます。

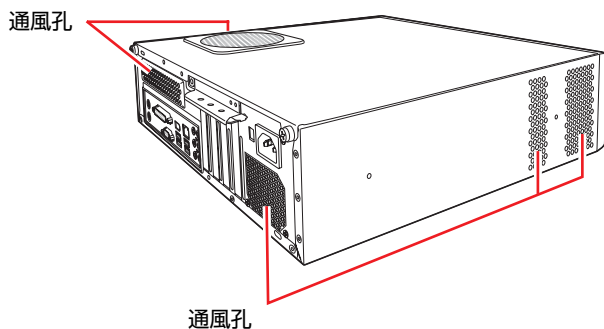


<横置きにする場合>

(1) 添付のゴム足（4個）を通風孔のない面の4隅に付けます。

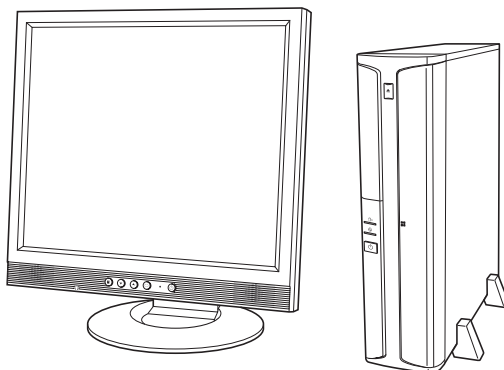


(2) ゴム足を付けた面を底にして、横置きにします。



本機の上に乗せられるディスプレイの重さは、18kg までです。  
18kg より重いディスプレイは載せないでください。

**2** 本機とディスプレイを設置場所（丈夫で水平な台の上など）に置きます。  
設置した際に、通風孔をふさがないようにしてください。





## ディスプレイを接続する

ディスプレイ側の接続方法や注意事項などの詳細は、ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。

### 3 ディ스플레이のVGAケーブルを、本機背面のVGAコネクタ（青色）に接続します。

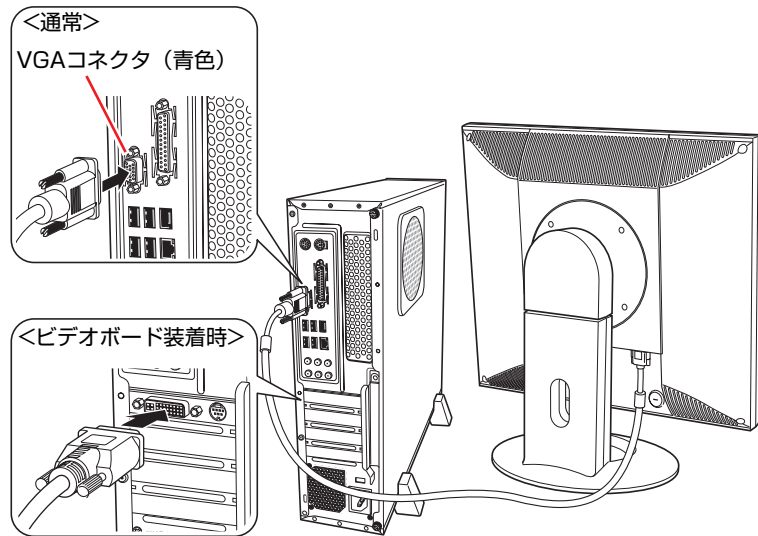
#### <ビデオボード装着時>

ディスプレイのケーブルをビデオボードのコネクタに接続します。ビデオボードのコネクタは、選択されたビデオボードにより異なります。

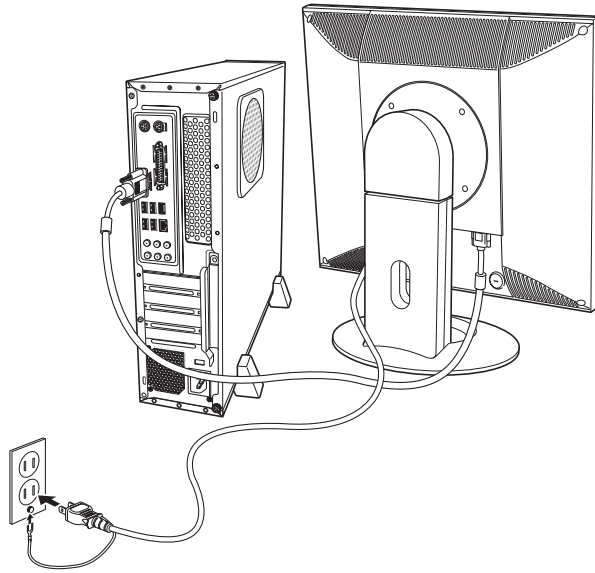
アナログ接続の場合：VGAケーブルをVGAコネクタに接続

デジタル接続の場合：DVI-DまたはDVI-IケーブルをDVI-DまたはDVI-Iコネクタに接続

ディスプレイがデジタル/アナログ両用の場合は、デジタル接続で使用します。



**4** ディスプレイの電源コードを家庭用電源コンセントに接続します。



## キーボードを接続する


ここでは一般的な接続方法を説明します。お使いになるキーボードにマニュアルが添付されている場合は、そちらをご覧ください。

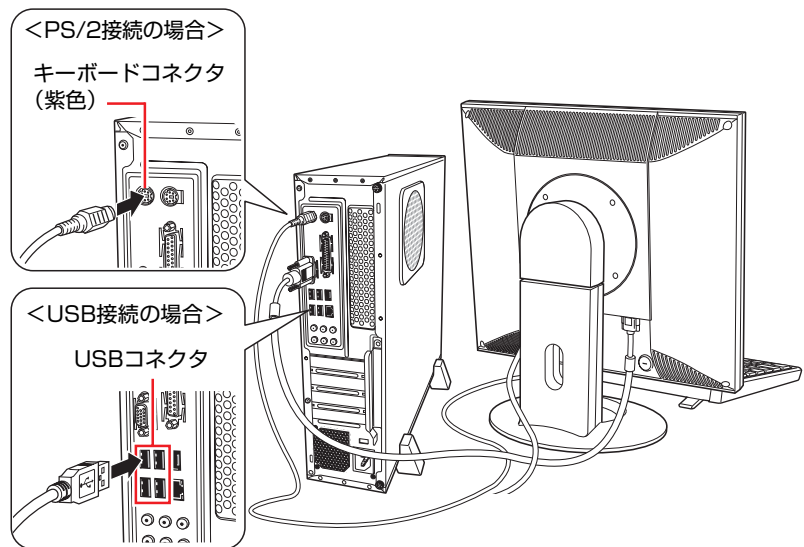
### 5 キーボードを接続します。

#### <PS/2接続の場合>

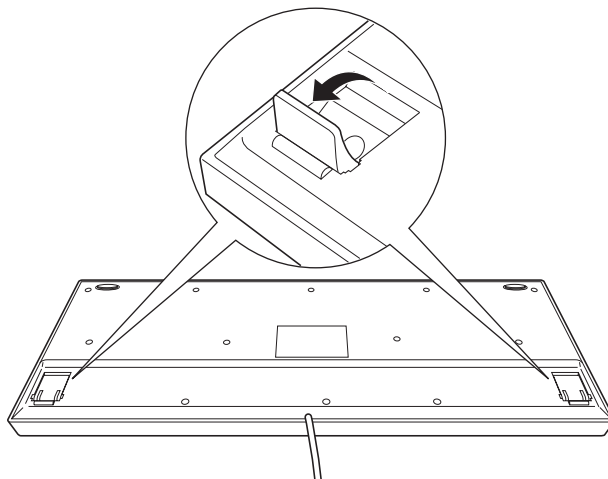
キーボードケーブルのコネクタを本機背面のキーボードコネクタ（紫色）に接続します。

#### <USB接続の場合>

キーボードケーブルのコネクタを本体背面のUSBコネクタ（)に接続します。4つのUSBコネクタは同じ機能ですので、どのコネクタを使用しても構いません。



キーボードは操作しやすい位置に置き、傾斜させるときはキーボード底面の両端の脚を起こします。



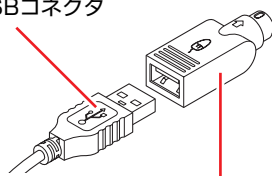
## マウスを接続する

ここではホイール付きUSBオプティカルマウスの接続方法を説明します。  
購入時にこのほかのマウスを選択し、マウスにマニュアルが添付されている場合は、そちらをご覧ください。

### 6 マウスを接続します。

ホイール付USBオプティカルマウスには、PS/2ポートアダプタが添付されています。

マウスのUSBコネクタ




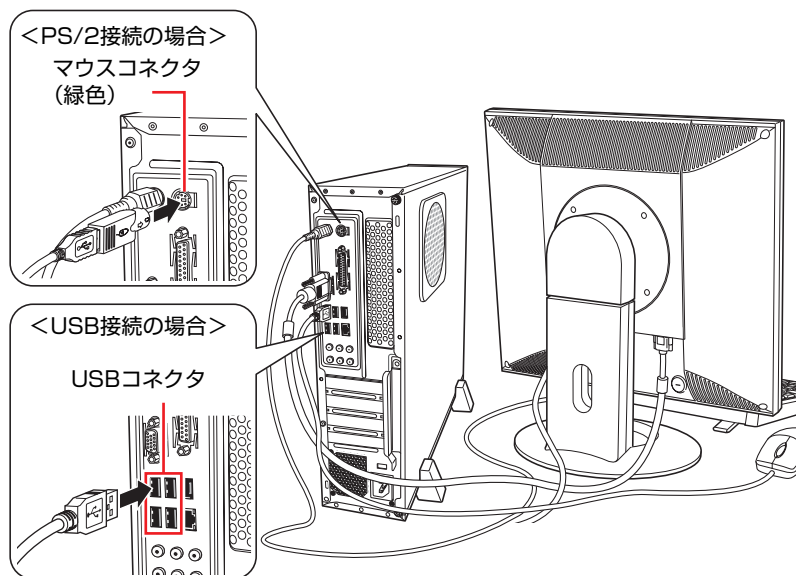
PS/2ポートアダプタ

#### <PS/2接続の場合>


マウスケーブルのコネクタにPS/2ポートアダプタを取り付けた状態で、本機背面のマウスコネクタ（緑色）に接続します。

#### <USB接続の場合>

マウスケーブルのコネクタからPS/2ポートアダプタを取り外して、本機のUSBコネクタ（)に接続します。



マウスを左利き用で使う場合は、Windowsのセットアップ後に設定します。

 p.65 「マウスの設定変更」

## スピーカーを接続する

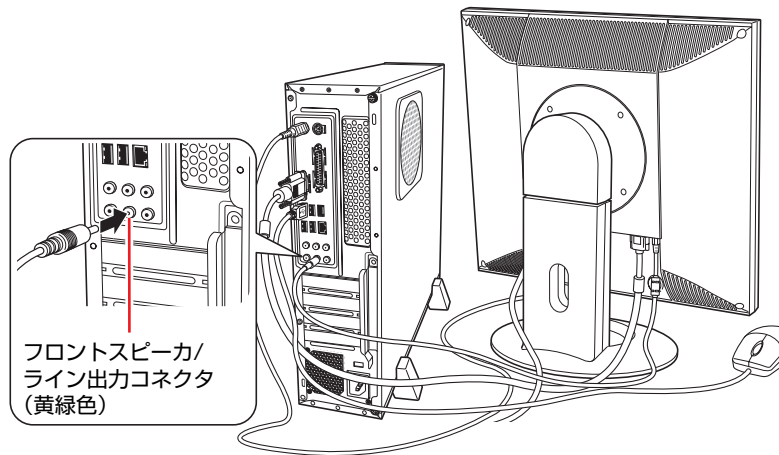
本機にスピーカーは内蔵されていません。音声を出力したい場合は、スピーカーやスピーカーが搭載されているディスプレイなどを接続してください。

ここでは一般的な接続方法を説明します。

詳しくはディスプレイやスピーカーに添付のマニュアルをご覧ください。

### 7 ディスプレイやスピーカーのオーディオケーブルを本機背面のサウンドコネクタに接続します。

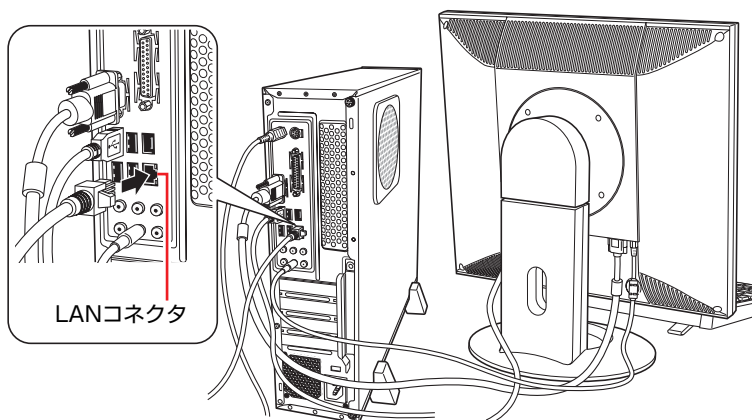
スピーカーにより、接続するオーディオケーブルの数は異なります。オーディオケーブルが1本の場合は、フロントスピーカー/ライン出力コネクタ（黄緑色）に接続します。



## ネットワークへ接続する

- 8** ネットワークを使用する場合は、市販のLANケーブルを本機背面のLANコネクタ（品）に接続します。

インターネットへの接続作業はWindowsのセットアップ後に行います。接続方法は、通信サービス会社やプロバイダから提供されたマニュアルをご覧ください。



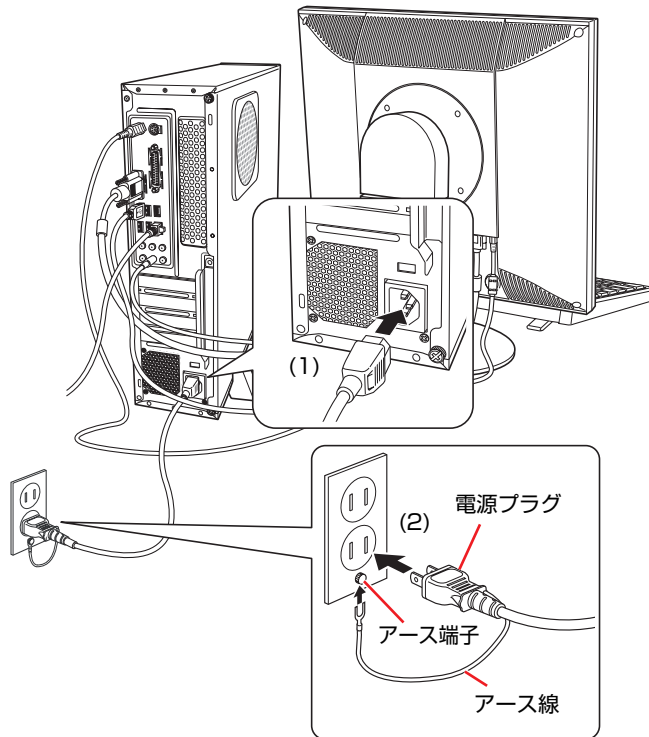
## 電源コードを接続する

**9** 電源コードを接続します。

(1) 電源コードを本機背面の電源コネクタに接続します。

(2) 電源プラグを家庭用電源コンセントに接続します。

アース線は、必ずコンセントのアース端子に接続してください。



これで本機の設置は完了です。

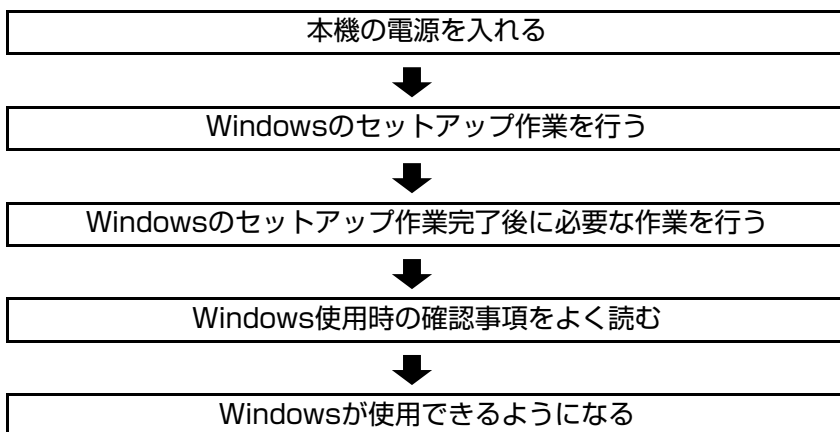
# 電源の入れ方とWindowsのセットアップ

ここでは、本機にはじめて電源を入れて、Windowsを使用できる状態にするまでの作業について説明します。

## ▶Windowsが使用できるようになるまでの作業

---

作業の流れは、次のとおりです。





## ▶電源を入れる前に

### Windowsのセットアップとは

「Windowsのセットアップ」は、コンピュータが届いてから、はじめて電源を入れたときにユーザー情報などを設定するプログラムです。画面に表示されるメッセージに従って、セットアップを簡単に行うことができます。

### マウスの使い方

Windowsのセットアップは、マウスを使用して行います。セットアップで必要なマウスの基本操作は、次のとおりです。

#### ●マウスポインタを動かす

マウスを前後左右に動かすと、Windows画面に表示されているマウスポインタもマウスを動かした方向に動きます。



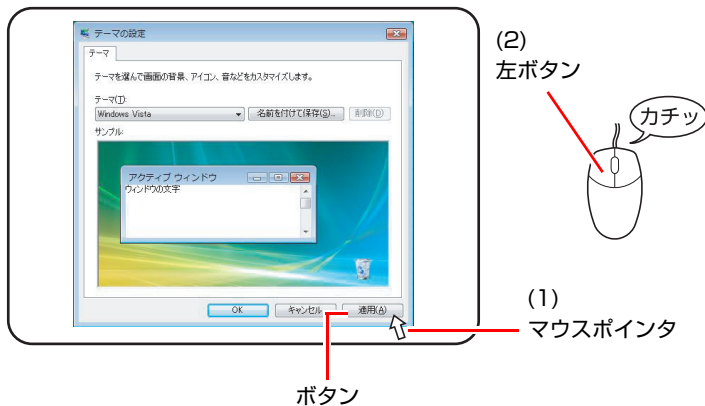
#### ●ボタンをクリックする

(1) マウスを動かして、マウスポインタを画面のボタンの上に重ねます。

(2) マウスの左ボタンを、1回「カチッ」と押して離します。

この動作を「クリック」と言います。

画面のボタンをクリックすると、ボタンに表示されている操作が実行されます。

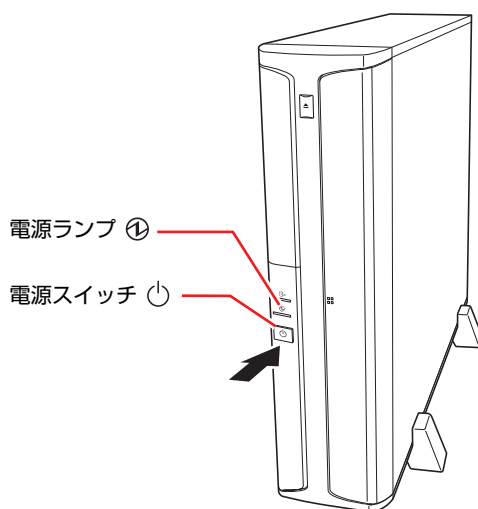


## ▶電源の入れ方とWindowsの起動

---


本機の電源の入れ方は、次のとおりです。

- 1** ディスプレイやスピーカなどの電源を入れます。
- 2** 本機の電源スイッチ (⏻) を押して、本機の電源を入れます。  
電源ランプ (①) が黄緑色に点灯します。  
電源を入れたときに電源ランプが点灯しない場合は、電源コードが正しく接続されているか確認してください。



- 3** 黒い画面の中央に「EPSON」と表示され、しばらくするとWindowsが起動します。  
画面に何も表示されない場合は、ディスプレイが正しく接続されているか、ディスプレイの電源が入っているか確認してください。

続いて、Windowsのセットアップを行います。

 p.43 「Windowsのセットアップ」

## ▶Windowsのセットアップ

電源を入れたあと、しばらくすると自動的に「Windows Vistaセットアップ」が実行されます。画面の指示に従ってセットアップを行ってください。セットアップ作業の流れは、次のとおりです。

### Windowsのセットアップ

次のように表示されていることを確認し、[次へ] をクリックします。  
国または地域：日本  
時刻と通貨の形式：日本語（日本）  
キーボードレイアウト：Microsoft IME

### ライセンス条項をお読みになってください

画面に表示された条項を確認し、「ライセンス条項に同意します」にチェックを付けて、[次へ] をクリックします。

### ユーザー名と画像の選択

ユーザー名、パスワードを入力し、画像を選択したら、[次へ] をクリックします。

※「パスワード」は必要に応じて入力してください。  
パスワードを設定すると、設定したユーザー名（アカウント）でログオン時にパスワードの入力が要求されます。パスワードを設定した場合は、絶対に忘れないようにしてください。

### コンピュータ名を入力してデスクトップの背景を選択してください

コンピュータ名を入力し、背景を選択したら、[次へ] をクリックします。  
※「コンピュータ名」は、本機をネットワーク（家庭内LANや社内LAN）に接続して使用する場合に必要です。

- ネットワークに接続しない場合は、セットアップ時にコンピュータ名を変更する必要はありません。
- ネットワークに接続する場合は、ネットワーク上にあるほかのコンピュータ名と重複しないように、コンピュータ名を変更してください。

### Windowsを自動的に保護するよう設定してください

保護の設定をクリックして選択します。  
「推奨設定を使用します」を選択することをおすすめします。  
※「推奨設定を使用します」を選択すると、Windows Updateが自動で行われるようになります。

 p.109 「Windows Update」

時刻と日付の設定の確認

「タイムゾーン」が「大阪、札幌、東京」になっていることを確認し、「日付」、「時刻」を設定して、「次へ」をクリックします。



お使いのコンピュータの現在の場所を選択してください

ネットワークに接続している場合、表示されます。使用する場所を選択します。



ありがとうございます

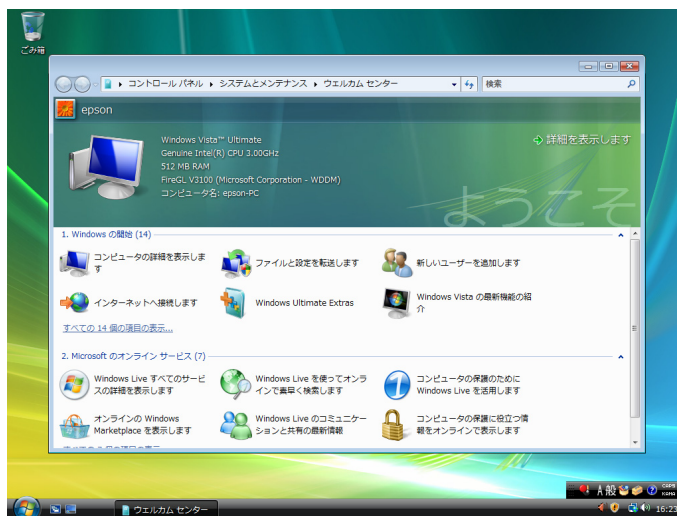
[開始] をクリックします。デスクトップ画面が表示されるまで、約5分かかります。



デスクトップ画面の表示

Windows Vistaのデスクトップ画面が表示されます。


※パスワードを設定した場合は、パスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力すると、デスクトップ画面が表示されます。



<壁紙は予告なく変更する場合があります>

これでWindows Vistaのセットアップは完了です。

続いて、初期設定ツールでソフトウェアのインストールなどを行います。

 p.45 「初期設定ツール」

参考

ライセンス認証

購入時の本機にインストールされているWindows Vistaや、「Windows VistaリカバリDVD」から再インストールを行ったWindows Vistaは、ライセンス認証を行う必要がありません。

## ▶初期設定ツール


Windowsのセットアップが完了すると、「初期設定ツール」が自動的に起動します。初期設定ツールは、本機を使用する前に必要な設定を行ったり、ソフトウェアをインストールしたりするためのツールです。画面の指示に従って設定を行ってください。



<イメージ>

### 「有害サイト対策」画面


「有害サイト対策」画面では、本機に標準添付の「i-フィルター 30日版」をインストールします。「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、「続行」をクリックします。次回Windowsを起動したときに「i-フィルター・・・」画面が表示されたら、セットアップを行ってください。

 p.197 「i-フィルター 30日版のセットアップ」

i-フィルター 30日版の使用方法は、 p.115 「i-フィルター 30日版を使う」をご覧ください。

本機購入時に、Webフィルタリングソフトウェアの製品版（オプション）を購入された場合は、画面の指示に従って製品版をインストールしてください。

### 「セキュリティ設定」画面

「セキュリティ設定」画面では、本機に標準添付の「Norton Internet Security 90日版」をインストールします。Norton Internet Security 90日版の使用方法は、 『セキュリティソフトウェアをご使用の前に』（別冊）をご覧ください。本機購入時に、セキュリティソフトウェアの製品版（オプション）を購入された場合は、画面の指示に従って製品版をインストールしてください。



#### 初期設定ツールの起動方法

初期設定ツールが自動的に起動しない場合や、初期設定ツールを再実行したい場合などは、次の方法で起動することができます。

【スタート】 - 【すべてのプログラム】 - 【初期設定ツール】

---


## ▶セットアップ完了後の作業

---

Windows のセットアップと初期設定ツールでの作業が完了したら、次の作業を行います。


### ネットワークに接続する

ネットワーク機能（有線LAN）を使用する場合は、ネットワークに関する情報が必要です。お使いになるネットワーク機器に添付のマニュアルなどをご覧ください。

 p.102 「ネットワーク機能を使う」

### マニュアルびゅーわのバックアップ

「マニュアルびゅーわ」とは、本機に添付されているマニュアルやお知らせをコンピュータ上で見ることができるツールです。「マニュアルびゅーわ」は、インフォメーションメニューから起動することができます。

 p.48 「インフォメーションメニューを使う」

「マニュアルびゅーわ」は、Windowsを再インストールすると削除されます。あらかじめバックアップを行ってください。

 p.240 「マニュアルびゅーわのバックアップ」

### そのほかの設定

購入時にFAXモデムボードなどを選択している場合は、設定や接続を行います。詳しくは各機器に添付のマニュアルをご覧ください。

# Windows使用時の確認事項


「セットアップ完了後の作業」が終わると、Windowsを使用できます。ご使用の前に次の事項を確認してください。

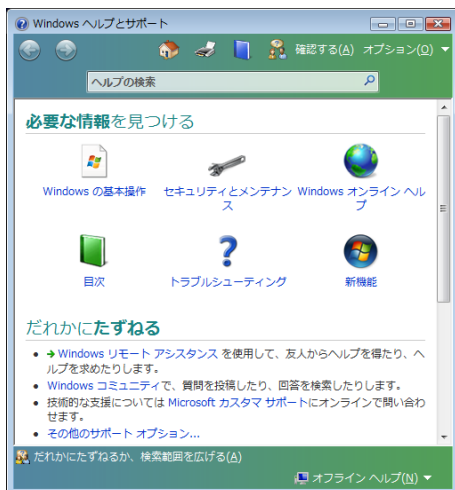
## ▶ Windows Vistaの使用方法

Windows Vistaの使用方法は、次をご覧ください。

### ● ヘルプとサポート


「ヘルプとサポート」は次の場所から開きます。

[スタート] (  ) - 「ヘルプとサポート」



### ● PCお役立ち情報


「PCお役立ち情報」は「インフォメーションメニュー」から開きます。

 p.48 「インフォメーションメニューを使う」



## ▶音量の調節

スピーカを接続していて、Windows起動時に音が鳴らなかったり、音が小さすぎたり、大きすぎたりする場合には、音量を調節します。



 p.100 「音量の調節」

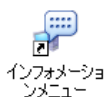
## ▶インフォメーションメニューを使う

本機には、本機に添付されているマニュアルを見たり、サポートページに簡単にリンクしたりすることができる「インフォメーションメニュー」が搭載されています。

### 起動方法

インフォメーションメニューの起動方法は、次のとおりです。

- キーボードのInformationキー (  ) を押す  
 p.63 「ホットキーを使用する」
- デスクトップ上の「インフォメーションメニュー」アイコンをダブルクリックする。



- スタートメニューから起動する

インフォメーションメニューが起動すると次の画面が表示されます。






 参考

マニュアルびゅーわをご使用前に

はじめて「マニュアルびゅーわ」からPDFマニュアルを起動する場合に、「使用許諾契約書」画面が表示されたときは「Adobe Reader」のセットアップを行ってください。

 p.195 「Adobe Readerのインストール」－「セットアップ」手順2～


## インフォメーションメニューの項目

インフォメーションメニューの各項目の内容は次のとおりです。

- マニュアルびゅーわ

本機に添付されている電子マニュアルを閲覧するためのツールです。ユーザーズマニュアル（本書）のHTMLマニュアルや光ディスクドライブのPDFマニュアル、「Nero 7 Essentials」や「WinDVD」などのソフトウェアに添付されているマニュアルを見ることができます。

「マニュアルびゅーわ」はWindowsを再インストールすると削除されてしまいます。Windowsの再インストールをする際は、必ず「マニュアルびゅーわ」のバックアップを行ってください。

 p.240 「マニュアルびゅーわのバックアップ」

 参考

「警告」が表示された場合は

電子マニュアルを閲覧しようとする、情報バーと呼ばれるInternet Explorerのアドレスバーの下方に「セキュリティ保護のため、このコンピュータにアクセスする可能性のあるスクリプトやActiveXコントロールを実行しないよう・・・」と警告が表示される場合があります。

この場合は、情報バーをクリックし、「ブロックされているコンテンツを許可」をクリックしてください。

- PCお役立ち情報

コンピュータに関する便利で役立つ情報や用語集を掲載しています。マニュアルとあわせてご覧になり、コンピュータを使用する際の参考にしてください。

- とらぶる解決ナビ

技術的な情報やトラブルの解決方法を収録しています。本機の調子が悪い場合に、本書の「困ったときに」とあわせてご覧ください。

 p.202 「トラブルが発生したら」

● ユーザーサポート

技術的な情報やトラブルの解決方法、保証サービスなどについてご案内しています。マニュアルやドライバ、BIOSの最新バージョンもダウンロードできます。



p.241 「電子マニュアルのダウンロード」

「ユーザーサポートページ」を閲覧するには、インターネットへの接続が必要です。

● サポート情報検索

「とらぶる解決ナビ」に収録されていない最新のサポート情報を掲載しています。とらぶる解決ナビで本機の不具合が解決できなかった場合にご覧ください。

「サポート情報検索」を閲覧するには、インターネットへの接続が必要です。

● トラブルが解決しなかったら

技術的なご質問や修理依頼などの問い合わせ先、メールサポートの方法などを掲載しています。マニュアルや当社のユーザーサポートページを参照しても、トラブルが解決しない場合にご覧ください。

## ▶ Windowsの修復

---

本機のHDDには「Windows回復環境」が設定されています。これは、「Windowsが起動できない」などの不具合を修復する機能です。

Windowsが起動できないときなどに実行してみてください。



p.232 「Windows回復環境（Windows RE）を使う」

## ▶ 復元ポイントを作成する

---

Windowsの「システムの復元」機能で「復元ポイント」を作成しておくと、本機の動作が不安定になった場合、システムの復元機能を使用して、作成しておいた復元ポイントまでシステムの状態を戻すことができます。

復元ポイントは通常、ソフトウェアのインストールなどを行った際に自動的に作成されますが、手動で作成しておくこともできます。



p.231 「復元ポイントを手動で作成する」

## ▶ セキュリティ対策を行う

---

本機には、外部と接続することで高まる危険から、本機を守るためのセキュリティ機能が搭載されています。


インターネットに接続する場合は、セキュリティ対策を行ってください。



p.109 「インターネットを使用する際のセキュリティ対策」

## ▶画面表示が消えたときは（省電力機能）

本機は、一定時間マウスやキーボードの操作をしないと、省電力機能が働いて画面表示が消えるように設定されています。画面表示が消えて、本機の電源ランプがオレンジ色に点灯している場合は、スリープ状態になっています（購入時の設定）。この場合は、電源スイッチを押すと元に戻ります。

 p.124 「省電力状態からの復帰方法」

## ▶コントロールパネルの表示

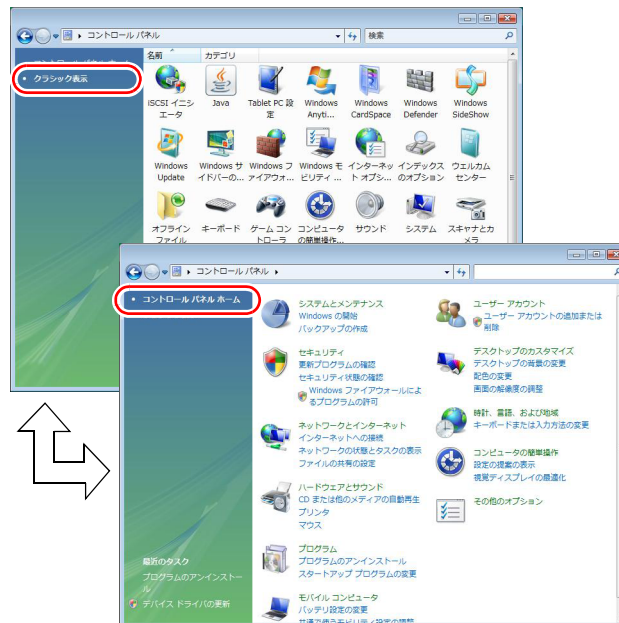
コントロールパネルの表示には、次の2種類があります。

- カテゴリーの表示（コントロールパネルホーム）  
項目をカテゴリごとにまとめて表示します（購入時の設定）。
- クラシック表示  
項目をすべて表示します。

表示の切り替えは、画面左側にある、「クラシック表示」、「コントロールパネルホーム」をクリックして行います。

本書では、「カテゴリーの表示」形式を前提に記載しています。

### <クラシック表示>



### <カテゴリーの表示>

## ▶フォルダメニューの表示

Windows Vistaでは、「ファイル」や「ツール」などのフォルダメニューが標準では表示されません。

フォルダメニューを表示したい場合は、**[Alt]**を押します。もう一度**[Alt]**を押すと、フォルダメニューは表示されなくなります。



### 常にフォルダメニューを表示する

常にフォルダメニューが表示されるようにしたい場合は、次の設定をしてください。

- 1 [スタート] - 「コントロールパネル」 - 「デスクトップのカスタマイズ」 - 「フォルダオプション」 - 「表示」タブ - 「常にメニューを表示する」にチェックを付けます。

## ▶ユーザーアカウントを作る

本機を何人かで共同で使用する場合は、ユーザーアカウントを作成します。ユーザーアカウントをいくつか作成すると、Windowsをユーザーごとに切り替えて、各ユーザーの構成で本機を使用することができます。

### ユーザーアカウントの作成

ユーザーアカウントの作成は、次の場所で行います。

- [スタート] - 「コントロールパネル」 - 「ユーザーアカウント (と家族のための安全設定)」 - 「ユーザーアカウント」 - 「別のアカウントの管理」 - 「新しいアカウントの作成」

ユーザーアカウントの種類 (権限) は、ユーザーに応じて設定してください。

## ユーザーアカウントの種類

ユーザーアカウントの種類（権限）には、次の2つがあります。

- 管理者


すべてのシステム項目にアクセスし、設定を変更したり、ドライバ、ソフトウェアのインストールをすることができます。

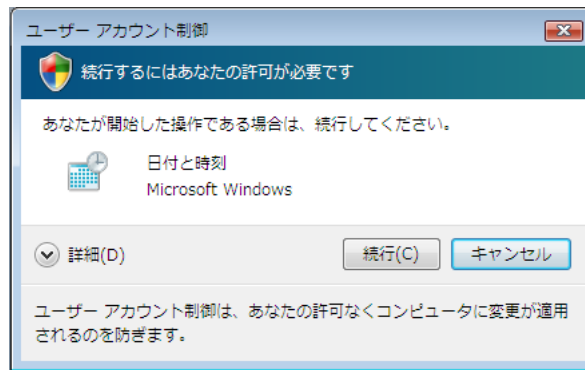
購入時やリカバリ時のWindowsのセットアップで入力したユーザー名（アカウント）は、「管理者」になります。

- 標準ユーザー

一部のシステム項目の変更や、ドライバ、ソフトウェアのインストールは行うことができません。管理者のパスワードを入力すれば、変更やインストールが可能になります。

## ▶ユーザーアカウント制御画面

コントロールパネルなどで  が表示されているシステム項目にアクセスしようとしたら、ドライバやソフトウェアのインストールをしようすると、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。これは、項目にアクセス制限がかけられているためです。



表示される「ユーザーアカウント制御」画面は、アカウント（管理者または標準ユーザー）により異なります。本書の手順は、管理者アカウントでWindowsにログオンした状態を前提に記載しています。

# 本機の終了方法


ここでは、本機の終了方法や再起動方法について説明します。  
本機の終了方法には、次の2つがあります。

## ● 通常の終了（スリープ）

通常は、本機を「スリープ状態」にして終了します。


 p.54 「通常の終了（スリープ）」

スリープ状態にすると、作業内容がメモリとHDDに保存され、画面表示が消えて本機は低電力の状態になります。スリープ状態からは、数秒で通常の状態に復帰することができます。

スリープ状態についての詳しい説明は、 p.120 「省電力状態の種類」をご覧ください。

## ● 電源を切る（シャットダウン）

次のような場合は、本機の電源を切って終了します。

 p.55 「電源を切る（シャットダウン）」

- 完全に電源を切りたいとき
- 数日使用しないとき
- 周辺機器の取り付け、取り外しをするとき

## ▶ 通常の終了（スリープ）

本機をスリープ状態にして終了する方法とスリープ状態から復帰させる方法について説明します。

### 終了方法

本機をスリープ状態にして終了する方法は、次のとおりです。


#### 1 [スタート] ( ) - [⏻] をクリックします。

本機が「スリープ状態」になります。画面表示が消え、電源ランプがオレンジ色に点灯します。

#### 参考

ほかの方法でスリープ状態にする

次の方法でも、本機をスリープ状態にすることができます。

- [スタート] - [▶] - 「スリープ」をクリックする
- キーボードのSleepキー (  ) を押す

## 復帰方法

本機をスリープ状態から復帰させる方法は、次のとおりです。



復帰の際、周辺機器はスリープ状態に入る前と同じ状態にしてください。スリープ中に周辺機器を取り外すなどして状態が異なると、正常に復帰できない場合があります。

- 1 電源スイッチ (⏻) またはキーボードのPowerキー (⏻) を押します。  
本機が通常状態に復帰します。  
マウスがUSB接続の場合は、マウスを操作しても復元できます。

## ▶電源を切る (シャットダウン)

本機の電源の切り方、入れ方について説明します。

### 電源の切り方

本機の電源を切る (シャットダウンする) 方法は、次のとおりです。



- 電源を切って、もう一度入れる場合には、電源を入れるときに電気回路に与える電気的な負荷を減らし、HDDなどの動作を安定させるために、20秒程度の間隔を空けてください。
- HDDなどのアクセスランプ点灯中に本機の電源を切ると、収録されているデータが破損するおそれがあります。
- 本機は、電源を切っていても、電源プラグがコンセントに接続されていると、微少な電流が流れています。本機の電源を完全に切るには、電源コンセントから電源プラグを抜いてください。


- 1 [スタート] - [▶] - 「シャットダウン」をクリックします。  
Windowsが終了し、自動的に本機の電源が切れます。
- 2 ディスプレイなど、接続している周辺機器の電源を切ります。



[⏻] をクリックしたときシャットダウンするように設定する  
[スタート] - [⏻] をクリックしたときシャットダウンするように、ボタンの機能を変更することができます。  
設定は次の場所で行います。  
[スタート] - [コントロールパネル] - 「システムとメンテナンス」 - 「電源オプション」 - 「プラン設定の変更」 - 「詳細な電源設定の変更」 - 「電源ボタンとLID」 - 「[スタート] メニューの電源ボタンの操作」

## キーボードで電源を切る

106 PS/2コンパクトキーボードのPowerキーでも、Windowsを終了させることができます。

- 1 キーボードのPowerキー（）を押します。  
Windowsが終了し、自動的に本機の電源が切れます。
- 2 ディスプレイなど、接続している周辺機器の電源を切ります。


## シャットダウン時の注意



Windowsを複数のユーザーが使用している状態で電源を切ろうとすると、「ほかの人がこのコンピュータにログオンしています。…」と画面に表示されます。この場合は [いいえ] をクリックし、ログオンしているすべてのユーザーの画面に切り替えて、それぞれログオフを行ってからシャットダウンをしてください。

## 電源の入れ方

シャットダウン状態から本機の電源を入れる方法は、次のとおりです。



- 周辺機器の電源をいつ入れるかは、周辺機器に添付のマニュアルで確認してください。  
電源を入れるタイミングがコンピュータより先か後かは、周辺機器により決まっています。
- USBフラッシュメモリなどを接続していたり、USB FDDにFDがセットされている状態で本機の電源を入れると、Windowsが起動しないことがあります。USB記憶装置は、Windows起動後に接続してください。
- USB記憶装置を接続した状態でWindowsを起動したい場合は、「BIOS Setup ユーティリティ」で起動するデバイスの順番を変更してください。  
 p.170 「起動 (Boot) デバイスの順番を変更する」
- 電源を入れなおすときは、20秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。電気回路に与える電気的な負荷を減らして、HDDなどの動作を安定させます。

- 1 電源スイッチ（）またはキーボードのPowerキー（）を押します。  
本機の電源が入り、Windowsが起動します。



## ▶再起動

電源が入っている状態で、本機を起動しなおすことを「再起動」といいます。

### 再起動方法

本機の再起動方法は、次のとおりです。

#### 1 [スタート] - [▶] - 「再起動」をクリックします。

次のような場合には、本機を再起動する必要があります。

- 使用しているソフトウェアで指示があった場合
- Windowsの動作が不安定になった場合

再起動しても状態が改善されない場合は本機の電源を切り、しばらくしてから電源を入れてみてください。

## ▶ハングアップしたときは

ソフトウェアやWindowsがキーボードやマウスからの入力を受け付けず、何も反応しなくなった状態を「ハングアップ」といいます。

ハングアップした場合は、ソフトウェアの強制終了を行います。ソフトウェアの強制終了をしても状態が改善されない場合は、強制的に本機の電源を切ります。

### ソフトウェアの強制終了

ソフトウェアの強制終了方法は、次のとおりです。

- 1 [Ctrl] + [Alt] + [Delete] を押します。
- 2 表示された項目から「タスクマネージャの起動」をクリックします。  
「Windowsタスクマネージャ」が起動します。
- 3 「アプリケーション」タブからハングアップしているソフトウェアを選択して [タスクの終了] をクリックします。
- 4 「プログラムの終了」画面が表示されたら、[すぐに終了] をクリックします。

### 強制的に電源を切る

[Ctrl] + [Alt] + [Delete] を押しても反応がない場合は、強制的に本機の電源を切ります。

強制的に電源を切る方法は、次のとおりです。

- 1 本機の電源スイッチ (⏻) を5秒以上押し続けます。  
本機の電源が切れます。



# 第2章 コンピュータの基本操作

キーボードやマウス、光ディスクドライブの使い方など、本機的基本的な操作方法について説明します。

「キーボードを使う」 .....	60
「マウスを使う」 .....	65
「HDDを使う」 .....	66
「RAID機能」 .....	70
「光ディスクドライブを使う」 .....	79
「マルチカードリーダーを使う」 .....	87
「USB機器を使う」 .....	93
「画面表示機能を使う」 .....	95
「サウンド機能を使う」 .....	98
「ネットワーク機能を使う」 .....	102
「インターネットに接続するには」 .....	104
「インターネットを使用する際のセキュリティ対策」 .....	109
「電源設定を行う（省電力機能を使う）」 .....	118
「そのほかの機能」 .....	125

# キーボードを使う

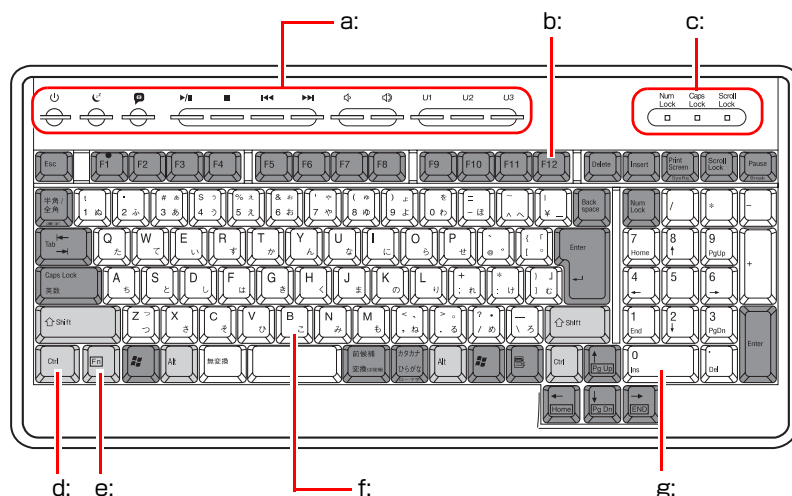
ここでは、12個のホットキーを搭載した日本語対応106 PS/2 コンパクトキーボードについて説明します。

キーボードの接続方法は、[p.29](#) 「コンピュータの設置」をご覧ください。購入時にこのほかのキーボードを選択し、キーボードのマニュアルが添付されている場合は、本書とあわせてご確認ください。

## ▶キーの種類と役割

各キーには、それぞれ異なった機能が割り当てられています。

### 入力キー



#### a: ホットキー

[p.63](#) 「ホットキーを使用する」

#### b: 機能キー

文字を消す、入力位置を変えるなど、特別な役割が割り当てられたキーです。機能キーの役割は、ソフトウェアによって異なります。

#### c: キーロック表示ランプ

[p.62](#) 「キーロック表示ランプ」

#### d: 制御キー

文字キーや機能キーの働きを変化させます。単独では機能しません。

#### e: Fnキー

制御キーの1つです。


[p.62](#) 「Fnキーと組み合わせて使うキー」

#### f: 文字キー

英数字、記号の入力や日本語入力システムを利用して漢字やひらがななどの日本語を入力します。

#### g: 数値キー

数字、演算子などを入力します。


 の状態によりキーの機能が変わります。

## ▶文字を入力するには

文字キーを押すとキートップ（キーの上面）に印字された文字が入力されます。入力モードによって、入力される文字は異なります。

直接入力モード		キートップのアルファベットをそのまま入力します。
日本語入力モード	ローマ字入力	キートップのアルファベットでローマ字を入力し、漢字やひらがなに変換します。
	かな入力	キートップのひらがなをそのまま入力し、漢字やカタカナに変換します。

### 入力モードの切り替え

 を押すと、直接入力モードと日本語入力モードを切り替えることができます。

日本語入力モードのローマ字入力とかな入力の設定は日本語入力システムで行います。

## ▶日本語を入力するには

ひらがなや漢字などの日本語の入力は、日本語入力システムを使用します。本機には日本語入力システム「MS-IME」が標準で搭載されています。

### MS-IMEの使い方

MS-IMEパネルの主要なボタンの名称と働きは、次のとおりです。ボタンをクリックして各設定を行ったり、ヘルプを参照したりします。



#### a: 入力モード

入力モード（ひらがな、カタカナ、英数字など）を選択します。

#### b: ヘルプ

MS-IMEの詳しい説明を見ることができます。

#### c: かなキーロック

日本語入力モードの切り替えを行います。








ボタンが押されていない状態：ローマ字入力

ボタンが押されている状態：かな入力


MS-IME以外の日本語入力システムを使用する場合は、そのシステムに添付されているマニュアルをご覧ください。












## ▶キーロック表示ランプ

キーボード右上の3つのランプは、キーボードの入力状態を表示しています。

Num Lock	役割	数値キーの状態を切り替え
	切り替え方	 を押す
	点灯時	数値を入力
	消灯時	カーソルの位置を制御 数値キーの    などが使えます。
Caps Lock	役割	アルファベットの太文字/小文字の切り替え
	切り替え方	 +  を押す
	点灯時	大文字を入力
	消灯時	小文字を入力
Scroll Lock	役割	ソフトウェアによって異なります。
	切り替え方	 を押す

## ▶Fnキーと組み合わせて使うキー

次のキーは、 と組み合わせると、次のように使用することができます。

 + 	 (Page Up) の役割をします。
 + 	 (ページの先頭へ移動) の役割をします。
 + 	 (Page Down) の役割をします。
 + 	 (ページの最後へ移動) の役割をします。

## ▶ホットキーを使用する

各ホットキーには、Windowsの終了、インフォメーションメニューの起動などの機能が割り当てられており、ホットキーを押すだけで、割り当てられた機能を実行することができます。

### ホットキーの機能

各ホットキーに割り当てられた機能は、次のとおりです。

ホットキー	機能
Powerキー 	Windowsの起動/終了を行います。スリープや休止状態で押すと、復帰します。  p.120 「省電力状態の種類」
Sleepキー 	本機をスリープ状態にします。  p.122 「省電力状態に移行する方法」
Informationキー 	インフォメーションメニューが起動します。  p.48 「インフォメーションメニューを使う」
Play/Pauseキー 	光ディスクの停止中に押すと再生、再生中に押すと再生を一時的に停止します。
Stopキー 	光ディスクの再生中に押すと、再生を停止します。
Previous Trackキー 	前のトラックへ戻ります。
Next Trackキー 	次のトラックへ進みます。
Volume Downキー 	音量を小さくします。
Volume Upキー 	音量を大きくします。
U1キー	設定したソフトウェアを起動します。  p.63 「ホットキー (U1、U2、U3) の設定」
U2キー	
U3キー	

### ホットキー (U1、U2、U3) の設定

ホットキーのU1、U2、U3キーには、Internet ExplorerやWindowsメールなど、好きなソフトウェアを割り当てることができます。

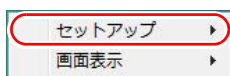
ここでは、Internet Explorerの割り当てを例にして、ソフトウェアの設定方法を説明します。

#### 1 通知領域の「キーボードユーティリティ」アイコンを右クリックします。

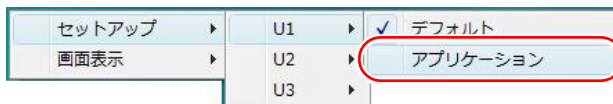


<キーボードユーティリティアイコン>

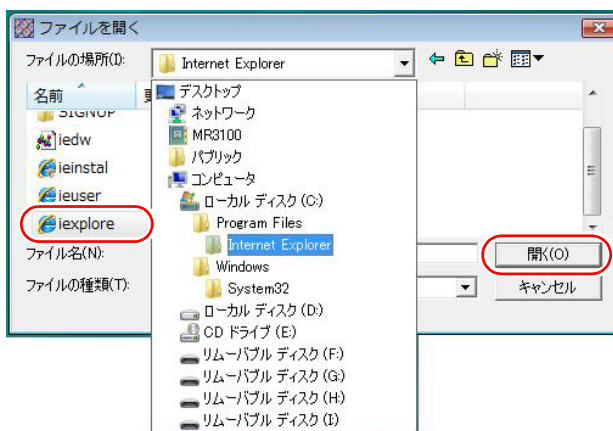
- 2 画面中央に表示されたメニューから「セットアップ」を選択します。



- 3 「セットアップ」のサブメニューから、設定するホットキーを選択し、「アプリケーション」をクリックします。




- 4 「ファイルを開く」画面が表示されたら、「Internet Explorer」フォルダ内の「iexplore」を選択し、「開く」をクリックします。



これで、Internet Explorerを割り当てる設定は完了です。設定したホットキーを押すと、Internet Explorerが起動します。そのほかのソフトウェアの場合も同様に設定することができます。



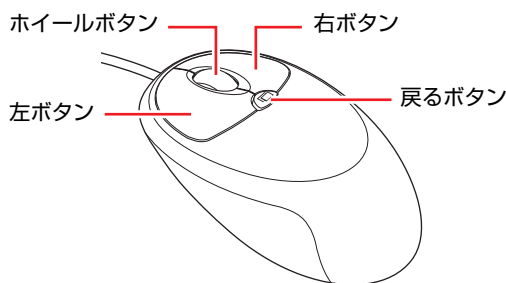
# マウスを使う

ここでは、ホイール付USB光学マウスについて説明します。マウスの接続方法は、 p.29 「コンピュータの設置」をご覧ください。  
購入時にこのほかのマウスを選択し、マウスにマニュアルが添付されている場合は、マウスに添付のマニュアルで使用方法をご確認ください。

## ▶マウスの操作



- 表面が反射する場所やざらざらした場所、複雑なイラスト入りのマウスパッドの上で使用しないでください。マウスの動きがコンピュータに伝わりません。
- アプリケーションソフトによっては、ホイールボタン、戻るボタンが使用できない場合があります。



マウスの基本的な操作は、次のとおりです。

クリック	マウスカーソルを画面上の対象に合わせて、左ボタンを1回カチッと押します。
ダブルクリック	マウスカーソルを画面上の対象に合わせて、左ボタンを2回続けてカチカチッと押します。
右クリック	マウスカーソルを画面上の対象に合わせて、右ボタンを1回カチッと押します。
ドラッグアンドドロップ	マウスカーソルを画面上の対象に合わせて、左ボタンを押したままの状態をマウスを移動し、離します。
スクロール	ホイールボタンを指先で前後に動かすと、縦スクロール操作を行うことができます。ホイールボタンをクリックすると、マウスを動かしてオートスクロールを行うこともできます。
戻る	戻るボタンを押すと、Internet Explorerやエクスプローラなどで「戻る」の操作を行うことができます。

## ▶マウスの設定変更

マウスボタンの設定や使用環境の変更は、次の場所で行います。

[スタート] - 「コントロールパネル」 - 「ハードウェアとサウンド」 - 「マウス」

詳しくは、ヘルプをご覧ください。

# HDDを使う

本機には、Serial ATA（以降S-ATA）II仕様のHDD（ハードディスクドライブ）が搭載されています。

HDDは、大容量のデータを高速に記録する記憶装置です。




制限

- HDDアクセスランプ点灯中に、本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。アクセスランプ点灯中は、コンピュータがHDDに対してデータの読み書きを行っています。この処理を中断すると、HDD内部のデータが破損するおそれがあります。
- 本機を落としたり、ぶつけたりしてショックを与えるとHDDが破損するおそれがあります。ショックを与えないように注意してください。
- HDDが故障した場合、HDDのデータを修復することはできません。

## ▶データのバックアップ

HDDに記録されている重要なデータは、CDメディアや外付けHDDなどにバックアップしておくことをおすすめします。万一HDDの故障などでデータが消失してしまった場合でも、バックアップを取ってあれば、被害を最小限に抑えることができます。

バックアップの方法は、 p.239 「データのバックアップ」をご覧ください。

## ▶購入時のHDD領域

購入時のHDDは、お客様の選択により次のように設定されています。

<通常>

HDDの台数		ドライブ (領域)	容量
1台		消去禁止領域	約700MB
		Cドライブ	残り
2台	1台目	消去禁止領域	約700MB
		Cドライブ	残り
	2台目	Dドライブ	2台目すべて
2台 (RAIDモデル)	RAID内	消去禁止領域	約700MB
		Cドライブ	残り

<HDD設定変更サービスを選択された場合>

HDDの台数		ドライブ (領域)	容量
1台		消去禁止領域	約700MB
		Cドライブ	購入時に選択された容量
		Dドライブ	残り
2台	1台目	消去禁止領域	約700MB
		Cドライブ	購入時に選択された容量
		Dドライブ	残り
	2台目	Eドライブ	2台目すべて
2台 (RAIDモデル)	RAID内	消去禁止領域	約700MB
		Cドライブ	購入時に選択された容量
		Dドライブ	残り

すべてのドライブはNTFSファイルシステムでフォーマットされています。




### HDD設定変更サービス

HDD設定変更サービスとは、購入時にあらかじめ1台目のHDDの領域をCドライブ、Dドライブに分割した状態でコンピュータをお届けするサービスのことで、

### 消去禁止領域とは

「消去禁止領域」には、「Windows回復環境 (Windows RE)」が設定されています。Windows REについての詳細は、次をご覧ください。

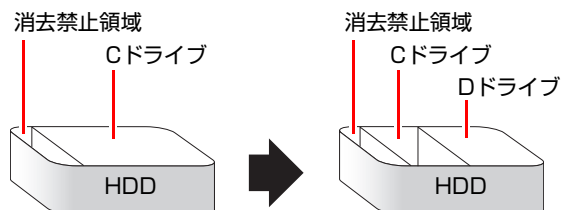
 p.232 「Windows回復環境 (Windows RE) を使う」


## ▶HDDを分割して使用する

1台のHDDは、いくつかに分割してそれぞれ別のドライブとして使用することができます。


<1台のHDDを分割する>

例：1つのHDD領域（Cドライブ）を2つのHDD領域（CドライブとDドライブ）に分割することができます。



Cドライブを分割する場合は、Windowsの再インストールが必要です。  
詳しくは、 p.244 「Cドライブを分割・変更する」をご覧ください。

## ▶HDDを増設・交換したら

HDDを増設・交換した場合は、 p.247 「Cドライブ以外のドライブを作成・変更する」をご覧ください。

RAIDを構成する場合は、増設・交換したHDDにドライブを作成する必要はありません。



すでにデータが登録されているHDDにドライブを作成すると、そのHDDに登録されていたすべてのデータが消失します。ドライブを作成する前に、重要なデータが登録されていないことを確認してください。

## ▶HDDの暗号化

<Windows Vista Ultimate使用時>

Windows Vista Ultimateでは、HDD暗号化機能「BitLocker」を使用することができます。

本機でBitLockerを使用するには、事前に専用ツールでのHDD設定変更が必要です。専用ツールの入手方法など、詳しくは当社ユーザーサポートページのサポート情報をご覧ください。

サポート情報は、次の場所でコンテンツIDを入力し、検索すると表示されます。

「インフォメーションメニュー」－「ユーザーサポート」－「サポート情報検索」の「コンテンツID検索」

BitLocker情報のコンテンツID：TN100014545



参考

BitLockerとは

BitLockerは、Windows Vista UltimateおよびWindows Vista Enterpriseのみに搭載されたデータ保護機能です。BitLockerを使用すると、OSがインストールされている領域を暗号化することができます。そのため、不正な手段でのOS起動ができなくなり、HDD内のデータ漏洩を防ぐことができます。

# RAID機能

本機ではRAID機能を使用することができます。RAIDとは、同一容量のHDD2台で構成するシステムのことです。

ここでは、RAIDの種類やRAIDの構成・削除方法などについて説明します。本機購入時にRAIDモデルを選択された場合は、搭載のHDDであらかじめRAIDが構成されています。

## RAIDの種類

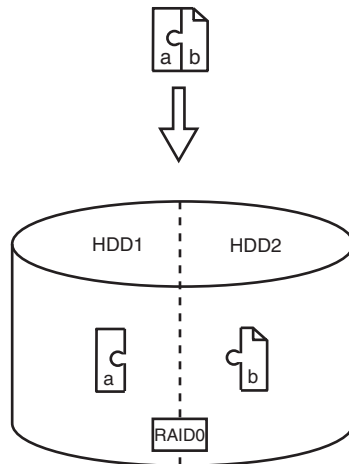
本機で使用できるRAIDは、RAID0、RAID1の2種類です。

種類	別名	HDD 必要台数	特徴
RAID0	ストライピング	2台	2台のHDDを1つに結合して使用。大容量のデータを高速に書き込んだり、読み込んだりすることができる。
RAID1	ミラーリング	2台	2台のHDDに同時に同じデータを書き込む。一方のHDDが破損しても、もう一方のHDDからデータを復旧することができる。

## RAID0 (ストライピング)

RAID0は、複数のHDDを1つに結合し、高速かつ大容量な1台のHDDとして使用するシステムです。ストライピングともいいます。

たとえば500GBのHDD2台でRAID0を作成すると、500GBのHDD2台を約1TB(1000GB)のHDD1台として使用することができます。このHDDにデータを書き込むと、データは2台のHDDに分散して書き込まれます。そのため、容量の大きいデータでも高速に書き込みが可能です。



HDD1とHDD2にデータを分散して記録する

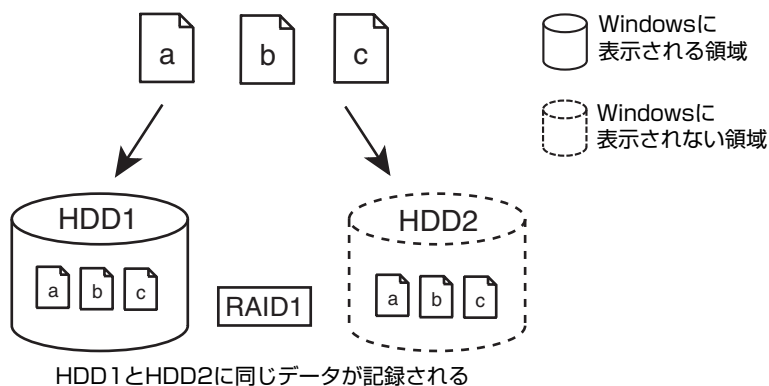
### HDDが破損した場合

RAID0では、結合したHDDのうちどれか1台が破損すると、そのほかのHDDに保存されているデータも破損してしまい、データの復旧は不可能となります。万一の場合に備え、HDDのデータは光ディスクメディアなどのほかのメディアに定期的にバックアップしておくことをおすすめします。

## RAID1 (ミラーリング)

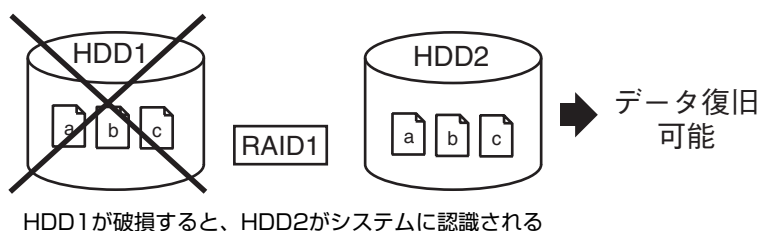
RAID1は、2台のHDDを使用します。片方のHDD (HDD1) にデータを書き込むと、同時にもう片方のHDD (HDD2) にも同じデータが書き込まれるシステムです。ミラーリングともいいます。

データが2台のHDDに保存されるため、片方のHDDが破損しても、もう片方のHDDからデータを復旧することができます。RAID1では2台のHDDのうち1台 (HDD1) だけがWindowsに表示されます。



### HDDが破損した場合

RAID1では、Windowsに表示されているHDDが破損すると、Windowsで表示されていなかったもう1台のHDDが自動的にWindowsに表示され、データを復旧することができます。



HDD2が破損した場合は、HDD1のみにデータが書き込まれることになります。2台のHDDが同時に破損しないかぎり、データの復旧は可能です。



## ▶RAIDの構成・削除

RAIDの構成・削除方法を説明します。

RAIDの構成や削除は、「RAID Configuration Utility」を使用して行います。



制限

- RAIDを構成・削除すると、HDDに登録されているデータはすべて消失します。RAIDを構成・削除する前に、重要なデータはバックアップしてください。また、RAIDを構成・削除すると、「消去禁止領域」も消失し、復元することはできません。「消去禁止領域」には、Windows回復環境 (Windows RE) が設定されています。Windows REは、「Windows VistaリカバリDVD」から使用することができます。Windows REについての詳細は、次をご覧ください。



p.232 「Windows回復環境 (Windows RE) を使う」

- RAID構成時、HDDアクセス制限は使用できません。



p.169 「HDDアクセス制限」

## BIOSの設定

RAIDを構成する場合は、BIOSの設定値を次のように変更してください。

「Main」メニュー画面－「SATA Configuration」

Configure SATA as: RAID

RAIDモデルの場合、購入時は「RAID」に設定されています。



p.161 「BIOS Setupユーティリティの操作」

## RAID Configuration Utilityの起動と終了

RAID Configuration Utilityはメインボード上にROMとして搭載されています。

RAID Configuration Utilityの起動、終了方法は次のとおりです。

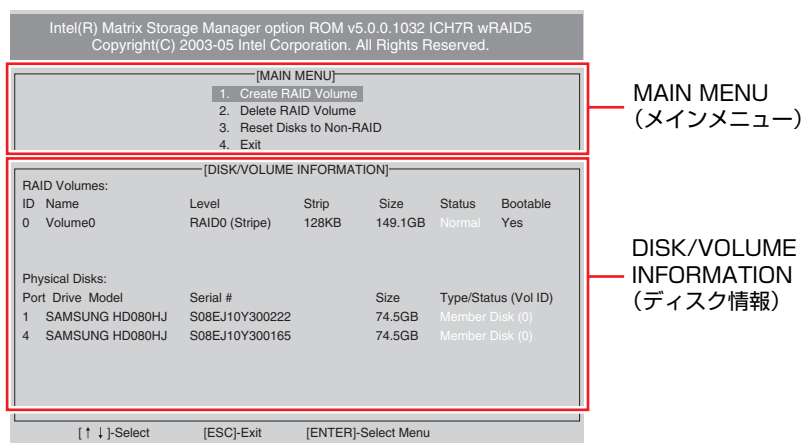
### 起動

- 1** キーボードの **Tab**、**Ctrl**、**I** の位置を確認します。  
手順3では **Tab** を、手順4では **Ctrl** + **I** を、すばやく押す必要があります。
- 2** 本機の電源を入れます。  
すでにWindowsが起動している場合は、再起動します。
- 3** 本機の起動直後、黒い画面の中央に「EPSON」と表示されたら、すぐに **Tab** を押します。  
Windowsが起動した場合は、再起動して手順3をもう一度実行してください。

- 4** 黒い画面の中央に、「Press <CTRL-I> to enter Configuration…」と表示されたら、すぐに **Ctrl** + **I** を押します。

RAID Configuration Utilityが起動します。

Windowsが起動した場合は、再起動して手順3からやりなおしてください。



<画面はイメージです>

- 5** 必要に応じて、RAIDの状態を確認したり、RAIDの構成や削除を行います。

項目の移動は **↑** **↓** で行います。

 p.74 「RAIDを構成する」

 p.76 「RAIDを削除する」

終了

- 1** 「MAIN MENU」項目で「4.Exit」を選択し、**←**を押します。

項目の移動は **↑** **↓** で行います。

- 2** 次の確認メッセージが表示されたら、**Y**を押します。

Are you sure you want to exit ? (Y/N)

RAID Configuration Utilityが終了します。

## RAIDを構成する

本機で構成できるRAIDはRAID0、RAID1です。

RAIDを構成する手順は、次のとおりです。



RAIDを構成すると、HDDに登録されているデータはすべて消失します。RAIDを構成する前に、重要なデータはバックアップしてください。

- 1** RAID Configuration Utilityを起動します。  
 p.73 「RAID Configuration Utilityの起動と終了」
- 2** 「MAIN MENU」項目で「1.Create RAID Volume」を選択し、を押します。
- 3** 「CREATE VOLUME MENU」画面が表示されたら、[Name] に任意の名前を入力し、を押します。  
入力した名前は「BIOS Setupユーティリティ」で表示されます。  
RAIDの名前を変更しない場合は、そのままを押します。
- 4** 「RAID Level」で「RAID0 (Stripe)」、 「RAID1 (Mirror)」のいずれかを で選択し、を押します。
- 5** 「Strip Size」でを押します。  
RAIDの種類によっては、この手順はありません。
- 6** 「Capacity」でを押します。
- 7** 「Create Volume」が選択されている状態でを押します。
- 8** 次の確認メッセージが表示されたら、を押します。  
Are you sure you want to create this volume? (Y/N)  
RAIDが構成され、「MAIN MENU」画面が表示されます。構成したRAIDの情報を「DISK/VOLUME INFORMATION」で確認することができます。
- 9** RAID Configuration Utilityを終了します。  
 p.73 「RAID Configuration Utilityの起動と終了」
- 10**  +  + を押して再起動し、BIOS Setupユーティリティを起動します。  
 p.161 「BIOS Setupユーティリティの起動」
- 11** BIOS Setup ユーティリティが表示されたら、「Boot」メニュー画面ー「Boot Device Priority」で、「Boot Device」の1つが「RAID: Intel XXXX\*」になっていることを確認します。  
\* XXXXは、手順3で設定した名前です。  
 p.162 「BIOS Setupユーティリティの操作」
- 12** を押してBIOS Setupユーティリティを終了します。  
 p.165 「BIOS Setupユーティリティの終了」  
これでRAIDの構成は完了です。  
続いて、Windowsを再インストールします。  
 p.189 「Windowsのインストール」



## RAIDを削除する

RAIDを構成しないうちの場合や、RAID機能を使用しない場合は、RAIDを削除します。

RAIDを削除する手順は、次のとおりです。




RAIDを削除すると、HDDに登録されているデータはすべて消失します。RAIDを削除する前に、重要なデータはバックアップしてください。

- 1 RAID Configuration Utilityを起動します。**  
 p.73 「RAID Configuration Utilityの起動と終了」
- 2 「MAIN MENU」項目で「2.Delete RAID Volume」を選択し、を押します。**
- 3 「DELETE VOLUME MENU」画面で、削除したいRAIDを選択し、を押します。**
- 4 次の確認メッセージが表示されたら、を押します。**  
Are you sure you want to delete volume "XXXX" ? (Y/N)  
RAIDが削除され、「MAIN MENU」画面が表示されます。「DISK/VOLUME INFORMATION」の「RAID Volumes:」でRAIDが削除されたことを確認します。
- 5 RAID Configuration Utilityを終了します。**  
 p.73 「RAID Configuration Utilityの起動と終了」  
これで、RAIDの削除は完了です。

### BIOSを変更する

RAIDの削除後、RAID機能を使用しない場合は、BIOS設定値を次のように変更してください。

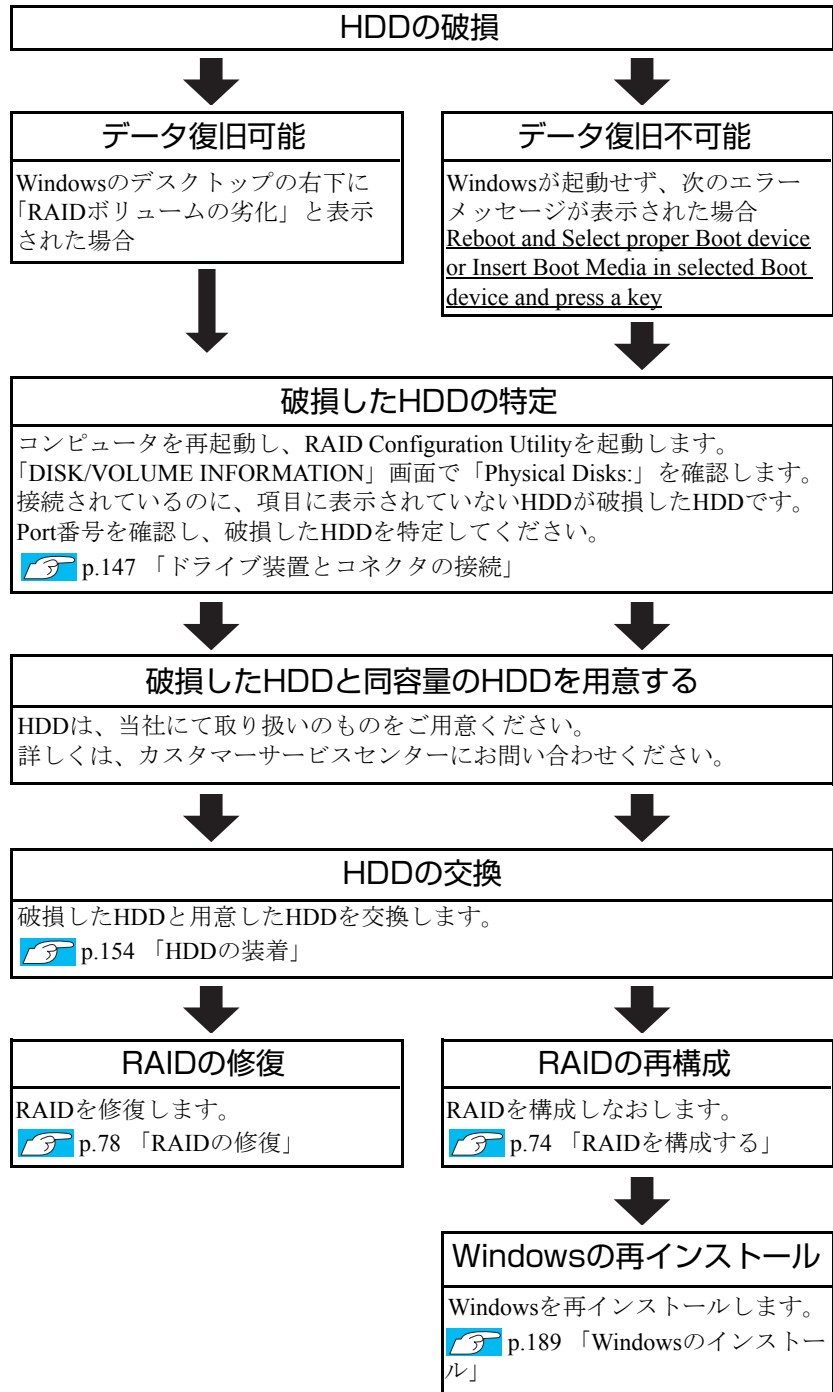
「Main」メニュー画面－「SATA Configuration」  
Configure SATA as: AHCI

 p.161 「BIOS Setupユーティリティの操作」

## ▶HDDが破損したら（RAID使用時）




RAID機能使用時にHDDが破損した場合は、データの復旧状態によってRAIDの修復、または再構成が必要です。

次の流れに従って、RAIDを修復、または再構成してください。



## RAIDの修復

RAIDの修復は、RAID Configuration Utilityで行います。  
RAIDの修復方法は、次のとおりです。

- 1 RAID Configuration Utilityを起動します。**  
 p.73 「RAID Configuration Utilityの起動と終了」
- 2 「DEGRADED VOLUME DETECTED」画面が表示されたら、新しく接続したHDDを選択し、を押します。**
- 3 「DISK/VOLUME INFORMATION」項目で、「RAID Volumes :」の「Status」項目が「Rebuild」になっていることを確認します。**
- 4 RAID Configuration Utilityを終了します。**  
 p.73 「RAID Configuration Utilityの起動と終了」

これで、RAIDの修復は完了です。

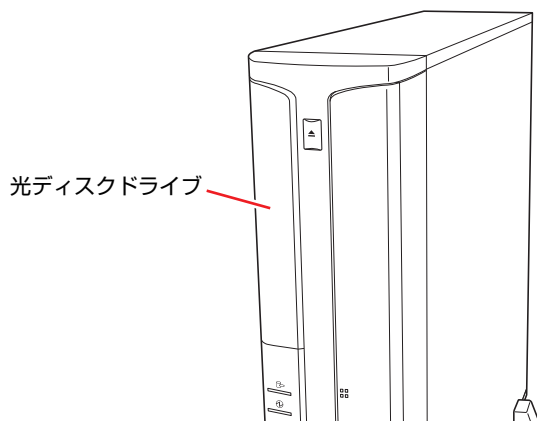
Windowsが起動すると、画面右下に「RAIDボリュームの復元」と表示されます。

# 光ディスクドライブを使う

本機には、購入時に選択されたS-ATA仕様の光ディスクドライブが搭載されています。

光ディスクドライブは、CD-ROMなどの光ディスクメディアを使用するための機器です。

ここでは、光ディスクドライブの基本的な使い方について説明します。



- 光ディスクドライブのディスクトレイに手を入れないでください。はさまれると、けがの原因になります。
- 光ディスクドライブで、ひび割れや変形補修したメディアは使用しないでください。内部で飛び散って故障したり、メディア取り出し時にけがをしたりする危険があります。



本機では、CD（コンパクトディスク）の規格に準拠しない「コピーコントロールCD」などの特殊ディスクは、動作保証していません。本機で動作しない特殊ディスクについては、製造元または販売元にお問い合わせください。

## ▶使用可能な光ディスクメディア

光ディスクドライブの種類によって、メディアへの書き込みやDVDの再生など、使える機能が異なります。

お使いの光ディスクドライブで使える機能とメディアの種類は、次をご覧ください。

「インフォメーションメニュー」－「マニュアルびゅうわ」－「光ディスクドライブPDFマニュアル」

光ディスクメディアの違いについての簡単な説明は、次をご覧ください。

「インフォメーションメニュー」－「PCお役立ち情報」

## ▶光ディスクメディアのセットと取り出し

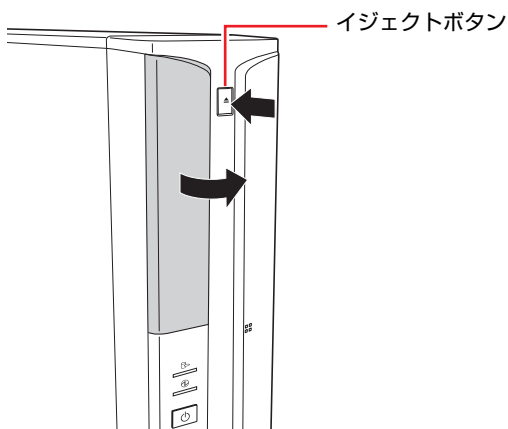
光ディスクメディアのセットと取り出し方法について説明します。



- 光ディスクドライブアクセス中にメディアを取り出したり、本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。
- メディアの出し入れのとき以外は、ディスクトレイの開閉をしないでください。
- 開いているディスクトレイの上に物を置かないでください。また、上から強く押さないでください。
- メディアの再生中や書き込み中に振動や衝撃を与えないでください。
- 結露した状態のメディアを使用しないでください。メディアを寒いところから暖かいところへ急に持ち込むと、結露（水滴が付着する状態）します。使用すると、誤動作や故障の原因になります。
- 本機を縦置きで使用している場合、8cmのメディアは使用できません。また、縦置き横置きに関係なく、楕円などの通常と異なった形状のメディアは使用できません。

### セット方法

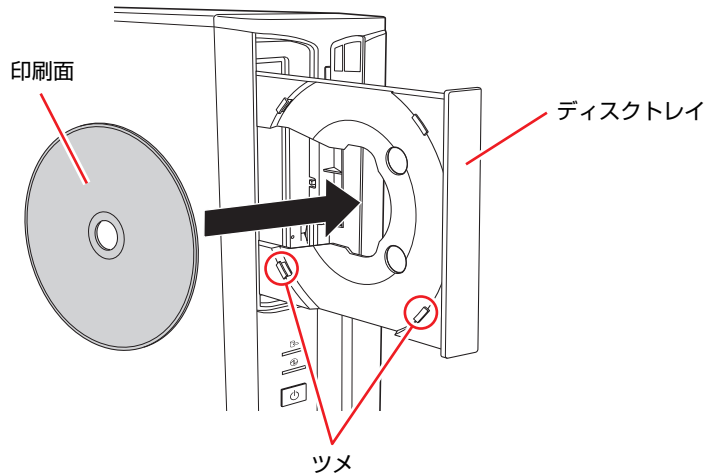
- 1 イジェクトボタンを押して、ディスクトレイを開きます。





- 2** メディアの印刷面を本体の左側に向け、ディスクトレイにある落下防止用のツメ（下側2箇所）にセットします。

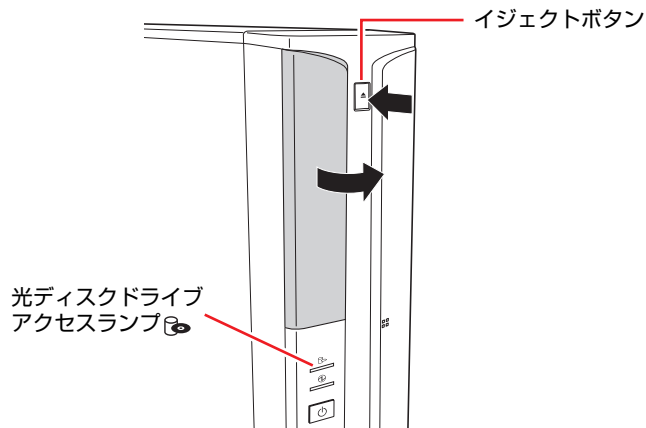
本機が横置きの場合は、メディアの印刷面を上側に向けてセットします。



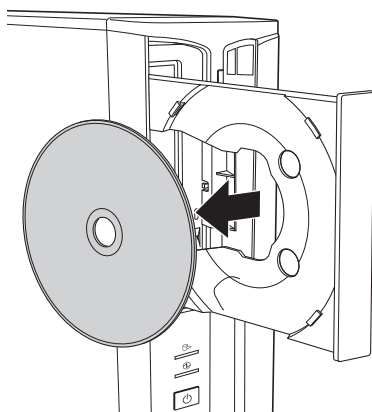
- 3** ディスクトレイを閉じるには、イジェクトボタンを押すか、ディスクトレイを軽く押します。

## 取り出し方法

- 1** アクセスランプが点灯・点滅していないことを確認し、イジェクトボタンを押して、ディスクトレイを開きます。



- 2** 光ディスクメディアをディスクトレイから取り出します。



- 3** ディスクトレイを閉じるには、イジェクトボタンを押すか、ディスクトレイを軽く押します。



---

イジェクトボタンを押してもメディアが取り出せない場合

ソフトウェアによっては、独自の取り出し方法でないとメディアが取り出せないものもあります。詳しくはお使いのソフトウェアに添付のマニュアルをご覧ください。

---

## ▶CDメディアの読み込み・再生

---

光ディスクドライブでは、データCDを読み込めるほかに、音楽CDやビデオCD、フォトCDなどの再生を行うことができます。これらのメディアの中には、再生時に別途専用ソフトウェアが必要なものもあります。

## ▶DVDメディアの読み込み・再生

<DVD再生機能のある光ディスクドライブ搭載時>

DVD再生機能のある光ディスクドライブでは、データが収録されたDVDメディアを読み込めるほかに、DVD VIDEOなどの再生ができます。DVD VIDEOの再生には、専用のソフトウェアが必要です。

### DVD VIDEO再生ソフト

DVD VIDEOの再生には、「WinDVD」を使用します。

WinDVDは、次の場所から起動します。

[スタート] – [すべてのプログラム] – [Inter Video WinDVD] – [Inter Video WinDVD for EPSON]

WinDVDの詳しい使用方法は、WinDVDのヘルプをご覧ください。

### DVD VIDEO再生時の不具合

WinDVDでDVD VIDEOの再生をすると、次のような不具合が発生する場合があります。

- 解像度や色数、リフレッシュレートの設定により、DVD VIDEOの再生ができないことがあります。

DVD VIDEOの再生ができない場合は、解像度や色数、リフレッシュレートを調節してみてください。



p.95 「表示に関する各種設定」



p.97 「リフレッシュレートの設定」

- ディスプレイを2台接続して、クローン表示またはミラー表示をしていると、「使用しているディスプレイ環境は保護されているコンテンツの再生をサポートしていません。」というメッセージが表示され、DVD VIDEOの再生が中断されます。このような場合は、クローン表示またはミラー表示を無効にしてください。

## ▶光ディスクメディアへの書き込み

<書き込み機能のある光ディスクドライブ搭載時>

書き込み機能のある光ディスクドライブでは、データ、音楽、画像などを光ディスクメディアに書き込むことができます。

書き込み可能なメディアは、お使いの光ディスクドライブにより異なります。書き込み可能なメディアについては、次をご覧ください。


「インフォメーションメニュー」－「マニュアルびゅうわ」－「光ディスクドライブPDFマニュアル」



作成した DVD VIDEO は、一部の DVD プレイヤーでは再生できない場合があります。

### ライティングソフト

光ディスクメディアに書き込みを行う場合は、専用のライティングソフトが必要です。本機にはライティングソフト「Nero 7 Essentials」がインストールされています。

 p.85 「Nero 7 Essentialsの使い方」


### 書き込み時の注意

書き込みを行う場合は、次の点に注意してください。

- **省電力機能を無効にする**

メディアへの書き込み時に、Windowsが省電力状態に切り替わると、データ転送エラーが起き、書き込みに失敗して、メディアに記録したデータが失われたり、メディアが使用できなくなる可能性があります。

書き込みを始める前に、省電力状態に移行しないように設定してください。

 p.122 「省電力状態に移行する方法」

省電力状態に移行する場合は、必ず光ディスクドライブからメディアを取り出してから行ってください。

- **速度に対応した光ディスクメディアを選ぶ**

書き込みを行う場合は、お使いの光ディスクドライブの書き込み速度に対応したメディアを使用してください。

光ディスクドライブの書き込み速度は、次をご覧ください。

「インフォメーションメニュー」－「マニュアルびゅうわ」－「光ディスクドライブPDFマニュアル」

## ▶ Nero 7 Essentialsの使い方

<書き込み機能のある光ディスクドライブ搭載時>

ライティングソフト「Nero 7 Essentials」を使用すると、CDメディアやDVDメディアにデータや音楽、画像などのファイルを書き込むことができます。



「Nero 7 Essentials」と Windows Vista 標準の書き込み機能を同時に使用しないでください。

### 使い方

Nero 7 Essentialsの起動方法は次のとおりです。

- 1 デスクトップ上の「Nero」アイコンをダブルクリックします。



<Neroアイコン>

- 2 Nero 7 Essentials画面が表示されます。



Nero 7 Essentialsの詳しい使用方法は、次をご覧ください。

「インフォメーションメニュー」 - 「マニュアルびゅーわ」 - 「Neroユーザーガイド」

## InCD

メディアをパケットライトソフト「InCD」でフォーマットすると、ドラッグアンドドロップするだけでデータの書き込みを行うことができます。

InCDの詳しい使用法は、次をご覧ください。

「インフォメーションメニュー」 - 「マニュアルびゅーわ」 - 「InCDユーザーマニュアル」



- InCDで使用できる光ディスクメディアは、CD-RW、DVD±RW、DVD-RAMのみです。
- InCDでフォーマットしたメディアはNero 7 Essentialsで書き込みを行うことはできません。書き込みを行う場合は、Nero 7 Essentialsで「ディスクの消去」を行ってください。

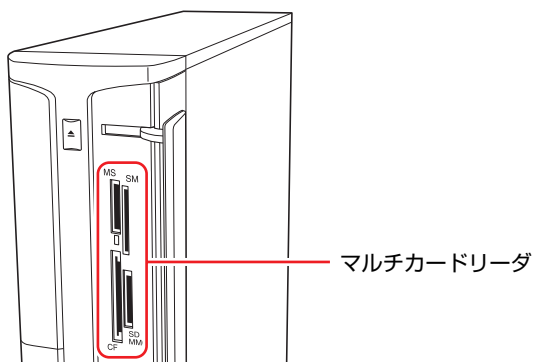
## 有償アップグレードについて

本機にインストールされているNero 7 Essentialsは、Nero製品版「Nero 7 Premium」に特別優待価格でアップグレードすることができます。アップグレードをご希望の方は、デスクトップ上の「Neroオンラインアップグレード」から申し込みを行ってください。



# マルチカードリーダーを使う

本機前面のフロントドアを開くと、マルチカードリーダーが装備されています。本機のマルチカードリーダーでは、5種類のメモ리카ードを使用することができます。

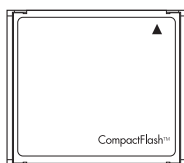


2

## ▶使用可能なメモ리카ード

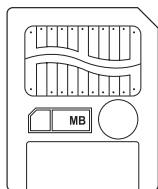
本機で使用できるメモ리카ードは次の5種類です。イラストはイメージです。

### ●コンパクトフラッシュ (Compact Flash)



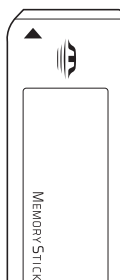
モデム、LAN、PHS カードなどのI/Oカードは使用できません。

### ●スマートメディア (Smart Media)



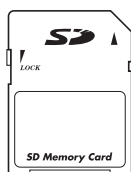
- 3.3Vタイプ (3Vと表示されているのも可) のみサポートしています。5Vタイプのカードは使用できません。
- スマートメディアの端子部が汚れていると、読み取りエラーが発生する原因になります。端子部を指で触れたりしないようにしてください。
- ID付きのスマートメディアも使用できますが、ID機能には対応していません。そのため、著作権保護機能のある音楽データなどは使用できません。
- ROMカードには対応していません。

● メモリースティック (Memory Stick)



- マジックゲート付きのカード (白色) も使用できますが、マジックゲート機能には対応していません。そのため、著作権保護機能のある音楽データなどは使用できません。
- メモリ以外のI/O カード (GPS用など) は使用できません。

● SDメモリーカード (SD Memory Card)



- Secure Digital 機能には対応していません。そのため、著作権保護機能のある音楽データなどは使用できません。
- SD I/OカードおよびSD Comboカードは使用できません。

● マルチメディアカード (Multi Media Card)




- Keitaide-Music対応カードも使用できますが、Keitaide-Music機能 (UDAC-MBプロトコル) には対応していません。そのため、著作権保護機能のある音楽データなどは使用できません。
- マルチメディアカードは、読み取り速度や書き込み速度が、ほかのカードに比べて遅くなります。これはカードの規格による制限です。



## ▶マルチカードリーダー使用時の注意

マルチカードリーダーは、次の点に注意して正しく使用してください。

- マルチカードリーダーアクセスランプ点滅中にメモリカードを取り出したり、本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。メモリカード内のデータが破損する恐れがあります。  
本機の電源を切る場合や再起動する場合は、必ずメモリカードを取り出してから行ってください。
- 記録されているデータによっては、読み込み時に専用のソフトウェアが必要になる場合があります。詳しくは、データを作成した周辺機器またはソフトウェアに添付のマニュアルをご覧ください。
- データの書き込み途中に、本機が省電力状態に移行するなどして電源の供給が停止すると、メモリカードに不具合が発生する可能性があります。メモリカードを使用するときは、省電力状態に移行しないように設定してください。

 p.122 「省電力状態に移行する方法」

### メモリカードのフォーマット

メモリカードのフォーマットは、必ずメモリカードを使用するデジタルカメラなどの周辺機器側で行ってください。本機でフォーマットを行うと、周辺機器でメモリカードが認識されなくなる場合があります。

フォーマットの方法は、周辺機器に添付のマニュアルをご覧ください。

## ▶メモリカードのセットと取り出し

メモリカードのセットと取り出し方法、割り当てられるドライブについて説明します。

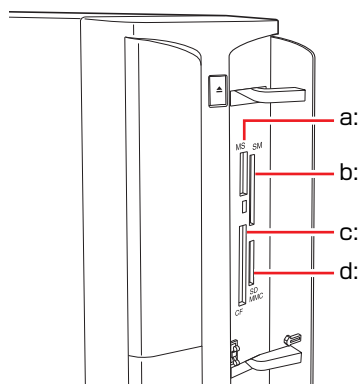


- 本機にメモリカードをセットした状態で電源を入れたり、再起動したりすると、Windows が起動しないことがあります。メモリカードはWindows 起動後にセットしてください。
- Windows が起動した状態でのメモリカードの取り出しは、「マイコンピュータ」から行ってください。通知領域の「取り外し」アイコンから停止処理を行うと、Windowsを再起動するまでマルチカードリーダーが認識されなくなります。

## セット方法


メモ리카ードのセット方法は次のとおりです。

### 1 使用するメモ리카ードのスロット位置を確認します。

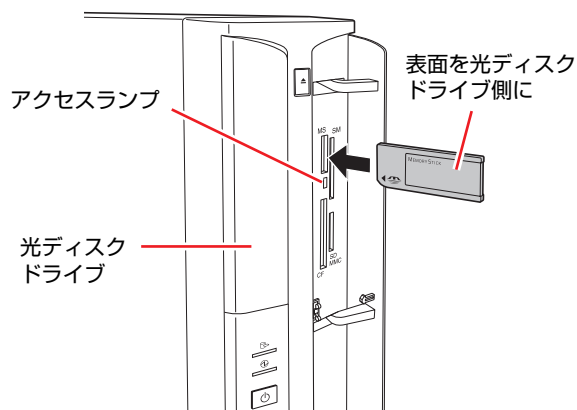


- a: メモリースティックスロット MS
- b: スマートメディアスロット SM
- c: コンパクトフラッシュスロット CF
- d: SDカードスロット <sup>SD</sup><sub>MMC</sub>  
SDメモリーカードとマルチメディア  
カード用スロットです。

### 2 メモ리카ードの表面を光ディスクドライブ側に向け、対応するスロットにカードが止まるまで押し込みます。

メモ리카ードの表面は、 p.87「使用可能なメモ리카ード」で確認してください。

正しくセットされるとアクセスランプが点灯します。



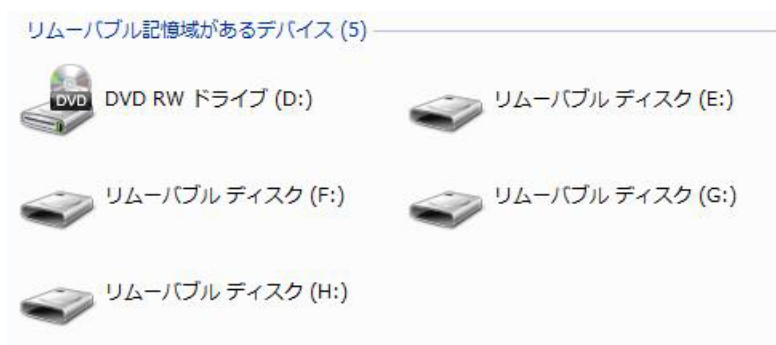
メモ리카ードによっては、正しくセットされていてもスロットから数cm出たままのものもあります。

## 各スロットのドライブ

各スロットは、E～Hのドライブに割り当てられます。(光ディスクドライブがDドライブの場合)

ドライブ	メモ리카ード	スロット
E	コンパクトフラッシュ	c
F	スマートメディア	b
G	メモリースティック	a
H	・SDメモリーカード ・マルチメディアカード	d

[スタート] – 「コンピュータ」には、次のように表示されます。



メモ리카ードによっては、「リムーバブルディスク」ではなく、カードの名称が表示されます。

## 取り出し方法

メモ리카ードの取り出し方法は、次のとおりです。

- 1** [スタート] - 「コンピュータ」 - 「リムーバブルディスク」を右クリックし、「取り出し」をクリックします。

マルチカードリーダーのアクセスランプが点滅していないことを確認し、メモ리카ードを取り出します。



- 2** メモ리카ードを引き抜きます。

取り出したメモ리카ードは、専用のケースなどに入れて大切に保管してください。


# USB機器を使う

本機にはUSB2.0に対応したUSBコネクタが、前面に2個、背面に4個、合計6個搭載されています。

USBコネクタにはUSB対応の機器を接続します。6個のUSBコネクタは同じ機能ですので、どのコネクタを使用しても構いません。



制限

- USBフラッシュメモリなどを接続していたり、USB FDDにFDがセットされている状態で本機の電源を入れると、Windowsが起動しないことがあります。USB記憶装置は、Windows起動後に接続してください。
- USB記憶装置を接続した状態でWindowsを起動したい場合は、「BIOS Setup ユーティリティ」で起動するデバイスの順番を変更してください。  
 p.170 「起動 (Boot) デバイスの順番を変更する」

2

## USB2.0の転送速度

USB2.0のデータの転送速度は、最大480Mbpsです。USB2.0コントローラは、USBコネクタに接続するすべての周辺機器で共用します。そのため、転送速度は接続する周辺機器が増えると低下します。

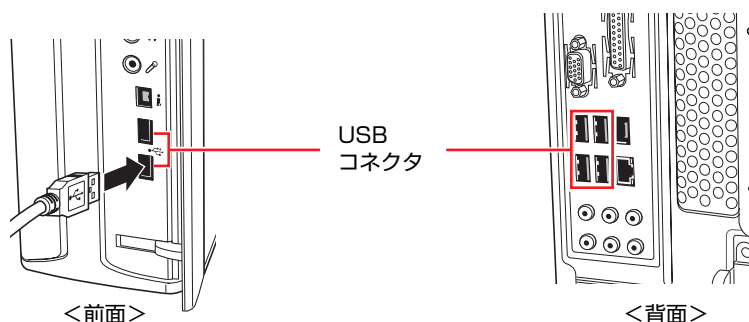
## ▶ USB機器の接続と取り外し

USB機器の接続・取り外しは、本機の電源が入っている状態で行うことができます。

### 接続

USB機器の接続方法は、次のとおりです。

- 1 USB機器のUSBコネクタを、本機前面または背面のUSBコネクタ (⇄) に接続します。



接続するUSB機器によっては、専用のデバイスドライバが必要です。詳しくはUSB機器に添付のマニュアルをご覧ください。

## USB機器の取り外し

USB機器の取り外しは、コンピュータの状態を確認して、次のどちらかの方法で行います。

- そのまま取り外す

本機の電源を切ると、そのまま取り外せます。

- USB機器の終了処理をして取り外す

画面右下の通知領域にある「取り外し」アイコンから終了処理を行います。



<取り外しアイコン>

USB機器の終了処理の方法は次のとおりです。

- 1** 開いているファイルを閉じます。  
ファイルを閉じないと、終了処理ができません。
- 2** 通知領域の「取り外し」アイコンをクリックします。
- 3** 表示されたメニューから「(取り外したいUSB機器) - - - を安全に取り外します」を選択します。

USB機器のデバイス名が表示されない場合、この方法での取り外しはできません。

USB機器

を選択

USB 大容量記憶装置 - ドライブ (I:) を安全に取り外します

マルチカード  
リーダー

USB 大容量記憶装置 - ドライブ (E:, F:, G:, H:) を安全に取り外します

誤ってマルチカードリーダーを停止させないように注意してください。マルチカードリーダーを停止させた場合、本機を再起動しないとマルチカードリーダーは使用できません。

- 4** 「ハードウェアの取り外し」メッセージが表示されたら、[OK] をクリックし、USB機器を本機から取り外します。


# 画面表示機能を使う

本機のメインボード上には画面表示機能が搭載されています。  
ここでは、表示するディスプレイや解像度などの設定方法について説明します。  
オプションでADD2ボードやビデオボードを購入された場合は、ボードに添付の  
マニュアルをご覧ください。



## セーフモードでの起動

接続しているディスプレイの設定が正しくない場合や、本機の画面表示機能では表示できない解像度を選択した場合、Windowsが再起動したときに画面が乱れる、何も表示されないなどの現象が起こることがあります。このような場合は、セーフモードで再起動して再設定を行ってください。

 p.230 「セーフモードでの起動」

## ▶表示に関する各種設定

画面表示に関する設定は「画面の設定」の「モニタ」タブで行います。  
「画面の設定」は次の場所にあります。

[スタート] - [コントロールパネル] - [デスクトップのカスタマイズ]  
- [個人設定] - [画面の設定]



## ▶表示できる解像度と表示色

---



解像度や表示色が高いと、「WinDVD」で DVD VIDEO を再生するときなどに、正常に表示できないことがあります。そのような場合は、解像度または表示色を下げてみてください。

本機の画面表示機能で表示可能な解像度と表示色は、次のとおりです。実際に表示できる解像度は、接続しているディスプレイによって異なります。ディスプレイに添付のマニュアルで確認してください。

- 解像度 ピクセル（横×縦）
  - 800×600
  - 1024×768
  - 1280×768
  - 1280×1024
  - 1440×900
  - 1600×1200
  - 1680×1050
  - 1920×1200
- 表示色
  - 中（16ビット） / 最高（32ビット）



### 表示できる解像度

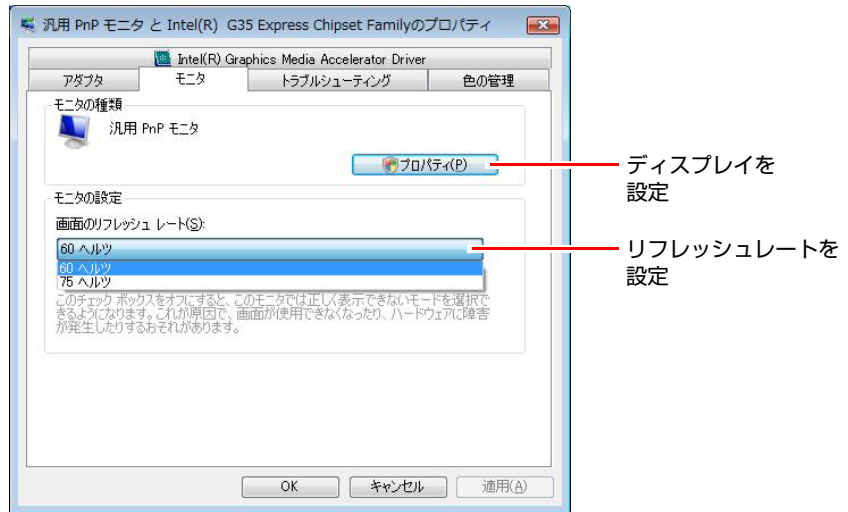
実際に表示できる最大解像度はコンピュータ側の最大解像度と接続するディスプレイの最大解像度のうち、どちらか低い方になります。ディスプレイに添付のマニュアルで確認してください。

---



## ▶表示装置に関する設定

画面の設定の[詳細設定]－「モニタ」タブでは次の設定を行うことができます。



### ディスプレイの設定

通常、接続しているディスプレイは自動的に検出されて設定されますが、接続しているディスプレイによっては正しく設定されない場合があります。その場合は [プロパティ] をクリックして設定を行ってください。詳しくは、ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。

### リフレッシュレートの設定

画面がちらつく、文字がにじむといった現象が起こるときは、リフレッシュレートを変更すると問題が解決することがあります。ディスプレイによっては、リフレッシュレートの変更ができない場合もあります。

# サウンド機能を使う

本機のメインボード上には、7.1chサラウンド対応のサウンド機能が搭載されています。7.1chに対応したスピーカを接続すると、臨場感のあるサウンドを楽しむことができます。

本機にスピーカは内蔵されていません。本機からの音声を出力するには、スピーカを接続する必要があります。

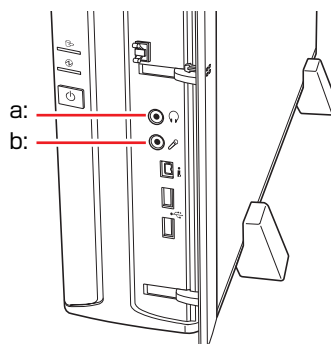
## ▶外部オーディオ機器などの接続

本機には、スピーカやマイクなどのオーディオ機器を接続するためのサウンドコネクタが装備されています。

オーディオ機器の接続方法については、オーディオ機器に添付されているマニュアルをご覧ください。

### 前面側

本機前面にあるサウンドコネクタの位置は次のとおりです。



**a: ヘッドフォン出力コネクタ**

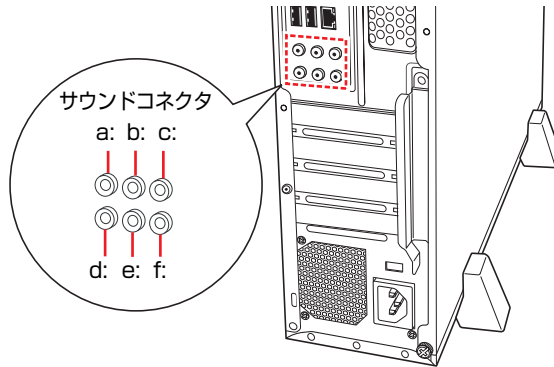
スピーカやヘッドフォンと接続して音声を出力します。







**b: マイク入力コネクタ**

マイクを接続して音声を入力します。

## 背面側

本機背面にあるサウンドコネクタの位置は次のとおりです。



- |   |  |
|---|--|
| <p><b>a: サイドスピーカ出力コネクタ</b> </p> <p>サイドスピーカと接続して音声を出力します。</p>                       | <p><b>d: マイク入力コネクタ</b> </p> <p>マイクと接続して音声を入力します。</p>  |
| <p><b>b: リアスピーカ出力コネクタ</b> </p> <p>リアスピーカと接続して音声を出力します。</p>                         | <p><b>e: フロントスピーカ/ライン出力コネクタ</b> </p> <p>フロントスピーカやヘッドフォンなどと接続して音声を出力します。通常のスピーカは、このコネクタに接続します。</p> |
| <p><b>c: センタースピーカ/サブウーファ出力コネクタ</b> </p> <p>センタースピーカやサブウーファスピーカと接続して音声を出力します。</p> | <p><b>f: ライン入力コネクタ</b> </p> <p>オーディオ機器と接続して音声を入力します。</p>                                      |


**参考**

#### 使用できるマイク

マイク入力コネクタに接続して使用できるマイクは、電源を必要とするコンデンサーマイクです。

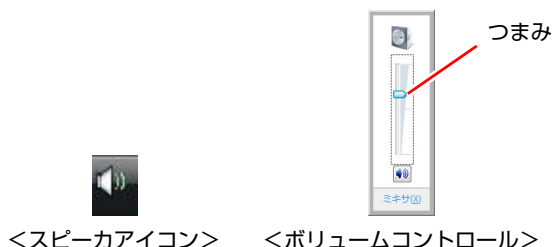
コンデンサーマイクには、次の2種類があります。

- コンセントなどから、電源供給するタイプ
- 乾電池やコンピュータから、電源供給するタイプ

## ▶音量の調節

---

スピーカを接続していて、Windows起動時に音が鳴らなかったり、音が小さすぎたり、大きすぎたりする場合は、次の方法で音量を調節します。画面右下の通知領域に表示されている「スピーカ」アイコンをクリックすると、「ボリュームコントロール」が表示されます。つまみを上下にドラッグして調節します。



## ▶音声の再生・録音

---

Windows標準のサウンドユーティリティを使うと、音声の再生・録音をすることができます。

### 音声の再生

音声の再生は、「Windows Media Player」を使用します。「Windows Media Player」は、次の場所から実行します。

【スタート】 - 【すべてのプログラム】 - 【Windows Media Player】

### 音声の録音

音声の録音は、「サウンドレコーダー」を使用します。「サウンドレコーダー」は、次の場所から実行します。

【スタート】 - 【すべてのプログラム】 - 【アクセサリ】 - 【サウンドレコーダー】

録音ボリュームの変更は、「サウンドユーティリティ」の「マイク」タブで行います。

## マイク使用時の設定

マイクで録音した音声を再生すると、録音した音が小さいことがあります。その場合は、次の手順で設定を変更し、録音してみてください。

- 1** [スタート] – 「コントロールパネル」 – 「ハードウェアとサウンド」 – 「サウンド」 – 「録音」 タブをクリックします。
- 2** 「マイク」 をダブルクリックして「マイクのプロパティ」画面を開きます。
- 3** 「カスタム」タブをクリックします。
- 4** 「マイクブースト」にチェックを付け [OK] をクリックします。  
これで設定は完了です。

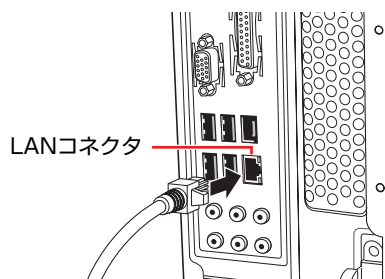
Windowsを再インストールした場合は、再度この設定が必要です。

# ネットワーク機能を使う

本機のメインボード上には、1000 Base-T/100 Base-TX/10 Base-Tに対応したネットワーク機能（LAN機能）が搭載されています。

ネットワーク機能を使用すると、ネットワークを構築したり、インターネットに接続したりすることができます。

ネットワーク機能を使用する場合は、本機背面のLANコネクタに市販のLANケーブルを接続します。




## ▶ネットワークの構築

ネットワークを構築するには、ほかのコンピュータと接続するために、LANケーブルやハブ（サーバ）などが必要です。そのほかに、Windows上でネットワーク接続を行うためには、プロトコルの設定なども必要になります。

ネットワークの構築方法は、ネットワーク機器に添付のマニュアルなどをご覧ください。



制限

- ネットワークに接続している場合に、省電力状態になると、省電力状態からの復帰時にサーバから切断されてしまうことがあります。  
このような場合は次のいずれかの方法をとってください。
  - ・ 再起動する。
  - ・ 省電力状態に移行しないように設定する。  
 p.122 「省電力状態に移行する方法」
- ネットワーク上のファイルなどを開いたまま省電力状態に移行すると、正常に通常の状態へ復帰できない場合があります。
- 本機のネットワーク機能では、リピータ・ハブを使用できません。

## ▶インターネットへの接続

インターネットへ接続する場合は、 p.104 「インターネットに接続するには」をご覧ください。

## ▶そのほかの機能

本機では、ネットワークを構築して接続環境を整えると、次のような機能を使用できます。

### WakeUp On LAN

WakeUp On LANとは、電源切断時にネットワークからの信号により本機を起動させることができる機能です。電源切断時は、Windowsを正常にシャットダウンした状態でのみ使用可能です。



#### WakeUp On LANを設定している場合

BIOSの設定で、WakeUp On LAN (Power on By PCI Devices・Power on By PCIE Devices) が有効に設定されているときに、電源コードを抜き、再び接続するとコンピュータが一瞬起動する場合があります。これは、不具合ではありません。

### リモートブート

リモートブートを使用すると、ネットワークを介して、あらかじめセットアップされたサーバー上からWindowsをインストールすることができます。



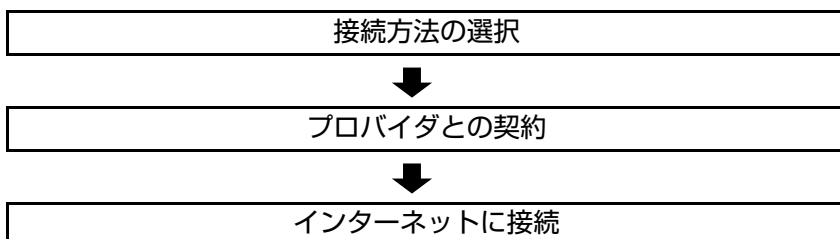
RAID 構成時は、リモートブートを使用できません。

# インターネットに接続するには

ホームページを見たり、電子メールをやり取りしたりするためには、インターネットへの接続が必要です。ここではインターネットへの接続の概要や、インターネットを利用するためのソフトウェアについて説明します。

## ▶接続するまでの流れ

インターネット接続までの流れは次のとおりです。



## ▶接続方法の選択とプロバイダとの契約

インターネットへ接続するには、接続方法を決め、その接続方法でサービスを提供しているプロバイダ（インターネットサービスプロバイダ、ISP）と契約します。

接続方法は、目的や使い方に合わせて選択しましょう。また、同じ接続方法でも、通信速度や料金、サポート内容はプロバイダによって異なります。詳しい内容はプロバイダにお問い合わせください。

### 接続方法の種類

高速なインターネット接続をブロードバンドと言い、光ファイバー、ADSL、CATVなどを利用した接続がそれにあたります。また、アナログ電話回線、ISDNなどでの低速な接続をナローバンドと言います。

接続方法	接続環境	インターネットでの通信速度イメージ
光ファイバー	ブロードバンド	
ADSL		
CATV		
ISDN	ナローバンド	
PHS		
携帯		
アナログ		

遅い 速い



インターネット接続の方法には、主に次のようなものがあります。

- 光ファイバー (FTTH)

ほかのブロードバンド接続と比べても、数段に速く安定しているため、映像などの大量のデータ転送も無理なくできます。また、インターネットと合わせてテレビや電話も利用することができます。

ただし、接続料金が高く、非対応の地域があります。

- ADSL

電話回線を利用します。インターネットをストレスなく使えます。通信速度は、プロバイダのプランから使い方に合わせて選ぶことができます。

利用電話局からの距離が遠くなるにつれ速度が遅くなってしまいますので、事前に速さの確認をする必要があります。

- CATV

ケーブルテレビのケーブルを利用します。インターネットをストレスなく使えます。

- そのほかの接続方法 (ナローバンド)

アナログ電話回線やISDN回線などを使った低速な接続方法があります。

### 参考

#### ダイヤルアップ接続

ブロードバンドは常時接続が一般的ですが、ナローバンドでは、必要時に電話回線を通じてインターネットに接続します。この作業をダイヤルアップ接続と言います。

## 必要な機器

インターネット接続に必要な機器は接続方法によって異なります。詳しくは各プロバイダにお問い合わせください。

## ▶ インターネットに接続する

プロバイダと契約すると、メールアドレスやパスワードなどインターネットへの接続に必要な情報と、接続手順が記載された説明書がプロバイダより提供されます。説明書に従って接続作業を行ってください。

### 参考

#### 再インストール後のインターネット接続

Windowsを再インストールした場合は、インターネットに接続するための設定作業が再度必要になります。プロバイダからの説明書はなくさないように大切に保管してください。

## ▶インターネットを使う上での注意


---

インターネットを使用すると、簡単に情報を得ることができたり、手軽にメッセージを送ったりすることができますが、その反面注意しなければならないことがあります。次の点に気を付けてインターネットを使用してください。

- 電子メールは途中経路の障害などにより、届かない場合もあります。
- 電子メールは世界中の多くのコンピュータを経由して届けられるため、第三者に内容を見られる可能性があります。
- インターネット上の情報は、必ずしも正しいとは限りません。正しい情報であるかどうかを十分に見極めて、有効に活用する必要があります。
- 安易に個人情報をホームページに掲載したり、電子メールで送ったりすると、悪用されることがあります。また、他人の個人情報を断りなくホームページに掲載したり、電子メールで送ったりすると法律で罰せられます。
- ホームページからダウンロードするデータによっては、本機が障害を被る可能性があります。
- コンピュータウイルスに感染すると、本機が障害を被る可能性があります。また、無許可のユーザーにインターネットを介して本機にアクセスされる可能性もあります。

ウイルスに感染する主な原因は次のとおりです。

- ・ ウイルスが添付されたメールを受信する
- ・ 悪質なプログラムが起動するホームページを閲覧する

これらの危険から本機を守る方法は、 p.109 「インターネットを使用する際のセキュリティ対策」をご覧ください。

## ▶インターネットや電子メールを利用する

---

本機では、次のソフトウェアを使用してインターネットや、電子メールを利用します。

- ホームページの閲覧：Internet Explorer（インターネットエクスプローラ）
- 電子メールの利用：Windowsメール

各ソフトウェアの使用方法は、次をご覧ください。

「インフォメーションメニュー」－「PCお役立ち情報」

## Windowsメールの初期設定

Windowsメールをはじめて起動する場合は、初期設定を行います。  
初期設定では、メールアドレスなどの接続に必要な情報を入力します。これらの情報は、プロバイダから提供された説明書をご覧ください。

初期設定方法は次のとおりです。

- 1** 「スタート」 - 「すべてのプログラム」 - 「Windowsメール」 をクリックします。
- 2** 「名前」と表示されたら、名前を入力して「次へ」 をクリックします。
- 3** 「インターネット電子メールアドレス」と表示されたら、プロバイダから取得したメールアドレスを入力して「次へ」 をクリックします。
- 4** 「電子メールサーバーのセットアップ」と表示されたら、プロバイダから指定されている受信メールサーバと送信メールサーバを入力して「次へ」 をクリックします。
- 5** 「インターネットメールログオン」と表示されたら、プロバイダから指定されているユーザー名とパスワードを入力して「次へ」 をクリックします。
- 6** 「設定完了」と表示されたら、「完了」 をクリックします。



### 参考

#### 設定を変更する

一度行った設定は、次の場所から変更することができます。

「ツール」メニュー - 「アカウント」 - 「追加」 - 「電子メールアカウント」

## Internet Explorerで情報バーが表示されたら

購入時のInternet Explorerは、セキュリティ強化のために、意図しないプログラムや実行ファイルのダウンロードについて警告するよう設定されています。Internet Explorer使用时、情報バーに警告が表示されたら、情報バーをクリックして、表示された項目から適切な対処をしてください。



<画面はイメージです>

## Internet Explorerの便利な追加機能

購入時、本機には便利な機能として、次のソフトウェアがインストールされています。

- JWord

「JWord」を使うと、アドレスバーを利用して、簡単に検索ができます。

JWordの詳しい使い方は、デスクトップ上にある「JWord」アイコンからマニュアルを開いてご覧ください。



<JWordアイコン>

- gooスティック

Internet Explorerのツールバーに、検索サービス「goo」の検索ボックスが設定されています。「gooスティック」を使うと、検索機能や辞書機能をいつでも利用することができます。

# インターネットを使用する際のセキュリティ対策

本機には、インターネットに接続した際に起こりうるコンピュータウイルス感染や不正アクセスなどの危険に対するセキュリティ機能が備えられています。ここでは、このセキュリティ機能について説明します。インターネットに接続する場合は、コンピュータの安全を守るため、必ずセキュリティ対策を行ってください。

## ▶ Windows Update

「Windows Update」は、本機のWindowsの状態を確認し、Windowsの更新プログラムをインターネットからダウンロードしてインストールする機能です。Windowsを最新の状態にするため、Windows Updateを行ってください。

### 自動更新の設定

本機を使用する際は、自動でWindows Updateが行われるように、自動更新の設定をすることをおすすめします。

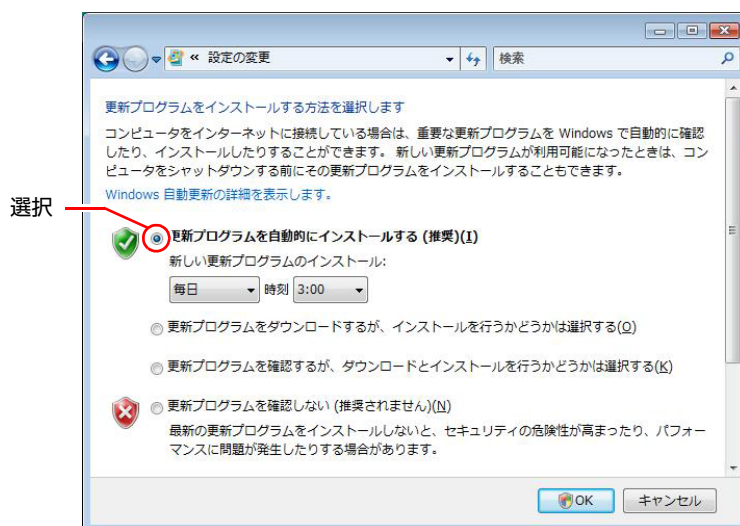
自動更新の設定がされていると、次の作業が自動で行われます。

- 重要な更新プログラムのダウンロード（インターネット接続時）
- 重要な更新プログラムのインストール（設定した時刻または設定した時刻より前にシャットダウンする際）

Windowsのセットアップ時に「Windowsを自動的に保護するよう設定してください」画面で「推奨設定を使用します」を選択した場合は、自動更新の設定がされています。そのまま使用してください。

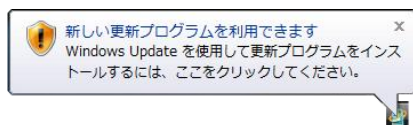
自動更新の設定は、次の場所で行います。

[スタート]－[すべてのプログラム]－[Windows Update]－[設定の変更]



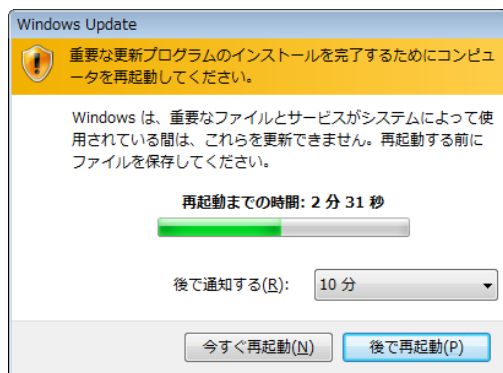
### 「新しい更新プログラムを利用できます」と表示されたら

重要な更新プログラムがダウンロードされると、画面右下に「新しい更新プログラムを利用できます」と表示されます。すぐに重要な更新プログラムをインストールしたい場合は、通知アイコンをクリックし、インストールをしてください。



### 再起動を促す画面が表示されたら

重要な更新プログラムのインストールが行われると、再起動を促す画面が表示されることがあります。作業中の場合はデータを保存してください。本機が再起動したら、インストールは完了です。



## ▶セキュリティソフトウェア

コンピュータウイルスは、インターネット上やメールの添付ファイルなどから感染する悪意のあるプログラムです。

コンピュータウイルスに感染すると、本機の動作が不安定になったり、保存してあるファイルが破壊されるなどの被害が発生します。

ウイルス感染を防ぐために、必ずウイルス対策を行ってください。

### Norton Internet Security 90日版を使う

本機には、ファイアウォールやウイルス対策機能、フィッシング詐欺検出機能を備えた「Norton Internet Security 90日版」が添付されています。購入時にNorton Internet Security 90日版はインストールされていませんので、必要に応じてインストールを行ってください。詳しくは、『セキュリティソフトウェアをご使用の前に』（別冊）をご覧ください。



#### 更新サービスの有効期限

本機に添付のNorton Internet Security 90日版は、製品版ではありません。更新サービスの有効期限は、セットアップ後90日間です。90日経過後は、更新サービスの延長キー（有償）を購入すると、1年間使用可能です。更新サービスの詳細は、『セキュリティソフトウェアをご使用の前に』をご覧ください。

### 市販のセキュリティソフトウェアを使う

市販のセキュリティソフトウェアを使用する場合は、ソフトウェア同士の競合を防ぐため、Norton Internet Security 90日版はインストールしないでください。インストールしていた場合は、アンインストール（削除）してください。アンインストール方法は、『セキュリティソフトウェアをご使用の前に』をご覧ください。

## ▶ファイアウォール

---

インターネットに接続していると、不正なアクセスにより、本機のデータやプログラムを勝手に見られたり、改ざんされたり、破壊されたりする可能性があります。「ファイアウォール」は、これらの不正アクセスを検出し、遮断する機能です。

不正アクセスを遮断するため、必ずファイアウォール機能を使用してください。

### Norton Internet Security 90日版のファイアウォール機能

本機に添付の「Norton Internet Security 90日版」には、ファイアウォール機能が備えられています。Norton Internet Security 90日版のセットアップを行うと、自動的にファイアウォール機能が有効になりますので、そのままお使いください。

### Windowsファイアウォールの設定

本機には、Windowsのファイアウォール機能が備えられています。

本機の状態によって、Windowsファイアウォールを次のように設定してください。

#### <ファイアウォール機能を持つソフトウェアを使用している場合>

ファイアウォール同士の競合を防ぐため、Windowsファイアウォールを「無効」に設定してください。ソフトウェアによっては、Windowsファイアウォールが自動で「無効」に設定される場合があります。

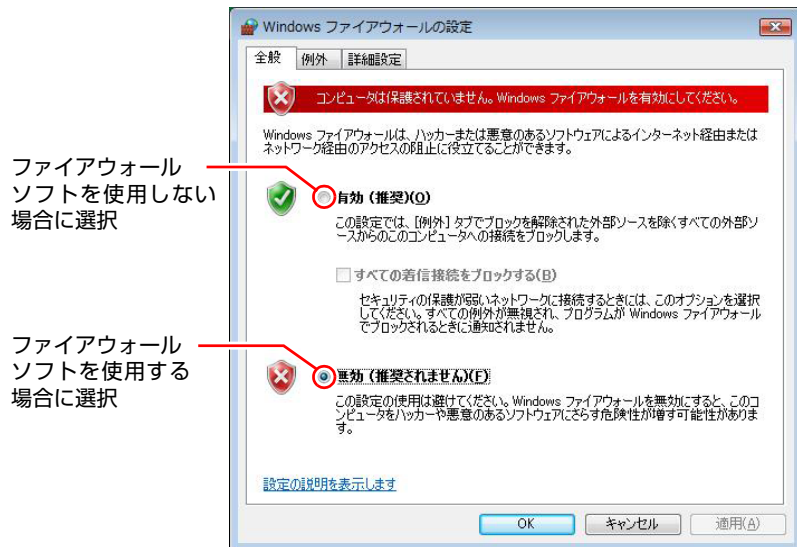
#### <ファイアウォール機能を持つソフトウェアを使用しない場合>

Windowsファイアウォールを「有効」に設定してください。



Windowsファイアウォールの有効/無効の設定は、次の場所から行います。

[スタート] - 「コントロールパネル」 - 「セキュリティ」 - 「Windows  
ファイアウォール」 - 「設定の変更」



## ▶ Windows Defender

Windows Vistaには、スパイウェアやそのほかのマルウェア（悪意のあるソフトウェア）を検出したり、駆除したりするツール「Windows Defender」が備えられています。

「Norton Internet Security 90日版」などのスパイウェア対策機能を持つソフトウェアを使用している場合は、機能が重複するため、Windows Defenderが自動で「無効」に設定される場合があります。この場合は、そのまま使用してください。スパイウェア対策機能を持つソフトウェアなどを使用しない場合は、Windows Defenderを使用してください。

Windows Defenderは次の場所から起動します。

[スタート] - 「コントロールパネル」 - 「セキュリティ」 - 「Windows  
Defender」

## ▶フィッシング詐欺検出機能

フィッシング詐欺とは、金融機関などのメールやホームページを装い、ユーザーに暗証番号やクレジットカード番号を入力させて、個人情報を搾取する詐欺のことです。

本機には、「フィッシング詐欺検出機能」が搭載されています。セキュリティを守るため、機能を使用してください。

### Norton Internet Security 90日版のフィッシング詐欺検出機能

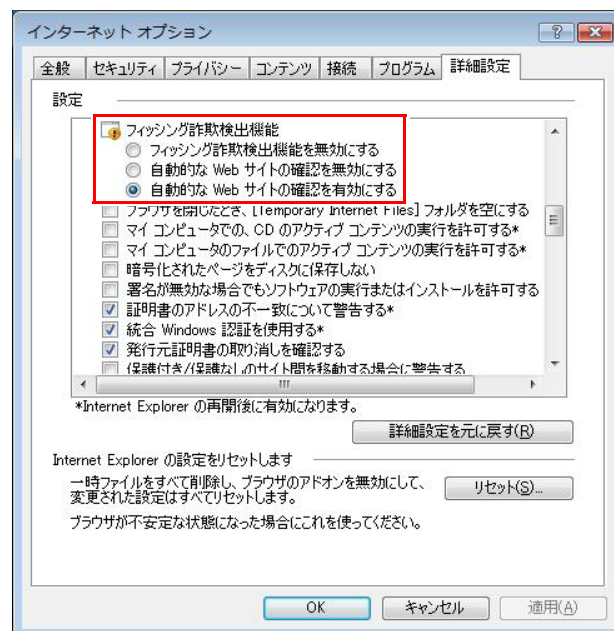
本機に添付のセキュリティソフト「Norton Internet Security 90日版」には、フィッシング詐欺検出機能が備えられています。機能を「有効」にしてお使いください。

### Internet Explorerのフィッシング詐欺検出機能

ホームページ閲覧ソフト「Internet Explorer」には、フィッシング詐欺検出機能が備えられています。「Norton Internet Security 90日版」などのフィッシング詐欺検出機能を「有効」にしている場合は、機能が重複するため、Internet Explorerの機能が自動で「無効」に設定される場合があります。そのまま使用してください。フィッシング詐欺検出機能を持つソフトウェアなどを使用しない場合は、Internet Explorerの機能を「有効」に設定してください。

Internet Explorerのフィッシング詐欺検出機能の有効/無効の設定は、次の場所で行います。

#### Internet Explorerの「ツール」－「フィッシング詐欺検出機能」－「フィッシング詐欺検出機能の設定」－「詳細設定」タブ－「フィッシング詐欺検出機能」



## ▶Webフィルタリングソフトウェア

Webフィルタリングとは、インターネット上の有害なサイトを見せないようにするための技術です。Webフィルタリングは万全ではありません。ただし、有害サイトへのアクセスを自動的に制限することができます。


### i-フィルター 30日版を使う

本機には、「Webフィルタリング」機能を持つ「i-フィルター 30日版」が添付されています。

家庭内でお子様がコンピュータを使用する際に、有害なサイトへのアクセスを制限したいときなどは、i-フィルター 30日版を使用することをおすすめします。

### i-フィルター 30日版のインストール

購入時、本機にはi-フィルター 30日版はインストールされていません。

インストール方法は、 p.196 「i-フィルター 30日版のインストール」をご覧ください。

市販のWebフィルタリングソフトウェアを使用する場合は、ソフトウェア同士の競合を防ぐため、i-フィルター 30日版はインストールしないでください。

### i-フィルター 30日版の使用方法

i-フィルター 30日版をインストールすると、フィルター設定が有効になり、有害サイトにアクセスしようとする、自動的にブロックされます。

初期設定では、フィルター強度は中学生向けです。フィルター強度は、ユーザー別に設定できます。必要に応じて、「設定メニュー」画面で設定を変更してください。

「設定メニュー」画面の表示方法は、次のとおりです。

#### 1 通知領域の「i-フィルター」アイコンをクリックします。



<i-フィルターアイコン>

## 2 「パスワード確認」画面が表示されたら、管理パスワードを入力して [OK] をクリックします。

「設定メニュー」画面が表示されます。

i-フィルター 30日版の詳しい使用方法は、ヘルプをご覧ください。



ファイアウォール機能による警告画面が表示された場合はセキュリティソフトウェアのファイアウォール機能を有効にしている場合、インターネット閲覧時に「i-フィルター 30日版」でのインターネットアクセスに関する警告が表示されることがあります。この場合は、「i-フィルター 30日版」の使用を許可してください。

### i-フィルター 30日版の利用期限

i-フィルター 30日版の利用期限は、セットアップ後30日間です。利用期限が過ぎると、フィルター機能が停止します。

#### <継続して利用する場合>

継続利用の手続き（有償）をオンラインで行ってください。

 p.117 「i-フィルター 30日版のサポート」



本機に添付の i-フィルター 30日版は、「i-フィルター更新パック」で継続利用手続きを行うことはできません。

<継続して利用しない場合>

i-フィルター 30日版のアンインストールを行ってください。

i-フィルター 30日版のアンインストール方法は、デジタルアーツ社のホームページの「よくある質問」をご覧ください。

 p.117 「i-フィルター 30日版のサポート」

### i-フィルター 30日版のサポート

i-フィルター 30日版のサポートは、デジタルアーツ社で行います。

よくあるご質問と回答・サポート窓口・継続利用手続き・サービスページなどについては、デジタルアーツ社の次のホームページをご覧ください。

[http://www.daj.jp/cs/ifpe/sup\\_dl.htm](http://www.daj.jp/cs/ifpe/sup_dl.htm)

なお、このサポート情報は、予告なく変更される場合があります。

# 電源設定を行う（省電力機能を使う）

ここでは、本機の電源の設定について説明します。

## ▶電源プランの設定

本機には、次の3つの電源プランが用意されています。電源プランの選択により電力消費を抑えたり、パフォーマンスを優先させたりすることができます。使い方に合わせた電源プランを選択して本機を使用してください。

- バランス

パフォーマンスと電力消費のバランスを考えたプランです。

- 省電力

コンピュータの電力消費を抑えるプランです。パフォーマンスは低下します。

- 高パフォーマンス

電力消費は抑えずに、パフォーマンスを優先させるプランです。

電源プランの選択は、次の場所から行います。

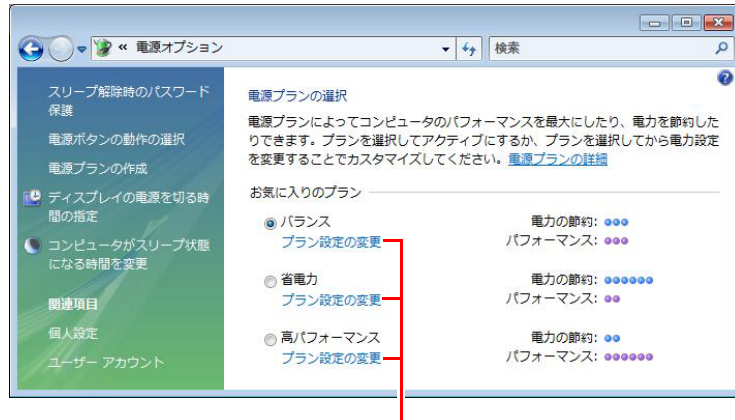
[スタート] - 「コントロールパネル」 - 「システムとメンテナンス」 - 「電源オプション」



購入時は「バランス」に設定されています。


## 電源プランの内容変更

電源プランの内容（省電力の設定など）は、変更することができます。変更は、各プランの「プラン設定の変更」から行います。



プラン内容の変更

「プラン設定の変更」では、本機が省電力状態に移行するまでの時間の設定などを行うことができます。

 p.122 「省電力状態に移行する方法」

## ▶本機を省電力状態にする

本機を使用していない間、省電力状態にしておくと、電力の消費を抑えることができます。ここでは、省電力状態に移行する方法や、省電力状態からの復帰方法について説明します。

### 省電力状態へ移行する際の制限

省電力状態に移行する際には、次のような制限事項があります。移行する前に確認して正しくお使いください。

- 省電力状態に移行する場合は、万一正常に復帰しない場合に備え、使用中のデータ（作成中の文書やデータなど）は保存しておいてください。
- 次のような場合は、省電力状態に移行しないことがあります。
  - ・ 周辺機器を接続している
  - ・ ソフトウェアを起動している

- 次のような場合に省電力状態に移行すると、不具合が発生する可能性があります。省電力状態に移行しないように設定してください。



p.122 「省電力状態に移行する方法」

- 光ディスクメディアへの書き込み時：書き込みに失敗する可能性
  - サウンド機能で録音、再生時：録音や再生が途中で切断される可能性
  - メモリカードや外部接続記憶装置（USB FDDなど）へのデータ書き込み時：データ破損の可能性
  - FAXモデムやネットワーク機能を使つての通信時：通信が切断される可能性
  - 動画再生時：コマ落ちしたりソフトウェアの動作が遅くなるなどの現象が発生する可能性
- 次のような場合は、省電力状態から正常に復帰できないことがあります。
    - 省電力状態で周辺機器などの抜き差しを行った場合
    - ネットワーク上のファイルなどを開いたまま省電力状態に移行した場合
  - ネットワークに接続している場合に、省電力状態に移行すると、省電力状態からの復帰時にサーバから切断されてしまうことがあります。  
このような場合は、次のいずれかの方法をとってください。
    - 再起動する
    - 省電力状態に移行しないように設定する



p.122 「省電力状態に移行する方法」

## 省電力状態の種類

省電力状態には、主に次のようなものがあります。

- **ディスプレイの電源を切る**  
省電力の効果はスリープ状態より低いですが、通常の状態にすぐに復帰できます。
- **スリープ状態**  
作業中の内容を一時的に保存し、コンピュータを低電力の状態にします。ディスプレイの電源が切れ、電源ランプがオレンジ色に点灯します。通常の状態へは数秒で復帰できます（使用環境により復帰時間は異なります）。スリープ状態には次の2つがあり、作業中の内容の保存方法が異なります。
  - **ハイブリッドスリープ（初期値）**  
普通のスリープと休止状態を合わせたスリープです。  
作業中の内容はメモリとHDDの両方に保存されます。
  - **普通のスリープ**  
作業中の内容はメモリのみに保存されます。
- **休止状態**  
作業内容をHDDに保存し、コンピュータを低電力の状態にします。ディスプレイの電源が切れ、電源ランプが消灯します。シャットダウン状態からよりも早く通常の状態へ復帰できます（使用環境により復帰時間は異なります）。




## 休止状態を有効にする


本機では、休止状態が無効に設定されています。休止状態を有効にするには設定を行ってください。

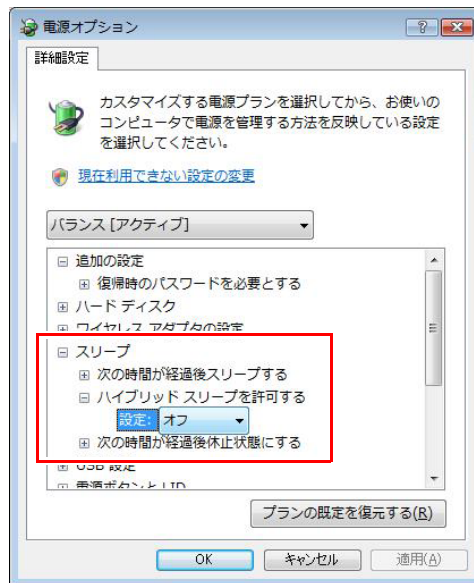


休止状態を有効にすると、スリープ状態がハイブリッドスリープから普通のスリープに変わります。

 p.120 「省電力状態の種類」

休止状態を有効にする方法は次のとおりです。

- 1  p.119 「電源プランの内容変更」で、休止状態を有効にしたいプランの「プラン設定の変更」をクリックし、「詳細な電源設定の変更」をクリックします。
- 2 「スリープ」－「ハイブリッドスリープを許可する」を「オフ」に設定します。
- 3 [OK] をクリックします。



## ▶省電力状態に移行する方法

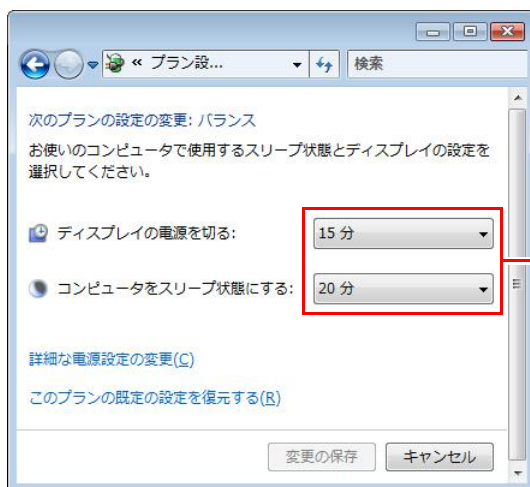
本機を省電力状態にするには、時間経過で移行する方法と直ちに移行する方法があります。

### 時間経過で移行する

コンピュータを操作しない状態で、「電源プラン」で設定されている時間が経過すると、本機は自動的に省電力状態に移行します。初期値ではまずディスプレイの電源が切れ、そのまま操作しないと続いてコンピュータがスリープ状態になります。

省電力状態に移行する（ディスプレイの電源を切る、コンピュータをスリープ状態にする）までの時間は、次の場所を変更することができます。

[スタート] - 「コントロールパネル」 - 「システムとメンテナンス」 - 「電源オプション」 - 各プランの「プラン設定の変更」



時間を設定

### 参考

#### 時間経過で移行させない

光ディスクメディアやメモリカードへ書き込みを行う場合などは、時間経過で省電力状態に移行する設定を無効にします。時間を全て「なし」に設定してください。

## 直ちに移行する

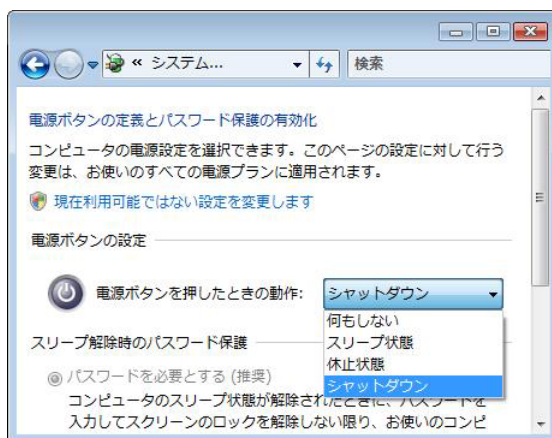
次の操作をすると、本機はすぐに省電力状態に移行します。


操作	省電力状態の種類
[スタート] - [⏻] をクリックする	スリープ状態 (初期値)
キーボードのSleepキー (⌘) を押す	スリープ状態
[スタート] - [▶] から項目を選択する	スリープ状態、休止状態*、シャットダウン

\*購入時は表示されません。

電源スイッチを押したときにも、省電力状態に移行することができます。設定は、次の場所から行います。

[スタート] - 「コントロールパネル」 - 「システムとメンテナンス」 - 「電源オプション」 - 「電源ボタンの動作の選択」



休止状態を選択したい場合は、 p.121 「休止状態を有効にする」を参照して設定を有効にしてください。

## 電源ランプの表示

本機の電源の状態は、電源ランプ (①) で確認できます。

電源の状態	電源ランプの表示
通常の状態	点灯（黄緑色）
ディスプレイの電源が切れている状態	点灯（黄緑色）
スリープ状態	点灯（オレンジ色）
休止状態	消灯
電源切断時（シャットダウン時）	消灯

## 省電力状態からの復帰方法

本機を省電力状態から通常の状態に復帰させる方法は、次の通りです。

省電力状態	電源ランプの表示	復帰方法
ディスプレイの電源が切れている状態	点灯 （黄緑色）	マウスやキーボードを操作する（誤って電源スイッチを押さないでください）
スリープ状態	点灯 （オレンジ色）	<ul style="list-style-type: none"><li>電源スイッチを押す</li><li>キーボードのPowerキーを押す</li><li>マウスを操作する（USB接続の場合）</li></ul>
休止状態	消灯	<ul style="list-style-type: none"><li>電源スイッチを押す</li><li>キーボードのPowerキーを押す</li></ul>


# そのほかの機能

## ▶パラレルコネクタ

本機背面にはパラレルコネクタが1個搭載されています。パラレルコネクタには、パラレルコネクタに対応した機器（プリンタやスキャナなど）を接続します。

本機ではパラレルポートの機能や使用するアドレスを変更することができます。通常はパラレルポートの設定を変更する必要はありません。使用する周辺機器で指示がある場合には、「BIOS Setupユーティリティ」の次の項目を変更してください。

「Advanced」メニュー画面 - 「Onboard Devices Configuration」 - 「Parallel Port」


 p.161 「BIOS Setupユーティリティの操作」

## ▶シリアルコネクタ（オプション）

本機購入時にオプション選択された場合、本機背面にはシリアルコネクタが1個搭載されています。シリアルコネクタには、シリアルコネクタに対応した機器（マウスやFAXモデム、ターミナルアダプタなど）を接続します。

本機ではシリアルポートで使用するアドレスや割り込み信号を変更することができます。通常はシリアルポートの設定を変更する必要はありません。使用する周辺機器で指示がある場合には、「BIOS Setupユーティリティ」の次の項目を変更してください。

「Advanced」メニュー画面 - 「Onboard Devices Configuration」 - 「Serial Port」

 p.161 「BIOS Setupユーティリティの操作」

## ▶IEEE1394コネクタ

本機には、IEEE1394コネクタが前面に1個（4ピン）、背面に1個（6ピン）用意されています。IEEE1394コネクタには、IEEE1394対応の機器を接続します。

### 接続と取り外し

IEEE1394機器の接続、取り外しは、電源が入った状態で行うことができます。通知領域に「取り外し」アイコンが表示された場合は、Windows上での終了処理が必要です。詳しくは、接続する機器に添付のマニュアルをご覧ください。



<取り外しアイコン>

## ▶SpeedStep（スピードステップ）機能

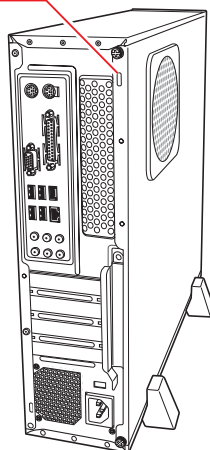
<スピードステップ機能を持つプロセッサ搭載時>

本機では、スピードステップ機能が働いています。スピードステップ機能とは、本機使用時のCPUの使用率にあわせて、CPUの処理速度を調整し、本機を省電力で動作させる機能です。

## ▶セキュリティロックスロット

本機背面には、セキュリティロックスロットが搭載されています。ここには、専用の盗難抑止ワイヤーを取り付けます。

セキュリティロックスロット



当社では、専用の盗難抑止ワイヤーを取り扱っています。詳しくは当社のホームページをご覧ください。

ホームページのアドレスは次のとおりです。

<http://epsondirect.jp/>

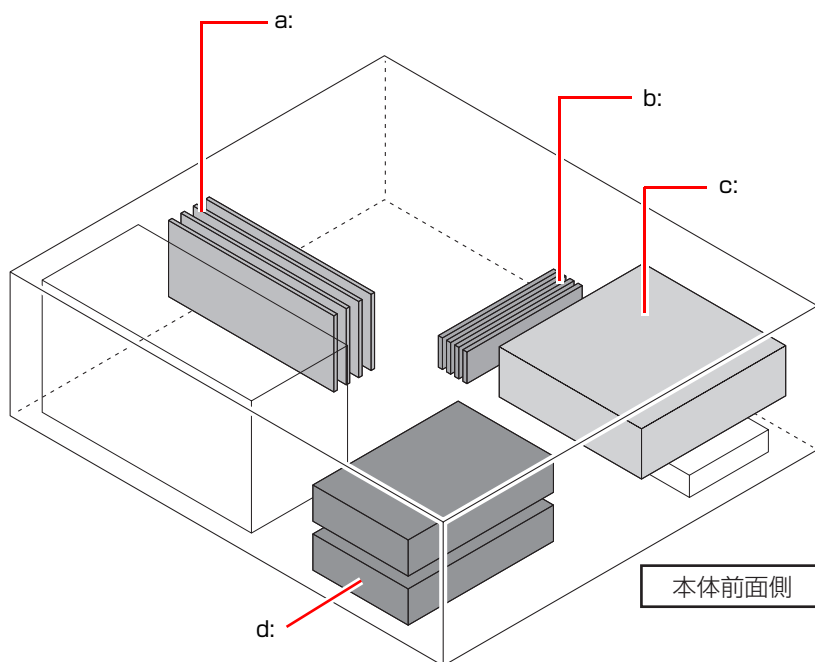
# 第3章 システムの拡張

装置の増設・交換方法について説明します。

「拡張できる装置」 .....	128
「作業時の注意」 .....	130
「拡張時の準備作業」 .....	131
「メモリの装着」 .....	136
「拡張ボードの装着」 .....	143
「ドライブ装置とコネクタの接続」 .....	147
「光ディスクドライブの交換」 .....	150
「HDDの装着」 .....	154

# 拡張できる装置


本機では、次の各部に装置を増設・交換して機能を拡張することができます。ただし、購入時にいくつかの装置がすでに装着されているため、実際に拡張できる装置の数は異なります。



## a: 拡張スロット


拡張スロットには、次の拡張ボードを装着することができます。

- ・ PCI Express x16ボード 1枚
- ・ PCIボード 2枚
- ・ PCI Express x4ボード 1枚

 p.143 「拡張ボードの装着」


## b: メモリスロット

メモリスロットには、メモリを2組4枚（最大3GBまで）装着することができます。

 p.136 「メモリの装着」


## c: 5.25型ドライブベイ

5.25型ドライブベイには、S-ATA仕様の光ディスクドライブが1台装着されています。S-ATA仕様の光ディスクドライブと交換することができます。

 p.150 「光ディスクドライブの交換」

## d: HDDベイ

HDDベイには、S-ATA仕様の3.5型HDDを2台装着することができます。

 p.154 「HDDの装着」



## アップグレードサービス

当社では、コンピュータ本体をお預かりして装置の増設・交換を行うアップグレードサービスを有償で行っています。

本機では次の装置のアップグレードサービスを利用できます。

- メモリ : 増設・交換
- 内蔵HDD : 増設・交換
- 光ディスクドライブ : 交換

アップグレードサービスをご希望の場合は、カスタマーサービスセンターにご相談ください。カスタマーサービスセンターの連絡先は、『サポート・サービスのご案内』（別冊）をご覧ください。

# 作業時の注意

本機内部に装置を装着する場合は、必ず次の点を確認してから作業を始めてください。



- 作業するときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。電源プラグを抜かないで作業すると、感電・火傷の原因となります。
- マニュアルで指示されている以外の分解や改造はしないでください。けがや感電・火災の原因となります。



- 装置の増設・交換は、本機の内部が高温になっているときには行わないでください。火傷の危険があります。作業は電源を切って10分以上待ち、内部が十分冷めてから行ってください。
- 不安定な場所（ぐらついた机の上や傾いた所など）で、作業をしないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。
- メモリの切り欠きとメモリスロット内の仕切りは、確実に合わせてください。メモリの向きを間違えると、正しく装着できません。間違った状態で使用すると、発煙や発火のおそれがあります。



- 本機から周辺機器を必ず取り外してください。
- 取り付けを行う際は、取り付ける装置に添付されているマニュアルを必ず参照してください。
- 本機内部のケースや基板には突起があります。装着作業の際には、けがをしないよう注意してください。
- 作業を行う前に金属製のものに触れて静電気を逃がしてください。メモリや本機に静電気が流れると、基板上の部品が破損するおそれがあります。
- 本機内部にネジや金属などの異物を落とさないでください。
- メモリや拡張ボードを持つときは、端子部や素子に触れないでください。破損や接触不良による誤動作の原因になります。
- 固定プラグが確実に閉じていない場合、メモリがしっかりと固定されていない可能性があります。再度、メモリの向きを確認し、固定プラグが確実に閉じるまで、しっかりとメモリを押し込んでください。
- 装置は落とさないように注意してください。強い衝撃が、破損の原因になります。
- メモリや拡張ボードの着脱は、頻繁に行わないでください。必要以上に着脱を繰り返すと、端子部などに負担がかかり、故障の原因になります。

# 拡張時の準備作業

装置の拡張作業を行う場合は次の準備作業が必要です。各装置の拡張手順に従って、必要に応じて作業を行ってください。



作業するときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。  
電源プラグを抜かないで作業すると、感電・火傷の原因となります。

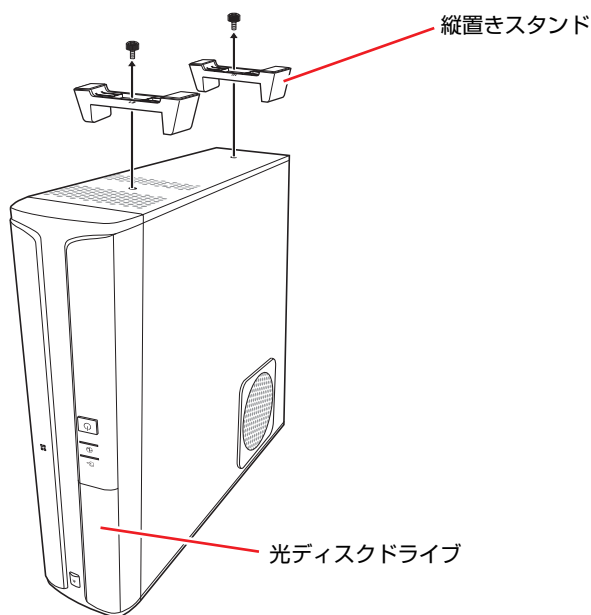
## ▶本体カバーとリンクバーの取り外し/取り付け

本機の内部に装置を装着する場合は、本体カバーとリンクバーを外してください。

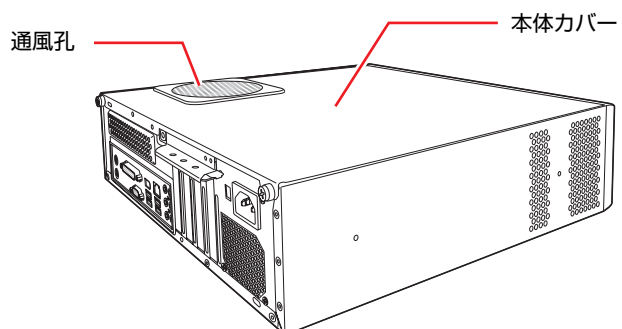
### 取り外し

本体カバーとリンクバーの取り外し方法は次のとおりです。

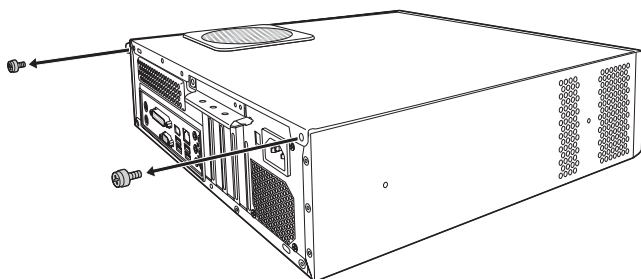
- 1** コンピュータ本体および接続されている周辺機器の電源を切ります。  
作業直前まで本機が動作していた場合は、本機内部が冷えるまで10分以上放置してください。
- 2** コンピュータ本体に接続されているケーブル類（電源コードなど）をすべて外します。
- 3** 本機を縦置きで使用している場合は、光ディスクドライブを下にして、縦置きスタンドを取り外します。



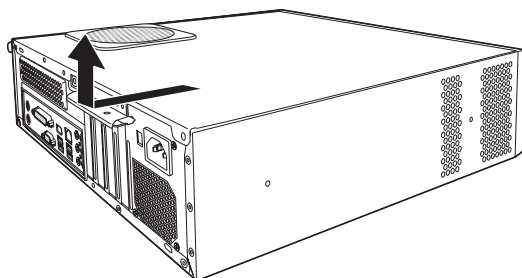
- 4** 通風孔がある側面が上になるように、本体を横置きします。



- 5** 本機背面のネジ（2本）を外します。

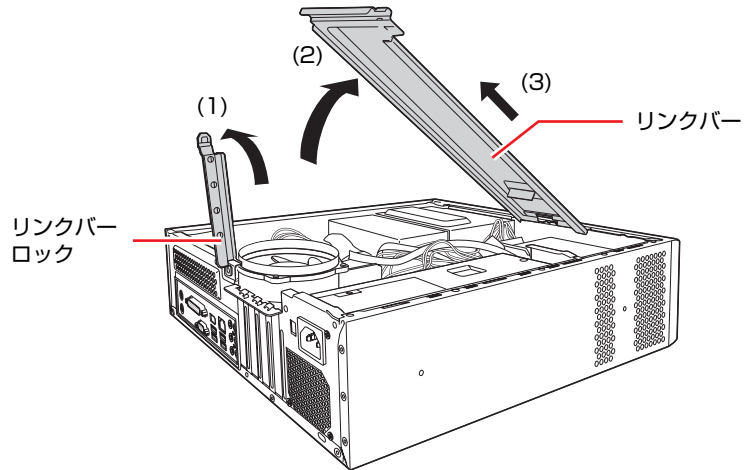


- 6** 本体カバーを背面側へスライドさせ、上へ持ち上げて取り外します。



**7** リンクバーを取り外します。

- (1) リンクバーロックを矢印の方向へ開きます。
- (2) リンクバーを矢印の方向へ開きます。
- (3) リンクバーを引き抜きます。



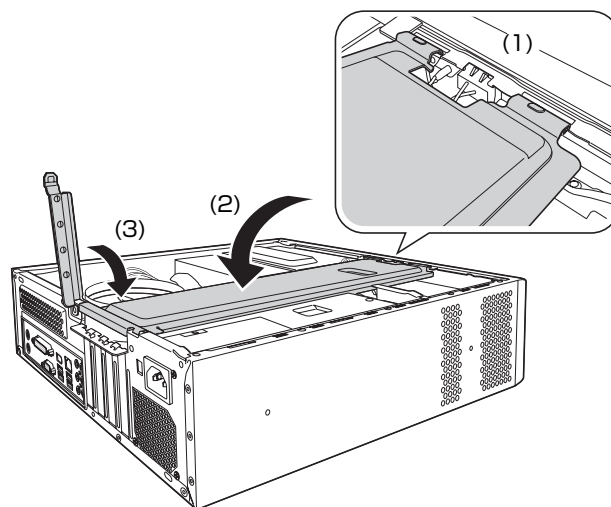
3

## 取り付け

リンクバーと本体カバーを取り付ける手順は、次のとおりです。

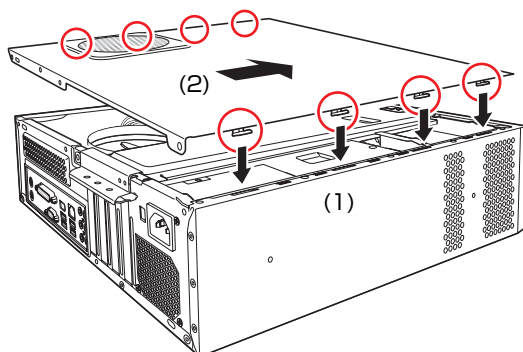
**1** リンクバーを取り付けます。

- (1) リンクバーを本体の穴へ差し込みます。
- (2) リンクバーを矢印の方向へ閉じます。
- (3) リンクバーロックを閉じます。



**2** 本体カバーを取り付けます。

- (1) 本体カバーのツメ（上下で8箇所）を、本体の穴にはめ込みます。
- (2) 本体背面から前側に向けてスライドします。



**3** ネジ（2本）で本機背面と本体カバーを固定します。

**4** 縦置きで使用する場合は、光ディスクドライブを下にして、縦置きスタンドを取り付けます。

縦置きスタンドを取り付けたら、スタンドを下にして置きます。

**5** コンピュータを使用できるように取り外したケーブル類（電源コードなど）を本機に接続します。

これで本体カバーとリンクバーの取り付けは完了です。


## ▶フロントパネルの取り外し/取り付け

メモリの装着や光ディスクドライブの交換をする際は、フロントパネルを取り外す必要があります。

### 取り外し

フロントパネルの取り外し方法は次のとおりです。

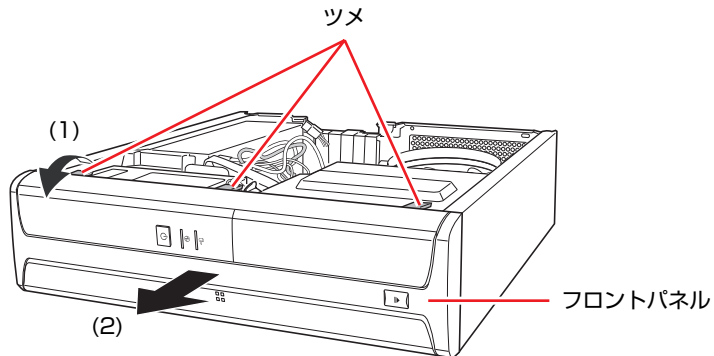
#### 1 本体カバーとリンクバーを取り外します。

 p.131 「本体カバーとリンクバーの取り外し/取り付け」

#### 2 フロントパネルを取り外します。

(1) フロントパネルの3つのツメを、本体フレームから外します。

(2) フロントパネルを、矢印の方向へ取り外します。



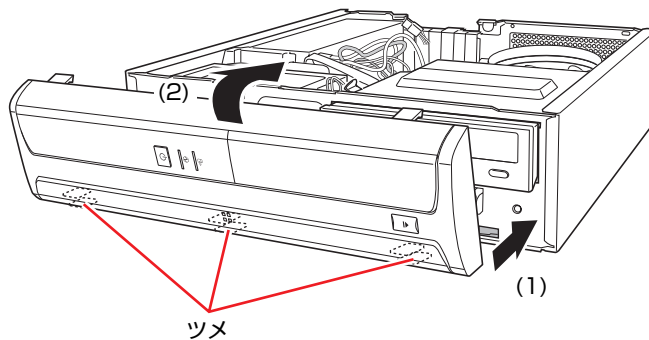
### 取り付け

フロントパネルの取り付け方法は次のとおりです。

#### 1 フロントパネルを取り付けます。

(1) フロントパネル下側の3つのツメを、本体フレームの穴に差し込みます。

(2) フロントパネルを、カチッと音がするまで矢印の方向へ起こします。



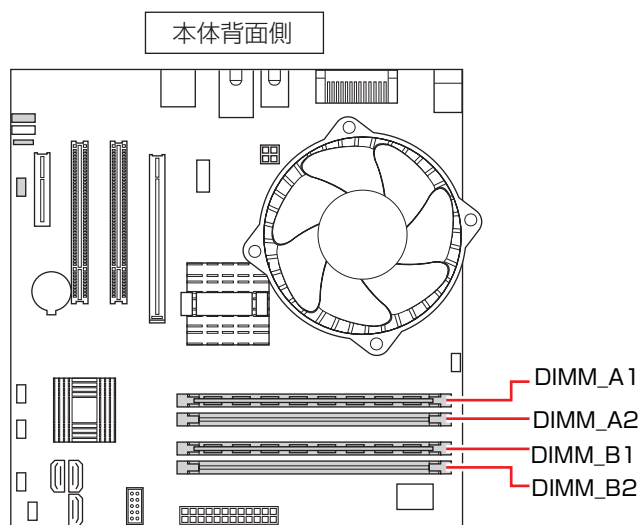
# メモリの装着

本機で使用可能なメモリの仕様と、メモリの取り付け/取り外し方法について説明します。

## ▶メモリの仕様

本機にはメモリスロットが4つあり、メモリを増設・交換することにより最大3GB (1024MB×2+512MB×2) まで拡張できます。

本機では、同一容量のメモリを2枚1組で使用します。購入時、DIMM\_A1とDIMM\_B1スロットには、あらかじめ1組のメモリが取り付けられています (購入時の選択により、メモリの容量と組数は異なります)。



本機で使用可能なメモリは、次のとおりです。

- PC2-6400 (DDR2-800 SDRAM使用)
- メモリ容量 256MB、512MB、1024MB
- Non ECC
- 240ピン
- CL=5

## 最新メモリ情報

今後、新しいメモリを取り扱う場合があります。  
本機で使用可能な最新のメモリは、当社ホームページでご確認ください。  
ホームページのアドレスは、次のとおりです。

<http://epsondirect.jp/>



## ▶メモリ装着の組み合わせと順番

本機のメモリスロットにメモリを装着する場合は、次の点に注意してください。

- DIMM\_A1とDIMM\_B1スロットから取り付けます。
- 同一容量のメモリを2枚1組で装着してください。

本機は同一容量のメモリを2枚1組で使用することにより、高速なメモリ転送速度を実現しています。


なお、メモリを2組装着する場合、1組目と2組目の容量が異なっていても問題はありません。

2組のメモリを装着する場合のスロットの組み合わせと順番は、次のとおりです。

メモリ装着順	メモリスロット
1組目	DIMM_A1スロット+DIMM_B1スロット
2組目	DIMM_A2スロット+DIMM_B2スロット



3

## ▶メモリの取り付け/取り外し


作業を始める前に  p.130 「作業時の注意」を必ずお読みください。  
作業は、本機を横置きに行ってください。

### 取り付け

メモリの取り付け方法は次のとおりです。

- 1 コンピュータ本体および接続されている周辺機器の電源を切ります。**  
作業直前まで本機が動作していた場合は、本機内部が冷えるまで10分以上放置してください。
- 2 コンピュータ本体に接続されているケーブル類（電源コードなど）をすべて外します。**
- 3 本体カバーとリンクバーを取り外します。**  
 p.131 「本体カバーとリンクバーの取り外し/取り付け」
- 4 PCI Express x16スロットに拡張ボードが装着されていて作業の妨げになる場合は、拡張ボードを外します。**  
 p.144 「拡張ボードの取り付け/取り外し」

**5** フロントパネルを取り外します。

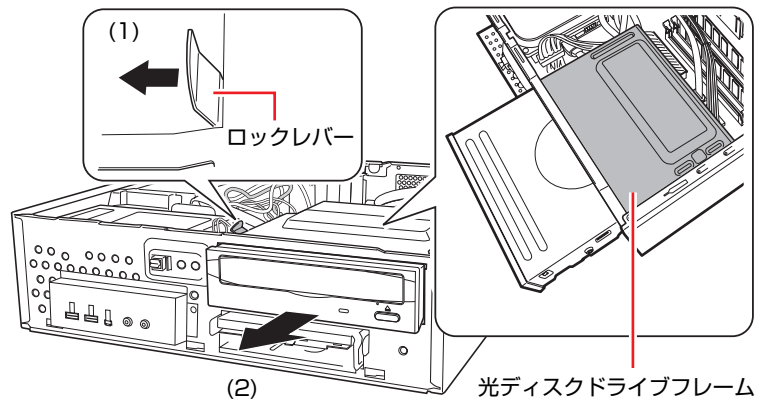
 p.135 「フロントパネルの取り外し/取り付け」

**6** メモリを取り付けやすくするために、光ディスクドライブを前面側へスライドさせます。

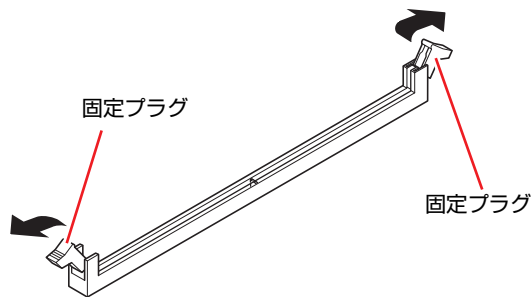
(1) ロックレバーを矢印の方向へ引きます。

(2) ロックレバーを引いた状態のまま、光ディスクドライブを前面へスライドさせます。

光ディスクドライブの背面が、光ディスクドライブフレームに隠れるまでスライドさせます。

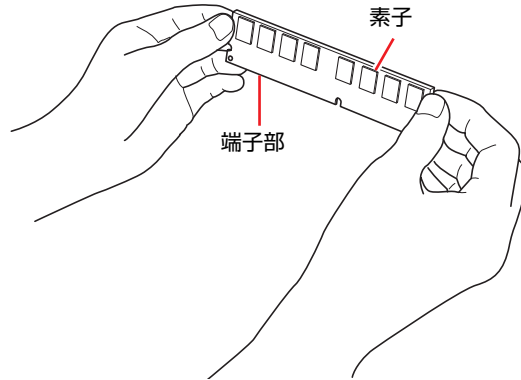


**7** メモリスロット両端の固定プラグを開きます。



**8** メモリを静電防止袋から取り出します。

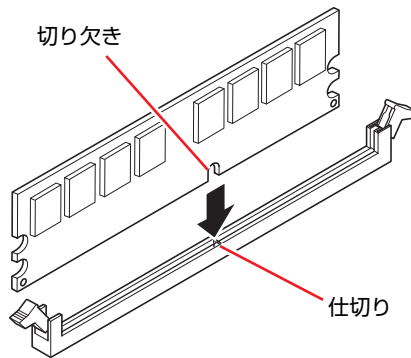
メモリの端子部や素子に触れないように注意します。

**9** メモリスロットにメモリを差し込みます。

(1) メモリの切り欠きをメモリスロット内の仕切りに合わせます。



メモリの切り欠きとメモリスロット内の仕切りは、確実に合わせてください。メモリの向きを間違えると、正しく装着できません。間違った状態で使用すると、発煙や発火のおそれがあります。



(2) メモリを押し込むと、カチッと音がして自動的に固定プラグが閉じ、メモリが固定されます。

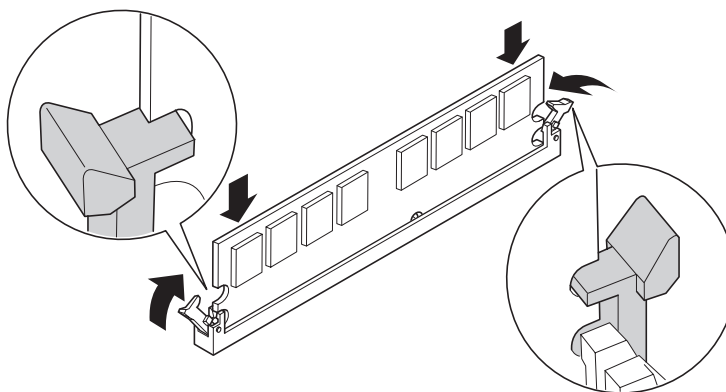
メモリスロット両端の固定プラグが確実に閉じて、メモリが固定されたことを必ず確認してください。




制限

固定プラグが確実に閉じていない場合、メモリがしっかりと固定されていない可能性があります。

再度、メモリの向きを確認し、固定プラグが確実に閉じるまで、しっかりとメモリを押し込んでください。

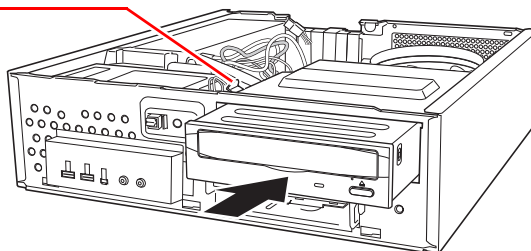


本機では、メモリを2枚1組で取り付けるため、該当するメモリスロット2本に対して、それぞれ作業を行ってください。


 p.137 「メモリ装着の組み合わせと順番」

**10** 光ディスクドライブを、ロックレバーが「カチッ」というまで押し込みます。


ロックレバー





**11** フロントパネルを取り付けます。


 p.135 「フロントパネルの取り外し/取り付け」

**12** 手順4で拡張ボードを外した場合は、もとどおりに装着します。

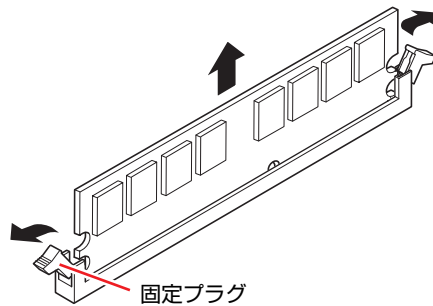
 p.144 「拡張ボードの取り付け/取り外し」

- 13** リンクバーと本体カバーを取り付けます。  
 p.131 「本体カバーとリンクバーの取り外し/取り付け」
- 14** コンピュータを使用できるように、取り外したケーブル類（電源コードなど）を接続します。
- 15** コンピュータの電源を入れて、メモリの容量を確認します。  
 p.142 「メモリの増設・交換後の作業」

## 取り外し


メモリの取り外しは、 p.137 「取り付け」の手順7～9を次の手順に読み替えて行ってください。

- 1** メモリの両端を固定している固定プラグを開きます。



- 2** メモリが外れたら静かに取り外します。  
静電気防止袋に入れて保管してください。
- 3** 固定プラグを閉じておきます。

本機では、メモリを2枚1組で取り付けるため、該当するメモリスロット2本に対して、それぞれ作業を行ってください。

 p.137 「メモリ装着の組み合わせと順番」


## ▶メモリの増設・交換後の作業

---

メモリの増設・交換をしたら、メモリが正しく取り付けられているかどうか、必ずメモリ容量を確認します。


メモリ容量の確認方法は次のとおりです。

- 1 コンピュータの電源を入れたら、**Delete** を押して「BIOS Setupユーティリティ」を起動します。

 p.161 「BIOS Setupユーティリティの操作」

- 2 「Main」メニュー画面－「System Information」－「Usable Size」に表示されているメモリ容量を確認します。

- 3 **F10** を押してBIOS Setupユーティリティを終了します。

 p.165 「BIOS Setupユーティリティの終了」

手順2で総メモリ容量が正しく表示されない場合は、メモリが正しく取り付けられていないことが考えられます。すぐに電源を切り、メモリを正しく取り付けなおしてください。



### 参考

#### メモリ容量の表示

本機では、メインメモリの一部をビデオメモリとして使用します。そのため、メモリ容量は、メインメモリからビデオメモリ（約8MB）を引いた値が表示されます。

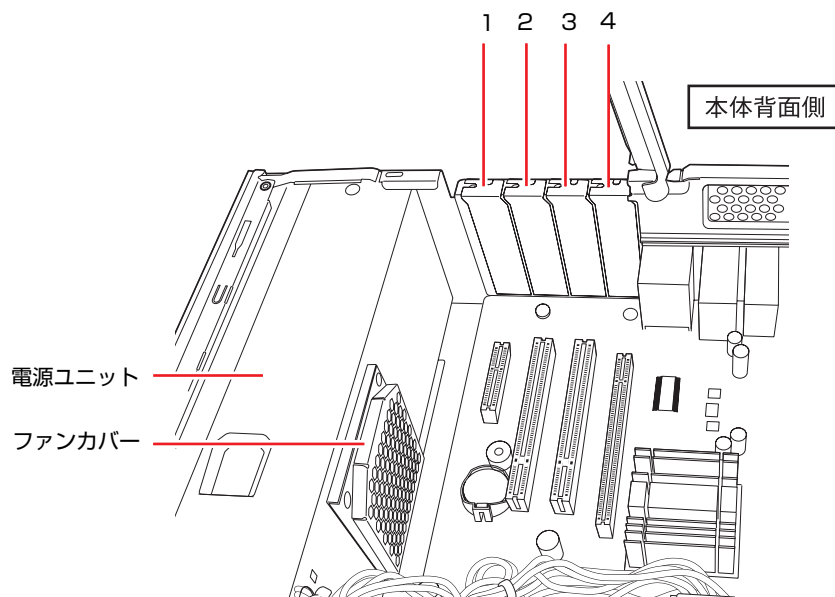
---

# 拡張ボードの装着

拡張スロットの仕様と、拡張ボードの取り付け/取り外し方法について説明します。

## ▶ 拡張スロットの仕様

本機には拡張スロットが4つあります。各スロットの仕様は次のとおりです。



スロット番号	コネクタ仕様	装着可能な拡張ボードサイズ
1	PCI Express x4	ボード長：170mm×ボード幅：69mmまで
2	PCI	ボード長：170mm×ボード幅：64mmまで
3	PCI	ボード長：170mm×ボード幅：64mmまで
4	PCI Express x16	ボード長：170mm×ボード幅：69mmまで



「1」のスロットには、電源ユニットやファンカバーに接触してしまうボードを装着しないでください。接触した状態で使用すると、火災の原因となります。




- 本機に装着可能なボードは、Low Profile仕様のみです。それ以外のボードを装着することはできません。
- 拡張する場合は、他の部品と干渉しないように取り付けてください。

## ▶拡張ボードの取り付け/取り外し

---




拡張スロットには機器の性能を維持するため鋭いエッジがあります。手を傷つけないように作業してください。

作業を始める前に  p.130 「作業時の注意」と拡張ボードに添付のマニュアルを必ずお読みください。

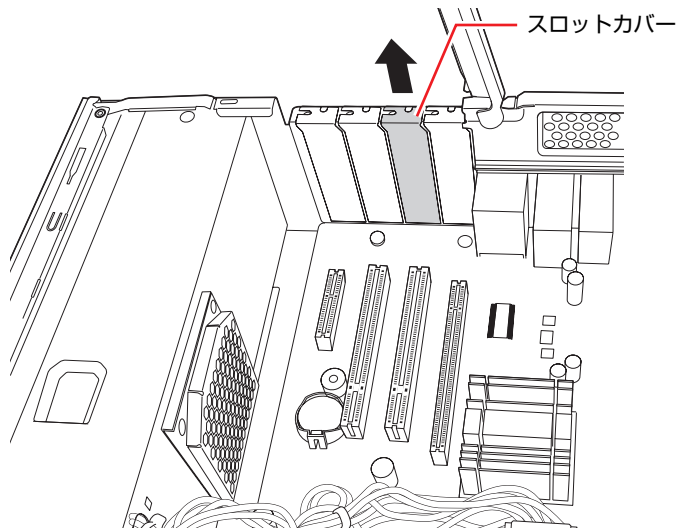
作業は、本機を横置きに行います。

### 取り付け

拡張ボードの取り付け方法は次のとおりです。

- 1** コンピュータ本体および接続されている周辺機器の電源を切ります。  
作業直前まで本機が動作していた場合は、本機内部が冷えるまで10分以上放置してください。
- 2** コンピュータ本体に接続されているケーブル類（電源コードなど）をすべて外します。
- 3** 本体カバーとリンクバーを取り外します。  
 p.131 「本体カバーとリンクバーの取り外し/取り付け」  
リンクバーロックは開けておきます。

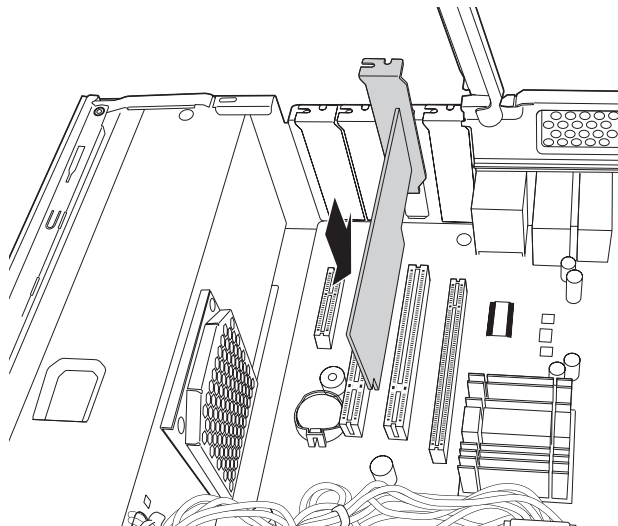



**4** 拡張ボードを装着するスロットのロットカバーを外します。

外したロットカバーは、大切に保管してください。拡張ボードを外したあと、別の拡張ボードを装着しない場合は、本体内部にホコリなどが入らないように、再びロットカバーを装着します。


**5** 拡張ボードを拡張スロットに差し込みます。

拡張ボードの端子部を、コネクタに軽く触れる程度に差し込みます。コネクタに無理な力がかかっていることを確認し、拡張ボードをゆっくり押し込みます。

**6** リンクバーと本体カバーを取り付けます。

 p.131 「本体カバーとリンクバーの取り外し/取り付け」

- 7 コンピュータを使用できるように、取り外したケーブル類（電源コードなど）を接続します。

続いて、 p.146 「拡張ボードの取り付け/取り外し後の作業」を行います。

## 取り外し

拡張ボードの取り外しは、 p.144 「取り付け」の手順4、5を次の手順に読み替えて行ってください。

- 1 拡張ボードを引き抜きます。
- 2 拡張ボードを取り外したスロットに別の拡張ボードを装着しないときは、スロットカバーを取り付けておきます。

## ▶ 拡張ボードの取り付け/取り外し後の作業

---

拡張ボードの取り付け/取り外しをしたら、次の作業を行ってください。

### <ビデオボードの場合>

ビデオボードの取り付け/取り外しをした場合、BIOSなどの設定は必要ありませんが、ボードによってはドライバのインストール、アンインストールが必要です。詳しくはボードに添付のマニュアルをご覧ください。

### <そのほかのボードの場合>

拡張ボードによっては作業が必要な場合があります。詳しくはボードに添付のマニュアルをご覧ください。

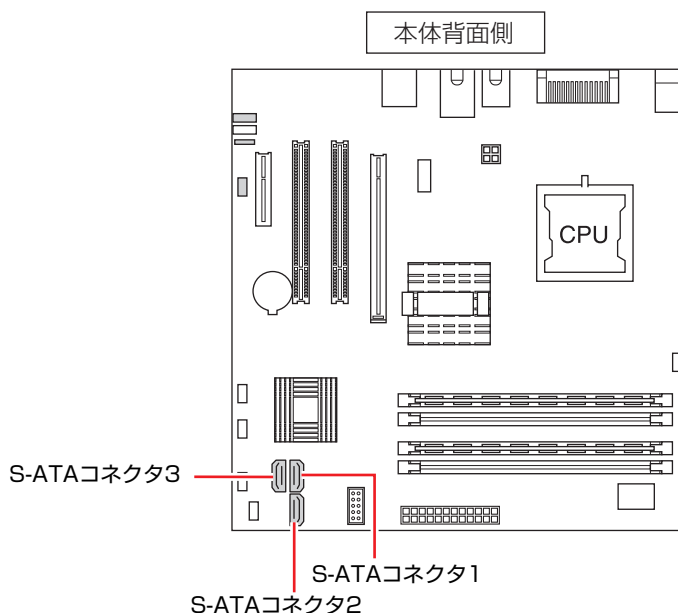
# ドライブ装置とコネクタの接続

ここでは、メインボード上のコネクタの仕様とドライブ装置の接続方法について説明します。

## ▶コネクタの仕様とドライブ装置

本機のメインボード上にある3つのS-ATAコネクタには、2台のHDDと1台の光ディスクドライブを接続することができます。

メインボード上のS-ATAコネクタの位置は、次のとおりです。



各コネクタの優先順位と接続するドライブ装置は、次のとおりです。

コネクタ	優先順位	接続するドライブ装置
S-ATAコネクタ1	1	光ディスクドライブ
S-ATAコネクタ2 (Port 1)	2	HDD
S-ATAコネクタ3 (Port 4)	3	HDD

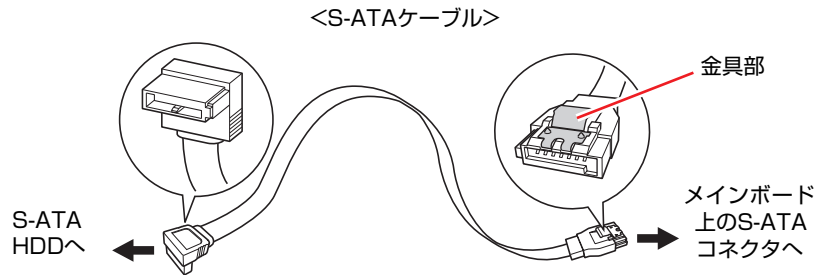


制限

Windows は、S-ATA コネクタ 2 に接続された HDD にインストールしてください。

## S-ATAケーブル

メインボード上のS-ATAコネクタと各ドライブ装置は、「S-ATAケーブル」で接続します。S-ATAケーブルは、ケーブル両端の形状と各コネクタの向きを確認して接続してください。

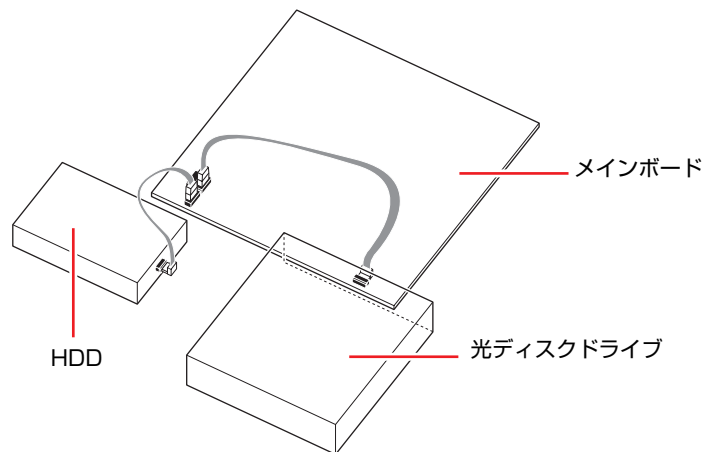


メインボードからS-ATAケーブルを取り外す際は、コネクタの金具部を押しながらかき抜きます。

## ▶ドライブ装置の接続

### メインボードとの接続

ドライブ装置とメインボードの接続は、次のとおりです。  
ドライブ装置を増設または交換する際には、ドライブ装置に添付のマニュアルもあわせてご覧ください。




## 周辺機器用電源ケーブル

電源ユニットには、S-ATA仕様のドライブ装置に電源を供給するための「周辺機器用電源ケーブル」がついています。各ドライブ装置のコネクタに接続してください。



# 光ディスクドライブの交換

5.25型ドライブベイに装着されている光ディスクドライブを交換する方法について説明します。



作業を始める前に  p.130 「作業時の注意」と、「機器に添付のマニュアル」を必ずお読みください。

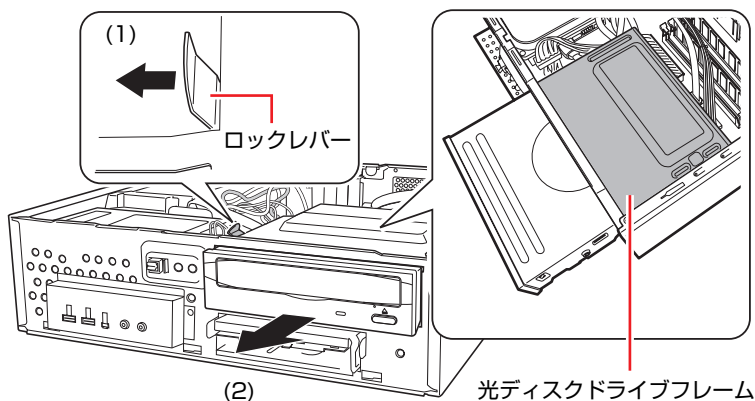
作業は、本機を横置きに行います。



本機に IDE 仕様の光ディスクドライブは接続できません。

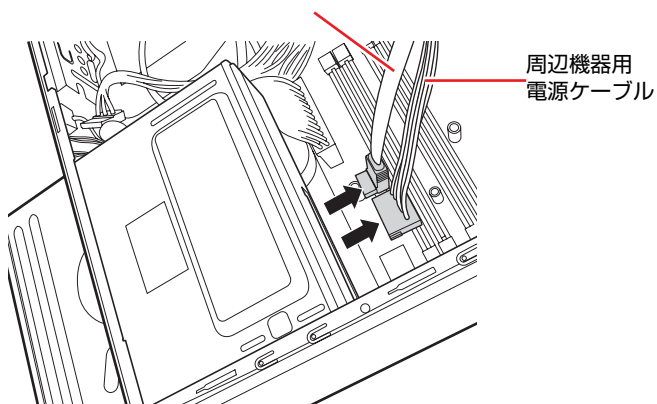
光ディスクドライブの交換方法は次のとおりです。

- 1** コンピュータ本体および接続されている周辺機器の電源を切ります。  
作業直前まで本機が動作していた場合は、本機内部が冷えるまで10分以上放置してください。
- 2** コンピュータ本体に接続されているケーブル類（電源コードなど）をすべて外します。
- 3** 本体カバーとリンクバーを外します。  
 p.131 「本体カバーとリンクバーの取り外し/取り付け」
- 4** フロントパネルを取り外します。  
 p.135 「フロントパネルの取り外し/取り付け」
- 5** 5.25型ドライブベイから光ディスクドライブを取り外します。  
(1) ロックレバーを矢印の方向へ引きます。  
(2) ロックレバーを引いた状態のまま、光ディスクドライブを前面へスライドさせます。  
光ディスクドライブの背面が、光ディスクドライブフレームに隠れるまでスライドさせます。

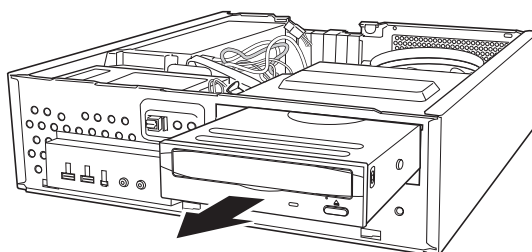


(3) 光ディスクドライブに取り付けられているケーブル類を外します。

S-ATAケーブル

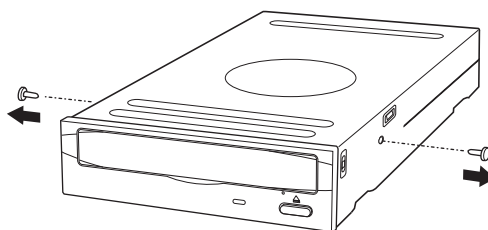


(4) 光ディスクドライブを引き抜きます。

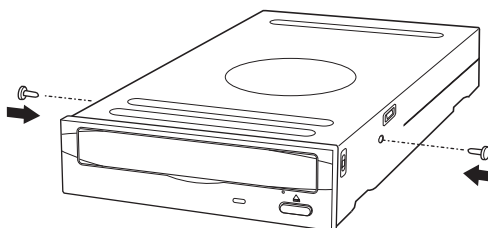


**6** 取り付ける光ディスクドライブにネジを取り付けます。

(1) 取り外したドライブ装置からネジ (2本) を取り外します。



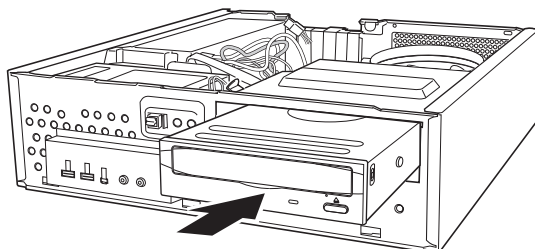
(2) 取り付ける光ディスクドライブにネジ (2本) を取り付けます。



## 7 光ディスクドライブベイにドライブを取り付けます。

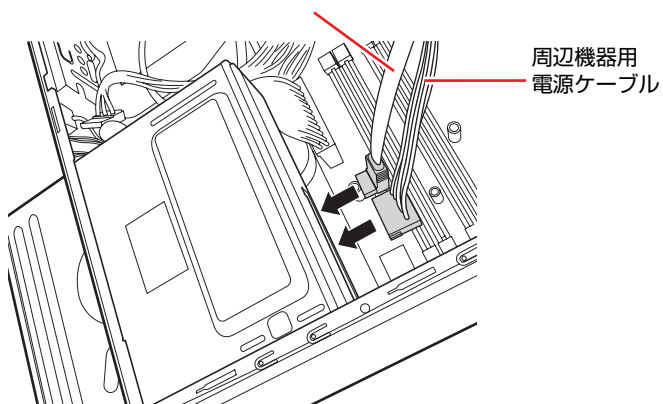
### (1) 光ディスクドライブを押し込みます。

このとき、光ディスクドライブの背面が光ディスクドライブフレームから出ないところで止めておきます。

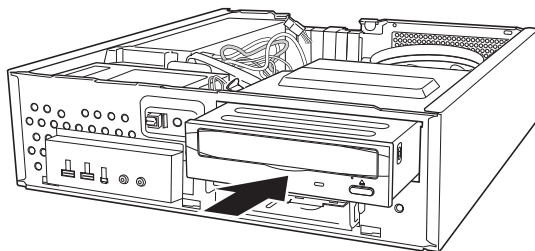


### (2) 光ディスクドライブにケーブル類を取り付けます。



S-ATAケーブル




### (3) ロックレバーがカチッというまで光ディスクドライブを押し込みます。





- 8 フロントパネルを取り付けます。  
 p.135 「フロントパネルの取り外し/取り付け」
- 9 リンクバーと本体カバーを取り付けます。  
 p.131 「本体カバーとリンクバーの取り外し/取り付け」
- 10 コンピュータを使用できるように、取り外したケーブル類（電源コードなど）を接続します。

続いて、 p.153 「光ディスクドライブ交換後の作業」を行います。

## ▶光ディスクドライブ交換後の作業


---

交換した光ディスクドライブによっては、ライティングソフトなどのソフトウェアをインストールする必要があります。詳しくは、光ディスクドライブに添付のマニュアルをご覧ください。

# HDDの装着

本機のHDDベイには、S-ATA仕様のHDDを2台装着することができます。  
HDDの取り付け/取り外し方法について説明します。

## ▶HDDの取り付け/取り外し

作業を始める前に  p.130 「作業時の注意」と、「機器に添付のマニュアル」を必ずお読みください。

作業は、本機を横置きに行います。

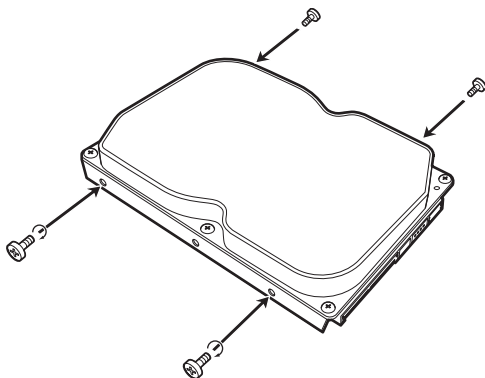



- HDDへのアクセス制限を設定している場合は、次の項目でアクセス制限を解除してからHDDの増設を行ってください。  
「Security」メニュー画面 - 「Hard Disk Protection」  
 p.169 「HDDアクセス制限」

### 取り付け

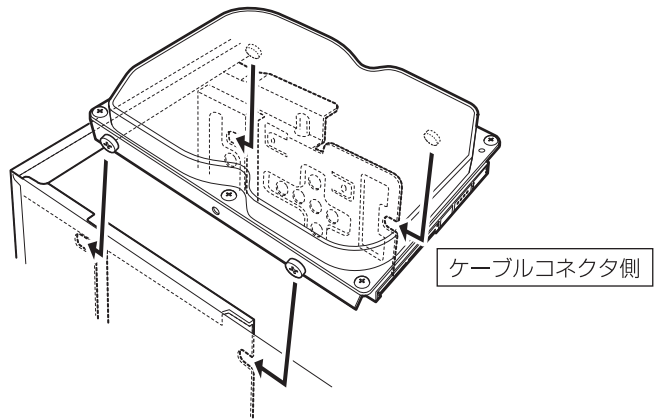
HDDの取り付け方法は次のとおりです。ここでは2台目のHDDを取り付ける方法を説明します。

- 1** 取り付けるHDDに、ネジ（4本）を取り付けます。

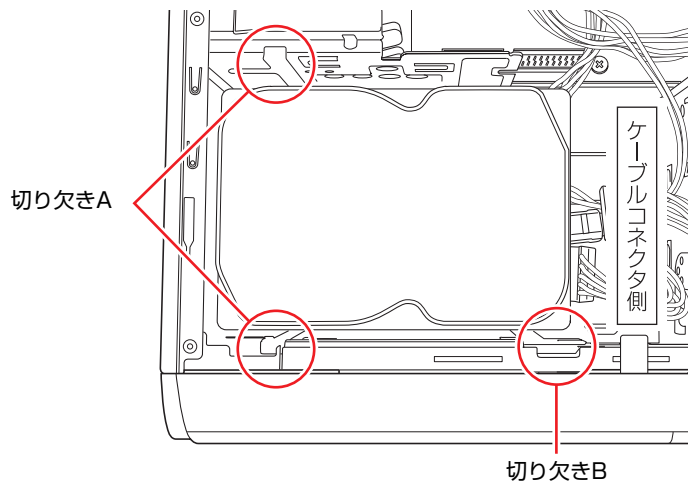


- 2** コンピュータ本体および接続されている周辺機器の電源を切ります。  
作業直前まで本機が動作していた場合は、本機内部が冷えるまで10分以上放置してください。
- 3** コンピュータ本体に接続されているケーブル類（電源コードなど）をすべて外します。
- 4** 本体カバーとリンクバーを取り外します。  
 p.131 「本体カバーとリンクバーの取り外し/取り付け」

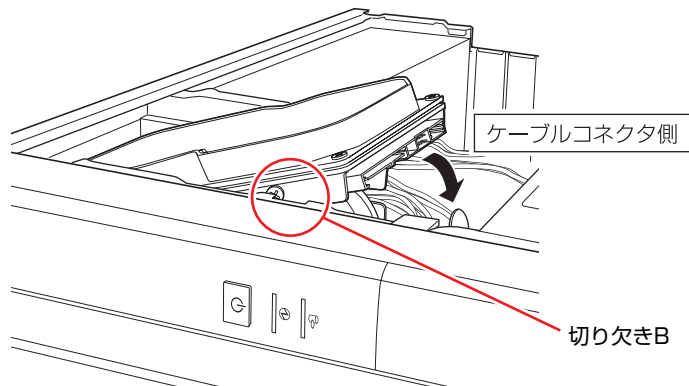
**5** HDDを取り付けます。



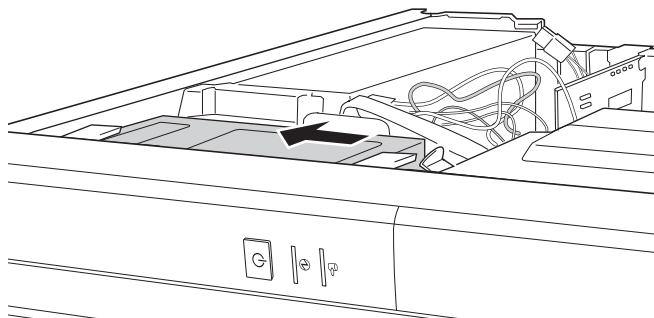
(1) ケーブルコネクタ側から遠いネジ2本を切り欠きAに通します。



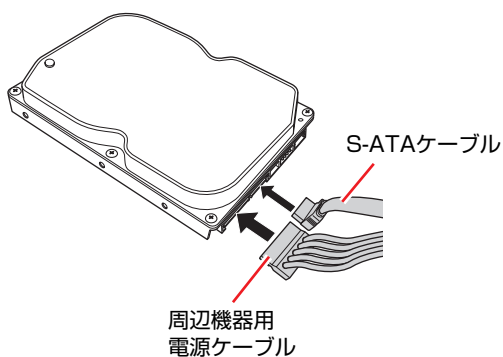
(2) ケーブルコネクタ側のネジを切り欠きBに通します。




(3) HDDを水平にし、カチッと音がするまで矢印の方向に押し込みます。




**6** HDDに周辺機器用電源ケーブルとS-ATAケーブルを接続します。



**7** リンクバーと本体カバーを取り付けます。

 p.131 「本体カバーとリンクバーの取り外し/取り付け」



**8** コンピュータを使用できるように、取り外したケーブル類（電源コードなど）を接続します。


続いて、 p.158 「HDDの取り付け/取り外し後の作業」を行います。

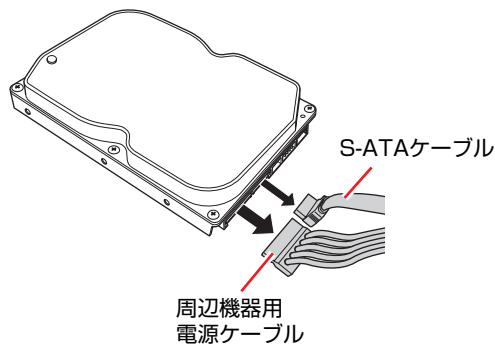
## 取り外し

HDDの取り外し方法は、次のとおりです。

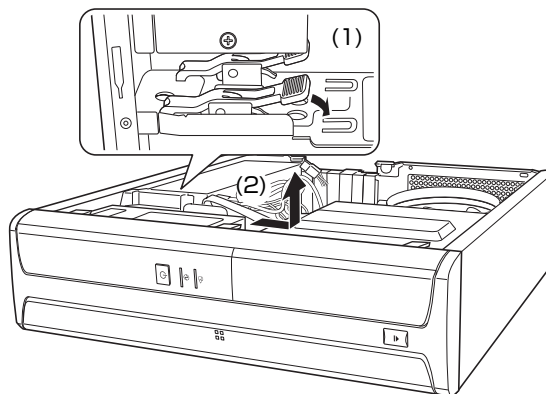


- HDDへのアクセス制限を設定している場合は、次の項目でアクセス制限を解除してからHDDを取り外してください。  
「Security」メニュー画面 - 「Hard Disk Protection」  
 p.169 「HDDアクセス制限」
- RAIDを構成しているHDDを取り外す場合は、RAIDを削除してから行ってください。ただし、RAID使用時に破損したHDDを交換する場合は、RAIDの削除は不要です。  
 p.76 「RAIDを削除する」


- 1 コンピュータ本体および接続されている周辺機器の電源を切ります。  
作業直前まで本機が動作していた場合は、本機内部が冷えるまで10分以上放置してください。
- 2 コンピュータ本体に接続されているケーブル類（電源コードなど）をすべて外します。
- 3 本体カバーとリンクバーを取り外します。  
 p.131 「本体カバーとリンクバーの取り外し/取り付け」
- 4 取り外すHDDから周辺機器用電源ケーブルとS-ATAケーブルを外します。



- 5 HDDを取り外します。
  - (1) HDDロックレバーを矢印の方向（HDD側）に押しします。
  - (2) HDDロックレバーを押ししたまま、HDDを矢印の方向（光ディスクドライブ側）にスライドさせて、持ち上げます。  
HDDのネジが、HDDロックレバーから外れるまでスライドさせてから、持ち上げてください。



**6** リンクバーと本体カバーを取り付けます。

 p.131 「本体カバーとリンクバーの取り外し/取り付け」

**7** コンピュータを使用できるように、取り外したケーブル類（電源コードなど）を接続します。


続いて、p.158 「HDDの取り付け/取り外し後の作業」を行います。

## ▶HDDの取り付け/取り外し後の作業


---

HDDの取り付け/取り外しをしたら、次の作業を行ってください。

<HDDを取り付けた場合>

HDDを取り付けた場合は、 p.247 「Cドライブ以外のドライブを作成・変更する」をご覧ください。ドライブの作成を行ってください。

<HDDを取り外した場合>

HDDを取り外し、ほかのHDDを取り付けない場合は、 p.148 「S-ATAケーブル」をご確認の上、S-ATAケーブルをメインボードから取り外し、大切に保管してください。

# 第4章 BIOSの設定

コンピュータの基本状態を管理しているプログラム「BIOS」の設定を変更する方法について説明します。

「BIOSの設定を始める前に」 .....	160
「BIOS Setupユーティリティの操作」 .....	161
「BIOS Setupユーティリティの設定項目」 .....	172

# BIOSの設定を始める前に



制限

当社製以外の BIOS を使用すると、Windows が正常に動作しなくなる場合があります。当社製以外の BIOS へのアップデートは絶対に行わないでください。

BIOSは、コンピュータの基本状態を管理しているプログラムです。このプログラムは、メインボード上にROMとして搭載されています。

BIOSの設定は「BIOS Setupユーティリティ」で変更できますが、購入時のシステム構成に合わせて最適に設定されているため、通常は変更する必要はありません。BIOSの設定を変更するのは、次のような場合です。

- 本書やお使いの装置のマニュアルで指示があった場合
- パスワードを設定する場合


BIOSの設定値を間違えると、システムが正常に動作しなくなる場合があります。設定値をよく確認してから変更を行ってください。

BIOS Setupユーティリティで変更した内容はCMOS RAMと呼ばれる特別なメモリ領域に保存されます。このメモリはリチウム電池によってバックアップされているため、本機の電源を切ったり、再起動しても消去されることはありません。

## 参考

### リチウム電池の寿命

BIOS Setupユーティリティの内容は、リチウム電池で保持しています。リチウム電池は消耗品です。本機の使用状況によって異なりますが、本機のリチウム電池の寿命は約3年です。日付や時間が異常になったり、設定した値が変わってしまうことが頻発するような場合には、リチウム電池の寿命が考えられます。リチウム電池を交換してください。


 p.251 「リチウム電池の交換」

## 動作が不安定になったら


設定値を変更して本機の動作が不安定になった場合は、次の方法で設定値を戻すことができます。

- 購入時の設定と変更後の設定をあらかじめ記録しておき、手動で戻す。

万一に備え、設定値を記録しておくことをおすすめします。

 p.172 「BIOS Setupユーティリティの設定項目」

- 初期値や、前回保存した設定値に戻す。

 p.166 「設定値を元に戻す」



# BIOS Setupユーティリティの操作

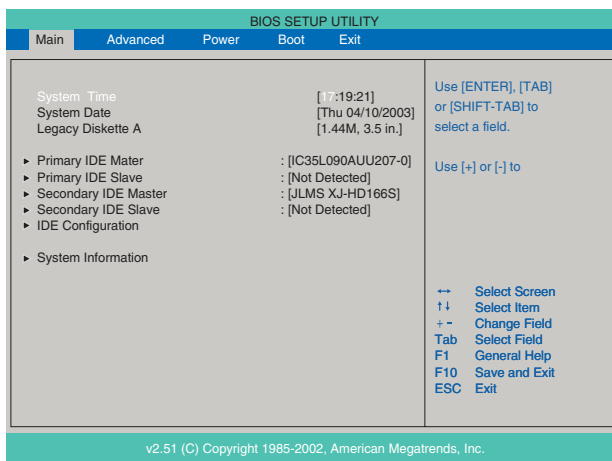
ここでは、「BIOS Setup ユーティリティ」の次の操作方法について説明します。

- 基本操作（起動、操作、終了）
- 設定値を元に戻す
- パスワードを設定する
- 起動（Boot）デバイスの順番を変更する

## ▶ BIOS Setupユーティリティの起動

本機の電源を入れる前に、キーボードの **[Delete]** の位置を確認してください。  
手順2ではすばやく **[Delete]** を押す必要があります。

- 1 本機の電源を入れます。**  
すでにWindowsが起動している場合は再起動します。
- 2 本機の起動直後、黒い画面の中央に「EPSON」と表示されたら、すぐにキーボードの **[Delete]** を押します。**  
Windowsが起動してしまった場合は、再起動して手順2をもう1度実行してください。
- 3 「BIOS Setupユーティリティ」が起動して「Main」メニュー画面が表示されます。**




<BIOS Setupユーティリティ画面（イメージ）>

## 仕様が前回と異なるとき

本機の状態が、前回使用していたときと異なる場合は、本機の電源を入れたときに、次のメッセージが表示されることがあります。

CMOS Settings Wrong  
Press F1 to run SETUP

このメッセージが表示されたら **[F1]** を押してBIOS Setupユーティリティを起動します。通常は、そのまま「Exit & Save Changes」を選択してBIOS Setupユーティリティを終了します。

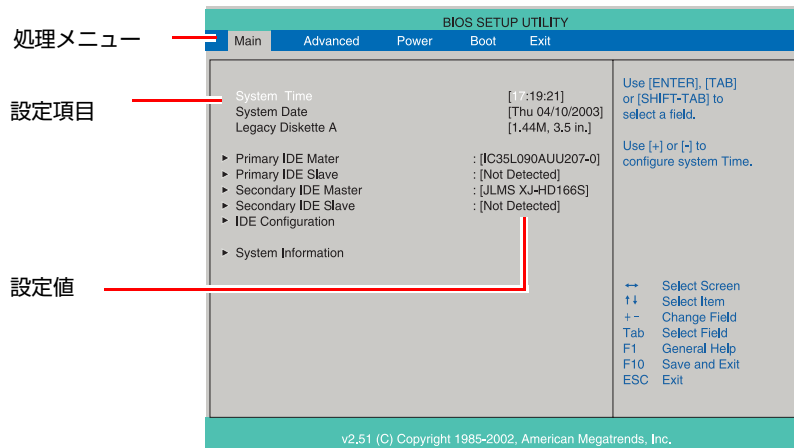
 p.165 「BIOS Setupユーティリティの終了」

## ▶ BIOS Setupユーティリティの操作


「BIOS Setupユーティリティ」の操作は、キーボードで行います。

### 画面の構成

BIOS Setupユーティリティを起動すると次の画面が表示されます。この画面で設定値を変更することができます。



<メニュー画面>

ここで説明している画面は、イメージです。実際の設定項目とは異なります。各メニュー画面と設定項目の説明は、 p.172 「BIOS Setupユーティリティの設定項目」をご覧ください。

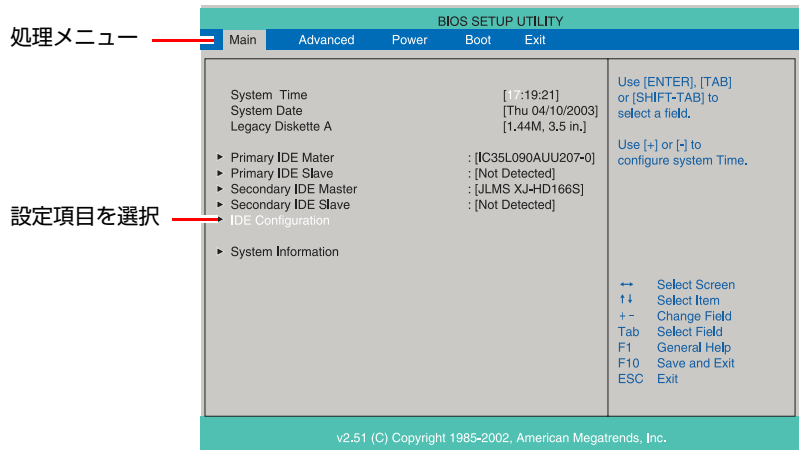
## 操作方法

BIOS Setupユーティリティの操作方法是次のとおりです。

### 1 処理メニューで設定を変更したい項目のあるメニュー画面に移動し、設定項目を選択します。

→ ← でメニュー間を移動します。

↑ ↓ で設定値を変更したい項目まで移動します。

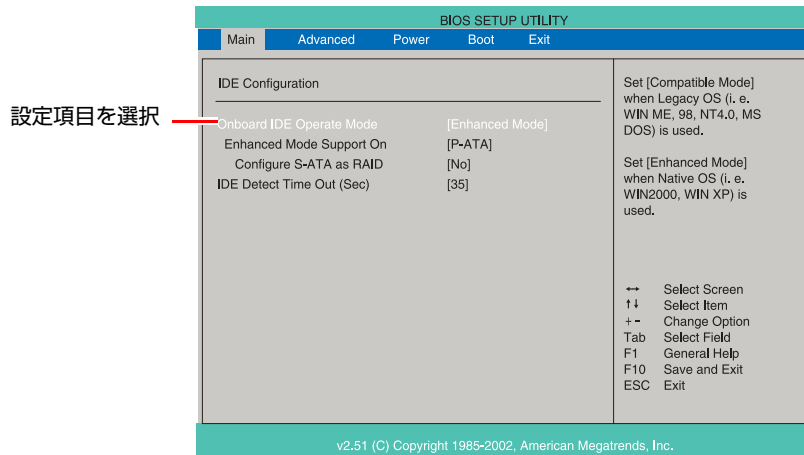


<メニュー画面>

<▶ のある項目の場合>

▶ のある項目の場合、← を押すとサブメニュー画面が表示されます。





↑ ↓ で設定値を変更したい項目まで移動します。

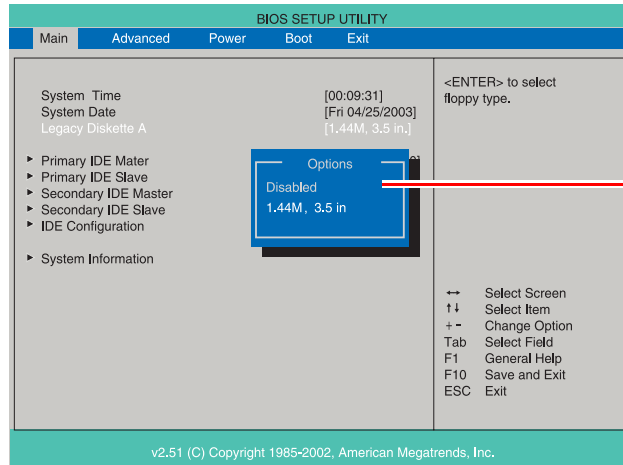


<サブメニュー画面>

サブメニュー画面から戻るには **Esc** を押します。

## 2 設定値を変更します。













 を押して選択ウィンドウを表示し、  で値を選択し  で決定します。



選択ウィンドウ

## キー操作

BIOSの画面を操作するときは、次のキーを使用します。

キー	操作できる内容
	ヘルプを表示します。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 変更した内容を破棄し、終了します。</li> <li>● サブメニュー画面からメニュー画面に戻ります。</li> </ul>
 , 	設定を変更する項目を選択します。
 , 	処理メニューを選択します。
 , 	項目の値を変更します。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● メニュー画面中の  のある項目で押すとサブメニュー画面を表示します。</li> <li>● 選択項目の選択ウィンドウを表示します。</li> <li>● 設定値を選択します。</li> </ul>
	全設定項目の値を、初期値に変更します。
	変更した設定値を保存して終了します。

## ▶BIOS Setupユーティリティの終了

「BIOS Setupユーティリティ」を終了するには、次の2つの方法があります。

### Exit & Save Changes (変更した内容を保存し終了する)

変更した設定値を保存して、BIOS Setupユーティリティを終了します。

- 1 **F10** を押す、または「Exit」メニュー画面－「Exit & Save Changes」を選択すると、次のメッセージが表示されます。

Save configuration changes and exit now?	
[Ok]	[Cancel]

- 2 [OK] を選択し、**↵** を押します。

### Exit & Discard Changes (変更した内容を破棄し終了する)

変更した設定値を保存せずに、BIOS Setupユーティリティを終了します。

- 1 **Esc** を押す、または「Exit」メニュー画面－「Exit & Discard Changes」を選択すると、次のメッセージが表示されます。

Discard configuration changes and exit now?	
[Ok]	[Cancel]

- 2 [OK] を選択し、**↵** を押します。

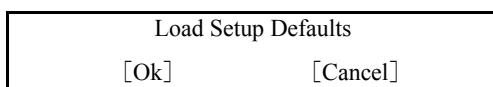
## ▶設定値を元に戻す

「BIOS Setupユーティリティ」の設定を間違えてしまい、万一、本機の動作が不安定になってしまった場合などには、BIOS Setupユーティリティの設定を初期値や前回保存した値に戻すことができます。

### Load Setup Defaults（初期値に戻す）

BIOS Setupユーティリティの設定を初期値に戻す方法は、次のとおりです。

- 1 **F5** を押す、または「Exit」メニュー画面－「Load Setup Defaults」を選択すると、次のメッセージが表示されます。



- 2 **[Ok]** を選択して、**↵** を押します。

### Load Setup Defaults実行後の作業

次の場合は、Load Setup Defaultsを実行したあとに、BIOSの設定値を設定しなおしてください。

#### <セキュリティチップのセキュリティ機能をお使いの場合>

「Security」メニュー画面－「TPM Function」－「Trusted Platform Module」を「Enabled」に設定します。

メインボード上のセキュリティチップの機能を有効にします。

#### <RAID機能をお使いの場合>


「Main」メニュー画面－「SATA Configuration」－「Configure SATA as」を「RAID」に設定します。

#### <シリアルコネクタ搭載モデルをお使いの場合>

「Advanced」メニュー画面－「Onboard Devices Configuration」－「Serial Port」を「3F8/IRQ4」に設定します。

メインボード上のシリアルポートの機能を有効にします。

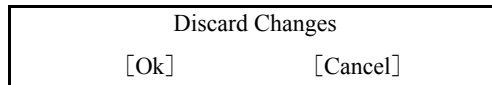
設定を行ったら、変更した内容を保存して終了します。


 p.165 「Exit & Save Changes（変更した内容を保存し終了する）」

## Discard Changes (前回保存した設定値に戻す)

BIOS Setupユーティリティを終了せずに、前回保存した設定値に戻します。

- 1 「Exit」メニュー画面－「Discard Changes」を選択すると、次のメッセージが表示されます。



- 2 [Ok] を選択して、 を押します。

## ▶パスワードを設定する

「Security」メニュー画面でBIOSのパスワードを設定すると、BIOSやWindowsの起動時にパスワードを要求されるようになります。


パスワードの設定は、次のような場合に行います。

- 本機を使用するユーザーを制限したいとき
- パスワードを設定しないと使用できない機能を使いたいとき (HDDアクセス制限など)

### パスワードの種類


パスワードには次の2種類があります。

- Supervisor Password (管理者パスワード)  
コンピュータの管理者用のパスワードです。管理者パスワードでBIOSにログオンした場合は、すべての項目の閲覧と変更が可能です。
- User Password (ユーザーパスワード)  
一般ユーザー用のパスワードです。ユーザーパスワードでBIOSにログオンした場合は、項目の閲覧や変更が制限されます (権限は、設定変更することができます)。


 p.168 「ユーザーパスワードの権限設定」

### パスワードの設定方法

パスワードの設定方法は、次のとおりです。管理者パスワードを設定すると、ユーザーパスワードを設定できるようになります。


- 1 「Change Supervisor Password」または「Change User Password」を選択して  を押すと、次のメッセージが表示されます。

Enter Password:


**2** パスワードを入力し、 を押します。


「\*」が表示されない文字は、パスワードとして使用できません。アルファベットの大文字と小文字は区別されません。パスワードは8文字まで入力可能です。

パスワード入力時は、キーボードの入力モードに注意してください。たとえば、数値キー入力モードでパスワードを設定し、起動時に数値キー入力モードではない状態でパスワードを入力するとエラーになります。

**3** 続いて次のメッセージが表示されます。確認のためにもう一度同じパスワードを入力し、 を押します。

Confirm Password:

同じパスワードを入力しないと、「Passwords do not match!」というメッセージが表示されます。[Ok] が選択された状態で  を押すと、BIOSのメニュー画面に戻ります。この場合、手順1からやりなおしてください。

**4** 「Password installed.」というメッセージが表示されたら、[Ok] が選択された状態で  を押します。

パスワードの設定が完了すると、「Supervisor Password」または「User Password」項目の値が「Installed」に変わります。




設定したパスワードは、絶対に忘れないようにしてください。パスワードを忘れると、BIOSの設定変更や、設定によってはWindowsの起動ができなくなります。万一、パスワードを忘れた場合は、カスタマーサービスセンターまでご連絡ください。

続いて、「ユーザーパスワードの権限」や、「どこでパスワードを要求するか」を決めて設定します。


**ユーザーパスワードの権限設定**

ユーザーパスワードを設定した場合は、ユーザーパスワードでBIOSにログオンしたときの権限（項目の閲覧や変更に関する制限）を設定します。

 p.179 「Securityメニュー画面」－「User Access Level」

**パスワード入力タイミングの設定**


BIOS Setupユーティリティ起動時や、Windows起動時など、どのタイミングでパスワードを要求するかを設定します。

 p.179 「Securityメニュー画面」－「Password Check」




## パスワードの削除方法


管理者パスワードおよびユーザーパスワードの削除方法は、次のとおりです。管理者パスワードを削除する場合は、管理者パスワードでBIOSにログオンしてください。

- 1 「Change Supervisor Password」または「Change User Password」を選択して  を押すと、次のメッセージが表示されます。

Enter Password:


- 2 何も入力せずに  を押すと、次のメッセージが表示されます。

Password uninstalled.  
[Ok]

- 3 「Ok」が選択された状態で  を押します。  
「Supervisor Password」または「User Password」項目の表示が「Not Installed」に変わります。  
これでパスワードが削除されました。

### ユーザーパスワードの削除

ユーザーパスワードは、「Clear User Password」を選択して削除することもできます。

 p.179 「Securityメニュー画面」－「Clear User Password」

## ▶HDDアクセス制限



HDDアクセス制限の設定をすると、次の状態になります。

- BIOS や Windows 起動時、休止状態からの復帰時に管理者パスワードを要求されるようになる
- HDDをほかのコンピュータに接続した場合、認識されないようになる

HDDへの無断アクセスや、万が一HDDが盗難にあった場合の情報流出を防ぎたいときは、HDDアクセス制限の設定をします。

### HDDアクセス制限の設定方法

HDDアクセス制限の設定方法は次のとおりです。

- 1 管理者パスワードを設定します。  
 p.167 「パスワードの設定方法」
- 2 HDDアクセス制限の設定をします。  
 p.179 「Securityメニュー画面」－「Hard Disk Protection」



制限

- パスワードを忘れてしまうと、アクセス制限を設定したHDDは使用できなくなります。登録したパスワードは絶対に忘れないようにしてください。
- RAID構成時、HDDアクセス制限は使用できません。
- HDDを増設・交換する際は、HDDへのアクセス制限を解除した状態で行ってください。

## ▶ 起動 (Boot) デバイスの順番を変更する

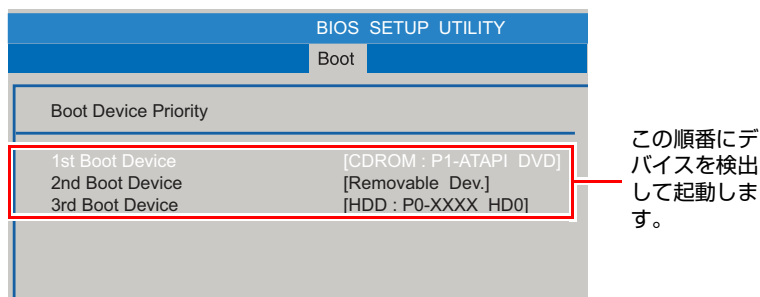
本機の電源を入れて起動しようとしたときに、リムーバブルディスク (USBフラッシュメモリなど) を接続していたり、USB FDDにFDをセットしていたりすると、Windowsが起動しないことがあります。

このような場合、「BIOS Setupユーティリティ」で設定されている起動 (Boot) デバイスの順番を変更すると、起動したいデバイスからシステムを起動することができます。

### 起動 (Boot) デバイスの順番とは

電源を入れると、コンピュータは起動デバイスの順番に従ってデバイスを確認し、最初に見つけたシステム (WindowsやOS) から起動します。

起動デバイスの順番の設定は、「Boot」メニュー画面ー「Boot Device Priority」で行います。



<イメージ>

「Boot Device Priority」に表示されるデバイスは次のとおりです。

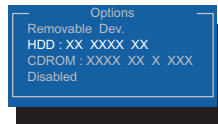
- Removable Dev. (USB FDDやUSBフラッシュメモリなどのUSB記憶装置)
- HDD:XXXX (接続されているHDD)
- CDROM:XXXX (接続されている光ディスクドライブ)
- Network:XXXX (ネットワーク)
- Disabled (検出するデバイスを割り当てないときに設定します)

購入時は、Removable Dev.の順番がHDDより前に設定されているため、USB記憶装置などのリムーバブルディスクを接続しているとHDD内のWindowsから起動できません。

## 起動 (Boot) デバイスの順番の変更方法

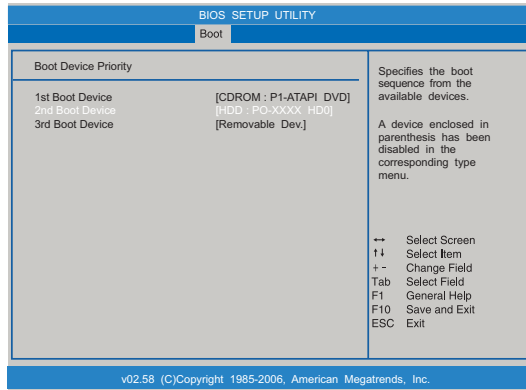
起動デバイスの順番の変更方法は、次のとおりです。ここではUSB記憶装置などのリムーバブルディスクを接続した状態でWindowsを起動できるように、光ディスクドライブ、HDD、リムーバブルディスクの順番に設定する方法を説明します。

- 1 「Boot」メニュー画面で「Boot Device Priority」を選択して **[←]** を押し、サブメニュー画面を表示します。
- 2 **[↑]** **[↓]** で「2nd Boot Device」(2番目)を選択し、**[←]** を押します。
- 3 選択ウィンドウが表示されたら、**[↑]** **[↓]** で「HDD:XXXX」を選択し、**[←]** を押します。




<選択ウィンドウ>

自動的に「3rd Boot Device」(3番目)が「Removable Dev.」に設定されます。



起動デバイスの順番が変更になり、リムーバブルディスクを接続した状態でWindowsを起動できます。

- 4 **[F10]** を押しBIOS Setupユーティリティを終了します。

 p.165 「BIOS Setupユーティリティの終了」

これで、起動デバイスの変更は完了です。

# BIOS Setupユーティリティの設定項目

ここでは、「BIOS Setupユーティリティ」で設定できる項目と、設定方法などについて説明します。  
BIOS Setupユーティリティのメニュー画面には、次の6つのメニューがあります。

- **Mainメニュー画面**  
日付、時間、HDDなどの設定を行います。
- **Advancedメニュー画面**  
CPUに関する設定、I/O関係の動作設定やPCIバス関係の設定などを行います。
- **Power メニュー画面**  
省電力機能や起動に関する設定を行います。
- **Bootメニュー画面**  
システムを起動するドライブの設定や本機の動作状態の設定などを行います。
- **Securityメニュー画面**  
パスワードやセキュリティに関する設定を行います。
- **Exitメニュー画面**  
BIOS Setupユーティリティを終了したり、BIOSの設定値を初期値に戻したりします。

## ▶Mainメニュー画面

「Main」メニュー画面では、日付、時間、HDDなどの設定を行います。  
設定項目は、次のとおりです。

\_\_\_は初期値

\*は項目表示のみ

System Time		時刻を設定します。(時間:分:秒)の順で表示されます。
System Date		日付を設定します。(曜日 月/日/年)の順で表示されます。
SATA 1 [XXXX]  ※ [XXXX] には、光ディスクドライブの型番等が表示されます。	* Device	光ディスクドライブの種類を表示します。
	* Model name	光ディスクドライブの型番を表示します。
	* F/W version	ファームウェアのバージョンを表示します。
	* LBA Mode	LBA (Logical Block Addressing) をサポートしているかを表示します。
	* PIO Mode	光ディスクドライブのPIO転送モードを表示します。
	* Ultra DMA	光ディスクドライブのUltra DMA 転送モードを表示します。
	* Async DMA	光ディスクドライブのAsync DMA 転送モードを表示します。
	SATA1	初期値 [Auto] のままで使用します。
	LBA / Large Mode	LBA (Logical Block Addressing) を使用するかを設定します。 Disabled: 使用しません。 <u>Auto</u> : 使用します。
	PIO Mode	光ディスクドライブのPIO転送モードを設定します。 <u>Auto</u> : BIOSが自動的に最適な転送モードを設定します。 0/1/2/3/4: 転送モードを設定します。
DMA Mode	光ディスクドライブのDMA転送モードを、BIOSが自動的に最適にしていることを表示しています。 <u>Auto</u>	

SATA 2 [XXXX] / SATA 3 [XXXX]  ※ [XXXX] に は、HDDの型番等 が表示されます。 HDDが接続されて いない場合は、 [Not Detected] と 表示されます。  「SATA Configuration」が 「RAID」の場合、 設定を変更しても 反映はされません。	* Device	HDDの種類を表示します。
	* Model name	HDDの型番を表示します。
	* F/W version	ファームウェアのバージョンを表示します。
	* Size	HDDの容量を表示します。
	* LBA Mode	LBA (Logical Block Addressing) をサポートしているかを表示します。
	* PIO Mode	HDDのPIO転送モードを表示します。
	* Ultra DMA	HDDのUltra DMA転送モードを表示します。
	* Async DMA	HDDのAsync DMA転送モードを表示します。
	* SMART Monitoring	S.M.A.R.T (Self Monitoring Analysis and Reporting Technology) の状態を表示します。
	SATA 2/ SATA 3	初期値 [Auto] のままで使用します。
	LBA / Large Mode	LBA (Logical Block Addressing) を使用するかを設定します。 Disabled: 使用しません。 Auto: 使用します。
	Block (Multi-Sector Transfer)	一度に何セクタ転送できるかを表示します。 Disabled: 使用しません。 Auto: BIOSが自動的に最適な速度を設定します。
	PIO Mode	HDDのPIO転送モードを設定します。 Auto: BIOSが自動的に最適な転送モードを設定します。 0/1/2/3/4: 転送モードを設定します。
	DMA Mode	HDDのDMA転送モードを、BIOSが自動的に最適にしていることを表示しています。 Auto
SMART Monitoring	初期値 [Disabled] のままで使用します。	
32Bit Data Transfer	32Bitデータ転送を使用するかを設定します。 Disabled: 使用しません。 Enabled: 使用します。	
SATA Configuration	Configure SATA as	HDDをRAIDとして構成するかを設定します。 AHCI: HDDを通常のまま使用します。 RAID: HDDをRAIDとして構成します。
System Information  本機の仕様を表示 します。	* Version	BIOS のバージョンを表示します。
	* Build Date	BIOS のバージョンの制定日を表示します。
	* Usable Size	本機で使用可能なメモリ容量を、起動時に自動的に計算して表示します。表示される容量は、搭載されたメモリ容量から、あらかじめ割り当てられているビデオメモリ容量 (最小8MB) を引いた値です。

## ▶ Advancedメニュー画面

「Advanced」メニュー画面では、CPUに関する設定、I/O関係の動作設定やPCIバス関係の設定などを行います。

設定項目は、次のとおりです。

\_\_\_\_は初期値

\*は項目表示のみ

CPU Configuration 本機に搭載されているCPUに関する情報を表示します。	* Vender	メーカーを表示します。
	* CPU name	型番を表示します。
	* Frequency	周波数を表示します。
	* FSB Speed	バススピードを表示します。
	* Cache L1	CPUのL1キャッシュ容量を表示します。
	* Cache L2	CPUのL2キャッシュ容量を表示します。
	* Ratio Status	CPUクロックの設定を表示します。
	* Ratio Actual Value	ベースクロックに対する倍率を表示します。
	Virtualization Technology	Intel Virtualization Technology機能の有効/無効を設定します。Virtualization Technology機能を持つプロセッサ搭載時のみ表示されます。 <u>Disabled</u> : 無効にします。 <u>Enabled</u> : 有効にします。
Onboard Devices Configuration メインボード上のデバイスに関する設定を行います。	Onboard Audio	メインボード上のサウンド機能を使用するかを設定します。サウンドボード使用時は、[Disabled] に設定します。 <u>Disabled</u> : 使用しません。 <u>Enabled</u> : 使用します。
	Onboard 1394 Controller	メインボード上のIEEE 1394機能を使用するかを設定します。 <u>Disabled</u> : 使用しません。 <u>Enabled</u> : 使用します。
	Onboard PCIE GbE LAN	メインボード上のネットワーク機能を使用するかを設定します。 <u>Disabled</u> : 使用しません。 <u>Enabled</u> : 使用します。
	Onboard LAN Boot ROM	リモートブート機能の有効/無効を設定します。「Onboard PCIE GbE LAN」を「Enabled」に設定すると表示されます。 <u>Disabled</u> : 無効にします。 <u>Enabled</u> : 有効にします。 [Enabled] に設定すると、「Boot」メニュー画面－「Boot Device Priority」に「4th Boot Device」として表示されます。RAID構成時は、リモートブート機能を使用できません。「Disabled」のまま使用してください。

Onboard Devices Configuration  メインボード上のデバイスに関する設定を行います。	Serial Port	シリアルポートのアドレスとIRQ信号を設定します。 <b>Disabled</b> : シリアルポートを使用しません。 3F8/IRQ4, 2F8/IRQ3, 3E8/IRQ4, 2E8/IRQ3
	Parallel Port	パラレルポートのアドレスとIRQ信号を設定します。 <b>Disabled</b> : パラレルポートを使用しません。 378/IRQ7, 278/IRQ5, 3BC/IRQ7
	Parallel Port Mode	パラレルポートの動作モードを設定します。接続する周辺装置で指示がある場合のみ変更します。 <b>Normal</b> : 標準の設定です。 <b>Bi-Directional</b> : EPP+ECP モードまたは双方向モードに設定します。 EPP : EPP モードに設定します。 ECP : ECP モードに設定します。
	EPP Version	「Parallel Port Mode」を[EPP]に設定すると表示されます。 初期値 [1.9] のままで使用します。
	ECP Mode DMA Channel	「Parallel Port Mode」を[ECP]に設定すると表示されます。 初期値 [DMA3] のままで使用します。
	USB Configuration  USBコントローラの設定をします。	USB Function
USB2.0 Controller		USBの転送速度を設定します。 <b>Disabled</b> : USB1.1の転送速度で使用します。 <b>Enabled</b> : USB2.0の転送速度で使用します。
USB2.0 Controller Mode		初期値 [HiSpeed] のままで使用します。

## ▶Powerメニュー画面

「Power」メニュー画面では、省電力機能や再起動に関する設定を行います。  
設定項目は、次のとおりです。

\_\_\_は初期値

\*は項目表示のみ


Suspend to RAM	スタンバイモードの設定をします。 <b>Disabled</b> : ディスプレイなどの電源が切れます。電力消費は通常より若干抑えられる程度です。 <b>Enabled</b> : メモリ以外の電源が切れます。消費電力はほとんどありません。
ACPI 2.0 Support	初期値 [No] のままで使用します。
ACPI APIC Support	初期値 [Enabled] のままで使用します。



<b>APM Configuration</b>  起動する方法や条件を設定します。	<b>Restore on AC Power Loss</b>	電源スイッチを押さずに、電源供給時に起動するかを設定します。 分電盤などによる複数のコンピュータの同時起動を行うと、コンピュータの動作に悪影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。 <b>Power Off</b> : 電源が供給されても、電源スイッチを押さない限り起動しません。 <b>Power On</b> : 電源オフ時に、電源スイッチを押さなくても、電源が供給されるとコンピュータが起動します。 <b>Last State</b> : コンピュータの動作中に、雷などの影響で突然電源が切断されたあとに電源が再び供給されると、電源スイッチを押さなくてもコンピュータが起動します。コンピュータを正常終了させた状態では、電源が供給されてもコンピュータは起動しません。
	<b>Power On By RTC Alarm</b>	コンピュータを指定した時間に起動する設定をします。 <b>Disabled</b> : 設定しません。 <b>Enabled</b> : 設定します。 <b>Enabled (有効)</b> に設定しているときに、電源コードを抜き、再び接続すると、コンピュータが一瞬起動する場合がありますが、不具合ではありません。
	<b>RTC Alarm Date</b>	「Power On By RTC Alarm」を「Enabled」に設定すると表示されます。 起動する日を設定します。
	<b>RTC Alarm Hour</b>	「Power On By RTC Alarm」を「Enabled」に設定すると表示されます。 起動する時を設定します。
	<b>RTC Alarm Minute</b>	「Power On By RTC Alarm」を「Enabled」に設定すると表示されます。 起動する分を設定します。
	<b>RTC Alarm Second</b>	「Power On By RTC Alarm」を「Enabled」に設定すると表示されます。 起動する秒を設定します。
	<b>Power On By PCI Devices</b>	電源切断時、PCI接続のネットワークから起動するかを設定します。この機能は、Windows を正常に終了した状態でのみ使用可能です。 <b>Disabled</b> : 設定しません。 <b>Enabled</b> : 設定します。 <b>Enabled (有効)</b> に設定しているときに、電源コードを抜き、再び接続すると、コンピュータが一瞬起動する場合がありますが、不具合ではありません。
	<b>Power On By PCIE Devices</b>	電源切断時、メインボード上のネットワーク (PCI Express 接続) から起動するかを設定します。この機能は、Windows を正常に終了した状態でのみ使用可能です。 <b>Disabled</b> : 設定しません。 <b>Enabled</b> : 設定します。 <b>Enabled (有効)</b> に設定しているときに、電源コードを抜き、再び接続すると、コンピュータが一瞬起動する場合がありますが、不具合ではありません。

## ▶ Bootメニュー画面

「Boot」メニュー画面では、システムの起動（Boot）に関する設定を行います。


Bootの順番の変更方法については、 p.170 「起動（Boot）デバイスの順番を変更する」をご覧ください。

\_\_\_は初期値

\*は項目表示のみ



Boot Device Priority システムを起動するドライブの順番を設定します。	1st Boot Device	1番目に起動するドライブを設定します。初期値は搭載している光ディスクドライブの型番が表示されます。
	2nd Boot Device	2番目に起動するドライブを設定します。初期値は「Removable Dev.」（USB FDDなど）です。接続した記憶装置によっては、装置の型番が表示されます。
	3rd Boot Device	3番目に起動するドライブを設定します。初期値は搭載しているHDDの型番が表示されます。
	4th Boot Device ※リモートブート機能を有効にすると表示されます。	ネットワークから起動する場合に使用します。（リモートブート機能を有効にするには、「Advanced」メニュー画面－「Onboard Devices Configuration」の「Onboard LAN Boot ROM」を「Enabled」に設定し、変更を保存して再起動します。）
Hard Disk Drives	1st Drive 2nd Drive	RAID構成時以外でHDDを2台以上装着した場合にそれぞれの型番が表示されます。接続したUSB記憶装置によっては、型番が表示される場合があります。初期値のまま使用します。
Removable Drives	1st Drive 2nd Drive	外付けの記憶装置（USB FDD など）を2台以上接続した場合にのみ型番が表示され、優先順位を設定できます。
Boot Settings Configuration	Full Screen Logo	コンピュータ起動時にロゴを表示するかを設定します。 Disabled：表示しません。 Enabled：表示します。
	Bootup Num-Lock	DOS起動時のNumLockの状態を設定します。 Off：NumLockが押されていない状態にします。 On：NumLockが押された状態にします。


## ▶ Securityメニュー画面

「Security」メニュー画面では、パスワードやセキュリティに関する設定を行います。  
パスワードの設定方法は、 p.167 「パスワードを設定する」をご覧ください。  
設定項目は、次のとおりです。

\_\_\_は初期値

\*は項目表示のみ

Security Settings システム起動時や「BIOS Setup ユーティリティ」起動時などのパスワードを設定します。	*Supervisor Password	Supervisor Password（管理者パスワード）が設定されているかどうかを表示します。 Installed : パスワードが設定されています。 Not Installed : パスワードが設定されていません。
	*User Password	User Password（ユーザーパスワード）が設定されているかどうかを表示します。 Installed : パスワードが設定されています。 Not Installed : パスワードが設定されていません。
	Change Supervisor Password	管理者パスワードの設定や変更、削除を行います。  p.167 「パスワードを設定する」
	User Access Level ※Supervisor Passwordを設定すると表示されます。	User PasswordでBIOSにログインしたときの制限を設定します。 No Access : BIOSにアクセスできません。 View Only : BIOSを見ることのみ許可されます。 Limited : 一部の設定変更のみ許可されます。 Full Access : Supervisorと同等の権限を許可されます。
	Change User Password	ユーザーパスワードの設定や変更、削除を行います。  p.167 「パスワードを設定する」
	Clear User Password ※User Passwordを設定すると表示されます。	ユーザーパスワードを削除します。 削除する場合は、  を押し、確認画面が表示されたら [Ok] を選択します。「User Password」項目の表示が「Not Installed」に変わります。
	Password Check ※Supervisor PasswordやUser Passwordを設定すると表示されます。	アクセス制限の種類を選択します。 Setup : BIOSへのアクセスを制限します。BIOS起動時にパスワード入力を要求します。 Always : BIOS、システムへのアクセスを制限します。BIOS起動時とシステム起動時、休止状態からの復帰時にパスワード入力を要求します。

Security Settings  システム起動時や「BIOS Setup ユーティリティ」起動時などのパスワードを設定します。	TPM Function	TPM LPC Decode	セキュリティチップ (TPM) を使用するかを設定します。 <b>Disabled</b> : 使用しません。 <b>Enabled</b> : 使用します。
		Trusted Platform Module	セキュリティチップ (TPM) のセキュリティ機能を使用するかを設定します。 <b>Disabled</b> : 使用しません。 <b>Enabled</b> : 使用します。
		Clearing the TPM	「TPM Platform Module」を「Enabled」に設定すると表示されます。 セキュリティチップに保存されている情報を初期化します。 * 初期化を行うと、それまでに暗号化されたデータを使用できなくなります。また、Windows VistaのHDD暗号化機能「BitLocker」を使用している状態で初期化を行うと、Windowsが起動できなくなり、暗号化しているHDD内のデータも使用できなくなります。セキュリティチップの初期化を行う場合は、お客様の責任において十分に注意して行ってください。 初期化する場合は、  を押し、確認画面が表示されたら [Ok] を選択します。情報が初期化され、コンピュータが再起動します。
Hard Disk Security	Hard Disk Protection  ※Supervisor Passwordを設定すると、設定可能になります。	HDDへのアクセス制限の有効/無効を設定します。アクセス制限を有効に設定したHDDは、ほかのコンピュータに接続しても認識されなくなります。 有効に設定すると、BIOS、システムへのアクセスが制限され、BIOS起動時とシステム起動時、休止状態からの復帰時にパスワード入力を要求します。 <b>Disabled</b> : HDDへのアクセスを制限しません。 <b>Enabled</b> : HDDへのアクセスを制限します。 RAID構成時は、HDDアクセス制限を使用できません。 「Disabled」のままで使用してください。	

## ▶Exitメニュー画面

「Exit」メニュー画面では、BIOS Setupユーティリティを終了したり、BIOSの設定値を初期値に戻します。設定項目は、次のとおりです。

Exit & Save Changes	変更した内容 (設定値) を保存してから、BIOS Setupユーティリティを終了します。
Exit & Discard Changes	変更した内容 (設定値) を保存せずに、BIOS Setupユーティリティを終了します。
Discard Changes	BIOS Setupユーティリティを終了させずに、変更した設定値を前回保存した設定値に戻します。
Load Setup Defaults	BIOS Setupユーティリティの設定値を、BIOSの初期設定値に戻します。

## ▶BIOSの設定値

BIOS Setup ユーティリティで設定を変更した場合は、変更内容を下表に記録しておく便利です。購入時の設定は必ず記録してください。

### Main メニュー画面

項目		購入時の設定		変更内容	
SATA1	LBA/Large Mode	Auto	Disabled	Auto	Disabled
	PIO Mode	Auto	0 1 2 3 4	Auto	0 1 2 3 4
SATA 2/ SATA 3	LBA/Large Mode	Auto	Disabled	Auto	Disabled
	PIO Mode	Auto	0 1 2 3 4	Auto	0 1 2 3 4
	32Bit Date Transfer	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled
SATA Configuration	Configure SATA as	AHCI	RAID	AHCI	RAID

### Advanced メニュー画面

項目		購入時の設定		変更内容	
CPU Configuration	Virtualization Technology	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled
Onboard Devices Configuration	Onboard Audio	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled
	Onboard 1394 Controller	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled
	Onboard PCIE GbE LAN	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled
	Onboard LAN Boot ROM	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled
	Serial Port	Disabled	3F8/IRQ4 2F8/IRQ3 3E8/IRQ4 2E8/IRQ3	Disabled	3F8/IRQ4 2F8/IRQ3 3E8/IRQ4 2E8/IRQ3
	Parallel Port	Disabled	378/IRQ7 278/IRQ5 3BC/IRQ7	Disabled	378/IRQ7 278/IRQ5 3BC/IRQ7
	Parallel Port Mode	Normal EPP	Bi-Directional ECP	Normal EPP	Bi-Directional ECP
USB Configuration	USB 2.0 Controller	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled

### Power メニュー画面

項目		購入時の設定			変更内容		
Suspend to RAM		Disabled	Enabled		Disabled	Enabled	
APM Configuration	Restore on AC Power Loss	Power Off	Power On	Last State	Power Off	Power On	Last State
	Power On By RTC Alarm	Disabled	Enabled		Disabled	Enabled	
	Power On By PCI Devices	Disabled	Enabled		Disabled	Enabled	
	Power On By PCIE Devices	Disabled	Enabled		Disabled	Enabled	

### Boot メニュー画面

項目		購入時の設定			変更内容		
Boot Device Priority	1st Boot Device	Disabled	(	)	Disabled	(	)
	2nd Boot Device	Disabled	(	)	Disabled	(	)
	3rd Boot Device	Disabled	(	)	Disabled	(	)
	4th Boot Device	Disabled	(	)	Disabled	(	)
Boot Settings Configuration	Full Screen Logo	Disabled	Enabled		Disabled	Enabled	
	Bootup Num-Lock	Off	On		Off	On	

### Security メニュー画面

項目		購入時の設定			変更内容	
Security Settings	Supervisor password	Not Installed	Installed		Not Installed	Installed
	User password	Not Installed	Installed		Not Installed	Installed
	Password Check	Setup	Always		Setup	Always
	TPM Function	TPM LPC Decode	Disabled	Enabled		Disabled
Trusted Platform Module		Disabled	Enabled		Disabled	Enabled
Hard Disk Security	Hard Disk Protection	Disabled	Enabled		Disabled	Enabled

# 第5章 ソフトウェアの 再インストール

ソフトウェアを再インストールする手順について説明します。

「再インストールする前に必ずお読みください」 .....	184
「ソフトウェアの再インストールを行う」 .....	186

# 再インストールする前に必ずお読みください

ここでは、ソフトウェアの再インストールを行う前に知っておいていただきたい情報について記載しています。

HDDをフォーマットして、Windowsや本体ドライバなどをインストールしなおす作業のことを、本書では「再インストール」と記載します。

再インストールは「リカバリ」とも言います。


## ▶再インストールが必要な場合

再インストールは次のような場合に行います。通常は必要ありません。

- なんらかの原因でWindowsが起動しなくなり、修復しても問題が解決できない場合
- HDD領域の構成を変更したい場合

### Windowsを修復する

なんらかの原因でWindowsが起動しなくなった場合は、再インストールを行う前に「Windows回復環境」でWindowsの修復を行ってみてください。再インストールをしなくても、問題が解決する場合があります。

 p.232 「Windows回復環境（Windows RE）を使う」

## ▶重要事項


再インストールする前に、次の重要事項を必ずお読みください。

### 当社製以外のBIOSへのアップデート禁止

当社製以外のBIOSへのアップデートは絶対にしないでください。当社製以外のBIOSにアップデートすると、再インストールができなくなります。

### セキュリティソフトウェアの更新サービス

本機に添付のセキュリティソフトウェア「Norton Internet Security 90日版」で、90日経過後に更新サービスの延長キーを購入して更新サービスを継続している場合、再インストールを行うと更新サービスの延長が無効になります。更新サービスの延長が無効になってしまった場合は、シマンテックストアまでお問い合わせください。

 『セキュリティソフトウェアをご使用の前に』（別冊）



## Webフィルタリングソフトウェアの継続利用

本機に添付のWebフィルタリングソフトウェア「i-フィルター 30日版」で継続利用手続きを行っている場合、Windowsを再インストールすると利用期限が30日に設定されてしまいます。

この場合は、デジタルアーツ社のホームページから最新版を入手し、契約済みのシリアルIDを利用してインストールを行ってください。

詳細は、デジタルアーツ社にお問い合わせください。

[http://www.daj.jp/cs/ifpe/sup\\_dl.htm](http://www.daj.jp/cs/ifpe/sup_dl.htm)

## 最新の情報

インストール方法に関する最新情報を記載した紙類が添付されている場合があります。梱包品を確認して、紙類が添付されている場合は、その手順に従って作業をすすめてください。

## マニュアルびゅーわのバックアップ

電子マニュアル閲覧ツール「マニュアルびゅーわ」は、再インストールをすると削除されます。

再インストールの前に、必ずバックアップを取ってください。



p.240 「マニュアルびゅーわのバックアップ」

# ソフトウェアの再インストールを行う

ここでは、ソフトウェアの再インストール方法について記載しています。


## ▶必要なメディア

再インストールには、次のメディアが必要です。

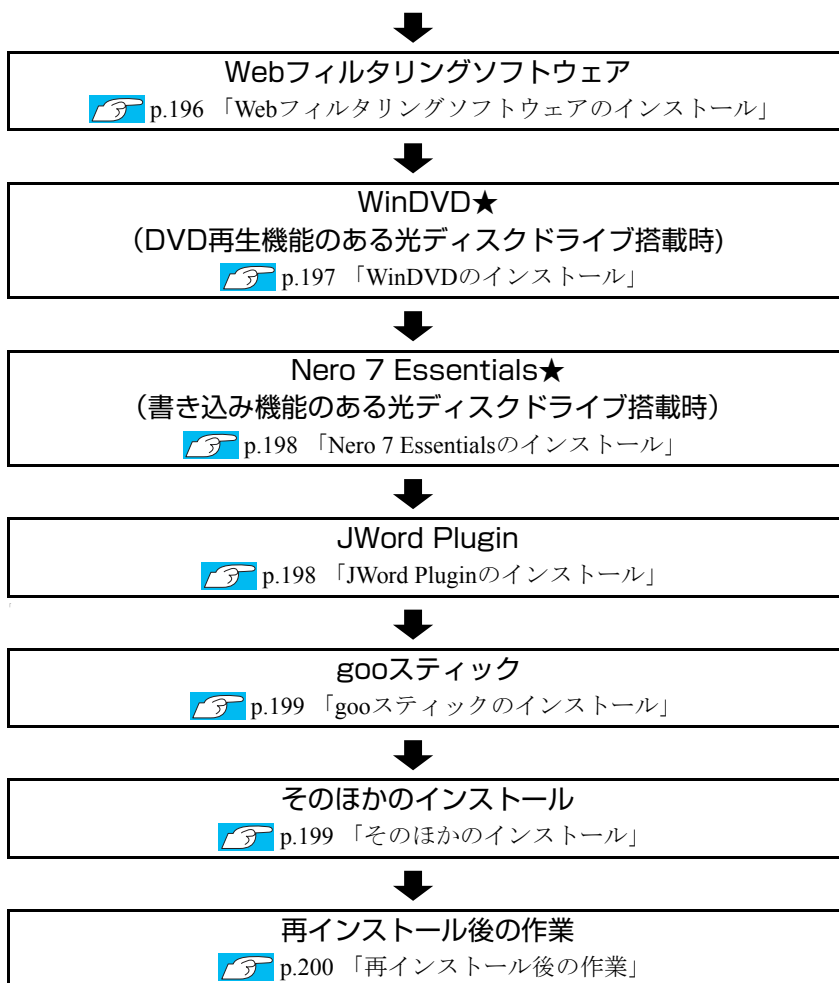
- Windows VistaリカバリDVD  
Windows Vistaが収録されているDVD-ROMです。
- ドライバCD  
本体ドライバ、Adobe Reader、セキュリティソフトウェアなどが収録されているCD-ROMです。
- WinDVD CD-ROM（DVD再生機能のある光ディスクドライブ搭載時）  
DVD VIDEOを再生するソフトウェアが収録されているCD-ROMです。
- Nero 7 Essentials CD-ROM（書き込み機能のある光ディスクドライブ搭載時）  
光ディスクドライブのライティングソフトウェアが収録されているCD-ROMです。
- そのほか必要なメディア  
お使いのシステム構成によって必要なメディアは異なります。

## ▶インストールの順番

再インストールは、次の順番で行います。★が付いているソフトウェアは必ずインストールしてください。

購入時のインストール状態は、 p.22 「添付されているソフトウェア」で確認してください。





## ▶インストール作業における確認事項

---

再インストールを始める前に、下記の点をご確認ください。

### 管理者 (Administrator) のアカウントでログオン

インストール作業は、管理者 (Administrator) のアカウントでログオンして行ってください。

### システム構成

本章のインストール手順は、購入時のシステム構成を前提にしています。インストールは、BIOSの設定とシステム構成を購入時の状態に戻して行うことをおすすめします。


### ドライブ名

本章の説明では、ドライブ構成が次のようになっているものとします。実際の光ディスクドライブのドライブ名は、HDD領域の数によって異なります。

Aドライブ : USB FDD (オプション)  
Cドライブ : HDD  
Dドライブ : 光ディスクドライブ

### 各種設定やデータのバックアップ

再インストールを行うと、設定した事項が元に戻ってしまったり、データが消去されたりします。再インストールを行う前に必要に応じて設定を書き写したり、データのバックアップを行っておいてください。

 p.190 「バックアップを取る」


### 初期設定ツール

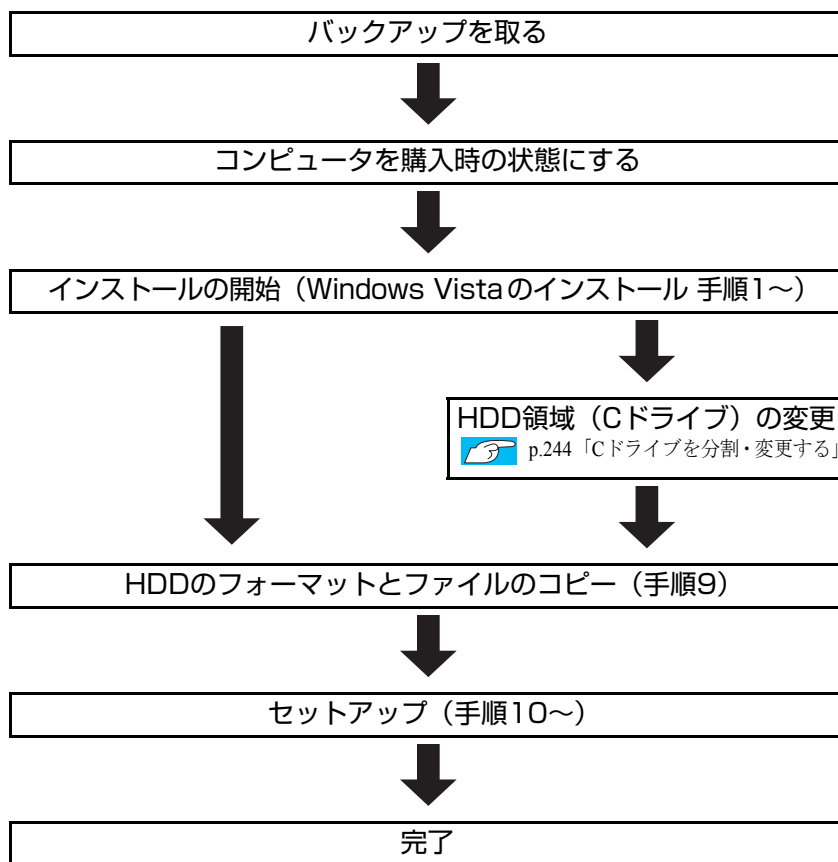
初期設定ツールは、Windowsを再インストールすると消去されます。初期設定ツールでインストールした「セキュリティソフトウェア」などのソフトウェアは、以降で説明する手順に従ってインストールを行ってください。

## ▶Windowsのインストール

### インストールの流れ


Windowsのインストールの主な流れは次のとおりです。

インストール作業は、 p.190 「Windows Vistaをインストールする」以降の手順に従って行ってください。



### HDD領域 (Cドライブ) を変更するには

Windowsのインストール中にCドライブ (Windowsがインストールされている領域) のサイズを変更したり、分割したりすることができます。

HDD領域の変更や、分割についての詳しい説明は、 p.243 「HDD領域 (ドライブ) の分割・変更・作成」をご覧ください。

## ▶Windows Vistaをインストールする

### バックアップを取る

次の設定やデータは、Windowsの再インストールを行うと消去されます。必要に応じてバックアップを行ってください。


- マニュアルびゅうわ

 p.240 「マニュアルびゅうわのバックアップ」

- ネットワークやモデムの設定

接続に関する設定を書き写しておいてください。


- Internet Explorerの「お気に入り」・Windowsメールの「連絡先」「メールデータ」

 p.239 「データのバックアップ」

このほかのWeb閲覧ソフトやメールソフトをお使いの場合は、ソフトウェアに添付のマニュアルをご覧ください。

- セキュリティチップユーティリティの設定


セキュリティチップユーティリティを使用している場合は、設定のバックアップを行ってください。

 『セキュリティ機能（TPM）設定ガイド』（別冊）－「Windowsを再インストールする前に」

- 重要なデータ

ほかのメディアなどにコピーしておいてください。

HDD領域の変更を行わない場合でも、Cドライブ以外のドライブ（HDD領域）のデータのバックアップを念のため行うことをおすすめします。


 p.239 「データのバックアップ」

### コンピュータを購入時の状態にする

周辺機器が接続されていたり、BIOSの設定値が変更されていたりすると、正常にインストールが行われない可能性があります。本機を購入時の状態に戻してから再インストールを行ってください。

### Windows Vistaのインストール

Windows Vistaのインストール方法は、次のとおりです。

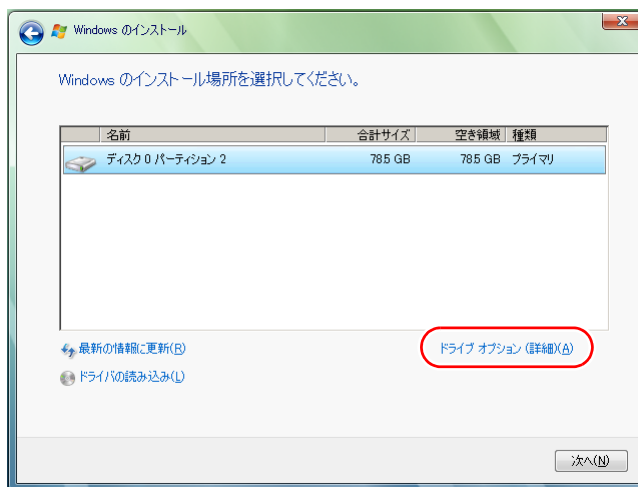
- 1** 本機の電源を入れ、Windowsが起動したら、「Windows VistaリカバリDVD」を光ディスクドライブにセットします。  
「自動再生」画面が表示されたら、 をクリックし、画面を閉じてください。ここからはインストールを行いません。
- 2** [スタート] - [▶] - 「再起動」をクリックして、本機を再起動します。
- 3** 「EPSON」と表示後、黒い画面に「Press any key to boot from CD or DVD.」と表示されたら、どれかキーを押します。

一定時間内にキーを押さないと、HDD内のWindows Vistaが起動してしまいます。Windows Vistaが起動してしまった場合は、手順2へ戻ります。

- 4 「システム回復オプション」画面が表示されたら、キーボードレイアウトが「日本語」になっていることを確認し、[次へ] をクリックします。  
ここでHDD内のWindowsのチェックが行われます。Windowsの修復を促す画面が表示された場合は、画面の指示に従って修復を行ってください。
- 5 「修復するオペレーティングシステムを選択し…」と表示されたら、「Microsoft Windows Vista」が選択された状態で [次へ] をクリックします。
- 6 「回復ツールを選択してください」と表示されたら、「Windowsの再インストール」をクリックします。
- 7 「Windowsの再インストールを行います。」と表示されたら、[再インストール] をクリックします。
- 8 「ライセンス条項をお読みください。」と表示されたら、内容を確認し、「条項に同意します」にチェックを付けて、[次へ] をクリックします。
- 9 「Windowsのインストール場所を選択してください。」と表示されたら、次のとおり作業を続けます。

<領域変更を行わない場合（通常）>

- (1) 「ドライブオプション（詳細）」をクリックします。




- (2) 「ディスク0パーティション2」（Cドライブ）が選択された状態で「フォーマット」をクリックします。
- (3) 「このパーティションをフォーマットすると…」と表示されたら、[OK] をクリックします。  
フォーマットが開始されます。


- (4) フォーマットが終了すると、[次へ] がクリックできる状態になります。「ディスク0パーティション2」(Cドライブ) が選択された状態で [次へ] をクリックします。

Windows Vistaのインストールが開始されます。システム構成にもよりますが、インストールは20分～40分かかります。手順10の画面が表示されるまでキーボードやマウスは操作しないでください。


<領域変更を行う場合>

 p.246 「Cドライブを分割・変更する」の手順に従ってください。

- 10** 「ユーザー名と画像の選択」と表示されたら、ユーザー名、パスワード（任意）を入力し、画像一覧からお好みの画像をクリックして選択し、[次へ] をクリックします。

 p.43 「ユーザー名と画像の選択」

- 11** 「コンピュータ名を入力して、デスクトップの背景を選択してください。」と表示されたら、コンピュータ名を入力し、背景一覧からお好みの背景をクリックして選択し、[次へ] をクリックします。

 p.43 「コンピュータ名を入力してデスクトップの背景を選択してください」

- 12** 「Windowsを自動的に保護するよう設定してください」と表示されたら、保護の設定をクリックして選択します。


「推奨設定を使用します」を選択することをおすすめします。

- 13** 「時刻と日付の設定の確認」と表示されたら、「タイムゾーン」が「大阪、札幌、東京」になっていることを確認し、「日付」、「時刻」を設定し、[次へ] をクリックします。

- 14** ネットワークに接続している場合、「お使いのコンピュータの現在の場所を選択してください」と表示されます。場所をクリックして選択します。

- 15** 「ありがとうございます」と表示されたら、[開始] をクリックします。

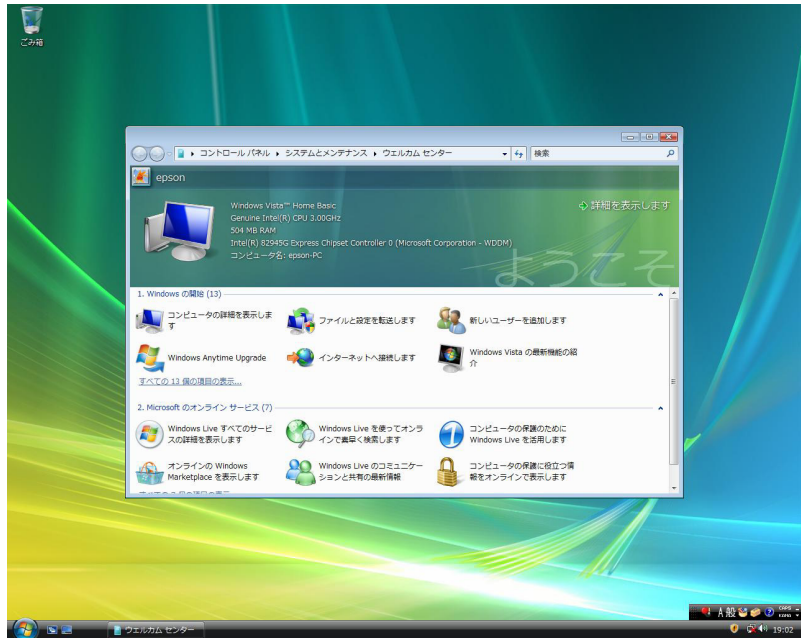
設定が行われます。設定には約5分かかります。

- 16** 手順 10 でパスワードを設定した場合は、パスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力して、 を押します。



## 17 Windows Vistaのデスクトップ(下記の画面)が表示されたら、「Windows Vista リカバリDVD」を取り出します。


デスクトップの背景は、手順11で選択した背景が表示されます。



これでWindows Vistaのインストールは完了です。

## 18 手順9で領域変更を行った場合は、「未割り当て領域」に領域(パーティション)を作成します。

領域(パーティション)の作成は、ドライバやソフトウェアのインストールが終了してから行ってもかまいません。

 p.248 「HDD領域(パーティション)の作成手順」

## ▶本体ドライバのインストール

---

本機のメインボード上に搭載されているデバイスのドライバ類を、一括してインストールします。

本体ドライバのインストールでインストールするドライバ類は、次のとおりです。


- チップセットドライバ
- Intel Matrix Storage Manager
- ビデオドライバ
- サウンドドライバ
- ネットワークドライバ
- キーボードドライバ
- インフォメーションメニュー
- Java2 Runtime Environment

上記以外のデバイスは、Windows標準ドライバで動作します。

Windows標準ドライバとは、Windowsをインストールすると自動的にインストールされるドライバです。

### インストール

インストールの手順は、次のとおりです。

- 1 「ドライバCD」を光ディスクドライブにセットします。**
- 2 「自動再生」画面が表示されたら、「Install.exeの実行」をクリックします。**  
「自動再生」画面が表示されない場合は、[スタート] - 「コンピュータ」 - 「EPSON\_CD」をダブルクリックします。
- 3 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[許可]をクリックします。**
- 4 「ドライバ・ソフトウェアのインストール」画面が表示されたら、「インストール」をクリックします。**
- 5 「インストール確認」画面が表示されたら、内容をよくお読みになり、[OK]をクリックします。**  
各ドライバが自動的にインストールされます。  
インストールには数分かかります。
- 6 「インストールが完了しました。」と表示されたら、[OK]をクリックします。**
- 7 「インストール処理」画面が表示されたら、ドライバのインストール状態を確認し、[PC再起動]をクリックします。**  
RAID構成時は、Windowsが再起動したら本体ドライバのインストールは完了です。次の手順は必要ありません。
- 8 Windowsが再起動した後、「ウェルカムセンター」画面が表示されたら、をクリックして画面を閉じます。**

- 9** 「これらの変更を適用するには・・・」と表示された画面で、[今すぐ再起動する] をクリックします。

Windows が再起動したら、本体ドライバのインストールは完了です。

## ▶ 拡張ボードのドライバのインストール

＜拡張ボード搭載時＞

ビデオボードなどの拡張ボードをお使いの場合は、拡張ボードのドライバをインストールします。

インストールは、拡張ボードに添付のディスクを使用して行います。インストール方法は、拡張ボードに添付のマニュアルをご覧ください。

## ▶ Adobe Readerのインストール

「Adobe Reader」は、PDF形式のファイルを表示したり、印刷したりするためのソフトウェアです。

### インストール

Adobe Readerのインストール手順は、次のとおりです。

- 1** 「ドライバCD」を光ディスクドライブにセットします。
- 2** 「自動再生」画面が表示されたら、「Install.exeの実行」をクリックします。  
「自動再生」画面が表示されない場合は、[スタート] - 「コンピュータ」 - 「EPSON\_CD」をダブルクリックします。
- 3** 「ユーザアカウント制御」画面が表示されたら、[許可] をクリックします。
- 4** 「ドライバ・ソフトウェアのインストール」画面が表示されたら、「Adobe Reader」をクリックします。  
「このファイルを実行しますか？」と表示された場合は、[実行] をクリックします。
- 5** 「Adobe Reader…セットアップ」画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。
- 6** 「プログラムをインストールする準備ができました」と表示されたら、[インストール] をクリックします。  
インストールにはしばらく時間がかかります。
- 7** 「セットアップ完了」と表示されたら、[完了] をクリックします。  
これで、Adobe Readerのインストールは完了です。  
続いて、Adobe Readerのセットアップを行います。

## セットアップ

インストールが完了したら、続いてセットアップを行います。Adobe Readerのセットアップ手順は次のとおりです。

- 1** デスクトップ上の「Adobe Reader」アイコンをダブルクリックします。
- 2** 「使用許諾契約書」が表示されたら、「…言語を選択してください。」が「日本語」になっていることを確認します。
- 3** 「使用許諾契約書」に同意するかしないかを選択します。  
同意する場合は、「同意する」をクリックします。「同意しない」を選択すると、Adobe Readerは使用できません。
- 4** 「Adobe Reader操作ガイド」が表示されます。  
内容を確認してください。  
これで、Adobe Readerのインストールは完了です。

## ▶セキュリティソフトウェアのインストール

---

本機に添付のセキュリティソフトウェア「Norton Internet Security 90日版」をインストールします。『セキュリティソフトウェアをご使用の前に』（別冊）をご覧ください。

市販のセキュリティソフトウェアなどをインストールする場合は、ソフトウェアに添付のマニュアルをご覧ください。

## ▶Webフィルタリングソフトウェアのインストール

---

本機に添付の「i-フィルター 30日版」をインストールします。i-フィルター 30日版は、有害サイトをブロックするためのWebフィルタリングソフトウェアです。

市販のWebフィルタリングソフトウェアなどをインストールする場合は、ソフトウェアに添付のマニュアルをご覧ください。

### i-フィルター 30日版のインストール

i-フィルター 30日版のインストール方法は、次のとおりです。

- 1** 「ドライバCD」を光ディスクドライブにセットします。
- 2** 「自動再生」画面が表示されたら、「Install.exeの実行」をクリックします。  
「自動再生」画面が表示されない場合は、「スタート」－「コンピュータ」－「EPSON\_CD」をダブルクリックします。
- 3** 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、「許可」をクリックします。

- 4 表示された項目から「i-フィルター 30日版」をクリックします。
- 5 「i-フィルター…セットアップへようこそ」と表示されたら、[次へ] をクリックします。
- 6 「使用許諾契約」と表示されたら、内容をよくお読みになり同意するかしないかを選択します。  
同意する場合は「はい」をクリックします。「いいえ」を選択すると、i-フィルター 30日版は使用できません。
- 7 「インストール先の選択」と表示されたら、[次へ] をクリックします。
- 8 「インストールを完了するためにはコンピュータの再起動が必要です。…」と表示されたら、[OK] をクリックします。  
Windowsが再起動したら、i-フィルター 30日版のインストールは完了です。続いて、i-フィルター 30日版のセットアップを行います。

### i-フィルター 30日版のセットアップ

- 1 Windowsが再起動して「i-フィルター」画面が表示されたら、使用許諾契約書の内容をよくお読みになり、[「i-フィルター」を使ってみる] をクリックします。
- 2 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[続行] をクリックします。
- 3 「管理パスワードの設定」と表示されたら、「管理パスワード」と「管理パスワード (確認)」にパスワードを入力して[設定] をクリックします。  
このパスワードは、フィルター設定を変更する場合などに必要になります。
- 4 「有害サイト遮断ソフト…へようこそ!」と表示されたら、画面の注意事項をよくお読みください。  
「インターネット閲覧で表示がブロックされているかを確認する。」項目で、[確認] をクリックすると、フィルター機能が有効になっているかどうか確認できます。  
これで、i-フィルター 30日版のセットアップは完了です。

## ▶ WinDVDのインストール

<DVD再生機能のある光ディスクドライブ搭載時>

「WinDVD」は、DVD VIDEOを再生するためのソフトウェアです。  
WinDVDのインストール手順は、次のとおりです。

- 1 「WinDVD CD-ROM」を光ディスクドライブにセットします。

- 2 「自動再生」画面が表示されたら、「SETUP.EXEの実行」をクリックします。  
「自動再生」画面が表示されない場合は、[スタート] - 「コンピュータ」 - 「CD-ROM」アイコンをダブルクリックします。
- 3 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[続行] をクリックします。
- 4 「InstallShield Wizard」画面が表示されたら、以降は画面の指示に従ってインストールを行ってください。

## ▶ Nero 7 Essentialsのインストール

---

<書き込み機能のある光ディスクドライブ搭載時>

「Nero 7 Essentials」は、光ディスクドライブで書き込みを行うためのソフトウェアです。

Nero 7 Essentialsをインストールすると、InCDもインストールされます。

Nero 7 Essentialsのインストール手順は、次のとおりです。

- 1 「Nero 7 Essentials CD-ROM」を光ディスクドライブにセットします。
- 2 「自動再生」画面が表示されたら、「Setupx.exeの実行」をクリックします。  
「自動再生」画面が表示されない場合は、[スタート] - 「コンピュータ」 - 「CD-ROM」アイコンをダブルクリックします。
- 3 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[続行] をクリックします。
- 4 「Neroマルチインストーラ」画面が表示されたら、[Nero 7 Essentials] をクリックします。
- 5 「Nero 7 Essentialsインストールウィザードへようこそ」と表示されたら、以降は画面の指示に従ってインストールを行ってください。

## ▶ JWord Pluginのインストール

---

「JWord Plugin」は、Internet Explorerのアドレスバーから、日本語でインターネットを検索できるソフトウェアです。

JWord Pluginのインストール手順は、次のとおりです。

- 1 「ドライバCD」を光ディスクドライブにセットします。
- 2 「自動再生」画面が表示されたら、「Install.exeの実行」をクリックします。  
「自動再生」画面が表示されない場合は、[スタート] - 「コンピュータ」 - 「EPSON\_CD」をダブルクリックします。
- 3 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[許可] をクリックします。

- 4 「ドライバ・ソフトウェアのインストール」画面が表示されたら、「JWord Plugin」をクリックします。
- 5 「JWordプラグイン…へようこそ」と表示されたら、以降は画面の指示に従ってインストールを行ってください。

## ▶gooスティックのインストール

---

「gooスティック」は、Internet Explorerのツールバーに、検索サービス「goo」の検索ボックスを追加するソフトウェアです。

gooスティックのインストール手順は、次のとおりです。

- 1 「ドライバCD」を光ディスクドライブにセットします。
- 2 「自動再生」画面が表示されたら、「Install.exeの実行」をクリックします。  
「自動再生」画面が表示されない場合は、[スタート] - 「コンピュータ」 - 「EPSON\_CD」をダブルクリックします。
- 3 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[許可]をクリックします。
- 4 「ドライバ・ソフトウェアのインストール」画面が表示されたら、「goo スティック」をクリックします。
- 5 「インストールが完了しました」と表示されたら、[OK]をクリックします。  
これで、gooスティックのインストールは完了です。

## ▶そのほかのインストール

---

必要に応じて次のインストールを行ってください。

### セキュリティチップユーティリティのインストール

セキュリティチップのセキュリティ機能（TPM）を使用していた場合は、ユーティリティをインストールします。詳しくは、『セキュリティ機能（TPM）設定ガイド』（別冊）をご覧ください。

### 各種ドライバのインストール

お使いになるシステム構成によって、ドライバやユーティリティ、ソフトウェアなどのインストールが必要です。インストールは、オプション機器類に添付されているメディアを使用して行います。詳しくは、本機でお使いになるオプション機器類に添付のマニュアルをご覧ください。



### 参考

#### インストールが必要なドライバの例

お使いになるシステム構成によって、次のようなドライバやユーティリティが必要になります。

- USB対応機器を使用する場合 : USB機器に添付のドライバ
- プリンタを使用する場合 : プリンタに添付のドライバ

## そのほかのソフトウェアのインストール

「Office」など、そのほかに使用するソフトウェアがある場合は、インストールします。インストール方法はソフトウェアに添付のマニュアルをご覧ください。


## ▶再インストール後の作業

---

再インストールが完了したら、必要に応じて次の作業を行ってください。

### 領域の作成

Windowsのインストール中にHDD領域を変更した場合、「未割り当て領域」はそのままでは使用できません。Windowsの「ディスクの管理」を使用して、領域の作成を行います。


 p.248 「HDD領域（パーティション）の作成手順」

### ネットワークやモデムの設定

再インストールの前に書き写しておいた設定を元に、ネットワークやモデムの設定を行います。

### バックアップしたデータの復元

再インストール前にバックアップしておいたデータを復元します。

 p.239 「データのバックアップ」

- マニュアルびゅうわ
- Internet Explorer、Windowsメールの設定
- 重要なデータ

バックアップ先のメディアなどから元に戻します。

### Windows Update

Windowsの再インストールを行うと、今までに行った「Windows Update」のプログラムがインストールされていない状態に戻ります。

自動更新の設定がされていると、更新プログラムが自動的にダウンロード、インストールされ、Windowsが最新の状態になります。

 p.109 「Windows Update」



# 第6章 こんなときは

困ったときの確認事項や対処方法などについて説明します。


「トラブルが発生したら」 .....	202
「困ったときに」 .....	203
「システム診断ツールを使う」 .....	229
「トラブル時に役立つ機能」 .....	230
「警告メッセージが表示されたら」 .....	235

# トラブルが発生したら

本機ご使用時にトラブルが発生した場合は、次の場所から対処方法を確認してください。

- 困ったときに

トラブルが発生した場合の確認事項と対処方法を記載しています。

 p.203 「困ったときに」

- とらぶる解決ナビ

当社ユーザーサポートページの「サポート情報検索」から、技術的なトラブルの解決方法をピックアップして収録しています。



「インフォメーションメニュー」を開き、「とらぶる解決ナビ」をクリックします。



トラブルが起きた場合の対処の流れ

## 参考

### サポート・サービスのご案内

『サポート・サービスのご案内』（別冊）には、当社のサポートやサービスの内容が詳しく記載されています。

困ったときや万一の場合に備えてご覧ください。

# 困ったときに

困ったときの確認事項と対処方法を説明します。不具合が発生した場合に参考にしてください。対処方法が見つからない場合は、「インフォメーションメニュー」の「とらぶる解決ナビ」や「サポート情報検索」もあわせてご覧ください。



## 不具合が解消しない場合は

対処を行っても不具合が解消しない場合は、『サポート・サービスのご案内』（別冊）をご覧ください。「カスタマーサービスセンター」までご連絡ください。

## 不具合一覧

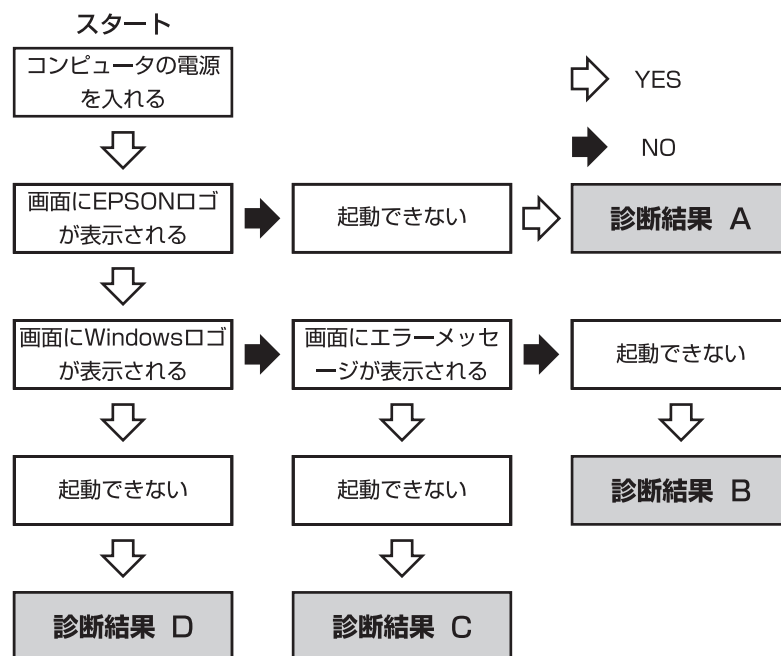
コンピュータ本体（起動時）	p.204
● 起動	p.204
● そのほか	p.211
コンピュータ本体	p.212
● 省電力機能	p.212
● セキュリティチップ（TPM）	p.213
● 装置の増設・交換	p.213
● そのほか	p.214
メモリ	p.215
● メモリ	p.215
記憶装置	p.216
● HDD	p.216
● 光ディスクドライブ	p.217
● マルチカードリーダー	p.220
入力装置	p.221
● キーボード	p.221
● マウス	p.222
表示装置	p.223
● ディスプレイ	p.223
サウンド	p.224
● スピーカ	p.224
ソフトウェア	p.225
● ソフトウェア	p.225
● インストール	p.227
ネットワーク、インターネット	p.228

## ▶コンピュータ本体の不具合（起動時）

コンピュータが起動できない不具合に対する対処方法を説明します。

### 起動時の不具合

シャットダウン状態からコンピュータが起動できない場合は、次の診断を行い、各診断結果に応じた対処を行ってみてください。



### 診断結果 A

次の対処を順番に行ってみてください。

#### (1) コンピュータ本体の電源を入れなおす

電源を入れなおす場合は、20秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。20秒以内に電源を入れなおすと、電源が異常と判断され、システムが正常に起動しなくなる場合があります。

#### (2) ディスプレイの電源ランプを確認する

ディスプレイの取扱説明書をご覧になり、ディスプレイの電源ランプが通常動作時の状態になっているかどうか確認してください。

**(3) ディスプレイケーブルを接続しなおす**

コンピュータ本体とディスプレイの接続に問題がある可能性があります。コンピュータ本体とディスプレイの電源を切ってから、ディスプレイケーブルを接続しなおし、ディスプレイ、コンピュータ本体の順に電源を入れ、問題が解決するかどうか確認してください。

**(4) ディスプレイの電源コードを接続しなおす**

ディスプレイの電源コードの接続に問題がある可能性があります。コンピュータ本体とディスプレイの電源を切ってから、ディスプレイの電源コードを接続しなおし、ディスプレイ、コンピュータ本体の順に電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

**(5) コンピュータ本体の電源コードを接続しなおす**

コンピュータへの電源供給に問題がある可能性があります。コンピュータ本体とディスプレイの電源を切ってから、コンピュータ本体の電源コードを接続しなおし、ディスプレイ、コンピュータ本体の順に電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

**(6) 周辺機器や増設した装置を取り外す**

本機をご購入後に、プリンタやスキャナなどの周辺機器、メモリや拡張ボードなど、お客様ご自身で増設された装置がある場合は、装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

**(7) CMOS RAMの初期化を行う**

CMOS RAMの不整合が原因で問題が発生している可能性があります。CMOS RAMの初期化を行って問題が解決されるかどうか確認してください。



p.254 「CMOS RAMの初期化」

**(8) 電源保護回路を解除する**

過電流によってコンピュータが不安定になっている可能性があります。周辺機器や増設機器類（キーボード、マウス、ディスプレイを含む）を外して電源コードを抜いたあと、1分程度放置し、問題が解決されるかどうか確認してください。

**診断結果 B**


次の対処を順番に行ってみてください。

**(1) 周辺機器や増設した装置を取り外す**


本機をご購入後に、プリンタやスキャナなどの周辺機器、メモリや拡張ボードなど、お客様ご自身で増設された装置がある場合は、装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

## (2) セーフモードで起動し、システムの復元を行う

必要最低限の状態であるセーフモードで起動してみてください。

 p.230 「セーフモードでの起動」

セーフモードで起動できた場合は、「システムの復元」機能を使用して以前のコンピュータの状態に戻すことで、問題が解決できる可能性があります。システムの復元を行ってみてください。

 p.230 「システムの復元」

## (3) 前回正常起動時の構成で起動する

セーフモードで起動できない場合は、前回正常起動時の構成で起動できるかどうかを確認します。

1. シャットダウン状態からコンピュータの電源を入れます。
2. 「EPSON」と表示され、消えた直後に **[F8]** を押し、そのまま離さずしばらく押し続けます。  
**[F8]** を押すタイミングがずれて、「Please select boot device:」画面が表示された場合は、項目からHDD:P0-XXXX (RAID構成時はRAID:XXXX) を選択し、**[←]** を押した直後に **[F8]** を押し続けてください。
3. 「詳細ブートオプション」画面が表示されたら、**[↑]** または **[↓]** を押して、「前回正常起動時の構成」を選択し、**[←]** を押します。

## (4) BIOSの設定を初期値に戻す

BIOSの不整合が原因で問題が発生している可能性があります。BIOSの設定を初期値に戻し、問題が解決されるか確認してください。初期値に戻す前にBIOSの設定をメモしておいてください。

 p.166 「Load Setup Defaults (初期値に戻す)」

## (5) CMOS RAMの初期化を行う

CMOS RAMの不整合が原因で問題が発生している可能性があります。CMOS RAMの初期化を行って問題が解決されるかどうか確認してください。


 p.254 「CMOS RAMの初期化」

## (6) Windowsを再インストールする

HDD内に記録されている、起動部分のプログラムが破損している可能性があります。Windowsの再インストールを行って、問題が解決されるかどうか確認してください。

 p.189 「Windowsのインストール」

## 診断結果 C

まず、 p.235 「警告メッセージが表示されたら」をご覧ください、メッセージに応じた対処を行ってください。あてはまるメッセージがない場合は、下記をご覧ください、対処を行ってください。

- 「S.M.A.R.T Failure Predicted on HDD / WARNING: Immediately back-up your data and replace your HDD」というメッセージが表示された場合

### (1) カスタマーサービスセンターへ連絡する

HDDに問題がある可能性があります。『サポート・サービスのご案内』（別冊）をご覧ください、カスタマーサービスセンターへご連絡ください。

- 「Hardware Monitor found an error, Enter Power setup menu for details」というメッセージが表示された場合

次の対処を順番に行ってみてください。

### (1) コンピュータ本体の電源を入れなおす

コンピュータの電源を切ってから、電源コードを抜き、コンピュータ内部が冷えるまで10分以上待ってから電源を入れてみてください。

### (2) 壁のコンセントに直接接続する

電源タップなどにコンピュータの電源コードを接続している場合は、電源タップなどを使用せず、壁にあるコンセントに直接コンピュータの電源コードを接続して、電源を入れてみてください。

### (3) 消費電力の大きい機器を停止する


大画面テレビやエアコンなど、消費電力の大きい機器を使用している場合、それらの機器の電源を切ってから、コンピュータの電源を入れてみてください。

● 「DISK BOOT FAILURE」、 「Invalid system disk」、 「Missing Operating System」、 「Operating System Not Found」 などのメッセージが表示された場合

次の対処を順番に行ってみてください。

(1) FD やUSB フラッシュメモリを取り外す

接続しているUSB FDDにFDがセットされていたり、USB 接続のフラッシュメモリなどが接続されていたりすると、FDやUSB記憶装置からOSを読み込もうとして、現象が発生する場合があります。FDやUSB記憶装置を取り外してから、コンピュータを起動して、問題が解決されるかどうか確認してください。また、BIOSの「Boot」メニュー画面でHDDの最優順位をUSB記憶装置よりも前に設定しておくことで、USB記憶装置を接続した状態でも、コンピュータを起動できるようになります。

 p.170 「起動 (Boot) デバイスの順番を変更する」


(2) しばらく放置する

急激な温度変化があった場合は、HDDの表面が結露してしまっている可能性があります。乾くまで、しばらく放置しておいてから、再度電源を入れてみてください。

(3) HDDの認識と接続を確認する

BIOSでHDDを認識できていない可能性があります。次の手順でBIOSを確認してください。

1. 「BIOS Setupユーティリティ」を起動します。

 p.161 「BIOS Setupユーティリティの操作」

2. 「Main」メニュー画面で「SATA2」または「SATA3」の表示を確認します。HDDの型番などが表示されている場合、HDDは正常な状態です。下記(4) (5)の作業を行ってみてください。

「Not Detected」と表示される場合は、HDDが正常に認識されていません。BIOS Setupユーティリティを終了し、本機の電源を切った後、HDDに接続されているケーブル類を差しなおしてみてください。

 p.154 「HDDの装着」

解決しない場合は、『サポート・サービスのご案内』をご覧になり、「カスタマーサービスセンター」へご連絡ください。

(4) BIOSの設定を初期値に戻す


BIOSの不整合が原因で問題が発生している可能性があります。BIOSの設定を初期値に戻し、問題が解決されるか確認してください。初期値に戻す前にBIOSの設定をメモしておいてください。

 p.166 「Load Setup Defaults (初期値に戻す)」



**(5) Windowsを再インストールする**

HDD 内に記録されている、起動部分のプログラムが破損している可能性があります。Windows の再インストールを行って、問題が解決されるかどうか確認してください。


 p.189 「Windowsのインストール」

**● そのほかのメッセージが表示された場合**

次の対処を順番に行ってみてください。

**(1) FD やUSB フラッシュメモリを取り外す**

接続しているUSB FDDにFDがセットされていたり、USB接続のフラッシュメモリなどが接続されていたりすると、FDやUSB記憶装置からOSを読み込もうとして、現象が発生する場合があります。FDやUSB記憶装置を取り外してから、コンピュータを起動して、問題が解決されるかどうか確認してください。また、BIOSの「Boot」メニュー画面でHDDの優先順位をUSB記憶装置よりも前に設定しておくことで、USB記憶装置を接続した状態でも、コンピュータを起動できるようになります。

 p.170 「起動 (Boot) デバイスの順番を変更する」

**(2) 周辺機器および増設した装置を取り外す**

本機をご購入後に、プリンタやスキャナなどの周辺機器、メモリや拡張ボードなど、お客様ご自身で増設された装置がある場合は、装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

**(3) BIOSの設定を初期値に戻す**

BIOSの不整合が原因で問題が発生している可能性があります。BIOSの設定を初期値に戻し、問題が解決されるか確認してください。初期値に戻す前にBIOSの設定をメモしておいてください。

 p.166 「Load Setup Defaults (初期値に戻す)」

**(4) CMOS RAMの初期化を行う**

CMOS RAMの不整合が原因で問題が発生している可能性があります。CMOS RAMの初期化を行って問題が解決されるかどうか確認してください。

 p.254 「CMOS RAMの初期化」

**(5) Windowsを再インストールする**

HDD 内に記録されている、起動部分のプログラムが破損している可能性があります。Windows の再インストールを行って、問題が解決されるかどうか確認してください。

 p.189 「Windowsのインストール」

## 診断結果 D

次の対処を順番に行ってみてください。

### (1) 周辺機器や増設した装置を取り外す

本機をご購入後に、プリンタやスキャナなどの周辺機器、メモリや拡張ボードなど、お客様ご自身で増設された装置がある場合は、装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

### (2) セーフモードで起動し、常駐ソフトを停止したり、システムの復元を行う


必要最低限の状態であるセーフモードで起動してみてください。



p.230 「セーフモードでの起動」

セーフモードで起動できた場合は、常駐ソフト（システム稼動中、常に稼動しているソフト）を一時的に停止させることで問題が解決するかを確認してください。

常駐ソフトを停止する手順は次のとおりです。

1. [スタート] - 「検索ボックス」に「msconfig」と入力して、 を押します。
2. 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[続行] をクリックします。
3. 「スタートアップ」タブをクリックし、一覧から問題の原因となっている可能性のある項目（常駐ソフト）のチェックを外し、[OK] をクリックします。
4. 「再起動が必要な場合があります」というメッセージが表示されたら、[再起動] をクリックします。

常駐ソフトが原因ではなかった場合、外したチェックは元に戻してください。








常駐ソフトが原因ではなかった場合は、「システムの復元」を行ってみてください。以前のコンピュータの状態に戻すことで、問題が解決できる可能性があります。



p.230 「システムの復元」


### (3) 前回正常起動時の構成で起動する

セーフモードで起動できない場合は、前回正常起動時の構成で起動できるかどうかを確認します。

1. シャットダウン状態からコンピュータの電源を入れます。
2. 「EPSON」と表示され、消えた直後に  を押し、そのまま離さずしばらく押し続けます。  
 を押すタイミングがずれて、「Please select boot device:」画面が表示された場合は、項目からHDD:P0-XXXX（RAID構成時はRAID:XXXX）を選択し、 を押した直後に  を押し続けてください。
3. 「詳細ブートオプション」画面が表示されたら、 または  を押して、「前回正常起動時の構成」を選択し、 を押します。

**(4) Windowsを再インストールする**

HDD 内に記録されている、起動部分のプログラムが壊れている可能性があります。Windows の再インストールを行って、問題が解決されるかどうか確認してください。



 p.189 「Windowsのインストール」

**起動時の不具合（そのほか）****現象**

起動時に次のようにパスワードの入力が要求される。また、パスワードを入力しても起動しない。

Enter Password:


**確認と対処**

- 「BIOS Setupユーティリティ」でパスワードが設定されています。正しいパスワードを入力してください。  
 p.167 「パスワードを設定する」
- パスワードを正しく入力しているか確認してください。 の状態により数値が正しく入力されていない場合があります。  
 p.62 「キーロック表示ランプ」
- パスワードを忘れてしまった場合には、強制的に解除することができます。  
 p.254 「CMOS RAMの初期化」  
ただし、HDDへのアクセス制限を設定している場合、パスワードを忘れてしまうと、アクセス制限を設定したHDDは使用できなくなります。
- 強制的に解除した場合、BIOSの設定が初期化されてしまい、BIOSを再度設定する必要があります。「BIOSの設定値」に変更内容を記入している場合は、「BIOSの設定値」をご覧になり、設定してください。  
 p.181 「BIOSの設定値」
- パスワード入力後に次のようなメッセージが表示された場合は、間違ったパスワードを入力しています。  
**Invalid Password! Press Any Key to Continue.**  
 を押して、再度パスワード入力画面を表示させて、正しいパスワードを入力してください。

## 現象

Windowsが起動せず、「システム回復オプション」画面が表示された。

## 確認と対処

- Windowsに不具合が起きると、HDD内に設定されている「Windows回復環境（Windows RE）」が自動的に起動します。「システム回復オプション」画面はWindows REの画面です。Windows REの機能を使用して、不具合を修復してください。Windows REの概要は、 p.232 「Windows回復環境（Windows RE）を使う」をご覧ください。

# ▶コンピュータ本体の不具合



コンピュータ本体の不具合に対する対処方法を説明します。

## 省電力機能に関する不具合

### 現象

正しく省電力状態に移行できない。または省電力状態から復帰できない。

### 確認と対処



- 使用しているソフトウェアや常駐ソフト、増設している周辺機器の影響により省電力機能が正常に働かない可能性があります。ソフトウェアの削除や常駐ソフトの解除、周辺機器の一時的な取り外しを行い、省電力機能が正常に働くか確認してください。
- 相性の良くない周辺機器などを使用している可能性があります。「BIOS Setupユーティリティ」の設定値を次のように変更してください。設定を変更した場合の電力消費は、通常より若干抑えられる程度になります。  
「Power」メニュー画面－「Suspend to RAM」:Disabled（無効）  
 p.161 「BIOS Setupユーティリティの操作」
- スリープ状態や休止状態のときは、PS/2接続のキーボードやマウスの操作では、省電力状態から復帰しません。電源スイッチ、あるいはキーボードのPowerキーを押して本機を復帰させてください。  
 p.124 「省電力状態からの復帰方法」
- 省電力状態から復帰できない場合は、**[Ctrl]+[Alt]+[Delete]**を押して本機を再起動してください。ただし、省電力状態移行前に作成した未保存のデータはすべて消失します。
- 周辺機器の状態が変わると、省電力状態から復帰できないことがあります。周辺機器を省電力状態に入る前と同じ状態にしてみてください。

## セキュリティチップのセキュリティ機能（TPM）の不具合

### 現象

セキュリティチップの情報を初期化して、購入時の状態に戻したい。

### 確認と対策

- セキュリティチップの情報の初期化は、「BIOS Setupユーティリティ」の次の項目で行います。  
「Security」メニュー画面－「TPM Function」－「Clearing the TPM」で  を押し、確認画面が表示されたら、[Ok] を選択します。情報が初期化され、コンピュータが再起動します。  
 p.161 「BIOS Setupユーティリティの操作」
- 初期化を行うと、それまでに暗号化されたデータを使用できなくなります。また、Windows VistaのHDD暗号化機能「BitLocker」を使用している状態で初期化を行うと、Windowsが起動できなくなり、暗号化していたHDD内のデータも使用できなくなります（BitLockerは、Windows Vista UltimateおよびWindows Vista Enterpriseの機能です）。  
セキュリティチップの初期化を行う場合は、『セキュリティ機能（TPM）設定ガイド』（別冊）を参照し、お客様の責任において十分に注意して行ってください。

## 装置の増設・交換に関する不具合

### 現象

拡張ボード、周辺機器を増設したら、コンピュータの動作がおかしくなった。

### 確認と対処

- 増設した機器が、対応する拡張スロットおよびコネクタに、正しく装着されているか、確認してください。
- 周辺機器を追加するために拡張ボードを装着した場合、周辺機器と拡張ボードの接続が正しいか、正しいケーブルを使用しているかを確認してください。
- 拡張ボードによっては、拡張スロットに装着するだけでなく、メインボードやコンピュータのコネクタとの接続が必要な場合があります。拡張ボードのマニュアルを確認してください。
- 拡張ボード、周辺機器のドライバがインストールされているか、確認してください。詳しくは拡張ボード、周辺機器のマニュアルを確認してください。
- 拡張ボード、周辺機器を取り外して問題が解決されるかどうか、確認してください。
- 上記の処置を行っても改善が見られない場合は、拡張ボード、周辺機器の販売元にお問い合わせください。

## そのほかの不具合

### 現象

ハングアップしてしまい、何も反応しない。

### 確認と対処

- 応答のないソフトウェアをタスクマネージャーで終了させます。  
ソフトウェアを終了させることができない場合には、電波スイッチを5秒以上押し続けて電源を切ってください。

 p.57 「ハングアップしたときは」

### 現象

「BIOS Setupユーティリティ」の情報、日付、時間などの設定が変わってしまう。

### 確認と対処

- コンピュータ内部のリチウム電池の残量が少なくなり、データを保持できなくなっている可能性があります。リチウム電池を交換してください。

 p.251 「リチウム電池の交換」

### 現象

BitLockerでドライブを暗号化した状態でBIOSのアップデートやBootの順番の変更を行ったとき、BitLockerのパスワード入力やパスワードを保存してあるUSBフラッシュの挿入を求められた。

(BitLockerは、Windows Vista UltimateおよびWindows Vista Enterpriseの機能です。)

### 確認と対処


- パスワードを入力するか、パスワードを保存してあるUSBフラッシュを挿入してください。BIOSのアップデートやBootの順番の変更を行うときは、BitLockerのドライブ暗号化を解除した状態で行ってください。

### 現象

終了処理をしても電源が切れない。

### 確認と対処

- Windows Vistaでは、[スタート] - [⏻] を押し続けると、本機は「スリープ状態」になります。電源を切りたい場合は、[スタート] - [▶] - 「シャットダウン」で電源を切ってください。

 p.55 「電源を切る (シャットダウン)」

- 正しい処理を行っても電源が切れない場合は、電源スイッチを5秒以上押し続けてください。

## ▶メモリの不具合

メモリの不具合に対する対処方法を説明します。

### メモリの不具合

#### 現象

メモリチェックで表示されるメモリ容量が実際の容量と違っている。

#### 確認と対処

- 起動時のメモリチェックやWindows上では、メモリ容量が正しく表示されないことがあります。「BIOS Setupユーティリティ」を起動し、「Main」メニュー画面－「System Information」－「Usable Size」で総メモリ容量を確認してください。



p.161 「BIOS Setupユーティリティの操作」

- 本機は、メインメモリの一部をビデオメモリとして使用します。メインメモリ容量の表示は、ビデオメモリ容量（約8MB）を差し引いて表示されます。
- メモリを増設した場合は、メモリのタイプが合っているか、スロットの奥までしっかりと差し込まれているか、メモリスロットの組み合わせが正しいか確認してください。



p.136 「メモリの装着」

## ▶記憶装置の不具合

記憶装置の不具合に対する対処方法を説明します。

### HDDの不具合

#### 現象

HDD容量がWindows上で、マニュアルに記載されている容量と異なって表示される。


#### 確認と対処

- 本機に搭載されているHDD容量をWindows上で確認すると、マニュアルに記載されているHDD容量より少なく表示されます。  
これは、Windows上では容量を計算や表示する場合に「2進法」（0と1の2つの数字を用いる表記法）を使用しているのに対して、マニュアルではHDDなどの仕様を表記する際に用いられている「10進法」（0～9の数字を用いる表記法）を使用していることによる違いです。  
2進法で表記した1KB（キロバイト）は「1024Byte」になるのに対し、10進法で表記した場合には「1000Byte」となります。そのため、WindowsなどのOS上で表示されるHDD容量は、マニュアルに記載されている容量よりも少なく表示されます。

#### 現象

HDDからWindowsが起動しない。


#### 確認と対処

- BIOS Setupユーティリティの「Boot」メニュー画面で起動時のHDDの順番が正しく設定されているか確認してください。  
 p.161 「BIOS Setupユーティリティの操作」

#### 現象

増設したHDDが使用できない。

#### 確認と対処

- HDDにS-ATAケーブル、周辺機器用電源ケーブルが正しく接続されているか確認してください。  
 p.147 「ドライブ装置とコネクタの接続」
- HDDを増設・交換した場合は、p.247 「Cドライブ以外のドライブを作成・変更する」をご覧ください。



### 現象

Windowsの再インストールをしたら、HDDの空き容量が大幅に減ってしまった。

### 確認と対処

- p.190 「Windows Vistaのインストール」手順9で、Cドライブのフォーマットを行わずにWindowsのインストールをしてしまうと、以前のWindowsのデータがWindows.oldフォルダに保存されるため、HDDの空き容量が大幅に減ってしまいます。Windows.oldフォルダが不要な場合は、削除してください。Windows.oldフォルダは[スタート] - 「コンピュータ」 - 「Cドライブ」にあります。  
通常は、手順どおりにCドライブをフォーマットしてからWindowsのインストールをしてください。

## 光ディスクドライブの不具合

### 現象

光ディスクドライブがコンピュータに認識されない。

### 確認と対処

- 光ディスクドライブにS-ATAケーブル、周辺機器用電源ケーブルが正しく接続されているか、またケーブルに損傷はないか確認してください。

### 現象

オーディオCDやDVD VIDEO再生時に、音声が出力されない。

### 確認と対処

- 本機にスピーカは内蔵されていません。音声を出力したい場合は、アンプ内蔵スピーカを本機背面のサウンドコネクタ（サウンドボードを装着している場合はサウンドボードのコネクタ）に接続してください。



p.37 「スピーカを接続する」



p.98 「サウンド機能を使う」

- ボリュームコントロールが「ミュート」または「音量0」に設定されていないか確認します。

### 現象

セットしたメディアにアクセスできない。

### 確認と対処

- メディアが正しくセットされているか、確認してください。

- メディアを挿入した直後、アクセスランプ点灯中は、読み込み準備のためアクセスできません。この場合は、アクセスランプの消灯を待って、もう一度アクセスしてください。
- メディアの表面にキズなどがないか、確認してください。
- 別のメディアにアクセスできるか確認してください。問題がない場合は、アクセスできないメディアに問題がある可能性があります。
- 特殊なフォーマット形式のメディアの場合、アクセスできない可能性があります。
- セットしたメディアが書き込み済みのメディアの場合、光ディスクドライブとの相性によりアクセスできない可能性があります。

## 現象

セットしたメディアが取り出せない。








## 確認と対処

- コンピュータの電源が入っているか、確認してください。
- ソフトウェアによっては、独自の取り出し方法でないとメディアが取り出せないものもあります。詳しくは、お使いのソフトウェアに添付のマニュアルをご覧ください。

## 現象

メディアへの書き込みができない。



## 確認と対処

- DVD-ROMドライブの場合、メディアへの書き込みはできません。
- 書き込みソフト「Nero 7 Essentials」がインストールされていない場合は、インストールをしてください。  
 p.85 「Nero 7 Essentialsの使い方」
- メディアのフォーマットに関する不具合や、書き込みに関する不具合については、『Neroユーザーズガイド』を参照してください。  
 「マニュアルびゅーわ」 - 『Neroユーザーズガイド』
- お使いの光ディスクドライブ対応のメディアを使用しているかどうか確認してください。  
 「マニュアルびゅーわ」 - 『光ディスクドライブPDFマニュアル』
- データの書き込みをドラッグアンドドロップで行うには、「InCD」でメディアをフォーマットする必要があります。  
 p.85 「Nero 7 Essentialsの使い方」
- InCDで使用できるメディアは、CD-RW、DVD±RW、DVD-RAMのみです。  
 p.85 「Nero 7 Essentialsの使い方」
- InCDでフォーマットしたメディアは、「Nero 7 Essentials」での書き込みができません。Nero 7 Essentialsで「ディスクの消去」を行ってください。  
 p.85 「Nero 7 Essentialsの使い方」
- Windowsが省電力状態に切り替わると、書き込み可能なメディアへのデータ転送エラーが起き、書き込みに失敗する場合があります。書き込みを始める前に省電力状態に移行しないように設定してください。  
 p.122 「省電力状態に移行する方法」
- メディアが正しくセットされているか、確認してください。
- メディアの表面に汚れやキズなどがないか、確認してください。
- メディアの残量があるか、確認してください。
- ヘッドレンズの汚れによって、書き込みができない場合があります。
- 光ディスクドライブとの相性によって、セットしたメディアに書き込めない場合があります。

## 現象

DVDの再生ができない。

## 確認と対処



- DVD VIDEOを再生する場合は、専用の再生ソフトウェアが必要です。本機には、「WinDVD」がインストールされています。  
DVD VIDEO再生に関する不具合については、WinDVDのヘルプを確認してください。
- 解像度や色数、リフレッシュレートを変更してみてください。  
 p.95 「表示に関する各種設定」  
 p.97 「リフレッシュレートの設定」
- ビデオボード装着時に、ディスプレイを2台接続してクローン表示またはミラー表示をしていると、「使用しているディスプレイ環境は保護されているコンテンツの再生をサポートしていません。」というメッセージが表示され、DVD VIDEOの再生が中断されます。このような場合は、クローン表示またはミラー表示を無効にしてください。

## マルチカードリーダーの不具合

### 現象

メモリカードが使用できない。

### 確認と対処

- メモリカードが正しくセットされているか確認します。
- メモリカードがメモリスロットの仕様に対応しているか確認します。本機のメモリスロットでは、5Vのスマートメディアなどを使用することができません。  
 p.87 「使用可能なメモリカード」
- 通知領域の「取り外し」アイコンからメモリカードを取り出すと、メモリカードスロットが認識されなくなります。本機を再起動して、再度メモリカードをセットしてください。  
 p.89 「メモリカードのセットと取り出し」

## ▶入力装置の不具合



入力装置の不具合に対する対処方法を説明します。


### キーボードの不具合

#### 現象

数値キーを押しても数値が入力されない。

#### 確認と対処

- 数値キーは  の状態により機能が変わります。 を押して、オンの状態にします。


 p.62 「キーロック表示ランプ」

#### 現象


どのキーを押しても応答がない。

#### 確認と対処

- キーボードが正しく接続されているか確認します。PS/2 キーボードの場合、接続は、本機の電源を入れる前に行ってください。

 p.35 「キーボードを接続する」

- マウスを操作してみてください。マウスで操作できる場合もあります。
- ソフトウェアが時間のかかる処理を実行している可能性もあります。しばらく待ってみてください。
- ソフトウェアがハングアップしている可能性もあります。しばらく待っても反応がない場合は、再起動してください。


 p.57 「再起動」

#### 現象

キートップにある文字や記号が入力できない。

#### 確認と対処

- 直接入力モードで日本語を入力することはできません。日本語入力モードに切り替えてください。




 p.60 「キーボードを使う」

## マウスの不具合

### 現象

マウスを動かしても、マウスポインタが動かない。

### 確認と対処

- マウスが正しく接続されているか確認します。PS/2接続の場合は、本機の電源を入れる前に本機にマウスケーブルを接続してください。  
 p.36 「マウスを接続する」
- キーボードを操作してみてください。キーボードで操作できる場合もあります。
- ソフトウェアが時間のかかる処理を実行している可能性もあります。しばらく待ってみてください。
- ソフトウェアがハングアップしている可能性もあります。しばらく待っても反応がない場合は、再起動してください。  
 p.57 「再起動」  
 p.57 「ハングアップしたときは」
- オプティカルマウスの場合、表面が反射する場所やざらざらした場所、複雑なイラスト入りのマウスパッドの上で使用すると、マウスの動きがコンピュータに伝わりません。

## ▶表示装置の不具合



表示装置の不具合に対する対処方法を説明します。

### ディスプレイの不具合

#### 現象

起動時にディスプレイに何も表示されない。


#### 確認と対処

- ディスプレイの電源ランプが点灯しているか確認してください。ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。
- 本機背面の VGA コネクタにディスプレイのケーブルが接続されているか確認します。  
 p.33 「ディスプレイを接続する」
- ビデオボード装着時はビデオボードのコネクタにディスプレイのケーブルが接続されているか確認します。  
 p.33 「ディスプレイを接続する」
- ディスプレイの画面の明るさやコントラストを調節してください。調整方法については、ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。
- コンピュータの電源を切ってから20秒以内に電源を入れると、システム管理機能が電源を異常と判断する場合があります。一度電源を切って、20秒以上待ってから電源を入れてみてください。
- 警告音（ビープ音）が鳴った場合は、起動時の自己診断テストにて異常が発見された可能性があります。音の種類、音の長さなどを確認した上で、『サポート・サービスのご案内』（別冊）をご覧ください。テクニカルセンターまでご連絡ください。

#### 現象

使用中に何も表示されなくなった。

#### 確認と対処

- 省電力状態になっている可能性があります。キーボードやマウスを操作してみてください。電源ランプがオレンジ色に点灯している場合は、スリープ状態になっています。この場合は、電源スイッチを押すと、元に戻ります。  
 p.124 「省電力状態からの復帰方法」
- ディスプレイの画面の明るさやコントラストを調節してください。調整方法については、ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。

- ディスプレイの仕様を確認して、該当するコネクタにディスプレイのケーブルが正しく接続されているか確認してください。本機で使用できるディスプレイの接続ケーブルは次をご覧ください。

 p.33 「ディスプレイを接続する」

- ディスプレイの故障の場合には、ディスプレイの販売元にご確認ください。

### 現象

画面がちらつく、文字がにじむ。

### 確認と対処

- リフレッシュレートを変更してみてください。


 p.97 「リフレッシュレートの設定」

### 現象

画面の解像度などを変更した後、画面が乱れたり何も表示されなくなった。

### 確認と対処

- ディスプレイの選択を誤っている可能性があります。ディスプレイのマニュアルを参照して確認してください。
- 使用中のディスプレイでは表示できない解像度を選択した可能性があります。セーフモードで起動して、解像度を変更してみてください。

 p.230 「セーフモードでの起動」

## ▶ サウンドの不具合

---

サウンドの不具合に対する対処方法を説明します。


### スピーカの不具合

#### 現象


音が鳴らない。

#### 確認と対処

- 本機にスピーカは内蔵されていません。音声を出力したい場合は、アンプ内蔵スピーカを本機背面のサウンドコネクタに接続してください。スピーカを接続したら、サウンドコネクタの設定を行ってください。

 p.37 「スピーカを接続する」

- ボリュームコントロールが「ミュート」または「音量0」に設定されていないか確認してください。

 p.98 「サウンド機能を使う」



## ▶ソフトウェアの不具合

ソフトウェアの不具合に対する対処方法を説明します。

### ソフトウェアの不具合

#### 現象

ソフトウェアの使用中に突然停止（ハングアップ）した。

#### 確認と対処

- 過度の電源ノイズ、瞬時電圧低下などが発生した可能性があります。電源ノイズによる現象には、ディスプレイのノイズ、Windowsの再起動、停止（ハングアップ）などが含まれます。ソフトウェアを再度実行してみてください。
- ケーブルの接続不良や、キーボード内のゴミやホコリ、電源の出力不安定、または、そのほかの部品の不良によって不具合が発生する場合があります。点検を行ってみてください。
- HDDに対するデータの読み書きの最中に振動が加わると、Windowsがハングアップする場合があります。
- 応答のないソフトウェアを強制終了してから本機を再起動してください。



p.57 「ハングアップしたときは」

#### 現象

ソフトウェアやプログラムが停止し、「データ実行防止」画面が表示される。

#### 確認と対処

- セキュリティソフトウェアで、ウイルスの検索・駆除を行ってください。それでも問題が解決しない場合は、『サポート・サービスのご案内』（別冊）をご覧ください。テクニカルセンターまでお問い合わせください。

#### 現象

ソフトウェアが起動しない。

#### 確認と対処

- ソフトウェアの起動に必要なとされるシステムリソース（メモリ容量やHDDの使用可能な容量など）が整っているか確認してください。エラーメッセージなどが表示される場合は、ソフトウェアのマニュアルを参照して必要な対処を行ってから、再度ソフトウェアを起動してみてください。
- ソフトウェアを正しい方法でインストールしたか、ソフトウェアの起動手順を正しく実行しているか確認してください。

- 実行しようとしているディレクトリが正しいか確認してください。FDやCD-ROMなどから起動しようとしている場合は、ドライブおよびディレクトリの指定が正しく行われているか確認してください。
- ソフトウェアの使用許諾を受けていない場合（違法コピーなど）、ソフトウェアが動作しないことがあります。ソフトウェアの正式版を使用してください。
- ソフトウェアの使用方法をもう一度確認してください。それでもソフトウェアの不具合が解決できないときは、ソフトウェアの販売元にお問い合わせください。

### 現象

Internet Explorerを使用時、情報バーに警告が表示される。

### 確認と対処

- Internet Explorerは、購入時、セキュリティ強化のために、意図しないプログラムや実行ファイルのダウンロードについて警告するよう、設定されています。Internet Explorer使用時に情報バーに警告が表示されたら、情報バーをクリックして、表示された項目から適切な対処を選択してください。

### 現象

WindowsメールでHTMLメールの画像が表示されない、または添付ファイルが開けない。

### 確認と対処

- メール添付のファイルや送信元の不明なメールによるウイルスの侵入から、コンピュータを保護するための設定が購入時にされています。HTMLメールの画像を見る場合は、送信元を確認して、件名の下にある情報バーをクリックします。添付ファイルについての設定は、次の場所で確認できます。Windowsメールの [ツール] - 「オプション」 - 「セキュリティ」 タブ - 「ウイルスの可能性のある添付ファイルを保存したり開いたりしない」

### 現象

インストールしたネットワークアプリケーションが動作しない。

### 確認と対処

- ファイアウォールが有効に設定されていると、ネットワークアプリケーションが正常に動作しない場合があります。詳細についてはソフトウェアの販売元にお問い合わせください。

## 現象

「インフォメーションメニュー」の「マニュアルびゅーわ」がグレーになって使用できない。

## 確認と対処

- Windowsの再インストール前にバックアップした「マニュアルびゅーわ」を復元してください。



p.240 「マニュアルびゅーわのバックアップ」

- 「マニュアルびゅーわ」を使用できない場合、当社のユーザーサポートページから当社作成の電子マニュアルをダウンロードすることができます。ユーザーサポートページからダウンロードした電子マニュアルは、マニュアルごとにファイルを開いてご覧ください。



p.241 「電子マニュアルのダウンロード」

## インストール時の不具合

### 現象

Windowsの再インストールがマニュアルどおりにできない。

### 確認と対処

- 本書の手順は、p.18 「本製品の仕様とカスタマイズ」で記載している製品仕様でインストールすることを前提に説明しています。周辺機器を増設している場合は、手順が異なることがあります。各機器に添付のマニュアルもあわせてご覧ください。
- 本書の手順は、HDDのフォーマット後にインストールを行うことを前提に記載しています。それ以外の場合は、手順が異なることがあります。不明な点は『サポート・サービスのご案内』（別冊）をご覧ください。テクニカルセンターまでご連絡ください。
- インストール方法に関する最新情報を記載した紙類が添付されている場合があります。梱包品を確認してみてください。

### 現象

Windows VistaリカバリDVDを光ディスクドライブにセットして再起動し、どれかキーを押してもWindowsの再インストールが開始されない。

### 確認と対処

- 光ディスクドライブの起動順位を HDD よりも下に設定している可能性があります。「BIOS Setupユーティリティ」を起動して、ドライブの起動順位を変更してください。



p.170 「起動 (Boot) デバイスの順番を変更する」

## ▶ネットワーク、インターネットの不具合

---





ネットワーク、インターネットの不具合に対する対処方法は、「インフォメーションメニュー」－「とらぶる解決ナビ」をご覧ください。

# システム診断ツールを使う

システム診断ツールとは、本機の調子が悪いときに、どのハードウェアが不具合の原因かを診断するためのツールです。システム診断ツールは、本機に添付の「ドライバCD」に収録されています。

## ▶システム診断を実行する

システム診断の実行方法は、次のとおりです。

- 1** 本機の電源を入れ、ドライバCDを光ディスクドライブにセットします。  
「自動再生」画面が表示されたら、をクリックして画面を閉じてください。
- 2** [スタート] - [▶] - [再起動] をクリックして、本機を再起動します。  
コンピュータが起動できないときは、 +  +  を押して、本機を再起動します。
- 3** 「EPSON」と表示後、黒い画面の左下に「Kernel Loading . . . Press any key to run PC TEST.」と表示されたら、どれかキーを押します。  
システム診断ツールが起動し、自動的に診断が開始します。
- 4** 診断が終了したら、診断結果を確認します。  
「F」が表示された場合は、表示された項目に不具合がある可能性があります。『サポート・サービスのご案内』（別冊）をご覧ください。
- 5** 光ディスクドライブからドライバCDを取り出し、電源を切ります。  
これでシステム診断は完了です。

# トラブル時に役立つ機能

ここでは、Windowsが持つ、トラブルが発生した場合に役立つ機能について説明します。

## ▶セーフモードでの起動

本機が起動できない場合や、ディスプレイで表示できない解像度を選択して表示ができなくなってしまった場合などには、セーフモードで起動してみてください。

セーフモードで起動する方法は、次のとおりです。

- 1 コンピュータの電源を切り、20秒程放置してから、電源を入れます。
- 2 「EPSON」と表示され、消えた直後に **F8** を押し、そのまま離さずしばらく押し続けます。  
**F8** を押すタイミングがずれて、「Please select boot device:」画面が表示された場合は、項目からHDD:P0-XXXX（RAID構成時はRAID:XXXX）を選択し、**↵** を押した直後に **F8** を押し続けてください。
- 3 「詳細ブートオプション」画面が表示されたら、**↑** または **↓** を押して、「セーフモード」を選択し、**↵** を押します。

セーフモードで起動できた場合は、不具合への対処を行ってください。

## ▶システムの復元

本機の動作が不安定になった場合、「システムの復元」を行ってWindowsを以前の状態（復元ポイントを作成した時点の状態）に戻すことで、問題が解決できることがあります。

復元ポイントは通常、ソフトウェアのインストールなどを行った際に、自動的に作成されますが、手動で作成しておくこともできます。

### システムを復元する

システムを復元ポイントの状態に戻す方法は次のとおりです。システムの復元を行う前に、HDDのデータをほかのメディアにバックアップしておくことをおすすめします。

- 1 [スタート] - 「すべてのプログラム」 - 「アクセサリ」 - 「システムツール」 - 「システムの復元」を選択します。
- 2 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[続行]をクリックします。

- 3** 「システムの復元」画面が表示されたら、「推奨される復元」を選択し、[次へ] をクリックします。  
復元ポイントを指定したい場合は、「別の復元ポイントを選択する」を選択して [次へ] をクリックし、ポイントを選択して [次へ] をクリックします。
- 4** 「復元ポイントの確認」と表示されたら、内容を確認し、[完了] をクリックします。
- 5** 「システムの復元を開始すると…」と表示されたら、[はい] をクリックします。  
コンピュータが再起動します。
- 6** 再起動後、「システムの復元は正常に完了しました。…」と表示されたら、[閉じる] をクリックします。  
これでシステムの復元は完了です。

## 復元ポイントを手動で作成する

復元ポイントを手動で作成する方法は次のとおりです。

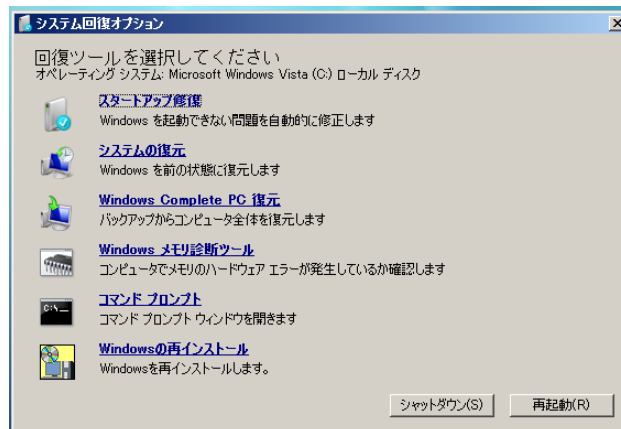
- 1** [スタート] - 「すべてのプログラム」 - 「アクセサリ」 - 「システムツール」 - 「システムの復元」を選択します。
- 2** 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[続行] をクリックします。
- 3** 「システムの復元」画面が表示されたら、「システムの保護」をクリックします。
- 4** 「システムのプロパティ」画面が表示されたら、復元ポイントを作るドライブ（ローカルディスク）にチェックを付けて、[作成] をクリックします。
- 5** 「復元ポイントの作成」と表示されたら、説明を入力し、[作成] をクリックします。
- 6** 「復元ポイントは正常に作成されました。」と表示されたら、[OK] をクリックします。  
これで復元ポイントの作成は完了です。

## ▶Windows回復環境 (Windows RE) を使う

本機のHDD内の「消去禁止領域」には、「Windows回復環境 (Windows RE)」が設定されています。Windowsに不具合が起きると、HDD内のWindows REが自動的に起動し、不具合に対する対処を行うことができます。

### Windows REの項目

Windows REには、次の項目があります。



- **スタートアップ修復**

Windowsを起動できない問題を自動的に修正します。Windowsが起動できないときは、まずスタートアップ修復を行ってみてください。

- **システムの復元**

コンピュータの状態を以前の状態（復元ポイントを作成した時点の状態）に戻します。

- **Windows Complete PC復元**

バックアップしてあったデータを使用してコンピュータ全体を復元します。Windows Vista Home Premium、Windows Vista Home Basicには、Windows Complete PC復元のためのバックアップ機能はありません。

- **Windowsメモリ診断ツール**

メモリにハードウェアエラーが発生しているかどうかを確認します。

- **コマンドプロンプト**

コマンドプロンプトウィンドウを開きます。



## 「システム回復オプション」画面が表示されたら

Windowsに不具合が起きると、HDD内のWindows REが自動的に起動し、「システム回復オプション」画面が表示されます。

「システム回復オプション」画面が表示されたら、次の手順でWindows REの項目を表示させ、対処を行います。

- 1 「システム回復オプション」画面が表示されたら、キーボードレイアウトが「日本語」になっていることを確認し、[次へ] をクリックします。
- 2 「修復するオペレーティングシステムを選択し…」と表示されたら、「Microsoft Windows Vista」が選択された状態で [次へ] をクリックします。
- 3 Windows REの項目が表示されたら、実行したい項目をクリックします。以降は、画面の指示に従って作業を行ってください。

## HDD内のWindows REを手動で起動する

HDD内のWindows REは、手動で起動することもできます。


手動で起動する方法は、次のとおりです。

- 1 コンピュータの電源を切り、20秒程放置してから、電源を入れます。
- 2 「EPSON」と表示され、消えた直後に **F8** を押し、そのまま離さずしばらく押し続けます。  
**F8** を押すタイミングがずれて、「Please select boot device:」画面が表示された場合は、項目からHDD:P0-XXXX（RAID構成時はRAID:XXXX）を選択し、**↵** を押した直後に **F8** を押し続けてください。  
Windowsが起動してしまった場合は、再起動してからやりなおしてください。
- 3 「詳細ブートオプション」画面が表示されたら、「コンピュータの修復」を選択し、**↵** を押します。
- 4 「システム回復オプション」画面が表示されたら、キーボードレイアウトが「日本語」になっていることを確認し、[次へ] をクリックします。
- 5 「修復するオペレーティングシステムを選択し…」と表示されたら、「Microsoft Windows Vista」が選択された状態で [次へ] をクリックします。
- 6 Windows REの項目が表示されたら、実行したい項目をクリックします。以降は、画面の指示に従って作業を行ってください。

## DVDのWindows REを使用する

Windows REは本機に添付の「Windows VistaリカバリDVD」にも収録されています。HDD内に設定されているWindows REを誤って消去してしまった場合などに使用してください。

DVDに収録されているWindows REの起動方法は、次のとおりです。

- 1** コンピュータの電源を入れ、Windowsが起動したら、「Windows VistaリカバリDVD」を光ディスクドライブにセットします。  
「自動再生」画面が表示されたら  をクリックし、画面を閉じてください。
- 2** [スタート] - [▶] - 「再起動」をクリックして、本機を再起動します。
- 3** 「EPSON」と表示後、黒い画面に「Press any key to boot from CD or DVD.」と表示されたら、どれかキーを押します。  
一定時間内にキーを押さないと、HDD内のWindows Vistaが起動してしまいます。Windows Vistaが起動してしまった場合は、手順2へ戻ります。
- 4** 「システム回復オプション」画面が表示されたら、キーボードレイアウトが「日本語」になっていることを確認し、[次へ] をクリックします。
- 5** 「修復するオペレーティングシステムを選択し…」と表示されたら、「Microsoft Windows Vista」が選択された状態で [次へ] をクリックします。
- 6** Windows REの項目が表示されたら、実行したい項目をクリックします。以降は、画面の指示に従って作業を行ってください。

# 警告メッセージが表示されたら

本機は、起動時に自己診断テストを行い、内部ハードウェアの状態を診断します。起動時に次の警告メッセージが表示された場合には、各警告メッセージの処置を行ってください。

処置を行ってもなおらない場合には、『サポート・サービスのご案内』（別冊）をご覧ください、テクニカルセンターまでご連絡ください。

警告メッセージ	説明および対処法
DISK BOOT FAILURE, INSERT SYSTEM DISK AND PRESS ENTER	HDDが検出できません。本機の電源を切り、20秒以上待ってから電源を入れてください。
CPU Over temperature Error!	CPUが高温になっています。本機の電源を切り、本機内部が冷えるまで10分以上待ってから電源を入れてください。
CPU Fan Error!	CPUファンが正常に動作していません。本機の電源を切り、20秒以上待ってから電源を入れてください。
CPU Over Voltage Error!	CPUの電源電圧が異常です。本機の電源を切り、本機内部が冷えるまで10分以上待ってから電源を入れてください。



# 付録

本機をご使用になる際に役に立つ情報や、本機の仕様などについて説明します。

「お手入れ」 .....	238
「データのバックアップ」 .....	239
「電子マニュアルのダウンロード」 .....	241
「セキュリティチップ（TPM）によるデータの暗号化」 .....	242
「HDD領域（ドライブ）の分割・変更・作成」 .....	243
「リチウム電池の交換」 .....	251
「CMOS RAMの初期化」 .....	254
「コンピュータ内部のケーブル接続」 .....	256
「コンピュータを廃棄するときは」 .....	257
「機能仕様一覧」 .....	259

# お手入れ

本機は精密な機械です。取り扱いに注意して、定期的にお手入れを行ってください。



お手入れは、本機の電源を切った状態で行ってください。

## ▶本機のお手入れ

本機のお手入れ方法について説明します。

### 外装

コンピュータ本体の外装の汚れは、中性洗剤を染み込ませた柔らかい布で、軽く拭き取ってください。

キーボードやマウスの外装の汚れも同様です。



ベンジン、シンナーなどの溶剤を使わないでください。変色や変形の可能性があります。


### 通風孔メッシュ

コンピュータ本体左側面の通風孔（吸気用）にあるメッシュにホコリなどがたまると、空気の通りが悪くなります。

通風孔メッシュのホコリは、定期的に乾いた柔らかい布で取り除いてください。

### コンピュータ本体内部

本体内部にホコリなどがたまっている場合は、エアスプレーで吹き飛ばしてください。

 p.131 「本体カバーとリンクバーの取り外し/取り付け」



- 作業するときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。電源プラグを抜かないで作業すると、感電・火災の原因となります。
- 電源ユニットは絶対に分解しないでください。けがや感電・火災の原因となります。



- 作業時は、誤って本体内部の部品を傷つけないよう注意してください。
- 水分を含ませたティッシュや化学ぞうきんなどは、使わないでください。水分や化学物質により故障の原因となります。

# データのバックアップ

Windowsを再インストールすると、Windowsがインストールされるドライブ（通常Cドライブ）に保存しているデータはすべて消去されます。Windowsを再インストールする前に、必要なデータのバックアップを取っておいてください。

## ▶バックアップ方法

作成したファイルやInternet Explorerの「お気に入り」など、HDD内のデータをバックアップする方法やバックアップしたデータを復元する方法は、本機の「インフォメーションメニュー」にある「PCお役立ち情報」で詳しく紹介しています。

### 「PCお役立ち情報」の見方

バックアップ方法や復元方法は、次をご覧ください。

「インフォメーションメニュー」－「PCお役立ち情報」－「正しく安全に使う！」項目の「Windowsシステム」



<画面は予告なく変更される場合があります>

## マニュアルびゅうわのバックアップ

マニュアルびゅうわのデータは、Cドライブの「お知らせ」フォルダにあり、Windowsを再インストールすると削除されます。Windowsを再インストールする前に、Cドライブの「お知らせ」フォルダをほかのメディアなどに必ずコピーして保存してください。

ほかのメディアなどに保存した「お知らせ」フォルダは、Windowsを再インストールした後にCドライブにコピーして元に戻します。



# 電子マニュアルのダウンロード

当社のユーザーサポートページからは、お使いのコンピュータや周辺機器の電子マニュアル（PDF・HTMLなど）をダウンロードすることができます。紙マニュアルをなくした場合や、「マニュアルびゅーわ」のデータを削除した場合などにご利用ください。

電子マニュアルのダウンロードは、次の場所から行います。

「インフォメーションメニュー」－「ユーザーサポート」－「ダウンロード」－「マニュアル」



製造番号を入力して検索

＜画面の内容は予告なく変更される場合があります＞



制限

ユーザーサポートページからダウンロードした電子マニュアルは、「マニュアルびゅーわ」で見ることができません。マニュアルごとにファイルを開いてご覧ください。

## ▶ダウンロードできるそのほかのデータ

「ユーザーサポート」－「ダウンロード」からは、次のデータもダウンロードすることができます。必要に応じてご利用ください。ダウンロードできるデータはお使いの機種により異なります。

- 最新のBIOS
- ドライバ
- ユーティリティ
- お問い合わせ情報
- 壁紙

# セキュリティチップ (TPM) によるデータの暗号化

本機に搭載されているセキュリティチップ (TPM) を使用すると、本機に保存されているデータを高度に暗号化することができます。TPMのセキュリティ機能の使用方法は、『セキュリティ機能 (TPM) 設定ガイド』(別冊) をご覧ください。



TPM のセキュリティ機能で設定したパスワードは絶対に忘れないでください。忘れた場合、それまでに暗号化したデータの復元ができなくなります。

## 使用上の注意

これは管理者向けの機能です。TPMのセキュリティ機能を使用する場合は、内容を十分に理解し、お客様の責任において暗号化を行ってください。

## TPMのセキュリティ機能使用前の準備


TPMのセキュリティ機能を使用するには、BIOSの設定と「セキュリティチップユーティリティ」のインストールが必要です。

### ● BIOSの設定

「BIOS Setupユーティリティ」の設定値を次のように変更します。

「Security」メニュー画面－「TPM Function」  
Trusted Platform Module:Enabled (有効)

購入時は、「Disabled」に設定されています。

 p.161 「BIOS Setupユーティリティの操作」

### ● セキュリティチップユーティリティのインストール

購入時、本機に「セキュリティチップユーティリティ」はインストールされていません。TPMのセキュリティ機能を使用するには、セキュリティチップユーティリティのインストールを行う必要があります。

インストール方法は、『セキュリティ機能 (TPM) 設定ガイド』をご覧ください。

# HDD領域(ドライブ)の分割・変更・作成

ここでは、HDD領域(ドライブ)を分割・変更して使用方法について説明します。

## ▶HDD領域を分割して使用する(概要)

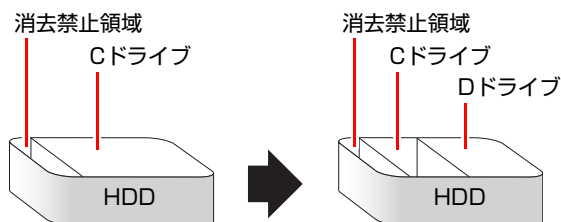
### HDD領域(ドライブ)の分割

HDD領域は、いくつかに分けて、それぞれ別々のドライブとして使用することができます。

HDDを分割した1つ1つを「HDD領域」または「パーティション」とも言います。また、Windowsで使えるHDD領域が、「ドライブ」になります。

<1台のHDDを分割する>


例：1つのHDD領域(Cドライブ)を、2つのHDD領域(CドライブとDドライブ)に分割します。



#### 参考

#### 消去禁止領域

「消去禁止領域」には、「Windows回復環境 (Windows RE)」が設定されています。

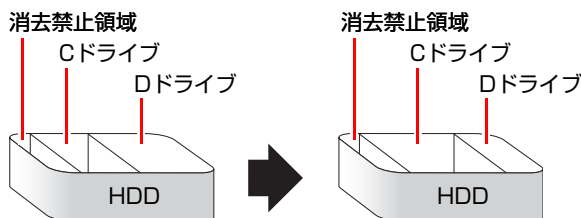
 p.232 「Windows回復環境 (Windows RE) を使う」

### HDD領域(ドライブ)のサイズの変更

すでに分割されているHDD領域のサイズ(容量)を変更することもできます。

<ドライブのサイズを変更する>

例：Cドライブのサイズを大きくします。



この場合は、CドライブとDドライブを削除して、分割しなおす必要があります。

## ▶Cドライブを分割・変更する

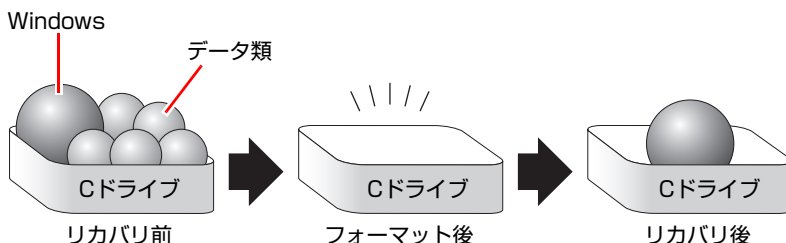
### Cドライブ分割のメリットとデメリット

Cドライブを分割すると、次のようなメリット・デメリットがあります。  
Cドライブを分割する場合は、これらをよく理解した上で行ってください。

#### ●メリット

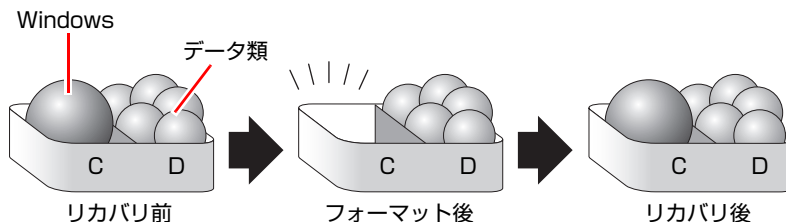
HDD領域を分割してデータの保存先を分けておくことで、リカバリ時に最小限の作業で元の環境に復帰することができます。

<HDD領域が1つの場合>



リカバリ（Windowsの再インストール）を行うと、Cドライブのデータは全て消去されます。

<HDD領域を分割した場合>



たとえば、WindowsやソフトウェアはCドライブに、作成したデータなどはDドライブに保存しておきます。

この状態でリカバリ（Windowsの再インストール）を行うと、消去されるのはCドライブのみとなるため、Dドライブのデータは、リカバリ後、すぐにそのまま使用することができます。




HDD領域を分割したHDDのリカバリをする場合は、万々に備えてCドライブ以外のドライブの重要なデータをバックアップしてください。

### ● デメリット

- Cドライブ（Windowsの入っているドライブ）の分割を行うには、リカバリ（Windowsの再インストール）が必要です。
- HDD 領域を変更すると、変更したドライブ内のデータはすべて消去されます。
- HDD 領域を分割して使用すると、それぞれ分けられた領域の最大容量までしか使用できないため、それぞれの領域により、容量が制限されます。


## Cドライブの分割・変更の流れ

Cドライブの分割・変更は、リカバリ（Windowsの再インストール）中に行います。サイズ（容量）を変更するには、まず変更するドライブを削除してからサイズを指定して再作成します。


Cドライブ以外のドライブの変更方法は、 p.247 「Cドライブ以外のドライブを作成・変更する」をご覧ください。

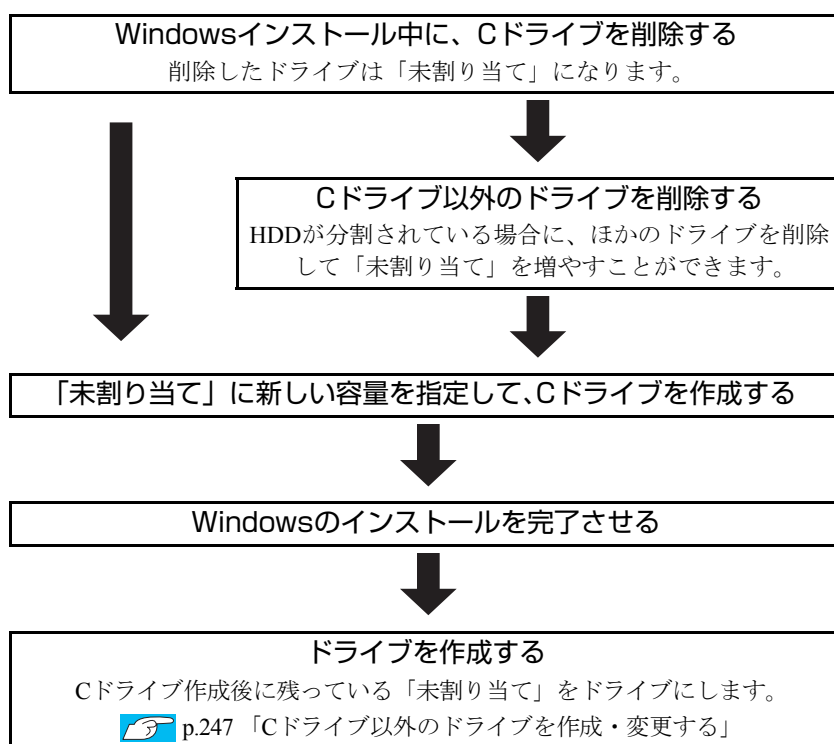


ドライブを分割・変更すると、分割・変更したドライブ内のデータはすべて消去されます。必要に応じてバックアップを取っておいてください。

 p.239 「データのバックアップ」


Cドライブの分割・変更の流れは次のとおりです。

作業は  p.246 「Cドライブを分割・変更する」に従ってください。



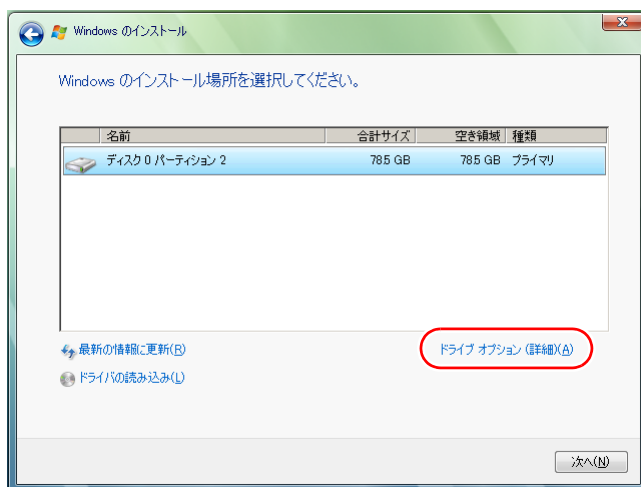
## Cドライブを分割・変更する

Cドライブの分割・変更をする場合は、Windowsの再インストールが必要です。

 p.190 「Windows Vistaのインストール」の手順9を次の手順に読み替えて、Windowsのインストールを行ってください。

<p.190 「Windows Vistaのインストール」の手順9の読み替え>

### 1 「ドライブオプション（詳細）」をクリックします。



### 2 「ディスク0パーティション2」(Cドライブ) が選択された状態で「削除」をクリックします。

### 3 「このパーティションを削除すると…」と表示されたら、[OK] をクリックします。

削除したパーティション (Cドライブ) が「未割り当て領域」となります。

### 4 次のとおり作業を続けます。

<Cドライブを分割したい場合>

- (1) 「ディスク0未割り当て領域」を選択し、「新規」をクリックします。  
手順5に進みます。

<Cドライブの容量を増やしたい場合>


- (1) そのほかのパーティションもCドライブと同様に削除し、「ディスク0未割り当て領域」を増やします。
- (2) 「ディスク0未割り当て領域」を選択し、「新規」をクリックします。  
手順5に進みます。

### 5 Cドライブのサイズを決めます。サイズを入力し、「適用」をクリックします。

Cドライブには、40GB (40000MB) 程度を割り当てることをおすすめします。

## 6 「ディスク0パーティション2」(Cドライブ)が選択された状態で、[次へ]をクリックします。

Windows Vistaのインストールが開始されます。システム構成にもよりますが、インストールは20分~40分かかります。

続いて、 p.190 「Windows Vistaのインストール」手順10に進みます。

手順10の画面が表示されるまでキーボードやマウスは操作しないでください。


## ▶Cドライブ以外のドライブを作成・変更する

ここでは、Cドライブ以外のドライブを作成・変更する方法について説明します。

次のような場合にご覧ください。


- Cドライブ以外のドライブのサイズを変更する場合
- Windowsの再インストール中にCドライブを分割して作成された「未割り当て」をドライブにして使用する場合
- HDDを増設・交換した場合

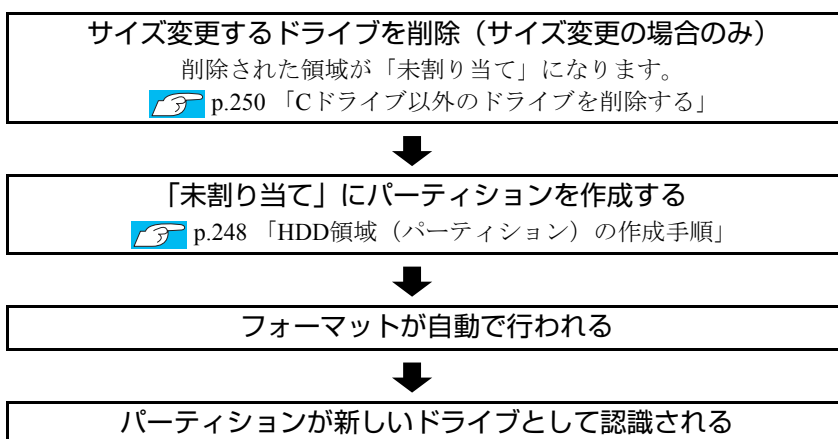
Cドライブ (Windowsの入っているドライブ) の分割・変更を行う場合は、

 p.244 「Cドライブを分割・変更する」をご覧ください。

### ドライブ作成・変更の流れ

ドライブの作成の流れは次のとおりです。

作業は  p.248 「HDD領域(パーティション)の作成手順」に従ってください。



※HDD内の「未割り当て」にパーティションを作成すると、パーティションは、Windows上でドライブ (DやEなど) として利用できるようになります。

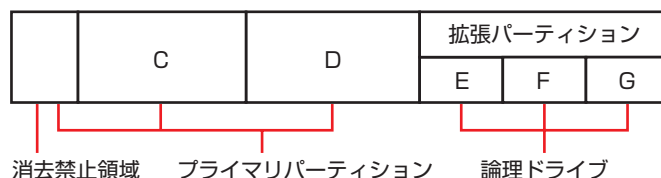
## 参考

パーティションとは

ドライブの作成・変更を行う画面（ディスクの管理）では、HDD領域のことを「パーティション」と言います。パーティションには、「プライマリパーティション」と「拡張パーティション」があります。

- 1つのHDDに作成できるパーティションは最大で4つです。消去禁止領域もパーティションの1つです。
- パーティションを作成すると、自動的に3つ目まではプライマリパーティションとなり、4つ目は拡張パーティションとなります。
- 拡張パーティションには、論理ドライブをいくつも作成できます。

<パーティションの組み合わせの例>

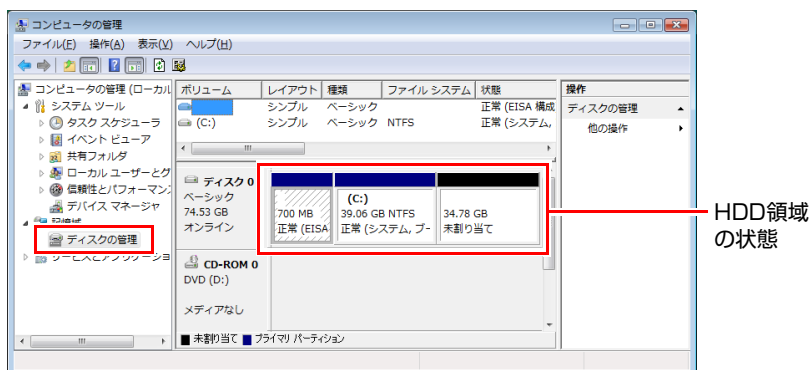


## HDD領域（パーティション）の作成手順

HDD領域（パーティション）を作成する手順は、次のとおりです。

- 1 [スタート] - 「コントロールパネル」 - 「システムとメンテナンス」 - 「管理ツール」 - 「コンピュータの管理」をダブルクリックします。
- 2 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[続行] をクリックします。
- 3 「コンピュータの管理」画面が表示されたら、画面左の「ディスクの管理」をクリックします。

HDD領域の状態が表示されます。

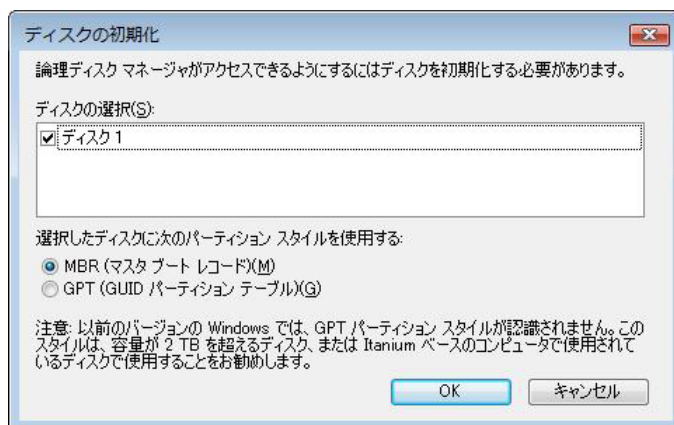


<イメージ>



### <新しいHDDを増設した場合>

「ディスクの初期化」画面が表示されます。[OK] をクリックして、ディスクの初期化を行ってください。



- 4 パーティションを作成したい「未割り当て」の領域を右クリックして、表示されたメニューから「新しいシンプルボリューム」をクリックします。
- 5 「新しいシンプルボリュームウィザード」画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。
- 6 「ボリュームサイズの指定」と表示されたら、サイズを指定して、[次へ] をクリックします。
- 7 「ドライブ文字またはパスの割り当て」と表示されたら、ドライブ文字を選択して [次へ] をクリックします。
- 8 「パーティションのフォーマット」と表示されたら、[次へ] をクリックします。
- 9 「新しいシンプルボリュームウィザードの完了」と表示されたら、[完了] をクリックします。

フォーマットが開始します。フォーマットが完了したら、HDD領域（パーティション）の作成は完了です。

## ▶Cドライブ以外のドライブを削除する

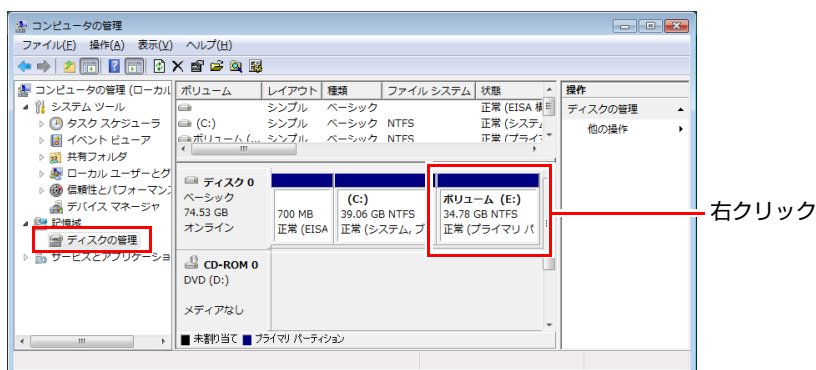
Cドライブ以外のドライブ（Dドライブなど）のサイズを変更するには、変更するドライブを削除してから、作成しなおします。

ドライブを削除すると、ドライブ内のすべてのデータは削除されます。ドライブ内の重要なデータは、CドライブやCD-Rメディアなどにあらかじめバックアップを行ってください。

ドライブを削除する手順は、次のとおりです。

- 1 [スタート] - 「コントロールパネル」 - 「システムとメンテナンス」 - 「管理ツール」 - 「コンピュータの管理」をダブルクリックします。
- 2 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[続行] をクリックします。
- 3 「コンピュータの管理」画面が表示されたら、画面左の「ディスクの管理」をクリックします。


HDD領域の状態が表示されます。



<イメージ>

- 4 削除したいドライブ（パーティション）の領域を右クリックして、表示されたメニューから「ボリュームの削除」をクリックします。
- 5 「・・・続行しますか？」と表示されたら [はい] をクリックします。

パーティションを削除すると、「未割り当て」になります。「未割り当て」をパーティションとして使用したい場合は、パーティションの作成を行います。

 p.248 「HDD領域（パーティション）の作成手順」

# リチウム電池の交換

「BIOS Setupユーティリティ」で設定した情報は、メインボード上のリチウム電池により保持されます。

本機で使用するリチウム電池は、次のとおりです。

- CR2032（または同等品）

リチウム電池は消耗品です。コンピュータの使用状況により異なりますが、寿命は約3年です。

日時や時間がおかしくなったり、BIOSで設定した値が変わってしまうことが頻発するような場合には、リチウム電池の寿命が考えられます。このような場合は、リチウム電池を交換してください。



- 小さなお子様の手の届く場所で、内蔵リチウム電池の着脱、保管をしないでください。飲み込むと化学物質による被害の原因となります。万一、飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。
- 作業するときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。電源プラグを抜かないで作業すると、感電・火傷の原因となります。
- マニュアルで指示されている以外の分解や改造はしないでください。けがや、感電・火災の原因となります。




- 内蔵リチウム電池の交換は、本機の内部が高温になっている際には行わないでください。火傷の危険があります。作業は電源を切って10分以上待ち、内部が十分冷めてから行ってください。
- 不安定な場所（ぐらついた机の上や傾いた所など）で、作業をしないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。



リチウム電池の交換を行うと、現在の BIOS の設定情報は初期値に戻ります。リチウム電池の交換を行う前に、BIOS の設定値を記録しておくことをおすすめします。

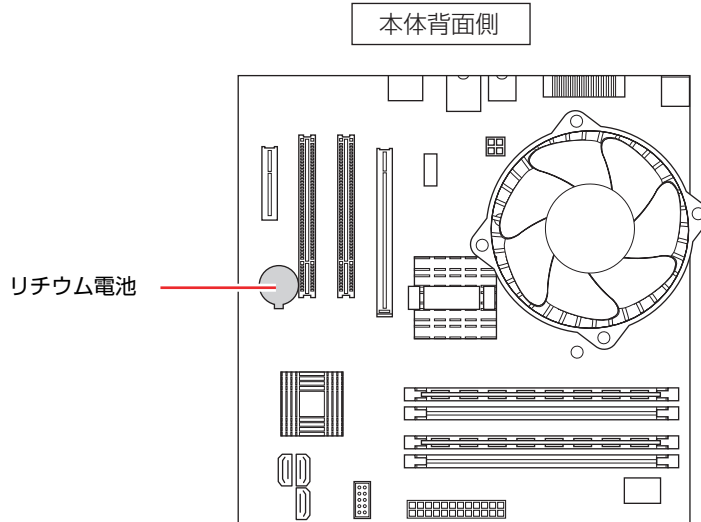
リチウム電池を交換する手順は、次のとおりです。作業を行う場合は、必要に応じて本機を横置きにしてもかまいません。

- 1** コンピュータ本体および接続している周辺機器の電源を切ります。  
作業直前まで本機が動作していた場合は、本機内部が冷えるまで10分以上放置してください。
- 2** コンピュータ本体に接続しているケーブル類（電源コードなど）を、すべて外します。
- 3** 本体カバーとリンクバーを取り外します。


 p.131 「本体カバーとリンクバーの取り外し/取り付け」

#### 4 リチウム電池の位置を確認します。

リチウム電池は、メインボード上の次の位置にあります。



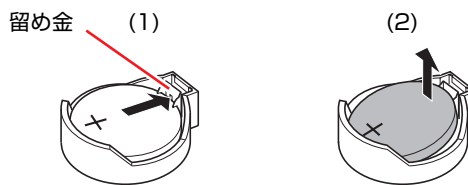
#### 5 作業の妨げになる拡張ボードがあれば、取り外します。

 p.144 「拡張ボードの取り付け/取り外し」

#### 6 リチウム電池を抜きます。

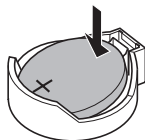
(1) 電池ホルダの留め金を押します。

(2) リチウム電池が浮き上がったら、電池を抜きます。




#### 7 新しいリチウム電池を取り付けます。


刻印面（+側）が表側になるようにして、新しいリチウム電池を取り付けます。取り付けると「カチッ」と音が鳴ります。






#### 8 手順5で拡張ボードを取り外した場合は、もとどおりに取り付けます。

 p.144 「拡張ボードの取り付け/取り外し」

#### 9 リンクバーと本体カバーを取り付けます。

 p.131 「本体カバーとリンクバーの取り外し/取り付け」

- 10** コンピュータを使用できるように、取り外したケーブル類（電源コードなど）を接続します。
- 11** コンピュータの電源を入れます。
- 12** 「EPSON」と表示後、黒い画面に「CMOS checksum error - Defaults loaded」と表示されたら、**Delete** を押して、BIOS Setupユーティリティを起動します。  
 p.161 「BIOS Setupユーティリティの起動」
- 13** 「Exit」メニュー画面－「Load Setup Defaults（初期値に戻す）」を実行します。  
 p.166 「Load Setup Defaults（初期値に戻す）」
- 14** 日付、時刻やそのほか変更する必要がある項目の再設定を行います。
- 15** **F10** を押してBIOS Setupユーティリティを終了します。  
 p.165 「BIOS Setupユーティリティの終了」

# CMOS RAMの初期化

CMOS RAMには、「BIOS Setupユーティリティ」で設定した各種情報などが保存されています。通常は、CMOS RAMを初期化する必要はありません。BIOS Setupユーティリティで設定したパスワードを忘れたり、BIOSの設定を誤ったりして本機が起動しなくなった場合には、CMOS RAMを初期化することで動作が可能になります。





- 小さなお子様の手の届く場所で、内蔵リチウム電池の着脱、保管をしないでください。飲み込むと化学物質による被害の原因となります。万一、飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。
- 作業するときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。電源プラグを抜かないで作業すると、感電・火傷の原因となります。
- マニュアルで指示されている以外の分解や改造はしないでください。けがや、感電・火災の原因となります。












- CMOS RAMの初期化は、本機の内部が高温になっている際には行わないでください。火傷の危険があります。作業は電源を切って10分以上待ち、内部が十分冷めてから行ってください。
- 不安定な場所（ぐらついた机の上や傾いた所など）で、作業をしないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。



- CMOS RAMを初期化すると、現在のBIOSの設定情報は初期値に戻ります。CMOS RAMを初期化する前に、BIOSの設定値を記録しておくことをおすすめします。  
 p.181 「BIOSの設定値」
- BIOS で管理者パスワードを設定し、HDD のアクセスを制限していた場合、CMOS RAMの初期化を行っても、HDDへのアクセス制限を解除することはできません。HDDへのアクセス制限を設定したHDDは、管理者パスワードを忘れると使用できなくなります。  
 p.169 「HDDアクセス制限」

CMOS RAMの初期化の手順は、次のとおりです。作業を行う場合は、必要に応じて本機を横置きにしてもかまいません。

- 1** コンピュータ本体および接続している周辺機器の電源を切ります。  
作業直前まで本機が動作していた場合は、本機内部が冷えるまで10分以上放置してください。
- 2** コンピュータ本体に接続しているケーブル類（電源コードなど）を、すべて外します。
- 3** 本体カバーとリンクバーを取り外します。  
 p.131 「本体カバーとリンクバーの取り外し/取り付け」

- 4** 拡張の妨げになる拡張ボードがあれば、取り外します。  
 p.144 「拡張ボードの取り付け/取り外し」
- 5** リチウム電池を取り外します。  
 p.251 「リチウム電池の交換」手順6
- 6** 約1分間放置します。
- 7** リチウム電池を取り付けます。  
 p.251 「リチウム電池の交換」手順7
- 8** 手順4で拡張ボードを取り外した場合は、もとどおりに取り付けます。  
 p.144 「拡張ボードの取り付け/取り外し」
- 9** リンクバーと本体カバーを取り付けます。  
 p.131 「本体カバーとリンクバーの取り外し/取り付け」
- 10** コンピュータを使用できるように、取り外したケーブル類（電源コードなど）を接続します。
- 11** コンピュータの電源を入れます。
- 12** 「EPSON」と表示後、「CMOS checksum error - Defaults loaded」と表示されたら、 を押して、BIOS Setupユーティリティを起動します。  
 p.161 「BIOS Setupユーティリティの起動」
- 13** 「Exit」メニュー画面－「Load Setup Defaults（初期値に戻す）」を実行します。  
 p.166 「Load Setup Defaults（初期値に戻す）」
- 14** 日付、時刻やそのほか変更の必要のある項目の再設定を行います。
- 15**  を押してBIOS Setupユーティリティを終了します。  
 p.165 「BIOS Setupユーティリティの終了」

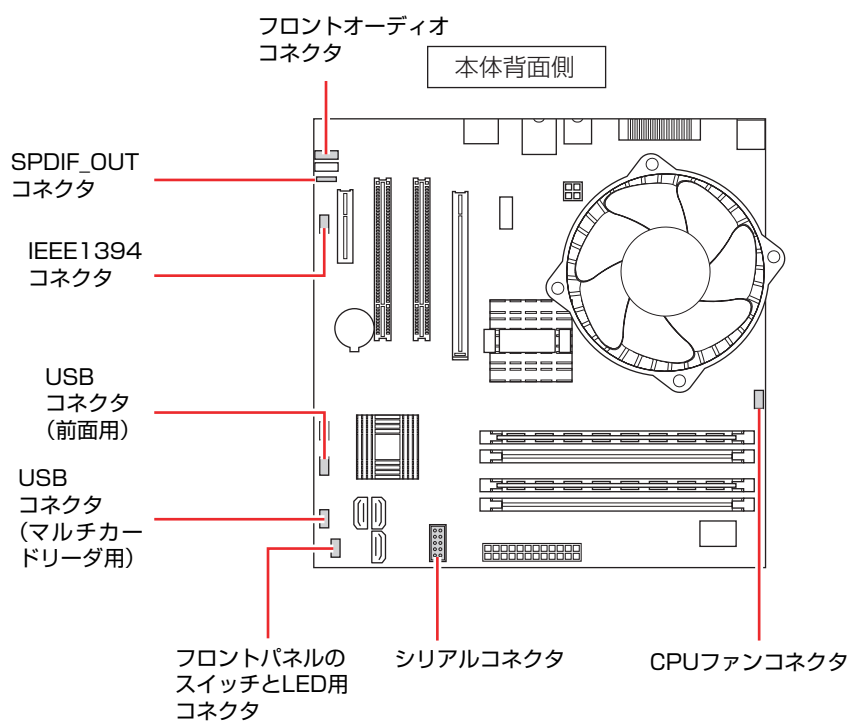
# コンピュータ内部のケーブル接続

本機の内部には何本かのケーブルがあり、メインボードに接続されています。通常、これらのケーブルを外したり接続したりする必要はありません。誤って外してしまった場合には、次の図を参照して、正しく接続してください。



各種ケーブルは、本書で指示されている以外の配線をしないでください。配線を誤ると、ケーブルが焼損する場合があります。

## コネクタ位置 (メインボード上)





# コンピュータを廃棄するときは

本機を廃棄するときは『サポート・サービスのご案内』（別冊）の「コンピュータの廃棄・譲渡について」をご覧ください。

## ▶HDDのデータを消去する

本機を廃棄する前にHDDのデータを消去してください。

ドライバCDに収録されている「システム診断ツール」では、HDD内のデータをすべて消去することができます。

消去を開始すると、HDDのデータはももには戻りません。必要に応じてデータをバックアップしてください。



データ消去の結果について、当社および開発元の Ultra-X 社は責任を負いません。HDD のデータ消去・廃棄は、お客様の責任において行ってください。

### 消去されるデータ

<2台のHDDを接続している場合>






この機能で消去できるデータは、S-ATAコネクタ2に接続されているHDDのデータのみです。HDDを2台接続している場合、2台目のHDDのデータを削除したいときは、2台目HDDをS-ATAコネクタ2に接続してからデータの消去を行ってください。

<RAID機能を使用している場合>

RAIDを構成しているすべてのHDDのデータが消去されます。

### データの消去

HDD内のデータを消去する手順は、次のとおりです。

- 1** 本機の電源を入れ、ドライバCDを光ディスクドライブにセットします。  
「自動再生」画面が表示されたら、をクリックして画面を閉じてください。
- 2** [スタート] - [▶] - [再起動] をクリックして、本機を再起動します。
- 3** 「EPSON」と表示後、黒い画面の左下に「Kernel Loading・・・ Press any key to run PC TEST」と表示されたら、どれかキーを押します。  
システム診断ツールが起動し、自動的に診断が開始します。
- 4**  +  を押して診断を中止した後、どれかキーを押します。
- 5** 選択項目画面が表示されたら、 で「HD Erase」を選択して  を押します。

- 6** 選択項目画面が表示されたら、で「Full Erase」を選択してを押します。
- 7** 選択項目画面が表示されたら、「No Verify」を選択してを押します。  
「!!WARNING!!」画面が表示されます。  
消去が開始されると、途中で止めることはできません。  
消去を中止する場合は、を押すと、「システム診断ツール」画面に戻ります。
- 8** キーボードで「Yes」と入力します。  
消去が始まります。  
消去には、しばらく時間がかかります。かかる時間はHDDの容量によって異なります（40GBのHDDの場合で約30分）。
- 9** 「Erase of HDO :Passed Press any key to continue.」と表示されたら、ドライブCDを光ディスクドライブから取り出して、コンピュータの電源を切ります。  
これでデータの消去は完了です。

# 機能仕様一覧

CPU	プロセッサ	インテルPentium Dual-Coreプロセッサ、インテルCore 2 Duoプロセッサ、インテルCore 2 Quadプロセッサ、インテルCeleronプロセッサ (購入時の選択による)
	ソケット	LGA775 Socket
チップセット		インテルG35 Express+ICH8R
BIOS		AMI BIOS
セキュリティチップ (TPM)	対応規格	TPM 1.2
	コントローラ	Infineon SLB9635TT1.2
メインメモリ		PC2-6400 (DDR2-800 SDRAM) を使用して最大3GBまで搭載可能
ビデオコントローラ/メモリ		Intel Graphics Media Accelerator GMA X3500 / 8MB (最小)
サウンドコントローラ		チップセット内蔵 (インテル ハイ・デフィニション・オーディオ) Analog Devices ADI 1988A (サウンドコーデック)
記憶装置	HDD	1台内蔵 (S-ATA II 対応) (容量、台数は購入時の選択による)
	光ディスクドライブ	1台内蔵 (S-ATA仕様) (種類は購入時の選択による)
	マルチカードリーダー	1台内蔵 (メモリースティック、スマートメディア、コンパクトフラッシュ、SDメモリーカード、マルチメディアカード対応)
インタフェース	USB	6 : USB2.0 (前面側×2、背面側×4)
	LAN	1 : RJ-45 1000Base-T/100Base-TX/10Base-T対応 自動認識
	サウンド	前面側 : ヘッドフォン出力コネクタ×1、マイク入力コネクタ×1 背面側 : フロントスピーカ/ライン出力コネクタ×1、センタースピーカ/サブウーファ出力コネクタ×1、リアスピーカ出力コネクタ×1、サイドスピーカ出力コネクタ×1、ライン入力コネクタ×1、マイク入力コネクタ×1
	ディスプレイ	1 : アナログRGB ミニD-SUB 15ピン
	IEEE1394	2 : 前面側4ピン、背面側6ピン
	キーボード	1 : IBM PS/2互換 ミニDIN 6ピン
	マウス	1 : IBM PS/2互換 ミニDIN 6ピン
	パラレル	1 : セントロニクス社準拠 D-SUB 25ピン マルチモード双方向 ECC/EPPサポート
	シリアル (オプション)	1 : RS-232準拠 D-SUB 9ピン
ドライブベイ	5.25型ドライブベイ	1 : 光ディスクドライブ1台を装着済み
	HDDベイ	2
外部拡張スロット	PCI Express x16	1 : ボード長170mm×ボード幅69mmまで装着可能
	PCI Express x4	1 : ボード長170mm×ボード幅69mmまで装着可能
	PCI	2 : ボード長170mm×ボード幅64mmまで装着可能
キーボード		106PS/2コンパクトキーボード (6点入力対応) (種類は購入時の選択による)
マウス		ホイール付USBオプティカルマウス (種類は購入時の選択による)
カレンダー時計		内蔵 (リチウム電池によりバックアップ)
電源容量		275W
入力電圧		AC100V±10% 50/60 Hz
温湿度条件		温度 : 10~35℃ 湿度 : 20~80% (ただし、結露しないこと)
外形寸法 (縦置き時)		本体 : 約98 (幅) ×401 (奥行) ×357 (高さ) mm (突起部、縦置きスタンド除く)
質量		本体 : 約8.6kg (本体のみ)
消費電力		393W (最大) / 5.5W (スリープ状態) / 4.9W (電源OFF時)

# 索引

## 数字

106PS/2コンパクトキーボード .....	60
キーボードドライバ .....	22
5.25型ドライブベイ .....	128
7.1ch .....	98

## A

Administrator.....	188
Adobe Reader.....	22
インストール .....	195
セットアップ .....	196
ADSL.....	105
Advancedメニュー画面 .....	175

## B

BIOS.....	159
BIOS Setupユーティリティ .....	161
起動 .....	161
起動(Boot)デバイスの順番を変更する .....	170
終了 .....	165
設定項目 .....	172
設定値 .....	181
設定値を元に戻す .....	166
操作 .....	162
パスワードの設定 .....	167
Bootメニュー画面 .....	178

## C

Caps Lock.....	62
CATV.....	105
CDメディア	
読み込み・再生 .....	82
CMOS RAMの初期化 .....	254
COAラベル .....	21
COM.....	125
Compact Flash.....	87

Cドライブ .....	67, 188
分割・変更する .....	244
Cドライブ以外のドライブ	
削除する .....	250
作成・変更する .....	247

## D

DDR.....	136
DVD VIDEO再生ソフト .....	83
DVDメディア	
読み込み・再生 .....	83
DVI-Dケーブル .....	33
DVI-Dコネクタ .....	33
DVI-Iケーブル .....	33
DVI-Iコネクタ .....	33

## E

Exit & Discard Changes .....	165
Exit & Save Changes .....	165
Exitメニュー画面 .....	180

## F

FD(フロッピーディスク)	
製品保護上の注意 .....	8
Fnキー .....	60, 62

## G

gooスティック .....	22, 108
インストール .....	199

## H

HDDアクセス制限 .....	169
HDD設定変更サービス .....	67
HDDのデータ消去 .....	257
HDD(ハードディスクドライブ) .....	66
購入時の状態 .....	67

使う .....	66	MS-IME .....	61
取り付け/取り外し .....	154	Multi Media Card .....	88
取り付け/取り外し後の作業 .....	158		
ベイ .....	128	<b>N</b>	
<b>HDD領域</b>		Nero 7 Essentials .....	22, 84
分割・変更・作成 .....	243	インストール .....	198
		使い方 .....	85
<b>I</b>		Nero 7 Essentials CD-ROM .....	22, 186
IEEE1394コネクタ .....	26, 27, 125	Next Trackキー .....	63
InCD .....	86	Norton Internet Security 90日版 .....	23, 111
Informationキー .....	48, 63	インストール .....	196
Intel Matrix Storage Manager .....	22	ファイアウォール機能 .....	112
Internet Explorer .....	106	NTFSファイルシステム .....	67
情報バー .....	108	Num Lock .....	62
追加機能 .....	108		
ISDN回線 .....	105	<b>O</b>	
i-フィルター 30日版 .....	23, 115	OS .....	15
インストール .....	196		
管理パスワード .....	116, 197	<b>P</b>	
セットアップ .....	197	Passwordの設定 .....	179
		PCI Express .....	128, 143
<b>J</b>		PCIスロット .....	143
Java2 Runtime Environment .....	22	PCお役立ち情報 .....	49, 239
JWord Plugin .....	22, 108	Play/Pauseキー .....	63
インストール .....	198	Power メニュー画面 .....	176
		Powerキー .....	63
<b>L</b>		Previous Trackキー .....	63
LAN機能 .....	102		
LANケーブル .....	38, 102	<b>R</b>	
接続 .....	38	RAID .....	70
LANコネクタ .....	27, 38, 102		
Low Profile .....	143	<b>S</b>	
		S-ATA HDD .....	66
<b>M</b>		S-ATA (Serial ATA) .....	66, 79
Mainメニュー画面 .....	173	S-ATA ケーブル .....	148
Memory Stick .....	88	S-ATA コネクタ .....	147

- Scroll Lock ..... 62  
 SD Memory Card ..... 88  
 SDRAM ..... 136  
 SDカードスロット ..... 26, 90  
 SDメモリーカード ..... 88  
 Securityメニュー画面 ..... 179  
 Sleepキー ..... 63, 123  
 Smart Media ..... 87  
 SpeedStep(スピードステップ)機能 ..... 126  
 Stopキー ..... 63  
 Supervisor Password(管理者パスワード) ..... 167
- T**
- TPM ..... 242  
     不具合 ..... 213
- U**
- U1キー ..... 63  
 U2キー ..... 63  
 U3キー ..... 63  
 USB ..... 93  
 USB機器 ..... 93  
     接続と取り外し ..... 93  
     使う ..... 93  
 USBコネクタ ..... 26, 27  
 User Password(ユーザーパスワード) ..... 167
- V**
- VGAケーブル ..... 33  
 VGAコネクタ ..... 27, 33  
 Volume Downキー ..... 63  
 Volume Upキー ..... 63
- W**
- Wakeup On LAN ..... 103  
 Webフィルタリング ..... 115
- Webフィルタリングソフトウェア ..... 115, 196  
     インストール ..... 196  
 Windows Defender ..... 113  
 Windows Media Player ..... 100  
 Windows RE ..... 232  
 Windows Update ..... 109  
 Windows Vista ..... 22  
     インストール ..... 190  
     強制的に電源を切る ..... 57  
     セットアップ ..... 43  
 Windows VistaリカバリDVD ..... 22, 186  
 Windows.oldフォルダ ..... 217  
 Windows回復環境 ..... 232  
 Windowsの修復 ..... 50  
 Windowsメール ..... 106  
     初期設定 ..... 107  
 WinDVD ..... 22, 83  
     インストール ..... 197  
 WinDVD CD-ROM ..... 22, 186
- あ**
- アース線 ..... 39  
 アース端子 ..... 39  
 アイコン ..... 16  
 アップグレードサービス ..... 129  
 アップデート  
     Windows ..... 109  
 アナログ電話回線 ..... 105  
 暗号化 ..... 69, 242
- い**
- 色 ..... 95  
 インストール  
     Adobe Reader ..... 195  
     gooスティック ..... 199  
     i-フィルター 30日版 ..... 196

JWord Plugin.....	198	カスタマイズ .....	18
Nero 7 Essentials.....	198	カテゴリの表示 .....	51
Norton Internet Security 90日版 .....	196	かな入力 .....	61
Webフィルタリングソフトウェア .....	196	管理者 .....	53, 188
WinDVD .....	197	管理者パスワード .....	167
セキュリティソフトウェア .....	196	管理パスワード	
セキュリティチップユーティリティ .....	199, 242	i-フィルター 30日版 .....	116, 197
不具合 .....	227		
本体ドライバ .....	194		
インターネット .....	104	<b>き</b>	
不具合 .....	228	キーボード .....	60
インフォメーションメニュー .....	22, 48	キーボードコネクタ .....	27
		キーボードドライバ .....	22
		キーボードユーティリティ	
		アイコン .....	63
<b>お</b>		キーロック表示ランプ .....	60
オーディオ機器の接続 .....	98	記憶装置	
お手入れ		不具合 .....	216
外装 .....	238	起動順位の変更 .....	170, 178
コンピュータ本体内部 .....	238	機能キー .....	60
通風孔メッシュ .....	238	機能仕様一覧 .....	259
お問い合わせ情報シール .....	21	休止状態 .....	120
オペレーティングシステム .....	15	有効にする .....	121
音量の調節 .....	48, 100	強制的に電源を切る .....	57
		記録メディア .....	8
<b>か</b>		<b>く</b>	
解像度 .....	95	クラシック表示 .....	51
外部オーディオ機器 .....	98	クリック .....	41, 65
書き込み			
光ディスクメディア .....	84	<b>け</b>	
拡張スロット .....	28, 128, 143	警告メッセージ .....	235
拡張パーティション .....	248	ケーブル接続	
拡張ボード		コンピュータ内部 .....	256
増設に関する不具合 .....	213	ドライブ装置 .....	148
取り付け/取り外し .....	144		
取り付け/取り外し後の作業 .....	146		
各部の名称と働き .....	25		

## こ

## 交換

光ディスクドライブ ..... 150

## 交換後の作業

光ディスクドライブ ..... 153

高パフォーマンス ..... 118

コピーコントロールCD ..... 79

困ったときに ..... 202

コントロールパネルの表示 ..... 51

コンパクトフラッシュ ..... 87

コンパクトフラッシュスロット ..... 26, 90

コンピュータウイルス ..... 106, 111

コンピュータ内部のコネクタ ..... 256

CPUファンコネクタ ..... 256

IEEE1394 コネクタ (前面) ..... 256

USBコネクタ (マルチカードリーダー) ..... 256

USBコネクタ (前面用) ..... 256

シリアルコネクタ ..... 256

フロント オーディオコネクタ ..... 256

コンピュータの廃棄 ..... 257

コンピュータ本体の不具合 ..... 204, 212

コンピュータ名 ..... 43

コンピュータを購入時の状態にする ..... 190

## さ

再インストール ..... 184

必要なメディア ..... 186

再起動 ..... 57

## 再生

CDメディア ..... 82

DVDメディア ..... 83

音声 ..... 100

サイドスピーカ出力コネクタ ..... 27, 99

サウンド機能 ..... 98

不具合 ..... 224

サウンドコネクタ ..... 26, 27, 98, 99

サウンドドライバ ..... 22

サウンドレコーダー ..... 100

サポート情報検索 ..... 50

サポート・サービスのご案内 ..... 21, 202

## し

システム診断ツール ..... 23, 229

HDDのデータ消去 ..... 257

システムの拡張 ..... 127

システムの復元 ..... 50, 230

シャットダウン ..... 54, 55

## 周辺機器

増設・交換に関する不具合 ..... 213

終了方法 ..... 54

使用可能なメモ리카ード ..... 87

消去禁止領域 ..... 67, 232

使用できるマイク ..... 99

省電力 ..... 118

省電力機能 ..... 51, 118

不具合 ..... 212

## 省電力状態

移行する ..... 122

時間経過で移行させない ..... 122

種類 ..... 120

復帰方法 ..... 124

情報バー ..... 108

使用・保管時の注意 ..... 7

初期設定ツール ..... 45

初期値に戻す ..... 166

シリアルコネクタ ..... 125

## す

数値キー ..... 60

スクロール ..... 65

スタートボタン ..... 16

スタートメニュー ..... 16



スピーカ .....	98
接続 .....	37
不具合 .....	224
スピードステップ機能 .....	126
スマートメディア .....	87
スマートメディアスロット .....	26, 90
スリープ .....	54
スリープ状態 .....	120
スロットカバー .....	145

## せ

制御キー .....	60
製品保護上の注意 .....	7
セーフモード .....	230
セキュリティ機能 .....	242
セキュリティソフトウェア .....	23, 111
インストール .....	196
セキュリティ対策 .....	50
セキュリティチップユーティリティ .....	23
インストール .....	199, 242
設定 .....	190
セキュリティチップ(TPM) .....	242
不具合 .....	213
セキュリティロックスロット .....	28, 126
接続と取り外し	
USB機器 .....	93
設定値を元に戻す .....	166
セットアップ	
Adobe Reader.....	196
i-フィルター 30日版 .....	197
Windows.....	41
Windows Vista.....	43
セットアップ完了後の作業 .....	46
セットと取り出し	
メモ리카ード .....	89
センタースピーカ/サブウーファ出力コネクタ .....	27, 99

## そ

増設	
HDD.....	154
拡張ボード .....	144
メモリ .....	136
ソフトウェア .....	22
強制終了 .....	57
再インストール .....	186
不具合 .....	225

## た

ダウンロード	
壁紙 .....	241
最新のBIOS .....	241
電子マニュアル .....	241
ドライバ .....	241
ユーティリティ .....	241
タスクバー .....	16
縦置きスタンド .....	30
縦置きにする場合 .....	30
タブ .....	16
ダブルクリック .....	65

## ち

チップセットドライバ .....	22
直接入力モード .....	61

## つ

通常の終了 .....	54
通知領域 .....	16
通風孔 .....	28

## て

ディスクの管理 .....	200
ディスプレイ	
接続 .....	33

設定 .....	97	メモリ .....	137
不具合 .....	223	取り付け/取り外し後の作業	
ディスプレイの電源を切る .....	120	HDD .....	158
データの暗号化 .....	242	拡張ボード .....	146
デスクトップ .....	16	メモリ .....	142
電源コード		<b>な</b>	
接続 .....	39	ナローバンド .....	104
電源コネクタ .....	28	<b>に</b>	
電源スイッチ .....	25	日本語入力システム .....	61
電源設定 .....	118	日本語入力モード .....	61
電源の入れ方 .....	42, 56	入力キー .....	60
電源プラン .....	118	入力装置	
内容変更 .....	119	不具合 .....	221
電源ランプ .....	25	<b>ね</b>	
表示 .....	124	ネットワーク .....	102
電源を切る .....	54, 55	接続 .....	38
電子マニュアル		不具合 .....	228
ダウンロード .....	241	ネットワーク機能 .....	102
電池ホルダ .....	252	使う .....	102
添付されているソフトウェア .....	22	ネットワークドライバ .....	22
<b>と</b>		<b>は</b>	
ドライバ		パーティション .....	248
キーボード .....	22	ハードディスクドライブ(HDD) .....	66
ドライバCD .....	22, 186	データ消去 .....	257
ドライブベイ .....	128	不具合 .....	216
ドライブ名 .....	188	領域の分割・変更・作成 .....	243
ドラッグアンドドロップ .....	65	廃棄(コンピュータ) .....	257
とらぶる解決ナビ .....	49, 202	ハイブリッドスリープ .....	120
トラブルが解決しなかったら .....	50	パスワード .....	167
トラブルが発生したら .....	202	設定 .....	179
取り付け/取り外し		バックアップ .....	66, 190
HDD .....	154	パラレルコネクタ .....	27, 125
拡張ボード .....	144		
フロントパネル .....	135		
本体カバー .....	131		

- バランス ..... 118  
 ハングアップ ..... 57
- ひ**
- 光ディスクドライブ ..... 25  
     交換 ..... 150  
     交換後の作業 ..... 153  
     使う ..... 79  
     不具合 ..... 217  
 光ディスクドライブイジェクトボタン ..... 25  
 光ディスクメディア  
     書き込み ..... 84  
     製品保護上の注意 ..... 8  
 光ファイバー (FTTH) ..... 105  
 ビデオドライバ ..... 22  
 ビデオボード ..... 33, 95, 146  
 ビデオメモリ ..... 142  
 表示機能 ..... 95  
 表示装置  
     設定 ..... 97  
     不具合 ..... 223  
 標準ユーザー ..... 53
- ふ**
- ファイアウォール ..... 112  
 フィッシング詐欺検出機能 ..... 114  
 フォルダメニュー ..... 52  
 不具合  
     HDD ..... 216  
     インストール ..... 227  
     キーボード ..... 221  
     起動 ..... 204, 211  
     コンピュータ本体 ..... 204, 212  
     省電力機能 ..... 212  
     スピーカ ..... 224  
     セキュリティチップ (TPM) ..... 213
- 装置の増設・交換 ..... 213  
 そのほか ..... 214  
 ソフトウェア ..... 225  
 ディスプレイ ..... 223  
 ネットワーク、インターネット ..... 228  
 光ディスクドライブ ..... 217  
 マウス ..... 222  
 マルチカードリーダー ..... 220  
 メモリ ..... 215  
 復元ポイントの作成 ..... 50, 231  
 普通のスリープ ..... 120  
 復帰方法 ..... 55  
     省電力状態 ..... 124  
 プライマリパーティション ..... 248  
 ブロードバンド ..... 104  
 プロバイダ ..... 104  
 フロントスピーカ/ライン出力コネクタ ..... 27, 99  
 フロントドア ..... 25  
 フロントパネル ..... 138  
     取り外し/取り付け ..... 135
- へ**
- ヘッドフォン出力コネクタ ..... 26, 98
- ほ**
- ボタン ..... 16  
 ホットキー ..... 60, 63  
 ボリューム ..... 100  
 本機でできること ..... 24  
 本体カバー  
     取り外し/取り付け ..... 131  
 本体ドライバ  
     インストール ..... 194
- ま**
- マイク入力コネクタ ..... 26, 27, 98, 99

マウス .....	65
製品保護上の注意 .....	9
接続 .....	36
操作 .....	65
使い方 .....	41
不具合 .....	222
マウスコネクタ .....	27
マウスポインタ .....	41
マニュアルびゅーわ .....	23, 49
バックアップ .....	240
マルチカードリーダー .....	26, 87
アクセスランプ .....	26
不具合 .....	220
マルチメディアカード .....	88
<b>み</b>	
右クリック .....	65
<b>め</b>	
メモリ	
仕様 .....	136
スロット .....	128
増設 .....	136
増設・交換後の作業 .....	142
取り付け/取り外し .....	137
不具合 .....	215
メモリースティック .....	88
メモリースティックスロット .....	26, 90
メモリカード	
セットと取り出し .....	89
不具合 .....	220
<b>も</b>	
文字キー .....	60
文字を入力するには .....	61

**ゆ**

ユーザーアカウント .....	52
作成 .....	52
種類 .....	53
ユーザーアカウント制御画面 .....	53
ユーザーサポート .....	50
ユーザーパスワード .....	167

**よ**

横置きにする場合 .....	31
読み込み・再生	
CDメディア .....	82
DVDメディア .....	83

**ら**

ライセンス認証 .....	44
ライティングソフト .....	84
ライン出力コネクタ .....	27, 99
ライン入力コネクタ .....	27, 99

**り**

リアスピーカ出力コネクタ .....	27, 99
リカバリ .....	184
リチウム電池の交換 .....	251
リフレッシュレートの設定 .....	97
リムーバブルディスク .....	91, 92
リモートブート .....	103
領域の作成 .....	200

**ろ**

ローマ字入力 .....	61
録音	
音声 .....	100
論理ドライブ .....	248

# Memo

## 使用限定について

本製品は、OA機器として使用されることを目的に開発・製造されたものです。

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全性維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮頂いた上で本製品をご使用ください。

本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、生命維持に関わる医療機器、24時間稼働システムなど極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用は意図しておりませんので、これらの用途にはご使用にならないでください。

## 本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本製品は日本国内でのご使用いただくことを前提に製造・販売しております。したがって、本製品の修理・保守サービスおよび不具合などの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないこともあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります。当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

## 電波障害について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

## 瞬時電圧低下について

本製品は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合を生じることがあります。

電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。（社団法人 電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示）

## 有寿命部品について

当社のコンピュータには、有寿命部品（液晶ディスプレイ、ハードディスク、冷却用ファンなど）が含まれています。有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や条件により異なりますが、本製品を通常使用した場合、1日約8時間、1ヶ月で25日間のご使用で約5年です。

上記目安はあくまで目安であって、故障しないことや無料修理をお約束するものではありません。

なお、長時間連続使用など、ご使用状態によっては早期にあるいは製品の保証期間内であっても、部品交換（有料）が必要となります。

## JIS C 61000-3-2適合品

本製品は、高調波電流規格JIS C 61000-3-2に適合しております。

## PCリサイクルマークについて



PCリサイクルマーク付きの当社製品は、当社が無償で回収、再資源化いたします。

詳細は下記ホームページをご参照ください。

<http://www.epson.jp/ecology/>

## 著作権保護法について

あなたがビデオなどで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。


テレビ・ラジオ・インターネット放送や市販のCD・DVD・ビデオなどで取得できる映像や音声は、著作物として著作権法により保護されています。個人で楽しむ場合に限り、これらに含まれる映像や音声を録画または録音することができますが、他人の著作物を収録した複製物を譲渡したり、他人の著作物をインターネットのホームページなどに掲載（改編して掲載する場合も含む）するなど、私的範囲を超えて配布・配信する場合は、事前に著作権者（放送事業者や実演家などの隣接権者を含む）の許諾を得る必要があります。著作権者に無断でこれらの行為を行うと著作権法に違反します。

また、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

## ご注意

1. 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
2. 本書の内容および製品の仕様について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容は万全を期して作成いたしました。万一誤り・お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
4. 運用した結果の影響につきましては、3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

## 商標について

- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Media、Active X、Bit Locker、Internet Explorerは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Intel、インテル、Intelロゴ、Pentium、Celeron、Intel Core、Core Inside、Intel SpeedStepは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標です。
- PS/2はInternational Business Machinesの登録商標です。
- Symantec、Symantecロゴ、Norton Internet Security、Norton Antivirus、LiveUpdateは、Symantec Corporationの登録商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- i.LINKは、IEEE1394-1995およびその拡張仕様を示す呼称です。i.LINKとi.LINKのロゴ「」は、ソニー株式会社の商標です。
- Memory Stick、マジックゲート、Memory Stickのロゴは、ソニー株式会社の商標です。
- Multi Media Card<sup>TM</sup>は、ドイツInfineon Technologies AG社の商標です。
- SDロゴは商標です。
- SmartMedia<sup>TM</sup>、及びそのロゴは、株式会社 東芝の商標です。
- そのほかの社名、製品名は、一般にそれぞれの会社の商標または登録商標です。

